授業評価 2014

－平成 26 年度学生による授業評価報告書－

【2014 年度新規開設科目】

平成 27 年 3 月

放送大学

授業評価 2014

－平成 26 年度学生による授業評価報告書－

【2014 年度新規開設科目】

平成 27 年 3 月

放送大学

授業評価 2014

－平成 26 年度学生による授業評価報告書－

【２０１４年度新規開設科目】

Ⅰ．「学生による授業評価 2014」の概要 ----------1

Ⅰ－1．目的
Ⅰ－2．構成と内容
Ⅰ－3．方法と期間
Ⅰ－4．時系列分析
Ⅰ－5．回答者の特性
Ⅰ－6．評価結果の提供と公表
Ⅰ－6－1．評価結果の提供
Ⅰ－6－2．評価結果の公表

Ⅱ．評定尺度調査の分析結果----------19

Ⅱ－1．学部の分析結果
Ⅱ－1－１．項目平均から見た全体的傾向
Ⅱ－1－２．学習への取組姿勢
Ⅱ－1－３．学部の授業評価
Ⅱ－1－４．参考
Ⅱ－2．大学院の分析結果
Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向
Ⅱ－２－２．学習への取組姿勢
Ⅱ－２－３．大学院の授業評価
Ⅱ－２－４．参考

Ⅲ．自由記述のまとめ----------132

Ⅲ－1．総括
Ⅲ－2．学部
Ⅲ－3．大学院

付録 ----------207

平成 26 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I.「学生による授業評価２０１４」の概要

Ⅰ－1．目的

本学では、学生の授業に関する理解の状況や満足感等を把握することによって、教育内容や教授方法及び学習支援システム等の改善に資することを目的とし、2005 年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入している。第 10 回目となる今年度は、2014 年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

(1) **個別授業科目の改善支援**‥‥個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
(2) **カリキュラム全体の改善支援**‥‥コースまたは領域、プログラム（群）における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
(3) **認証評価に関わる資料提供**‥‥大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のようないくつかの放送大学に固有の条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第 1 に、放送大学では、収録された放送授業を 4 年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり、評価の次年度に改訂版を収録する）ことが非常に難しいのである。

第 2 に、放送大学の主任講師は客員であることが多く、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第３に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第４に、放送大学は教員の５年任期制を採っており、再任のためには５年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第３の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

Ⅰ－2．構成と内容

今回の学生による授業評価調査は、大きく分けて３つの部分からなっている。

第１は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について４段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の２つに分かれる。

第２は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第３は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については 211、212 頁を参照されたい。

Ⅰ－3．方法と期間

評価の対象としたのは、2014 年度第１学期に本学で開講していた放送授業のうち、今年度に開設した科目（開講１年目の科目）、学部 57 科目、大学院 11 科目、計 68 科目である（表１－１参照）。またこのような選定システムにすることで、開設後４年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず１回授業評価の対象とされることになる。

表１－１　コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数

【学部】

コース	科目数		有効回答	
	平成26年度（2014）		平成26年度（2014）	
	全開設	評価対象	人数	構成比
基礎科目	3	3	334	6%
共通科目：人文系	1	1	117	2%
共通科目：自然系	5	5	313	6%
共通科目：外国語	2	2	174	3%
生活と福祉	7	7	715	13%
心理と教育	8	8	851	16%
社会と産業	7	7	647	12%
人間と文化	6	6	747	14%
情報	8	8	531	10%
自然と環境	3	3	314	6%
総合科目	5	5	530	10%
夏季集中科目	2	2	84	2%
全　体	57	57	5,357	100%

【大学院】

プログラム	科目数		有効回答	
	平成26年度（2014）		平成26年度（2014）	
	全開設	評価対象	人数	構成比
生活健康科学	2	2	105	17%
臨床心理学	1	1	80	13%
社会経営科学	2	2	143	23%
人文学	1	1	73	12%
情報学	2	2	86	14%
自然環境科学	3	3	133	21%
全　体	11	11	620	100%

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

調査票の配布は、これら 68 科目の全受講登録者を母集団とし、学部科目では各 250 名（登録者がそれ未満の科目は全数）、大学院科目では各 200 名（同）をそれぞれ無作為抽出して得られた学部 12,924 名、大学院 1,332 名、計 14,256 名（いずれも延べ人数）に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行なった。

また、回収も郵送により行ない、調査期間は第 1 学期単位認定試験終了後の 8 月中旬から 9 月下旬までの 1 ヶ月とした。有効回答数は学部 5,357 票、大学院 620 票、計 5,977 票であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部 41.5%、大学院 46.5%、全体で 41.9%と、昨年度とほぼ同程度ではあったが決して高いとは言えない結果であった（表１－２参照）。その要因はさまざまに考えられるが、昨年度と同様に科目登録者数や調査日程の関係から単位認定試験未受験者に対しても調査票を配付していることが回収率の低さの大きな要因の一つと思われる。今後、回収率を高めていくためには、調査日程または調査対象者の選抜方法に検討が必要であろう。

なお、昨年度の有効回答率（2013 年度新規開設科目　学部 42.9%、大学院 45.7%、全体 43.3%）と比較すると、全体および学部の有効回答率は下がっているが、大学院の有効回答率は上がっている。

表１－２　調査対象者数および有効回答率

	26年度（2014年新規開設科目）			25年度（2013年新規開設科目）			24年度（2012年新規開設科目）		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	12,924	5,357	41.5%	11,767	5,051	42.9%	13,702	5,120	37.4%
大学院	1,332	620	46.5%	1,874	856	45.7%	1,285	553	43.0%
計	14,256	5,977	41.9%	13,641	5,907	43.3%	14,987	5,673	37.9%

Ⅰ－4．時系列分析

報告書の一部に第８回目（2012 年度）以降の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講１年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

Ⅰ－5．回答者の特性

（１）回答者の属性分布と母集団との比較

次頁の表１－３は、回答者の属性分布と母集団（全受講登録者）の属性分布を比較したものである。両者を比較して、属性分布が回答者と母集団で乖離していないかを検証する。

学部では、性別で大きな差はないが、年齢階層において 60 歳以上に大きな差が見られる。60 歳代の母集団 16.7%に回答者 25.2%でプラス 8.5%、70 歳代の母集団 7.1% に回答者 11.9%で 4.9%のプラスとなっている。

また、学生種では選科履修生の差異がやや大きく、母集団 19.9%に対して回答者 16.5%でマイナス 3.4%となっている。

一方、大学院は、性別で女性がマイナス 2.5%の差異があり、年齢階層では 30 歳代でマイナス 3.4%、70 歳以上でプラス 3.9% とやや大きな差異が認められる。学生種では修士選科生の差異がマイナス 7.0%と大きい。

なお、ここで比率が高いからと言って、それらの属性の回答率が高いことを意味するものでないことは留意されたい。

表１－３ 回答者の属性分布

【学部】

		26年度（2014年新規開設科目）			25年度（2013年新規開設科目）			24年度（2012年新規開設科目）		
		回答者	母集団（全受講登録者）	母集団との差	回答者	母集団（全受講登録者）	母集団との差	回答者	母集団（全受講登録者）	母集団との差
性別	男性	48.9%	51.3%	▲2.3%	51.7%	44.9%	6.9%	48.8%	42.3%	6.5%
	女性	49.5%	48.7%	0.8%	46.4%	55.1%	▲8.7%	46.7%	57.7%	▲11.0%
年齢階層別	19歳以下	0.4%	0.8%	▲0.4%	0.4%	1.0%	▲0.6%	0.7%	1.8%	▲1.1%
	20～29歳	7.8%	14.1%	▲6.3%	8.5%	12.8%	▲4.4%	10.8%	15.0%	▲4.2%
	30～39歳	13.6%	19.3%	▲5.7%	14.2%	20.2%	▲6.1%	16.9%	24.2%	▲7.3%
	40～49歳	21.1%	24.0%	▲2.9%	19.9%	24.1%	▲4.2%	22.2%	26.2%	▲4.0%
	50～59歳	19.5%	17.9%	1.6%	16.9%	17.0%	▲0.1%	16.6%	16.0%	0.6%
	60～69歳	25.2%	16.7%	8.5%	26.3%	17.5%	8.7%	22.7%	12.5%	10.2%
	70歳以上	11.9%	7.1%	4.9%	13.4%	7.4%	6.1%	8.8%	4.4%	4.4%
学生種別	全科履修生	70.5%	71.4%	▲0.9%	71.8%	68.9%	3.0%	69.6%	65.2%	4.4%
	選科履修生	16.5%	19.9%	▲3.4%	16.7%	22.4%	▲5.7%	18.1%	25.7%	▲7.6%
	科目履修生	7.7%	8.0%	▲0.3%	7.3%	8.8%	▲1.4%	7.4%	9.1%	▲1.7%
人数（N）		5,357	－	－	5,051	－	－	5,120	－	－

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

【大学院】

		26年度（2014年新規開設科目）			25年度（2013年新規開設科目）			24年度（2012年新規開設科目）		
		回答者	母集団（全受講登録者）	母集団との差	回答者	母集団（全受講登録者）	母集団との差	回答者	母集団（全受講登録者）	母集団との差
性別	男性	63.5%	64.4%	▲0.9%	61.2%	60.2%	1.0%	61.5%	61.2%	0.3%
	女性	33.1%	35.6%	▲2.5%	35.4%	39.8%	▲4.4%	36.3%	38.8%	▲2.5%
年齢階層別	20～29歳	2.6%	3.6%	▲1.0%	3.4%	5.2%	▲1.8%	2.4%	4.4%	▲2.0%
	30～39歳	8.4%	11.8%	▲3.4%	13.8%	15.8%	▲2.1%	15.0%	17.1%	▲2.1%
	40～49歳	22.1%	23.5%	▲1.4%	22.0%	26.7%	▲4.7%	28.0%	30.6%	▲2.6%
	50～59歳	25.2%	26.7%	▲1.6%	23.8%	25.6%	▲1.8%	28.9%	27.1%	1.8%
	60～69歳	27.4%	24.5%	2.9%	24.4%	20.0%	4.4%	17.5%	15.9%	1.6%
	70歳以上	13.7%	9.8%	3.9%	11.1%	6.7%	4.4%	7.8%	4.9%	2.9%
学生種別	修士全科生	28.7%	25.5%	3.3%	27.2%	23.2%	4.1%	21.9%	16.7%	5.2%
	修士選科生	59.8%	66.8%	▲7.0%	59.7%	69.1%	▲9.4%	67.8%	73.8%	▲6.0%
	修士科目生	8.1%	7.7%	0.3%	7.6%	7.8%	▲0.2%	6.5%	9.5%	▲3.0%
人数　（N）		620	－	－	856	－	－	553	－	－

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

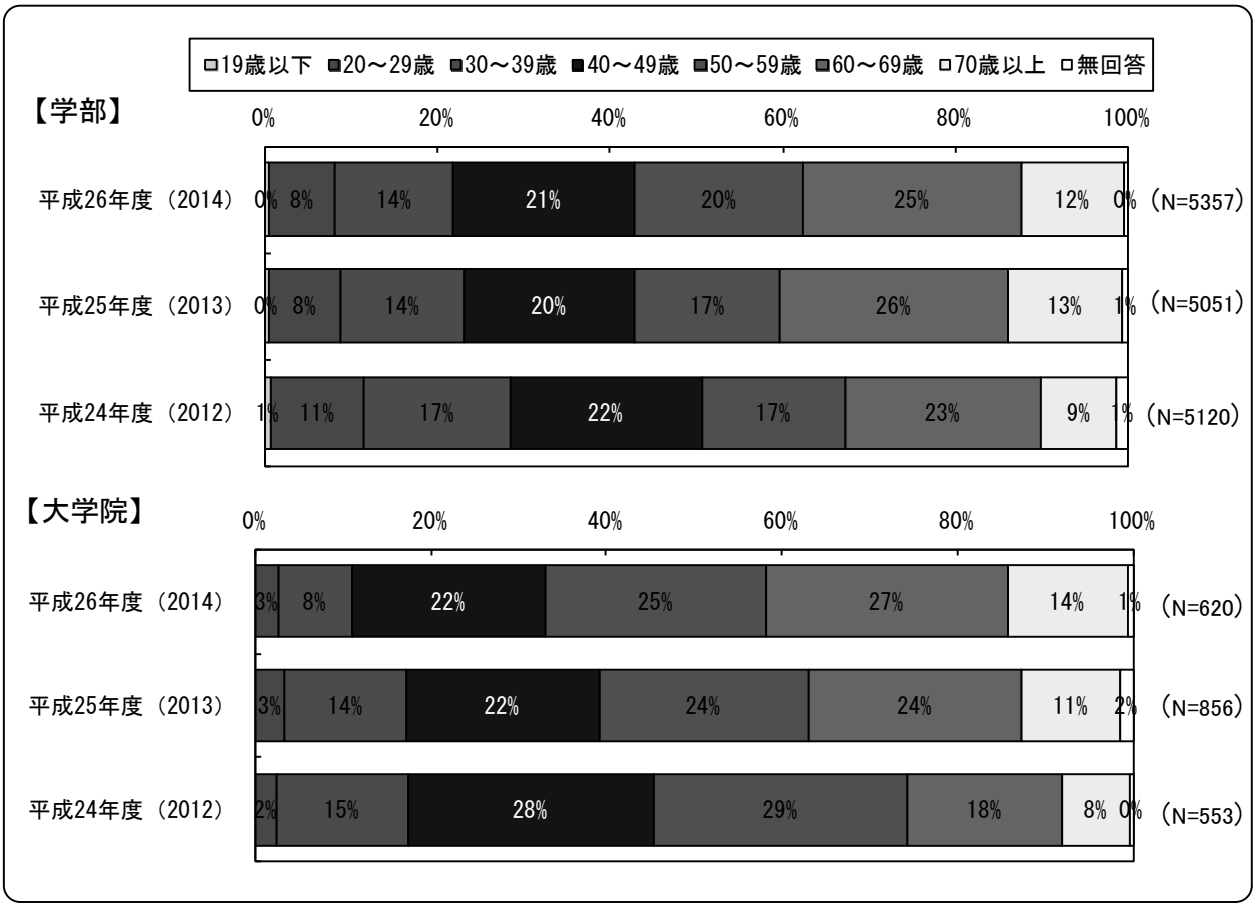
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

（２）年齢階層別回答者（２０１４年新規開設科目）

年齢階層別に今年度（2014 年新規開設科目）の回答者の分布を見ると（図１－１）、学部では 30 代～60 代が中心であり、60 歳代が最も多く 25%、次いで 40 歳代が 21%、50 歳代が 20%、30 歳代が 14%を占める。前回の調査と比べると、50 歳代の割合がやや増加しているが、年齢階層の分布はほぼ変わらない傾向にある。

大学院では、40 歳代～60 歳代の割合が多く、60 歳代が 27%と最も多く、次いで 50 歳代が 25%、40 歳代が 22%となっている。また、前回の調査と比べると、50 歳以上の割合が増加した。

図１－１ 年齢階層別回答者

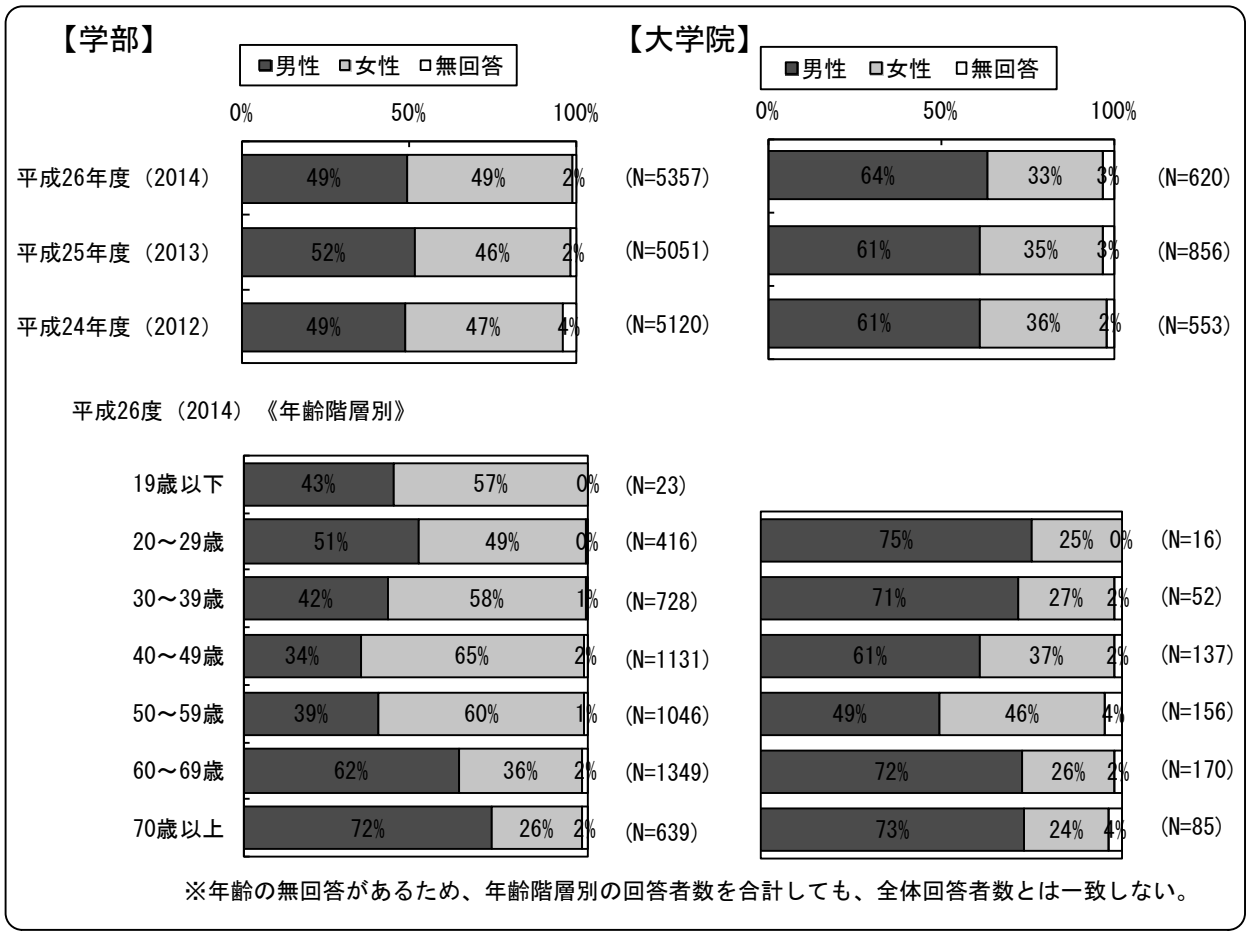


（３）性別回答者（2014 年新規開設科目）

回答者の性別（図１－２）は、学部では「男性」49%、「女性」49%となっており、昨年までの調査に比べると「女性」の割合がやや増えている。また、19 歳以下、30 歳代、40 歳代、50 歳代は「男性」よりも「女性」が多い。

大学院は、「男性」64%、「女性」33%と「男性」の比率が高い。昨年までの調査と比べると「女性」の割合がやや減っている。大学院の場合は、年齢階層別でも全階層とも「男性」の割合が多くなっている。

図１－２ 性別回答者



（４）職業別回答者（2014 年新規開設科目）

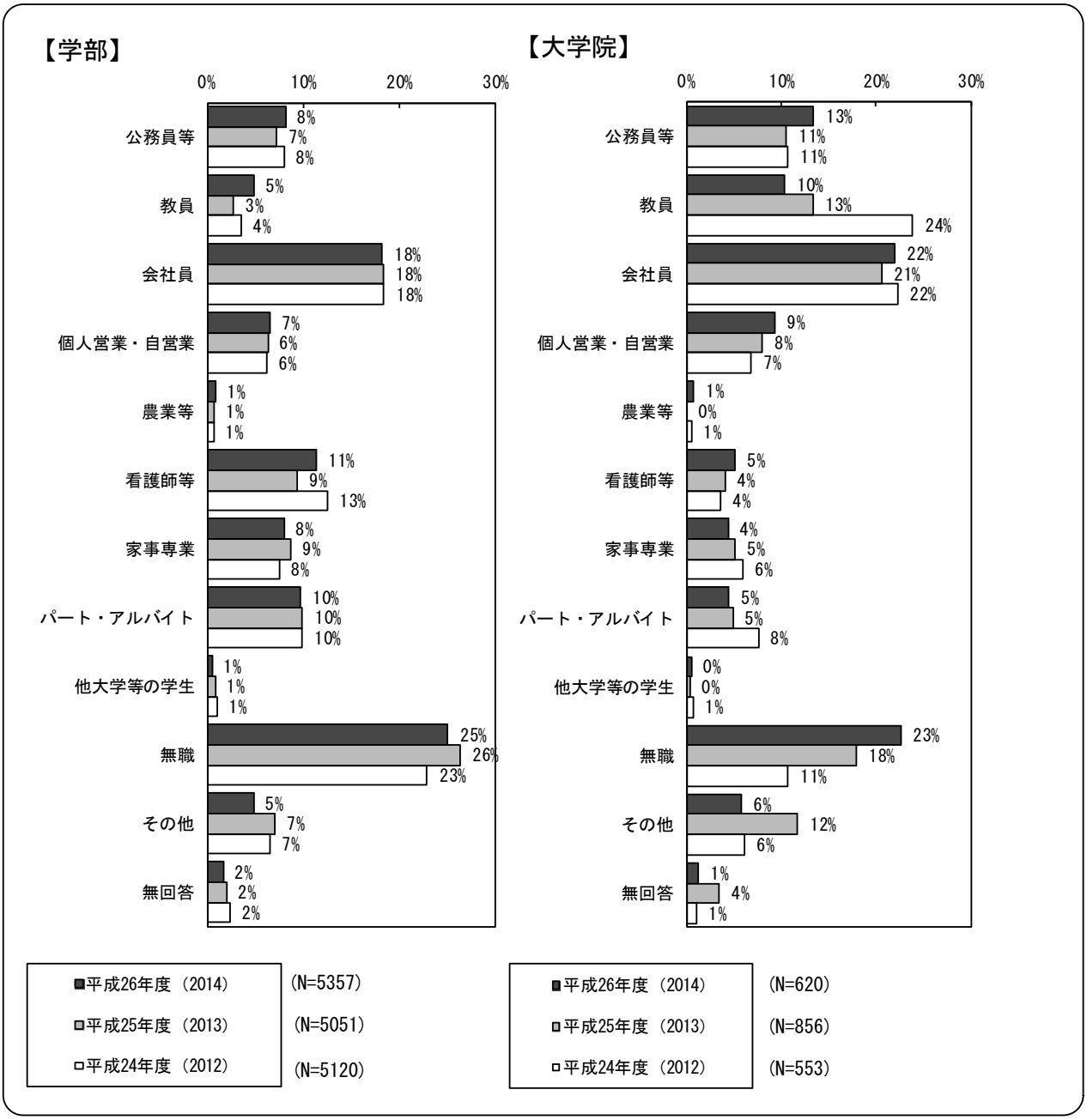
職業別に回答者の分布を見ると（次頁図１－３）、学部では「無職」が 25%と最も多いが、次いで「会社員」18%、「看護師等」11%、「パート・アルバイト」10%となっており、有職者（パート・アルバイト含む）は全体の７割程度を占めている。時系列で見ると、昨年よりも「教員」「看護師等」の割合がやや増加している。

一方、大学院では「無職」は 23%で、有職者で多かったのは「会社員」が 22%と最も多く、次いで「公務員等」13%、「教員」10%となっており、こちらも有職者は７割程度

を占める。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているので、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図１－３ 職業別回答者

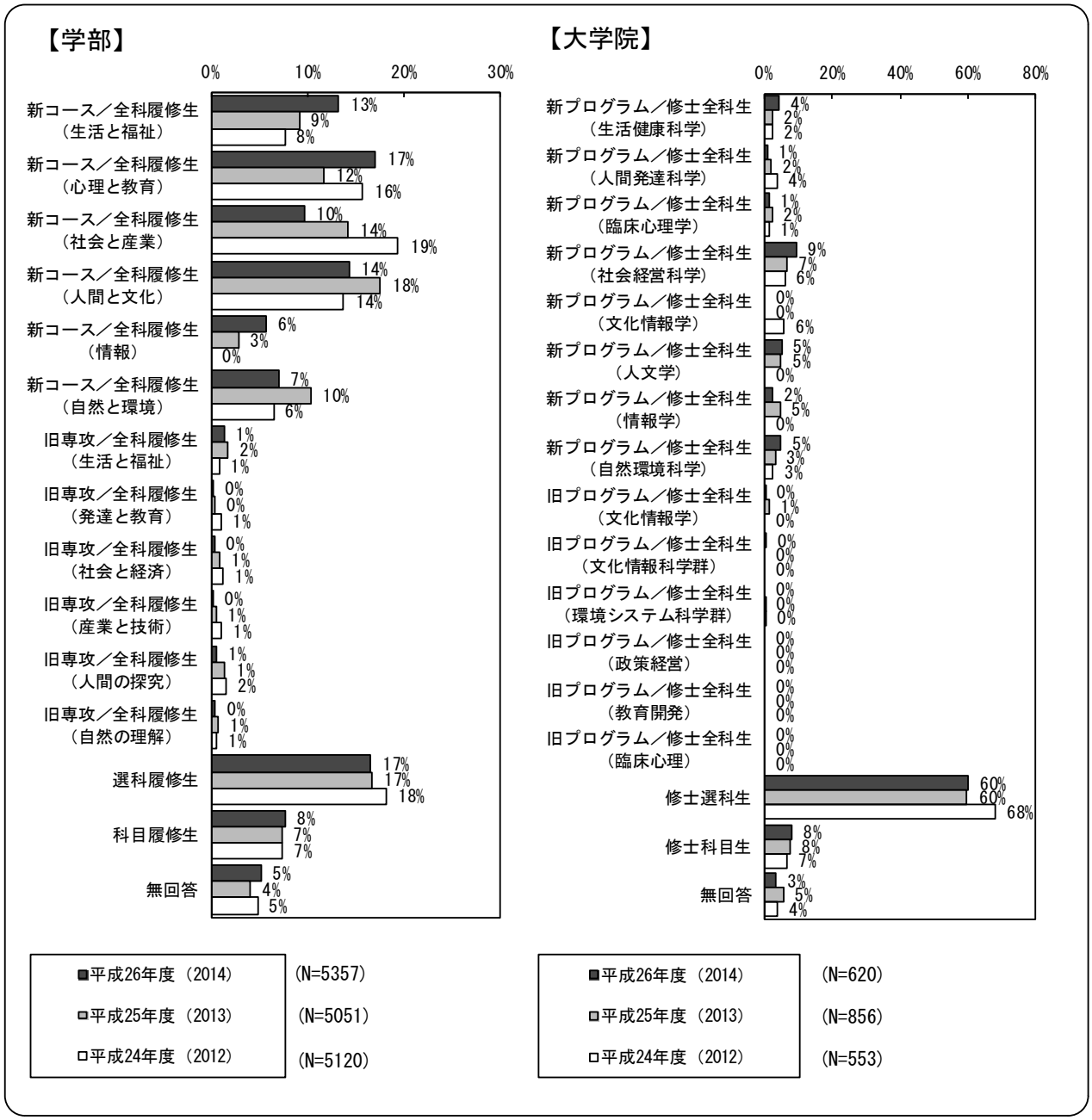


（５）所属コース（プログラム）別回答者（2014 年新規開設科目）

次に学生の所属コース（プログラム）別の分布を見ると（図１－４）、学部では全科履修生が 69%を占め、そのうち新コース所属が 67%、旧専攻所属が 2%となっている。全科履修生の中では、新コース所属の「心理と教育」が 17%とやや多くなっている。

大学院では修士選科生が 60%を占めており、修士全科生が 27%、修士科目生が 8%となっている。修士全科生の所属プログラムでは「社会経営科学」が 9%でやや多くなっているが、全体的にばらついている。

図１－４ 学生の所属コース（プログラム）別回答者



Ⅰ－６．評価結果の提供と公表

Ⅰ－６－１．評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という３つの大きな目的のもとに企画され、実施された。そのことを勘案した授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

(1)**当該科目を担当した主任講師への提供**‥‥担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。

(2)**コース主任及びプログラム責任者への提供**‥‥全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。

(3)**教授会及び教務委員会等関連委員会への提供**‥‥大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13 頁～18 頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

Ⅰ－６－２．評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果を授業改善の目的で用いるのはもちろんであるが、それに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表が強く求められているところである。小委員会では、その問題に関しても詳細に検討した。その結果、以下のような合意に達し、それを基本的な方針とすることが決められた。

(1)公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば､言うまでもなくそれが理の当然である｡そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2)公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

①調査の概要　　：授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
②回答者の概要　：基本属性別に見た有効回答者数
③評点平均　　：全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
④自由記述の概略：特徴的・代表的な記述

(3)公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

提供資料サンプル【学部】

学部10001　2014年度学生による授業評価の調査結果【2014年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等　○○○○

科目名（コード）　○○○○○○○（R）　（　○○○○　）　教員氏名　○○○○

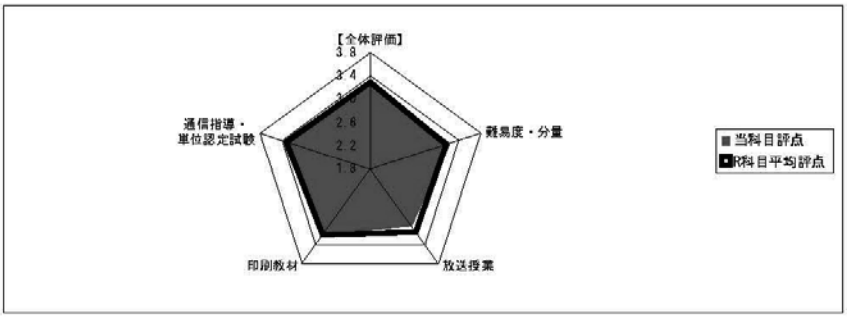
（注）平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1．取組み姿勢

		設問内容	有効回答	回答割合 あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	平均評点 当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
取組姿勢	A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	111	31%	51%	15%	3%	3.10	3.27	3.28
	A-2	放送授業を十分に視聴した	111	14%	29%	26%	32%	2.24	2.86	2.73
	A-3	印刷教材を熱心に学習した	111	46%	43%	11%	0%	3.35	3.28	3.35

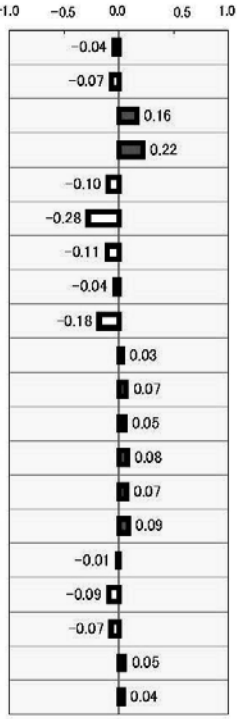
【当科目評点と、R科目平均評点との差】

2．授業評価



		設問内容	有効回答	回答割合 あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	平均評点 当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
難易度・分量	B-1	放送授業の難易度は適切だった	94	34%	49%	9%	9%	3.09	3.19	3.13
	B-2	放送授業の内容は適切な分量であった	93	35%	44%	11%	10%	3.05	3.18	3.12
	B-3	印刷教材の難易度は適切だった	110	45%	51%	4%	1%	3.39	3.22	3.23
	B-4	印刷教材の内容は適切な分量であった	111	49%	48%	4%	0%	3.45	3.23	3.23
放送授業	B-5	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	86	37%	44%	8%	10%	3.08	3.22	3.18
	B-6	講師の熱意が十分に伝わった	86	36%	41%	12%	12%	3.01	3.33	3.29
	B-7	放送授業は教材としてよくできていると感じた	84	33%	46%	10%	11%	3.02	3.21	3.13
	B-8	映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	82	32%	41%	13%	13%	2.91	3.12	2.95
印刷教材	B-9	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	86	35%	49%	7%	9%	3.09	3.27	3.27
	B-10	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	109	37%	54%	8%	1%	3.27	3.20	3.23
	B-11	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	106	27%	54%	18%	1%	3.08	3.10	3.01
	B-12	印刷教材は教材としてよくできていると感じた	108	41%	50%	9%	0%	3.31	3.25	3.26
通信指導・単位認定試験	B-13	通信指導のコメントは、納得のいくものだった	106	44%	53%	3%	0%	3.42	3.30	3.34
	B-14	通信指導は学習内容の理解に役立った	107	50%	44%	6%	0%	3.45	3.34	3.38
	B-15	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	107	44%	46%	8%	2%	3.32	3.18	3.23
全体評価	B-16	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	108	37%	52%	10%	1%	3.25	3.25	3.26
	B-17	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	110	36%	51%	12%	1%	3.23	3.32	3.32
	B-18	新しい知識が身につき視野が広がった	111	43%	52%	5%	0%	3.39	3.46	3.46
	B-19	この科目の内容を全体としてよく理解できた	110	35%	52%	14%	0%	3.21	3.14	3.16
	B-20	この科目の内容には全体として満足している	110	41%	50%	8%	1%	3.31	3.27	3.27

【当科目評点と、R科目平均評点との差】



3．回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科履修生（新コース所属） 生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	全科履修生（旧専攻所属） 生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探求	自然の理解	全科履修生【小計】
	40	5	3	3	0	5	8	0	0	0	2	0	66

選科履修生	科目履修生	無回答	計
32	6	7	111

性別	男性	女性	無回答	計
	20	89	2	111

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	1	3	29	27	26	20	5	0	111

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	7	2	9	4	1	52	11	9	1	13	1	1	111

通信指導・単位認定試験	単位認定試験 受験	未受験	通信指導未提出	無回答	計
	106	4	0	1	111

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
	3	58	42	8	111

学部

2014年度学生による授業評価の調査結果【2014年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

			A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ							A-2 放送授業を十分に視聴した							A-3 印刷教材を熱心に学習した						
			回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均
				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答		
合計（全体）			5357	44%	40%	12%	3%	1%	84%	3.26	5357	32%	31%	20%	14%	2%	63%	2.82	5357	46%	38%	11%	3%	1%	85%	3.30
				2356	2130	626	180	65				1699	1683	1098	764	113				2488	2059	581	162	67		
学生種別	全科一新コース	生活と福祉	710	40%	42%	13%	4%	1%	82%	3.20	710	25%	30%	22%	21%	3%	55%	2.60	710	47%	38%	12%	2%	1%	85%	3.32
				283	299	95	25	8				175	212	158	146	19				336	270	82	16	6		
		心理と教育	914	44%	43%	10%	2%	1%	87%	3.30	914	31%	32%	23%	13%	1%	63%	2.83	914	47%	40%	10%	2%	1%	87%	3.33
				404	390	94	20	6				287	290	210	115	12				426	367	94	18	9		
		社会と産業	517	48%	37%	11%	4%	0%	85%	3.28	517	31%	31%	20%	16%	1%	62%	2.78	517	52%	31%	11%	5%	1%	83%	3.31
				246	192	56	22	1				160	162	104	84	7				268	159	59	25	6		
		人間と文化	767	50%	35%	11%	2%	2%	84%	3.34	767	41%	32%	16%	9%	2%	73%	3.08	767	50%	36%	11%	2%	1%	86%	3.37
				381	267	87	19	13				314	246	121	67	19				387	274	82	14	10		
		情報	309	46%	34%	15%	4%	1%	80%	3.23	309	40%	27%	20%	12%	2%	66%	2.96	309	43%	37%	14%	5%	2%	80%	3.21
				141	106	46	13	3				123	82	61	37	6				133	115	42	14	5		
		自然と環境	378	45%	35%	12%	6%	1%	80%	3.21	378	36%	31%	19%	12%	1%	67%	2.92	378	41%	39%	13%	4%	2%	80%	3.19
				171	133	46	23	5				137	116	73	47	5				155	149	51	17	6		
	全科一旧（専攻）	生活と福祉	74	31%	47%	11%	8%	3%	78%	3.04	74	18%	20%	27%	28%	7%	38%	2.29	74	36%	50%	8%	4%	1%	86%	3.21
				23	35	8	6	2				13	15	20	21	5				27	37	6	3	1		
		発達と教育	15	33%	40%	20%	0%	7%	73%	3.14	15	27%	20%	40%	7%	7%	47%	2.71	15	40%	40%	13%	0%	7%	80%	3.29
				5	6	3	0	1				4	3	6	1	1				6	6	2	0	1		
		社会と経済	21	43%	19%	29%	10%	0%	62%	2.95	21	29%	24%	24%	24%	0%	52%	2.57	21	33%	43%	10%	14%	0%	76%	2.95
				9	4	6	2	0				6	5	5	5	0				7	9	2	3	0		
		産業と技術	13	23%	38%	31%	0%	8%	62%	2.92	13	8%	23%	23%	31%	15%	31%	2.09	13	15%	62%	23%	0%	0%	77%	2.92
				3	5	4	0	1				1	3	3	4	2				2	8	3	0	0		
		人間の探究	33	48%	36%	9%	3%	3%	85%	3.34	33	30%	27%	21%	15%	6%	58%	2.77	33	42%	36%	12%	3%	6%	79%	3.26
				16	12	3	1	1				10	9	7	5	2				14	12	4	1	2		
		自然の理解	26	23%	58%	12%	4%	4%	81%	3.04	26	12%	42%	23%	15%	8%	54%	2.54	26	31%	54%	8%	0%	8%	85%	3.25
				6	15	3	1	1				3	11	6	4	2				8	14	2	0	2		
	全科履修生【小計】		3777	45%	39%	12%	3%	1%	83%	3.26	3777	33%	31%	20%	14%	2%	63%	2.83	3777	47%	38%	11%	3%	1%	84%	3.30
				1688	1464	451	132	42				1233	1154	774	538	80				1769	1420	429	111	48		
	選科履修生		886	44%	41%	12%	3%	1%	85%	3.27	886	33%	34%	20%	13%	1%	66%	2.87	886	44%	42%	10%	3%	0%	86%	3.27
				389	361	102	25	9				288	300	175	112	11				389	374	89	30	4		
	科目履修生		415	40%	46%	11%	2%	1%	86%	3.25	415	27%	34%	21%	16%	2%	61%	2.73	415	48%	39%	9%	2%	2%	87%	3.36
				167	189	45	9	5				110	143	89	65	8				200	163	36	9	7		
通信指導・認定試験	単位認定試験	受験	4642	46%	41%	10%	2%	1%	87%	3.33	4642	34%	32%	20%	13%	2%	66%	2.88	4642	49%	39%	9%	2%	1%	88%	3.37
				2155	1886	472	85	44				1557	1489	913	600	83				2273	1811	434	80	44		
		未受験	370	28%	41%	22%	7%	2%	69%	2.92	370	22%	31%	29%	15%	3%	54%	2.63	370	29%	41%	22%	5%	2%	71%	2.98
				103	153	83	25	6				83	115	108	54	10				109	153	82	18	8		
	通信指導未提出		192	21%	22%	20%	29%	7%	43%	2.38	192	14%	20%	21%	38%	7%	34%	2.10	192	23%	23%	20%	28%	5%	46%	2.44
				40	43	39	56	14				26	39	41	73	13				45	44	39	54	10		

（注）1．「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
2．「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
3．評点については、選択肢「あてはまる：４点」「ややあてはまる：３点」「あまりあてはまらない：２点」「あてはまらない：１点」として算出した。

Ⅱ．次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ．この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ．あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	〔全科履修生 新コース所属の方〕 1. 生活と福祉　2. 心理と教育　3. 社会と産業　4. 人間と文化　5. 情報 6. 自然と環境 〔全科履修生 旧専攻所属の方〕 7. 生活と福祉　8. 発達と教育　9. 社会と経済　10. 産業と技術　11. 人間の探究 12. 自然の理解 〔選科履修生･科目履修生〕 13. 選科履修生　14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性　2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下　2. 20～29歳　3. 30～39歳　4. 40～49歳 5. 50～59歳　6. 60～69歳　7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等　2. 教員　3. 会社員　4. 個人営業・自営業 5. 農業等　6. 看護師等　7. 家事専業　8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生　10. 無職　11. その他（　　）

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院20001　2014年度学生による授業評価の調査結果【2014年度新規開設科目】（単純集計）

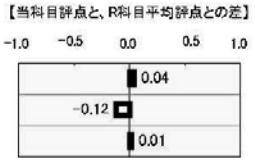
コース・プログラム等　○○○○

科目名（コード）　○○○○○○○　（　○○○○　）　教員氏名　○○○○

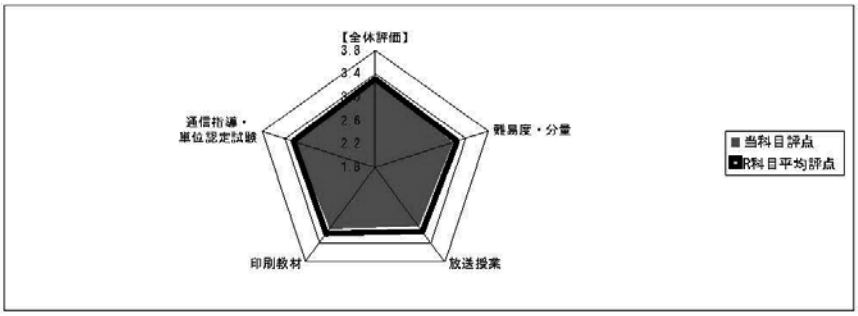
（注）平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1．取組み姿勢

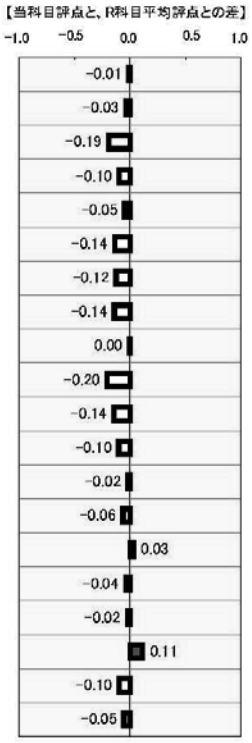
		設問内容	有効回答	回答割合 あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	平均評点 当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
取組姿勢	A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	57	46%	47%	5%	2%	3.37	3.38	3.33
	A-2	放送授業を十分に視聴した	57	26%	35%	28%	11%	2.77	3.01	2.89
	A-3	印刷教材を熱心に学習した	57	46%	46%	7%	2%	3.35	3.35	3.34



2．授業評価



		設問内容	有効回答	回答割合 あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	平均評点 当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
難易度・分量	B-1	放送授業の難易度は適切だった	54	43%	43%	9%	6%	3.22	3.31	3.23
	B-2	放送授業の内容は適切な分量であった	54	37%	46%	13%	4%	3.17	3.28	3.20
	B-3	印刷教材の難易度は適切だった	56	34%	50%	11%	5%	3.13	3.33	3.31
	B-4	印刷教材の内容は適切な分量であった	56	43%	38%	14%	5%	3.18	3.31	3.28
放送授業	B-5	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	52	33%	48%	15%	4%	3.10	3.23	3.14
	B-6	講師の熱意が十分に伝わった	53	42%	45%	9%	4%	3.25	3.44	3.38
	B-7	放送授業は教材としてよくできていると感じた	54	31%	46%	15%	7%	3.02	3.23	3.14
	B-8	映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	50	30%	38%	16%	16%	2.82	3.11	2.96
印刷教材	B-9	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	52	40%	48%	10%	2%	3.27	3.28	3.27
	B-10	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	55	27%	51%	18%	4%	3.02	3.23	3.22
	B-11	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	54	26%	46%	24%	4%	2.94	3.14	3.09
	B-12	印刷教材は教材としてよくできていると感じた	55	40%	38%	18%	4%	3.15	3.26	3.25
通信指導・単位認定試験	B-13	通信指導のコメントは、納得のいくものだった	53	36%	51%	13%	0%	3.23	3.30	3.24
	B-14	通信指導は学習内容の理解に役立った	54	35%	56%	7%	2%	3.24	3.31	3.30
	B-15	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	52	38%	48%	12%	2%	3.23	3.21	3.20
全体評価	B-16	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	55	47%	35%	15%	4%	3.25	3.28	3.29
	B-17	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	55	51%	36%	9%	4%	3.35	3.42	3.37
	B-18	新しい知識が身につき視野が広がった	56	68%	25%	4%	4%	3.57	3.52	3.46
	B-19	この科目の内容を全体としてよく理解できた	56	36%	43%	16%	5%	3.09	3.25	3.19
	B-20	この科目の内容には全体として満足している	56	43%	41%	11%	5%	3.21	3.32	3.27



3．回答者の属性（単位：人）

学生種別	修士全科生（新プログラム所属） 生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	修士全科生（旧プログラム所属） 文化情報学	文化情報科学科	環境システム科学科	政策経営	教育開発	臨床心理	修士全科生【小計】
	15	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	19

修士課科生	修士科目生	無回答	計
31	1	6	57

性別	男性	女性	無回答	計
	20	35	2	57

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	0	3	5	19	18	8	3	1	57

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	3	10	7	3	0	18	2	2	0	4	7	1	57

通信指導・単位認定試験	単位認定試験 受験	単位認定試験 未受験	通信指導未提出	無回答	計
	48	6	2	1	57

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
	2	18	33	4	57

大学院

2014年度学生による授業評価の調査結果【2014年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

			A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ								A-2 放送授業を十分に視聴した								A-3 印刷教材を熱心に学習した							
			回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均
				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答		
合計（全体）			620	47%	40%	8%	4%	1%	87%	3.32	620	37%	32%	18%	10%	3%	69%	2.97	620	49%	37%	10%	3%	2%	85%	3.34
				291	246	52	23	8				228	197	114	65	16				301	229	63	16	11		
学生種別	全科一新プログラム）	生活機能科学	27	33%	41%	15%	7%	4%	74%	3.04	27	22%	15%	48%	11%	4%	37%	2.50	27	48%	30%	19%	0%	4%	78%	3.31
				9	11	4	2	1				6	4	13	3	1				13	8	5	0	1		
		人間発達科学	5	60%	40%	0%	0%	0%	100%	3.60	5	60%	40%	0%	0%	0%	100%	3.60	5	60%	40%	0%	0%	0%	100%	3.60
				3	2	0	0	0				3	2	0	0	0				3	2	0	0	0		
		臨床心理学	8	38%	38%	25%	0%	0%	75%	3.13	8	25%	25%	50%	0%	0%	50%	2.75	8	63%	13%	25%	0%	0%	75%	3.38
				3	3	2	0	0				2	2	4	0	0				5	1	2	0	0		
		社会経営科学	58	52%	33%	9%	3%	3%	84%	3.38	58	34%	34%	14%	12%	5%	69%	2.96	58	47%	33%	14%	3%	3%	79%	3.27
				30	19	5	2	2				20	20	8	7	3				27	19	8	2	2		
		人文学	31	65%	26%	3%	6%	0%	90%	3.48	31	52%	26%	16%	6%	0%	77%	3.23	31	68%	29%	0%	3%	0%	97%	3.61
				20	8	1	2	0				16	8	5	2	0				21	9	0	1	0		
		情報学	15	53%	33%	7%	7%	0%	87%	3.33	15	33%	40%	13%	13%	0%	73%	2.93	15	60%	20%	13%	7%	0%	80%	3.33
				8	5	1	1	0				5	6	2	2	0				9	3	2	1	0		
		自然環境科学	30	47%	30%	13%	7%	3%	77%	3.21	30	47%	20%	13%	17%	3%	67%	3.00	30	50%	27%	13%	3%	7%	77%	3.32
				14	9	4	2	1				14	6	4	5	1				15	8	4	1	2		
	全科一旧プログラム）	文化情報学	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	1	0%	100%	0%	0%	0%	100%	3.00	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00
				1	0	0	0	0				0	1	0	0	0				1	0	0	0	0		
		文化情報科学群	3	67%	0%	0%	0%	33%	67%	4.00	3	0%	33%	0%	33%	33%	33%	2.00	3	67%	0%	33%	0%	0%	67%	3.33
				2	0	0	0	1				0	1	0	1	1				2	0	1	0	0		
		環境システム科学群	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－
				0	0	0	0	0				0	0	0	0	0				0	0	0	0	0		
		政策経営	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－
				0	0	0	0	0				0	0	0	0	0				0	0	0	0	0		
		教育開発	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－
				0	0	0	0	0				0	0	0	0	0				0	0	0	0	0		
		臨床心理	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	－
				0	0	0	0	0				0	0	0	0	0				0	0	0	0	0		
	修士全科生【小計】		178	51%	32%	10%	5%	3%	83%	3.32	178	37%	28%	20%	11%	3%	65%	2.94	178	54%	28%	12%	3%	3%	82%	3.37
				90	57	17	9	5				66	50	36	20	6				96	50	22	5	5		
	修士過程生		371	47%	42%	8%	3%	0%	89%	3.32	371	38%	33%	18%	9%	2%	71%	3.02	371	44%	42%	9%	3%	2%	86%	3.29
				173	156	29	12	1				142	121	67	34	7				163	156	35	11	6		
	修士科目生		50	36%	52%	8%	0%	4%	88%	3.29	50	30%	40%	18%	8%	4%	70%	2.96	50	64%	32%	4%	0%	0%	96%	3.60
				18	26	4	0	2				15	20	9	4	2				32	16	2	0	0		
通信指導・試験認定試験	単位認定試験	受験	522	50%	40%	8%	2%	1%	89%	3.38	522	39%	32%	19%	9%	1%	71%	3.03	522	52%	36%	9%	1%	1%	88%	3.41
				259	208	40	12	3				206	166	97	47	6				274	187	48	7	6		
		未受験	49	47%	43%	8%	0%	2%	90%	3.40	49	29%	43%	10%	8%	10%	71%	3.02	49	33%	55%	6%	2%	4%	88%	3.23
				23	21	4	0	1				14	21	5	4	5				16	27	3	1	2		
	通信指導未提出		34	21%	26%	24%	21%	9%	47%	2.52	34	21%	18%	26%	26%	9%	38%	2.35	34	21%	26%	29%	18%	6%	47%	2.53
				7	9	8	7	3				7	6	9	9	3				7	9	10	6	2		

（注）1．「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
2．「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
3．評点については、選択肢「あてはまる：４点」「ややあてはまる：３点」「あまりあてはまらない：２点」「あてはまらない：１点」として算出した。

Ⅱ． 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、
どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ． この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ． あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	〔修士全科生 新プログラム所属の方〕 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 〔修士全科生 旧プログラム所属の方〕 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 〔修士選科生・修士科目生〕 14. 修士選科生 15. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他（ ）

どうもありがとうございました。

Ⅱ．評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による 4 段階評価である。本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に 4 段階のカテゴリーに 4～1 の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。3 が 2 よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4 と 3 の間と 3 と 2 の間が等距離（つまり 1 の間隔）だという保証はどこにもないからである。しかし 4 つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取ることは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の 1 つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でしかその傾向をつかみにくいという性格を持っている。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を同時に提示した。これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかほどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数を提示する。本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、データの構造上、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表２－１）。以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差も大きく出る可能性があるので、注意が必要である。たとえば、学部の年齢階層別「19 歳以下」、職業別「農業等」「他大学等の学生」、大学院の年齢階層別「20～29 歳」等の場合である。なお、大学院の職業別「農業等」「他大学の学生」は極端に回答者数が少ないため、本報告書の分析からはずした。

表２－１　回答者数一覧

【学部】

（単位：人）

全体			
メディア		年齢階層	
テレビ科目（TV）	2,952	19歳以下	23
ラジオ科目（R）	2,405	20～29歳	416
職業		30～39歳	728
公務員等	438	40～49歳	1131
教員	263	50～59歳	1046
会社員	976	60～69歳	1349
個人営業・自営業	353	70歳以上	639
農業等	49	コース	
看護師等	607	基礎科目	334
家事専業	430	共通科目：人文系	117
パート・アルバイト	520	共通科目：自然系	313
他大学等の学生	27	共通科目：外国語	174
無職	1,343	生活と福祉	715
その他	261	心理と教育	851
		社会と産業	647
		人間と文化	747
		情報	531
		自然と環境	314
		総合科目	530
		夏季集中科目	84

【大学院】

（単位：人）

全体			
メディア		年齢階層	
テレビ科目（TV）	350	20～29歳	16
ラジオ科目（R）	270	30～39歳	52
職業		40～49歳	137
公務員等	83	50～59歳	156
教員	64	60～69歳	170
会社員	136	70歳以上	85
個人営業・自営業	58	プログラム	
看護師等	32	生活健康科学	105
家事専業	27	臨床心理学	80
パート・アルバイト	28	社会経営科学	143
無職	140	人文学	73
その他	36	情報学	86
		自然環境科学	133

※職業及び年齢には無回答があるため、職業及び年齢階層の回答者数をそれぞれ合計しても、全体の回答者数とは一致しない。

Ⅱ－1．学部の分析結果

Ⅱ－1－1．項目平均から見た全体的傾向

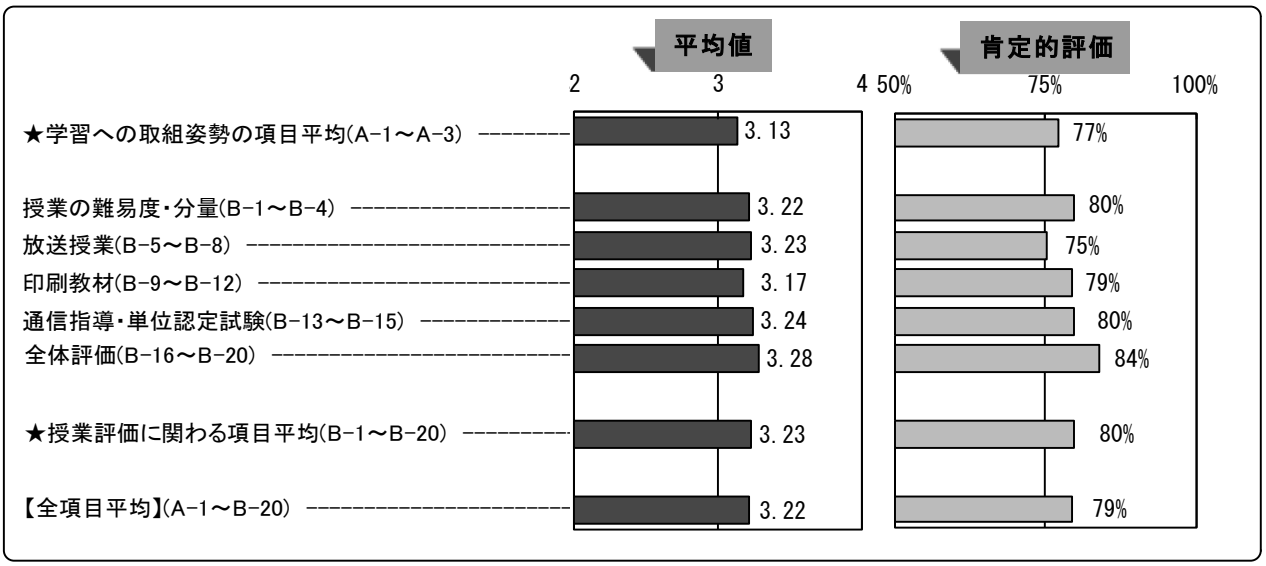
学部の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが図２－１である。まずはこの図によって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

今回の調査における項目平均は、いずれもまずまずの高評価と言える。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値 3.13、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）77%、同様に『授業評価に関わる項目平均』も平均値 3.23、肯定的評価 80%と高い値を示している。

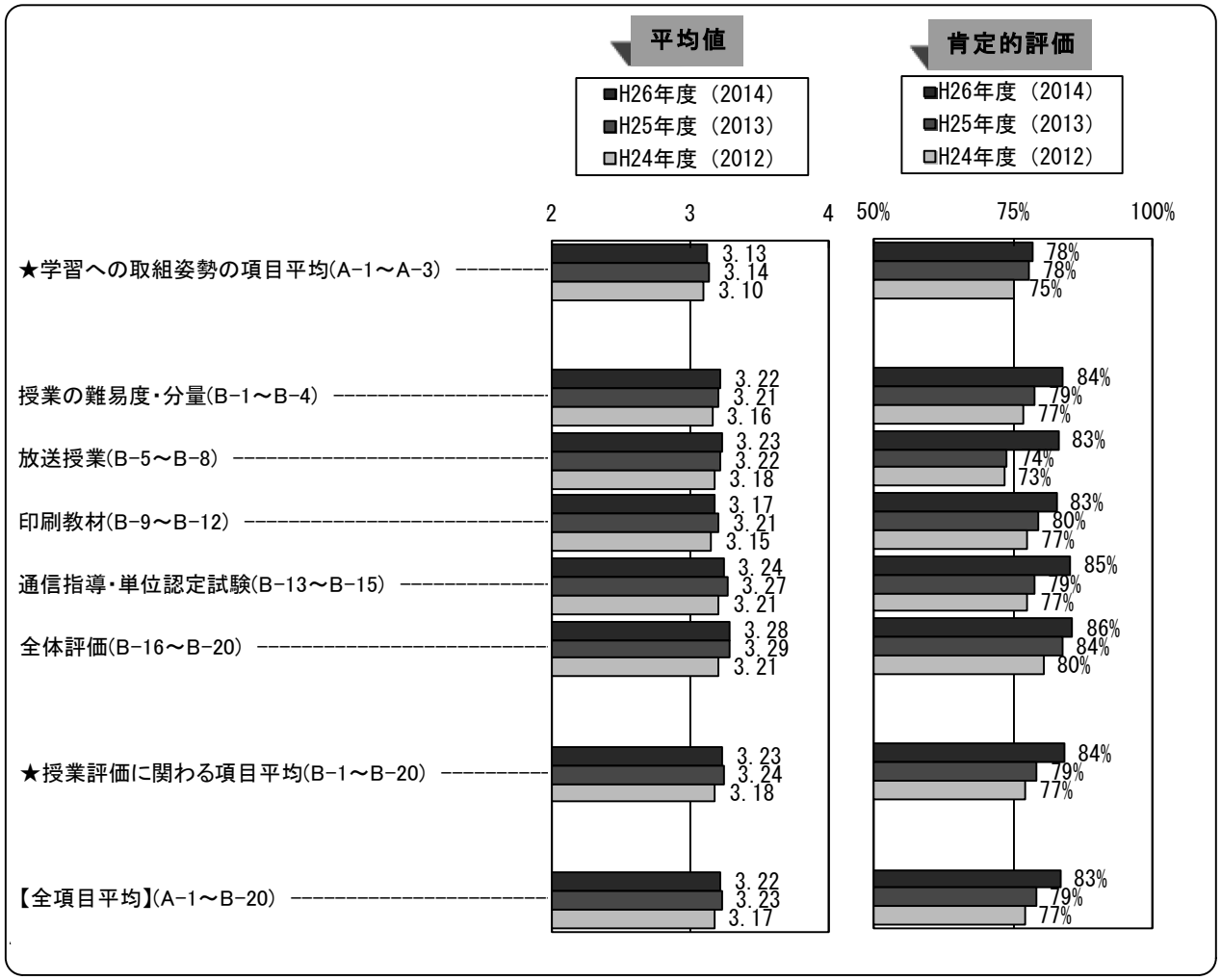
『授業評価に関わる項目平均』をさらに内容ごとにみると、『全体評価』は肯定的評価をしている人が 84%と高い。その他の項目もある程度の水準であるが、『放送授業』の評価は 75% と相対的に低めである。

図２－１　【学部】項目平均による全体的傾向



評価項目平均を科目の開設年度で比較した時（図２－２）、2014 年度新規開設科目は、2013 年度新規開設科目に比べ、平均値ではほぼ同じ水準を維持しているが、肯定的評価の割合は授業評価に関わる項目の全てにおいて高くなっている。

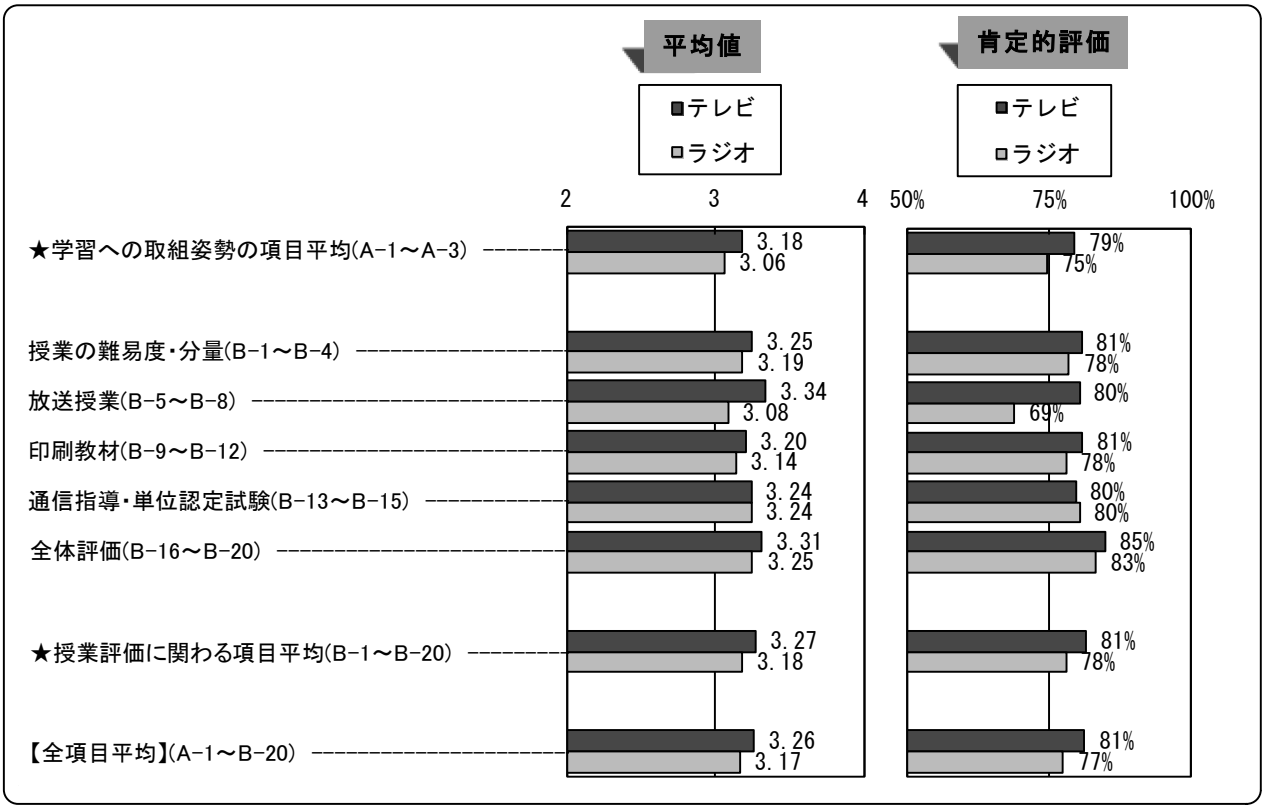
図２－２　【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別に 2014 年度新規開設科目の評価項目の平均を見ると（図２－３）、『全体評価』は、ほぼ同じ値であり、『通信指導・単位認定試験』の項目を除き、テレビ科目がラジオ科目を上回っている。

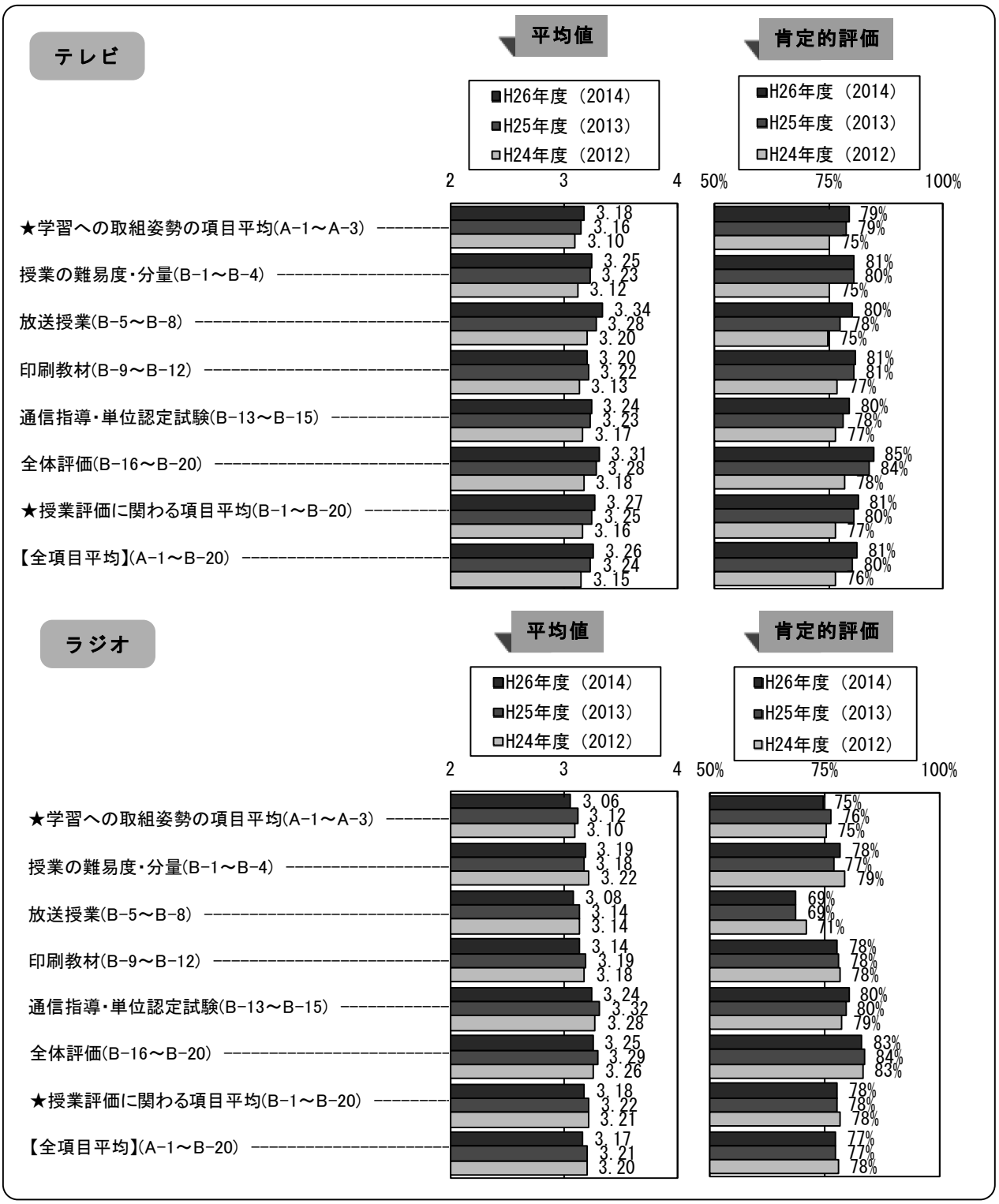
肯定的評価についても、平均値の結果をそのまま反映している。

図２－３　【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



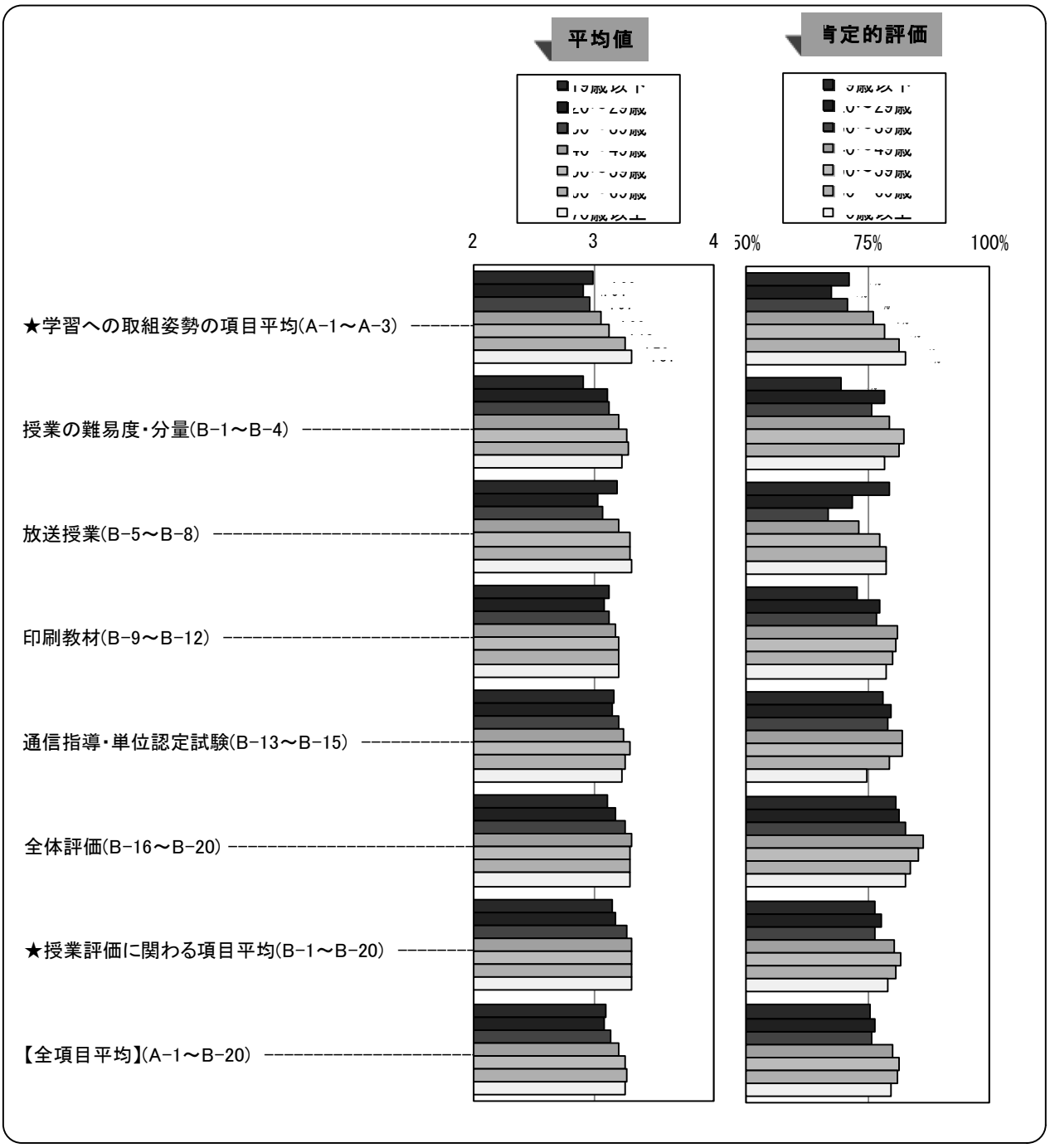
次にメディア別の項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図２－４）、テレビ科目は、「印刷教材」以外の項目平均で 2013 年度より若干高い値となっている。数値的に最も改善が見られたのは放送授業の項目だが、その他は微々たる上昇に留まっている。ラジオ科目においては、ほとんいずれの項目平均で昨年度の水準を下回っている。従ってラジオ科目において特に改善の必要性が求められる。

図２－４　【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



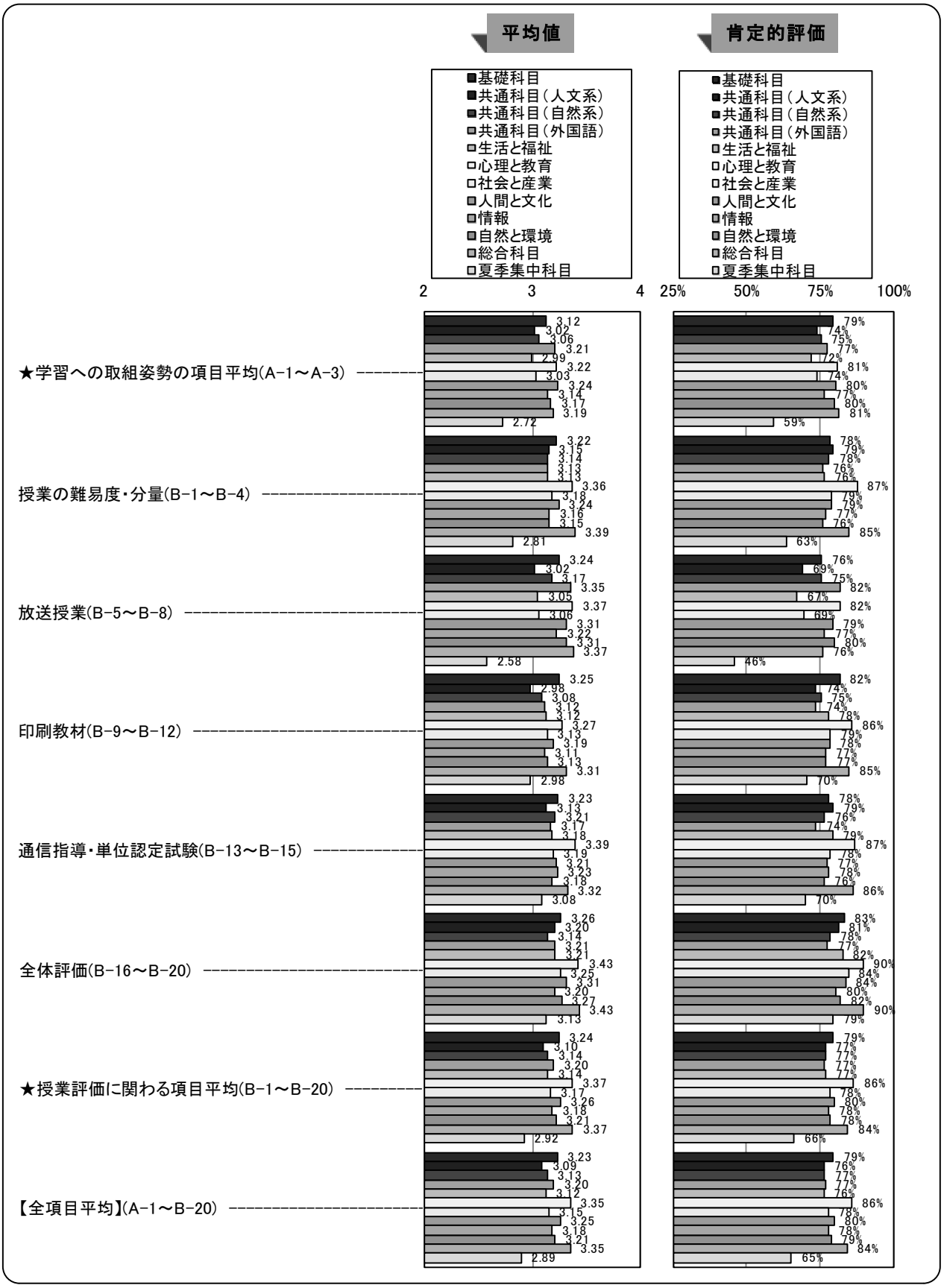
回答者の年齢階層別に 2014 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図２－５）、「学習への取組姿勢」においては年齢層が高くなるほど評価平均が高い。また、50 歳以上の年齢層ではほとんいずれの項目で相対的に高い水準の評価である。

図２－５　【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属コース別に項目平均を見ると（次頁図２－６）、全ての項目において「夏季集中科目」の評価が低く、改善が求められる。また、ほぼ全ての項目で「心理と教育」が高い評価である。「夏季集中科目」を除けば、どの科目も一定の評価は得ているが、『放送授業の項目の項目平均』において「共通科目：人文系」「生活と福祉」「社会と産業」の評価が低い。この 3 科目では『学習への取組姿勢の項目平均』でも低い水準にあり、改善が求められる。

図２－６　【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向

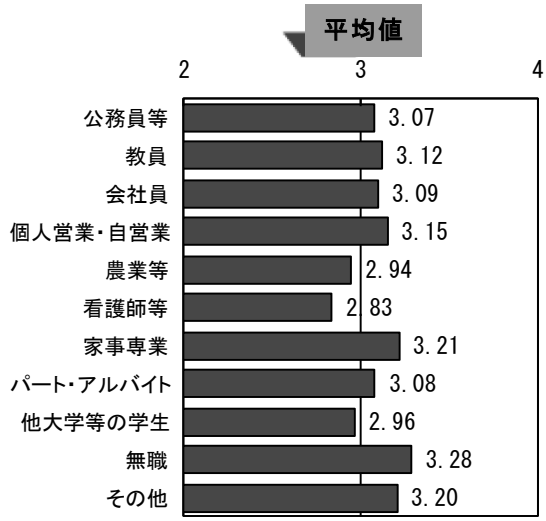


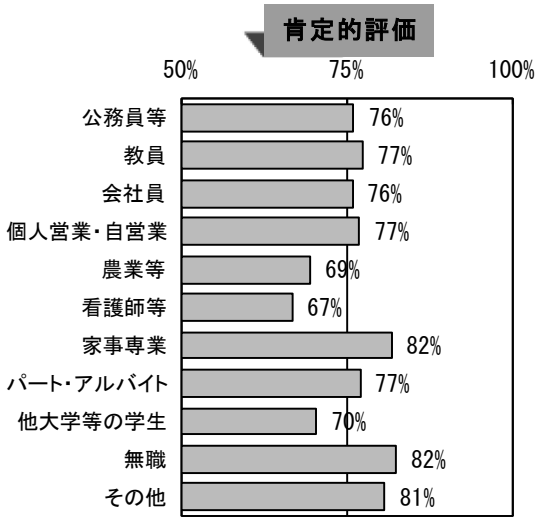
回答者を職業別に見ると（次頁図２－７）、『学習への取組姿勢の項目平均』は、「無職」が高い値となっているが、「農業等」「看護師等」「他大学等の学生」は低い値となっている。

『授業評価に関わる項目平均』、『全項目平均』では、「家事専業」が高い値となっている。さらに肯定的評価を見ると、いずれの項目でも「家事専業」の評価が高く、「看護師等」の評価が低い結果となっている。

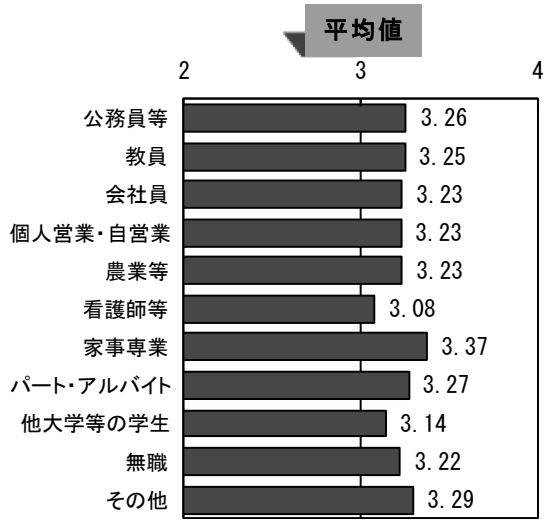
図２－７　【学部】項目平均による職業別全体的傾向

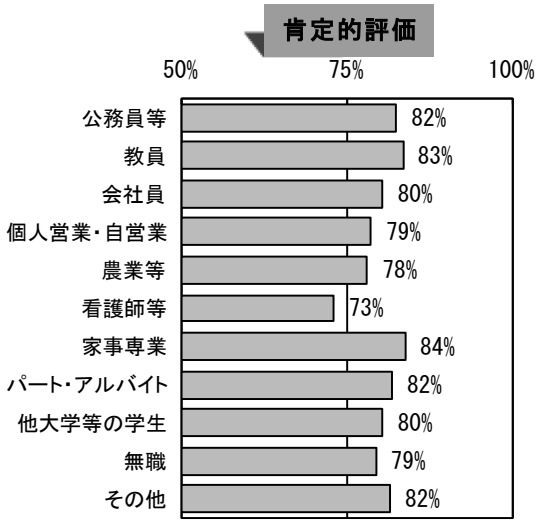
★学習への取組姿勢の項目平均（A-1～A-3）



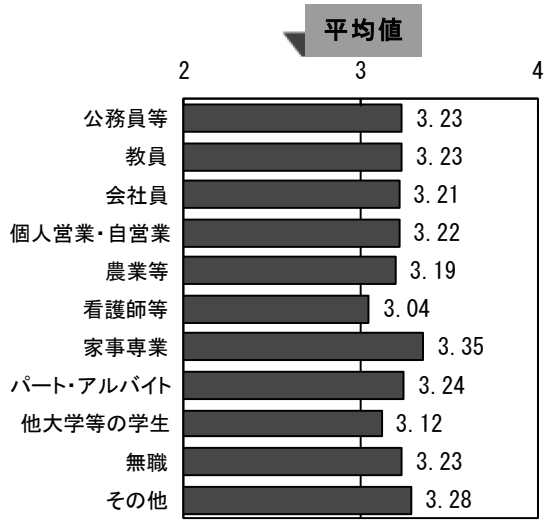


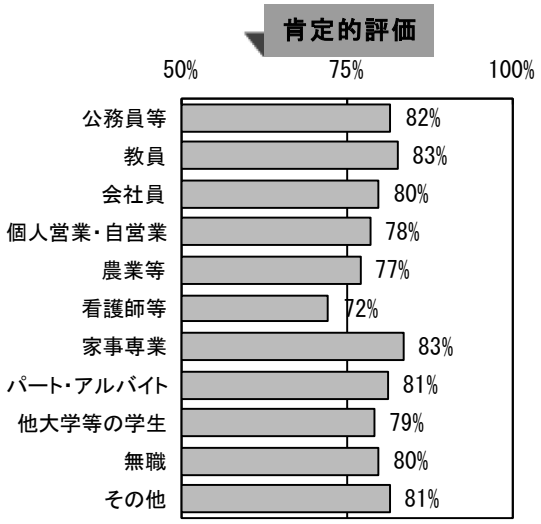
★授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）





【全項目平均】（A-1～B-20）



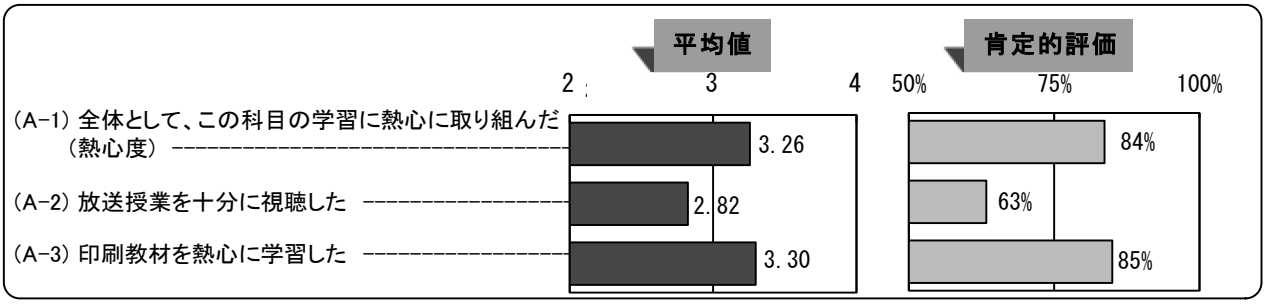


Ⅱ－1－2．学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

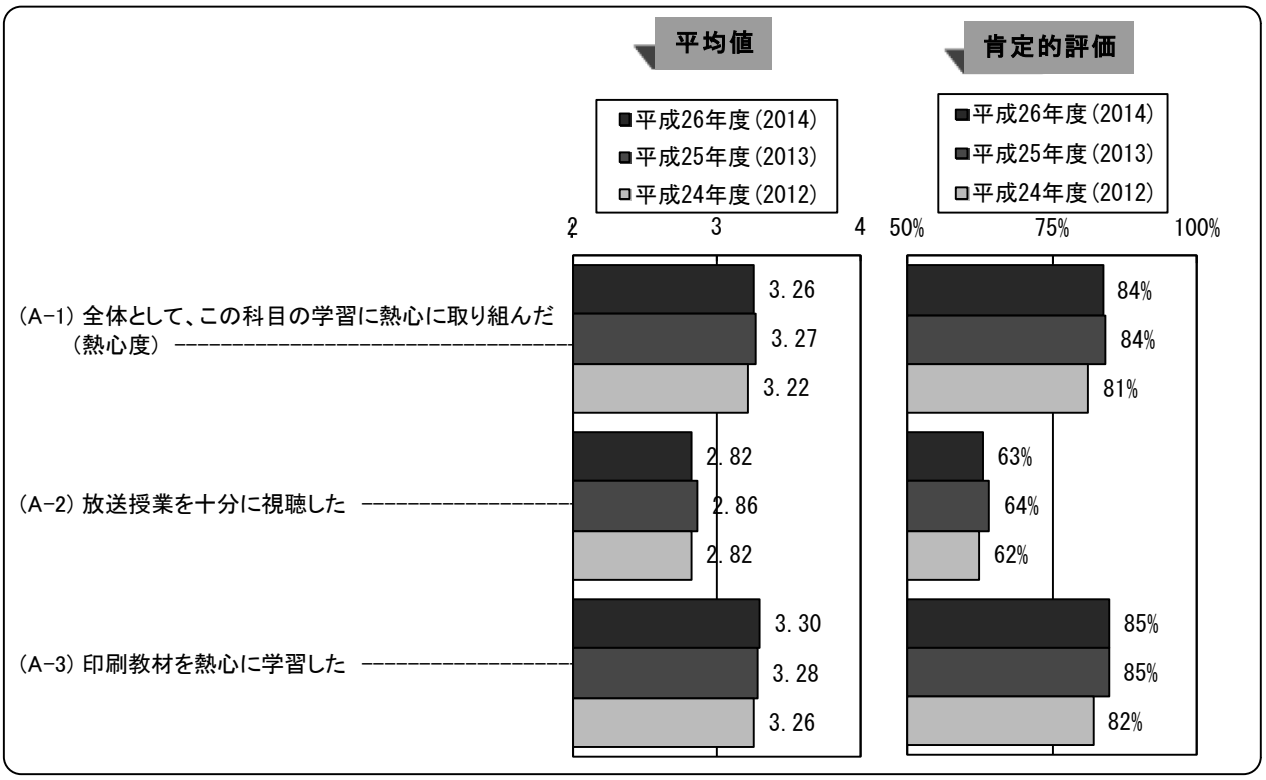
学習への取組姿勢（図２－８）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度)」は、平均値 3.26、肯定的評価 84%と総じて熱心に学習されている。同様に（A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.30、肯定的評価 85%と高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.82、肯定的評価 63%と低く、学習は印刷教材中心という傾向になっている。

図２－８　【学部】回答者全体の取組姿勢



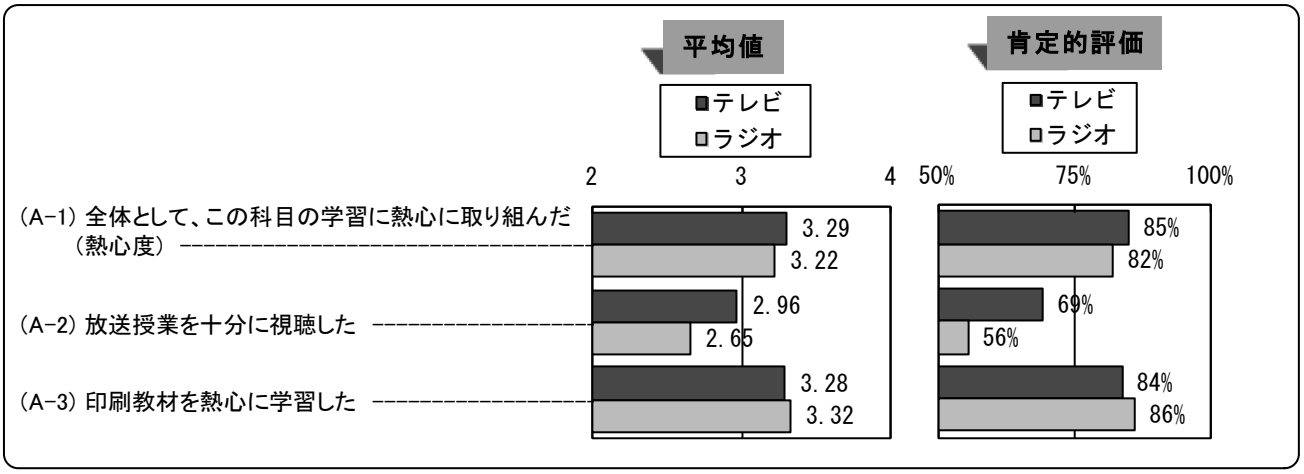
取組姿勢を時系列で見ると（次頁図２－９)、いずれの項目においても、平均値、肯定的評価ともに前回とほぼ同じ水準である。(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は微増しているが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は低くなっている。それぞれの原因を追求し､今後も授業内容の改善を試みることにより取組姿勢も向上するものと考えられる。また、時間に制約がある放送授業ではインターネットなどでの番組提供を増やすことにより、時間に制約されない視聴環境を作っていくことも必要であろう。

図２－９　【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



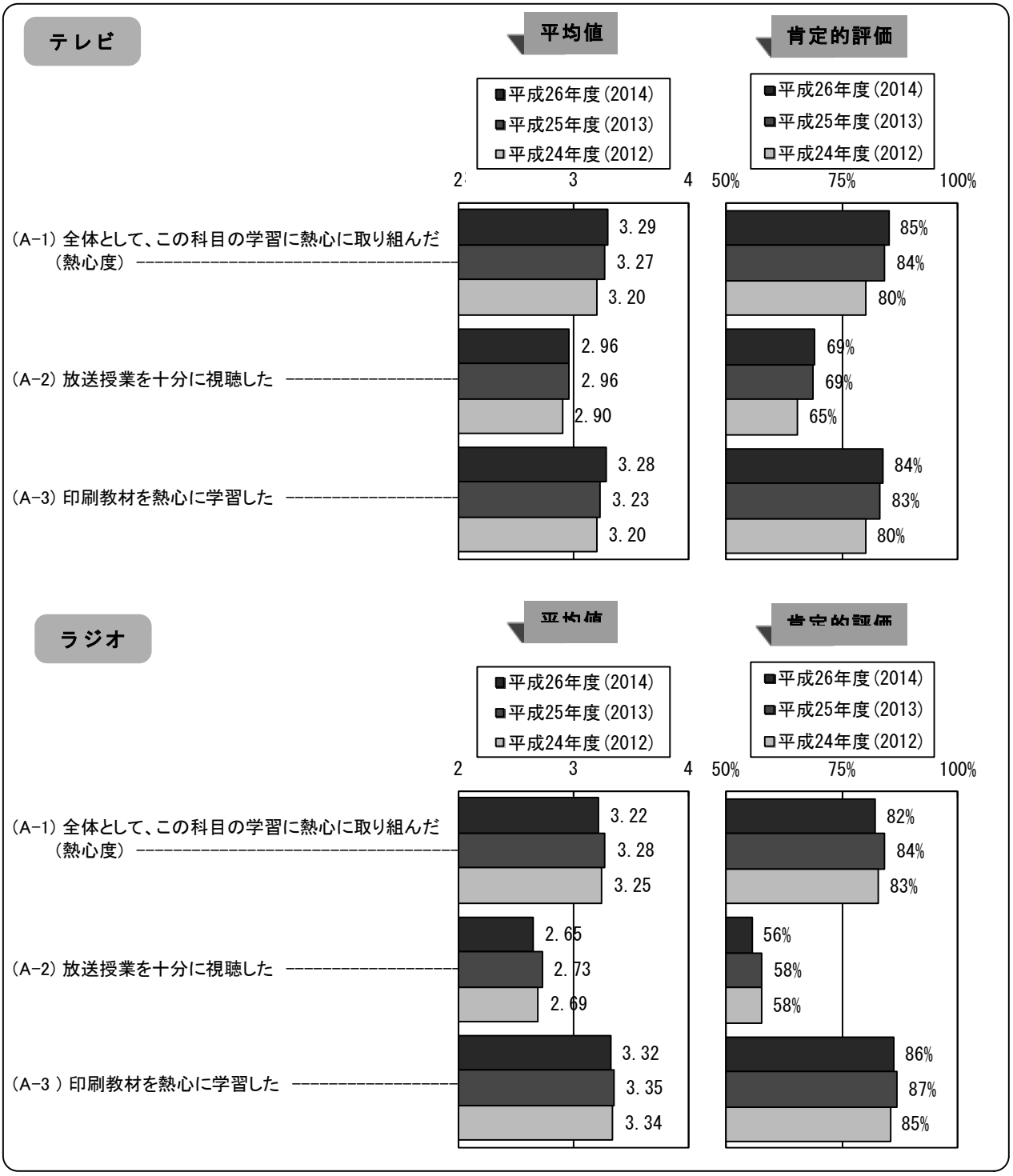
次にメディア別に取組姿勢を見ると（図２－１０）、(A-1)「全体として、この科目の学習に取り組んだ」項目ではテレビ科目の方が高く、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」項目ではテレビ科目の方がラジオ科目を大きく上回る評価となっている。逆に(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」という項目ではラジオ科目の方がテレビ科目より高い。

図２－１０　【学部】メディア別の取組姿勢



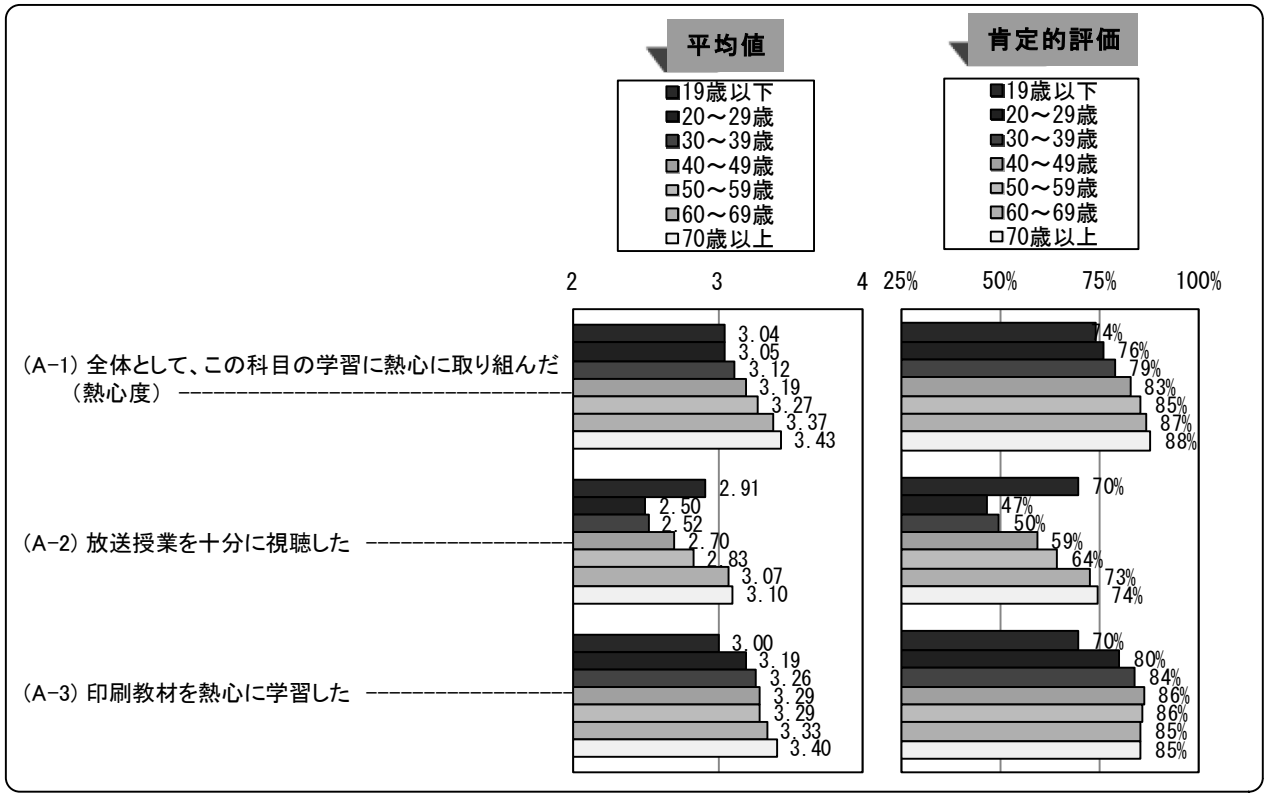
メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図２－１１）、テレビ科目は、2013 年度に比べ、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」の項目で上がっている。ラジオ科目については、いずれの項目においても僅かに下がっている。

図２－１１　【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）



年齢階層別に取組姿勢を見ると（図２－１２）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と（A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、ほとんどの年齢階層で高く、それも年齢階層が上がるほど値が高くなっているのが特徴的である。(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は若年層になるほど低くなる傾向ではあるが、19 歳以下のみ高い値になっている。

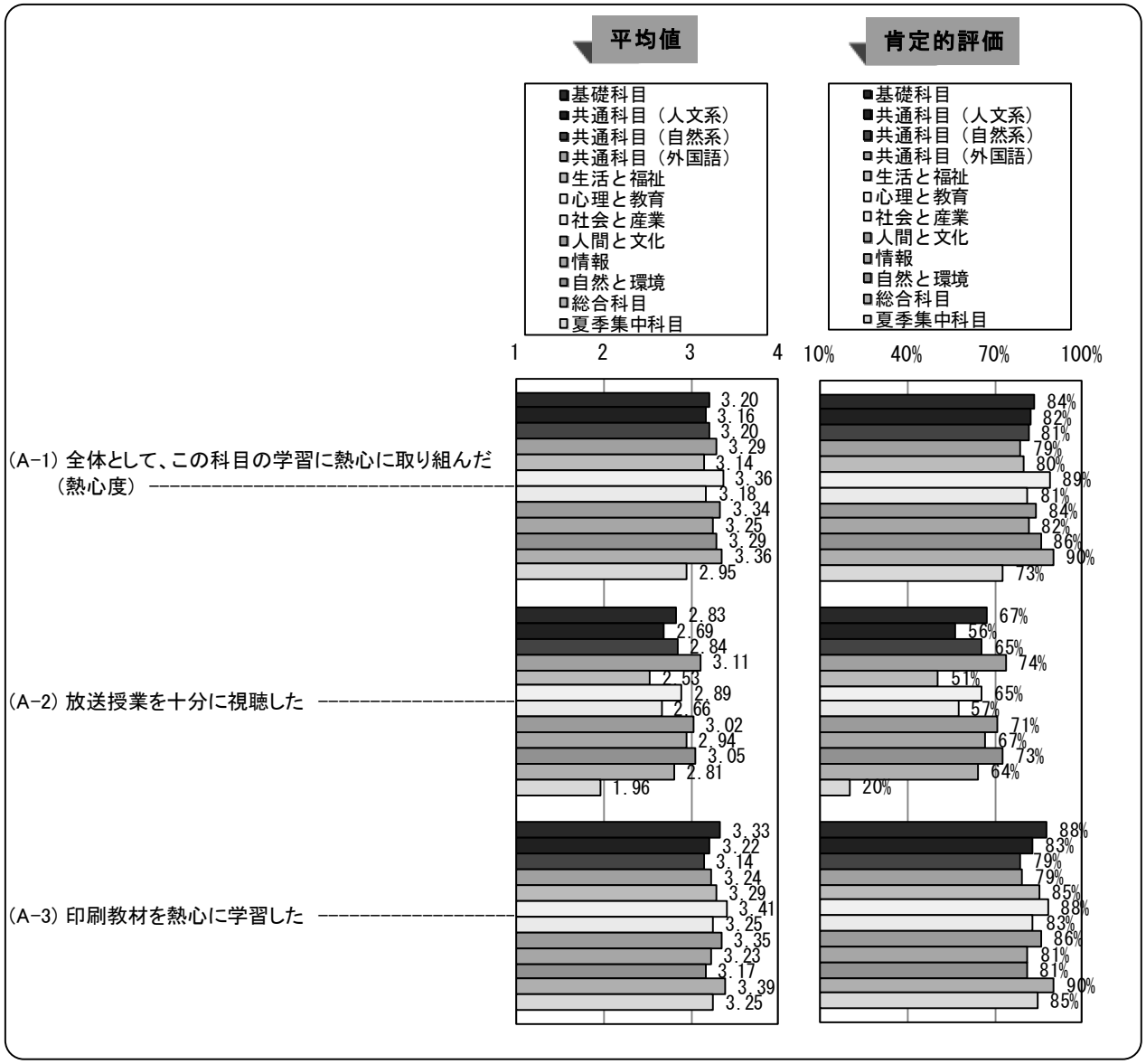
図２－１２　【学部】年齢階層別の取組姿勢



所属コース別に取組姿勢を見ると（図２－１３）、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「夏季集中科目」のみ値が極めて低くなっており、放送授業の視聴を増加させる工夫が必要かと思われる。「夏季集中科目」に比べると高い値ではあるが、「共通科目：人文系」「生活と福祉」「社会と産業」も全体平均から見て低い科目である。「共通科目：外国語」「人間と文化」「自然と環境」はやや高い値にはなっているが、他の項目に比べるといずれも低い傾向となっている。

(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と（A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は全体的に高い値となっており、特に「心理と教育」「人間と文化」「総合科目」の値が高い。(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」では、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」と同様に「夏季集中科目」が顕著に低い値となっている。

図２－１３【学部】所属コース別の取組姿勢



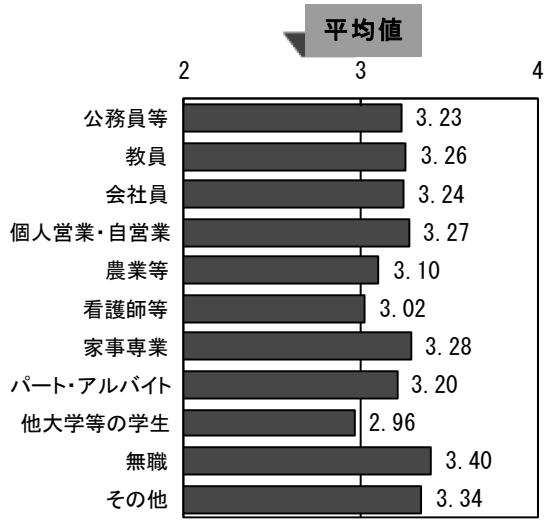
職業別に取組姿勢を見ると（次頁図２－１４）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は、「他大学等の学生」の値が他の職業と比べ最も低く、「看護師等」「農業等」もやや低い値となっている。その他の職業は全体的に値が高い傾向にある。

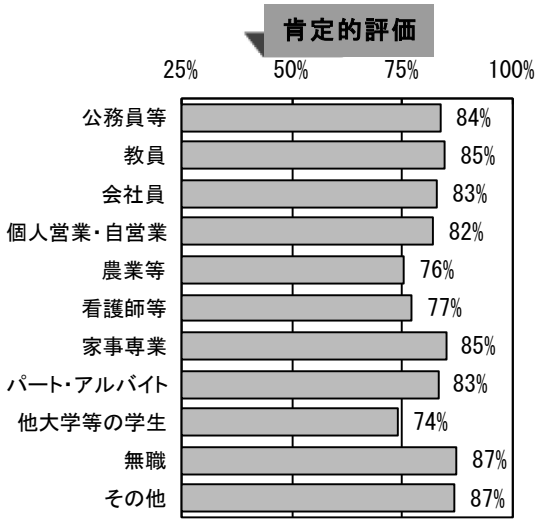
(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も、全体的に高い値となっているが、「他大学等の学生」「農業等」の値が低い傾向にあるのは (A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と同様である。

(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」に比べ、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の値が全体的に低いのは特徴的である。「看護師等」は値が極めて低いが、これは職業ならではの事情が背景にあると思われる。その他の職業も値が低い傾向にあるが、その背景には放送授業の改善を求める学生の声が隠れているのではないだろうか。

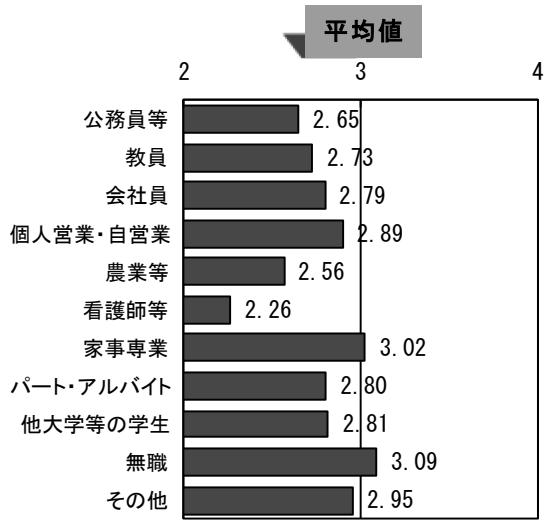
図２－１４【学部】職業別の取組姿勢

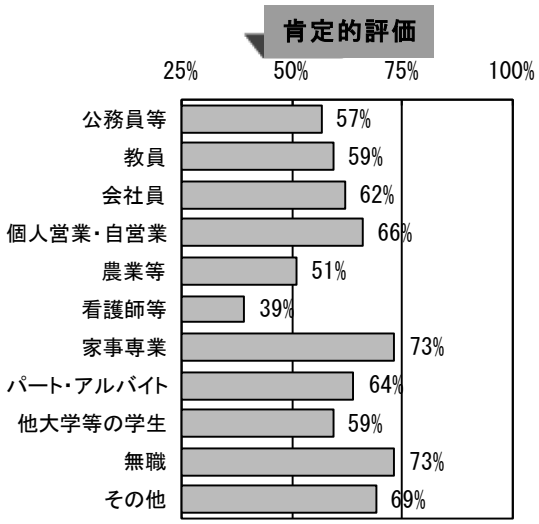
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ



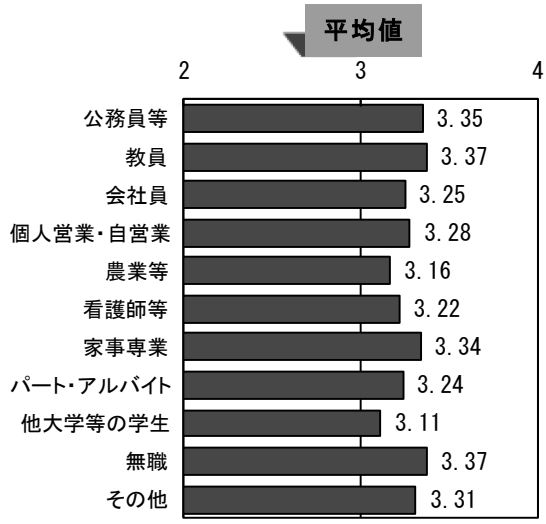


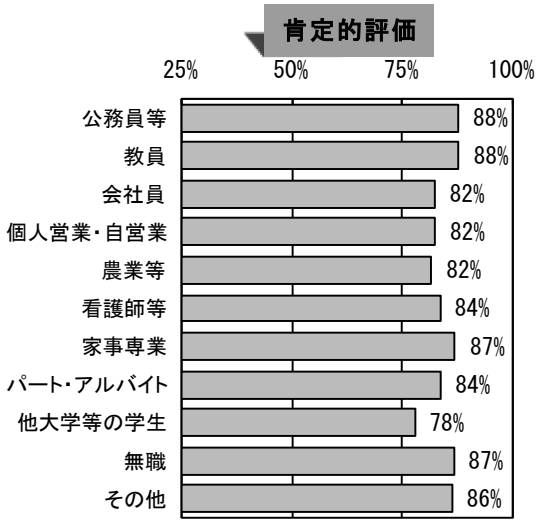
(A-2)放送授業を十分に視聴した





(A-3)印刷教材を熱心に学習した



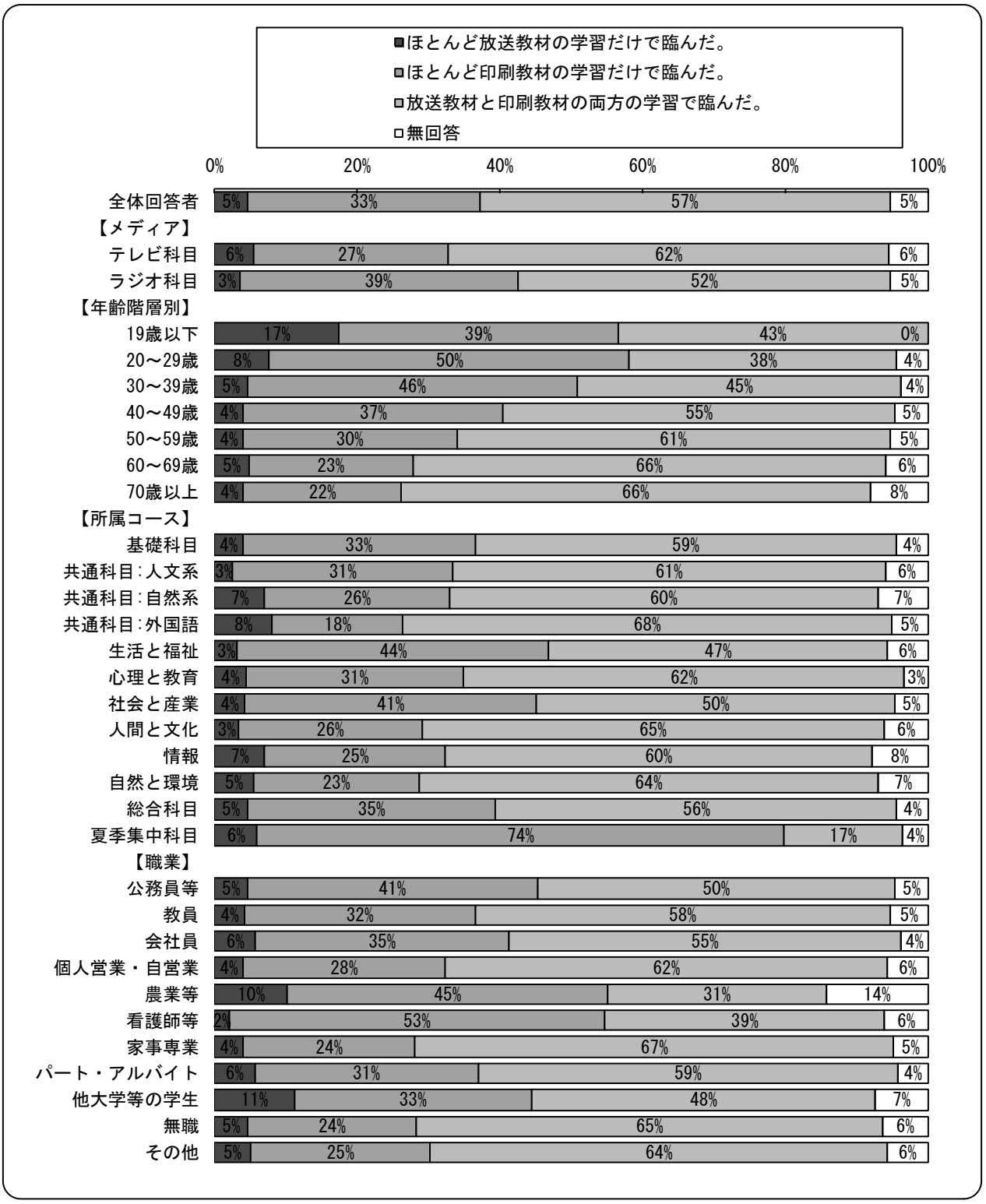


単位認定のための学習方法（次頁図２－１５）は、全体では『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が 57%を占めており、最も値が高い傾向にある。年齢階層別では高齢層になるほど値が高くなっているが、19 歳以下に比べて 20 歳代が最も低い。所属コース別では値が全体的に高い傾向にあるが、「夏季集中科目」では突出して低い値になっており、「生活と福祉」「社会と産業」の低さも目立つ。職業別では「農業等」「看護師等」で低い値になっている。

次に『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』は全体で 33%を占めており、メディア別では「テレビ科目」に比べて「ラジオ科目」が高い傾向にある。これは「ラジオ科目」の印刷教材への評価が高いとも受け取れる。所属コース別では「夏季集中科目」の値が極めて高く、『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』の「夏季集中科目」とは反比例している。

『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』は全体で 5%程度の割合であり、上記の傾向はすなわち学習における放送授業への依存度を示していると言えるが、職業別の結果を見ると、時間的制約のある学生は放送授業を受講しにくい事情が浮き彫りにされる。年齢階層別では 19 歳以下のみ他に比べて極めて値が高く、特徴的である。

図２－１５【学部】単位認定のための学習方法



Ⅱ－1－３．学部の授業評価

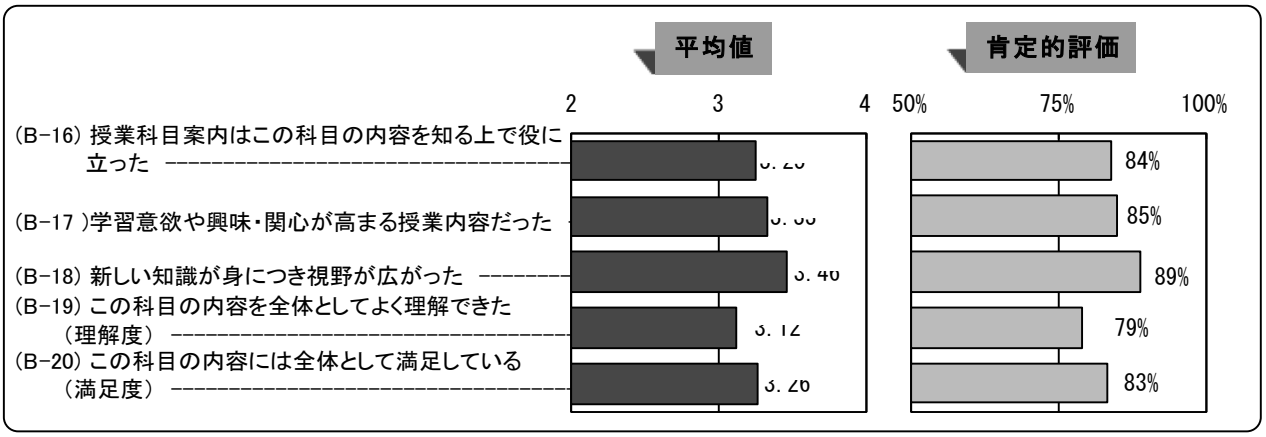
（1）全体評価

ここからは学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価の各項目を見ると（図２－１６）、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」は平均値 3.46、肯定的評価 89%とかなり高い評価を得ている。また（B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も平均値 3.33、肯定的評価 85%と高くなっている。

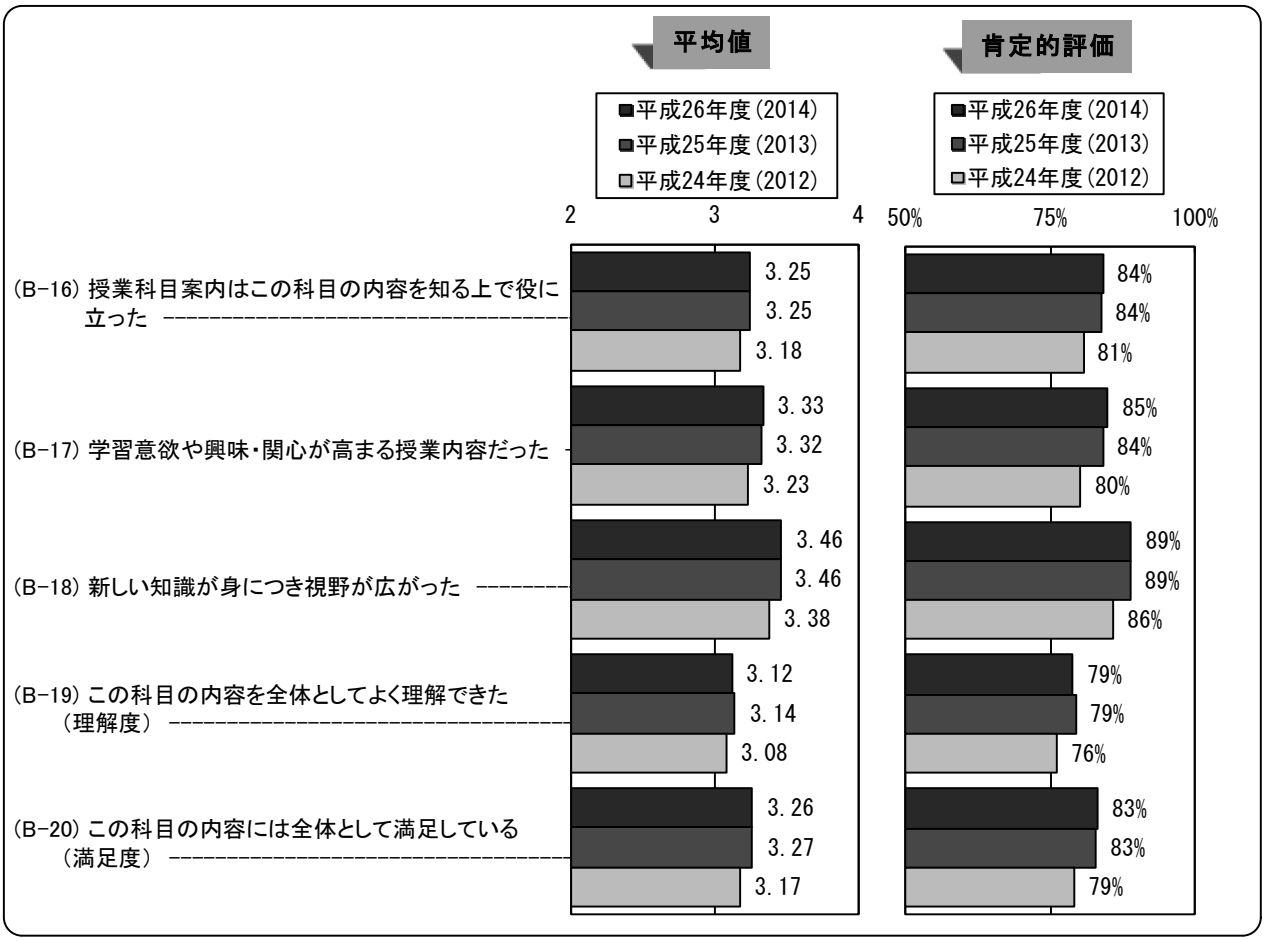
さらに(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」も平均値 3.26、肯定的評価 83%、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は平均値 3.25、肯定的評価 84%と、比較的高い評価と言える。ただ理解度については満足度に比べると値が低いため、内容をさらに詳しく説明・解説する必要性が感じられる。

図２－１６【学部】回答者全体の全体評価



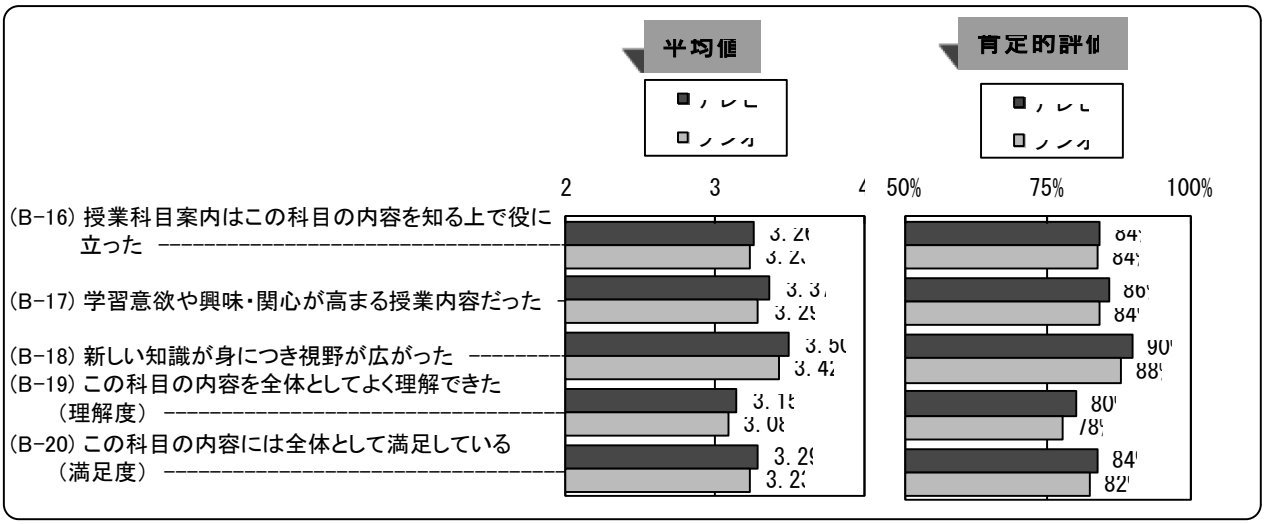
全体評価を時系列で見ると（図２－１７）、全体的に 2013 年度とほぼ同じ水準の高い値を維持している。理解度と満足度は 2013 年度とほぼ同じ値であるが、僅かに下がっているため、さらに興味や関心が高まり、分かりやすい授業を追求していかなければならない。

図２－１７【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



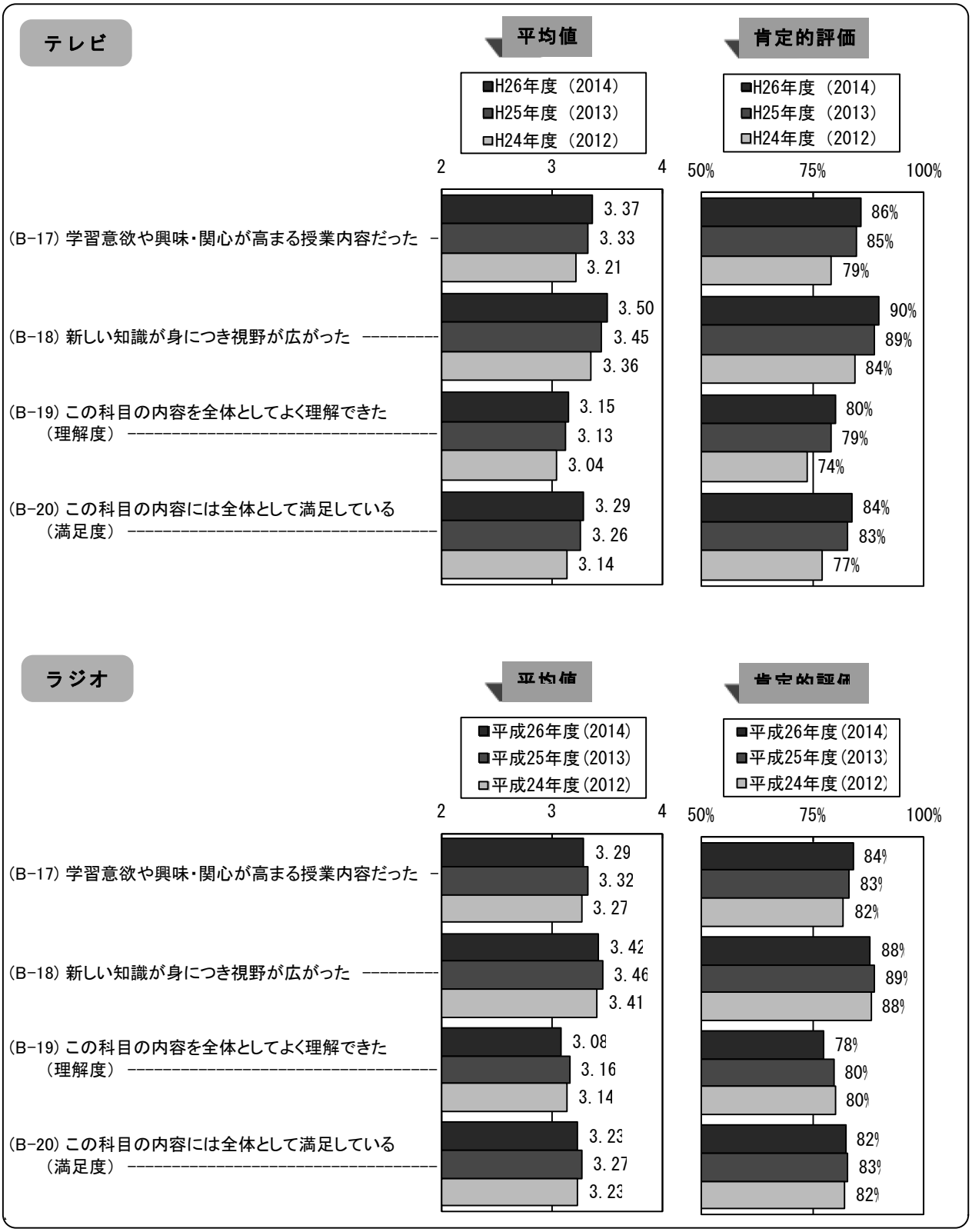
メディア別に全体評価を見ると（図２－１８）、全ての項目においてテレビ科目の方がラジオ科目よりやや高くなっている。

図２－１８【学部】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（次頁図２－１９）、テレビ科目ではどの評価においても 2013 年度よりやや高い数値となっているが、ラジオ科目ではほとんどいずれの項目でも 2013 年度よりやや低い数値となっている。

図２－１９【学部】メディア別の全体評価（時系列）

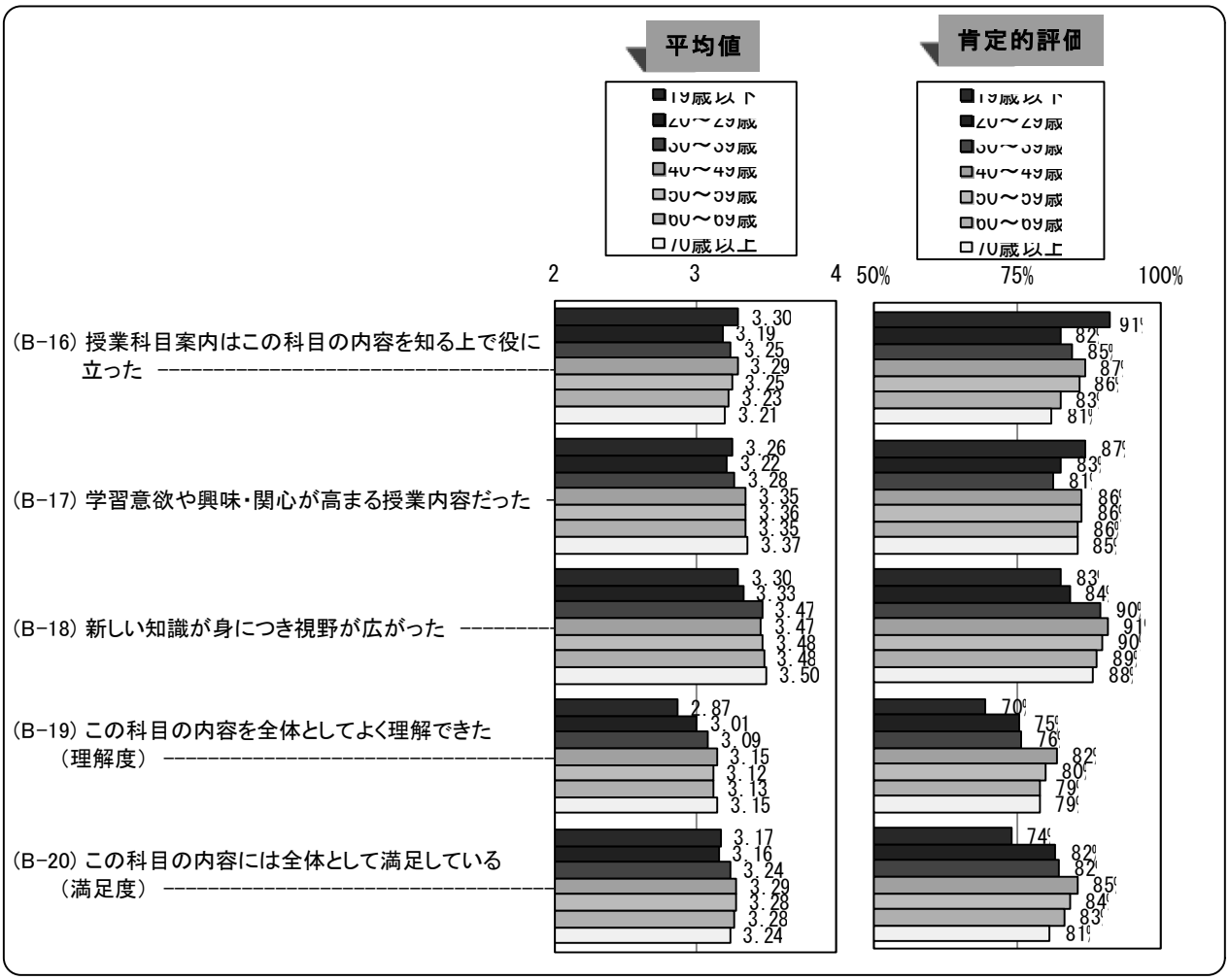


年齢階層別に全体評価を見ると（図２－２０）、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」は、いずれの年齢階層でも評価が高い傾向にある。

しかし（B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度)」は、他の項目に比べて全体が低い傾向にあり、19 歳以下では極めて低い評価となっている。

また、肯定的評価では、ほとんいずれの項目で 40 歳代の評価が高いが、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」では 19 歳以下が突出して高く、印象的である。しかし、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度)」においては、19 歳以下が突出して低い評価となっており、理解度を高めるための工夫が必要であることがうかがえる。

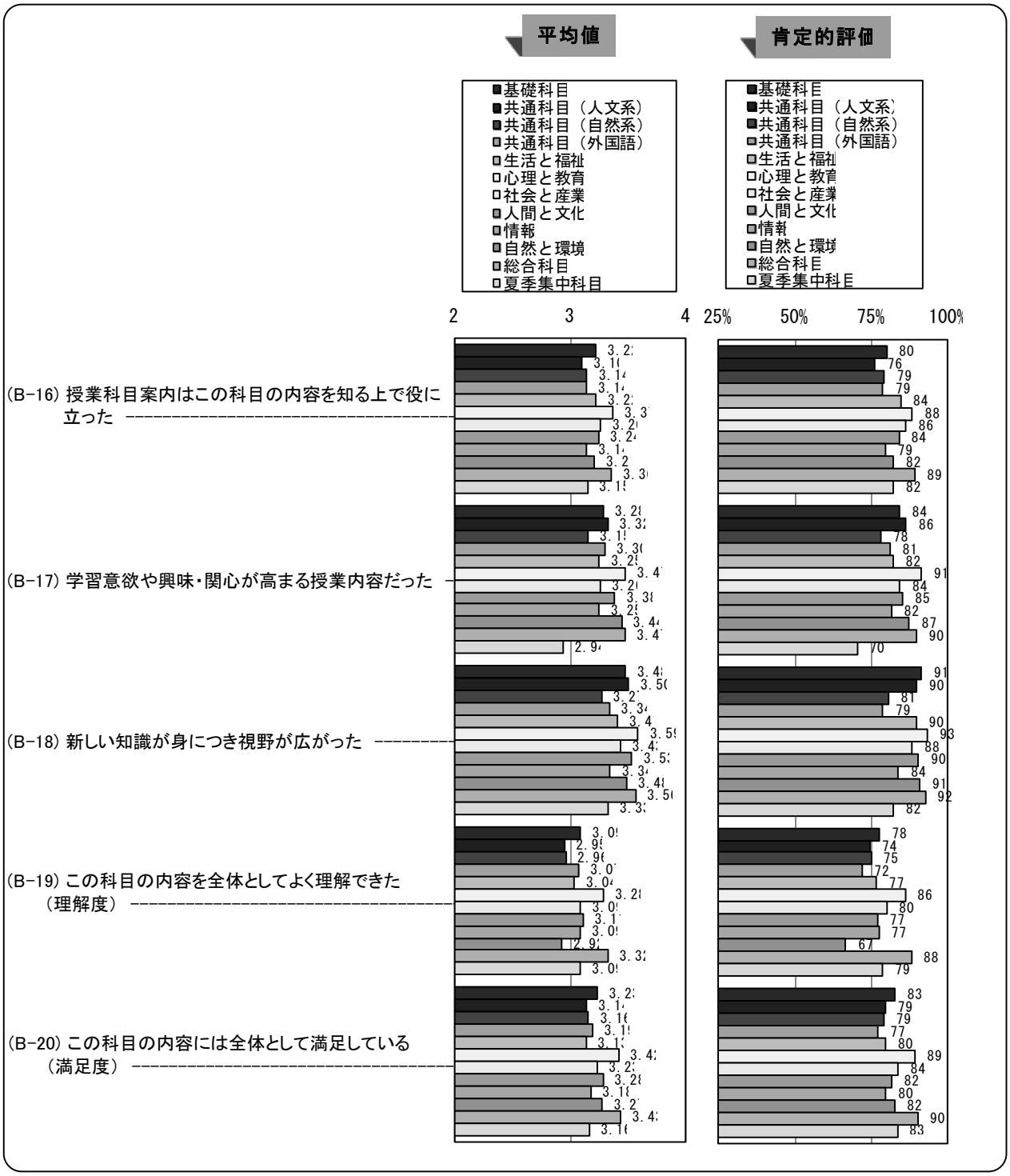
図２－２０【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別に全体評価を見ると（次頁図２－２１）、全体として（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」が全ての科目で低めである。特に、「共通科目：人文系」「共通科目：自然系」「自然と環境」が低く、学生が詳しい説明・解説を求めていることがうかがえる。

また、「心理と教育」「総合科目」はいずれの項目でも評価が高いことから、現状を維持しながらも、さらに向上を心がけるべきであろう。

図２－２１【学部】所属コース別の全体評価

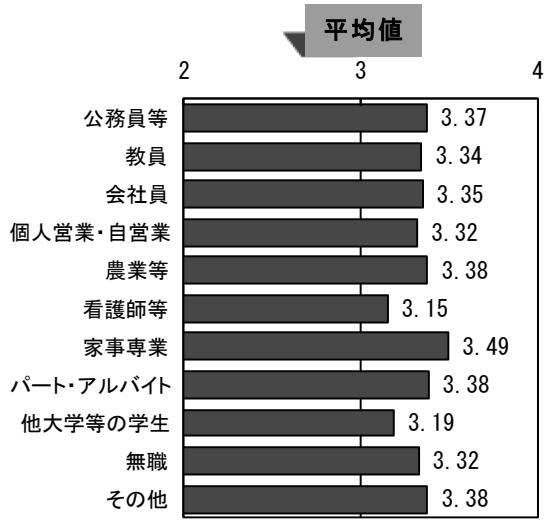


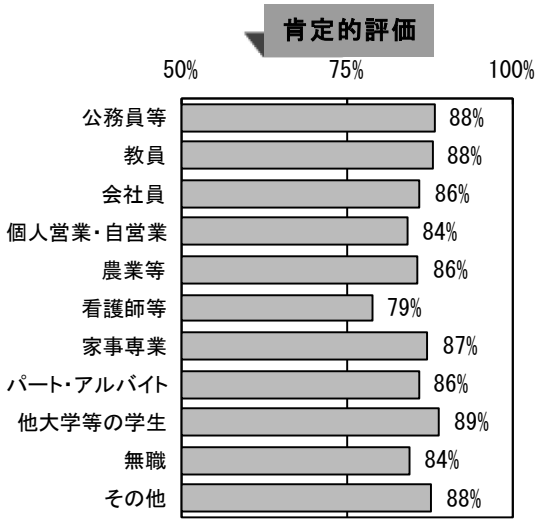
職業別に全体評価を見ると（次頁図２－２２）、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「看護師等」「他大学等の学生」の評価が低い。(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度)」は、「農業等」の評価が低く、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度)」は、「農業等」「看護師等」で評価が低いのが顕著な特徴である。

それ以外の職業別では一定の水準を保っている。評価の低い職業が絞れているので、その職業に対する考慮が効果的な改善になるであろう。

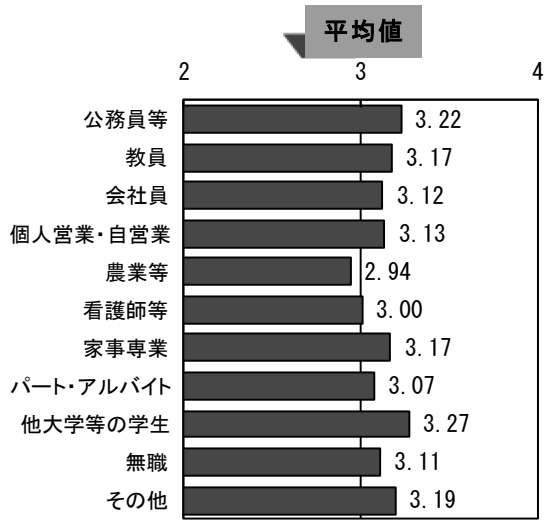
図２－２２【学部】職業別の全体評価

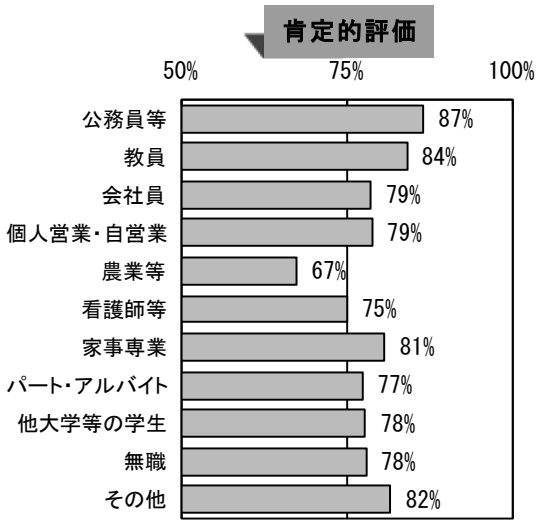
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



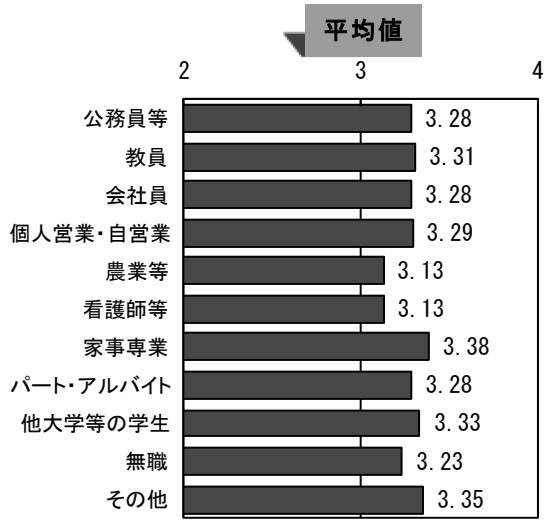


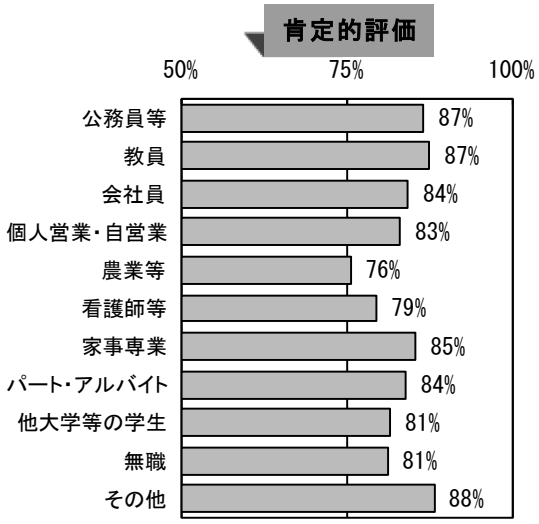
(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)





(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)



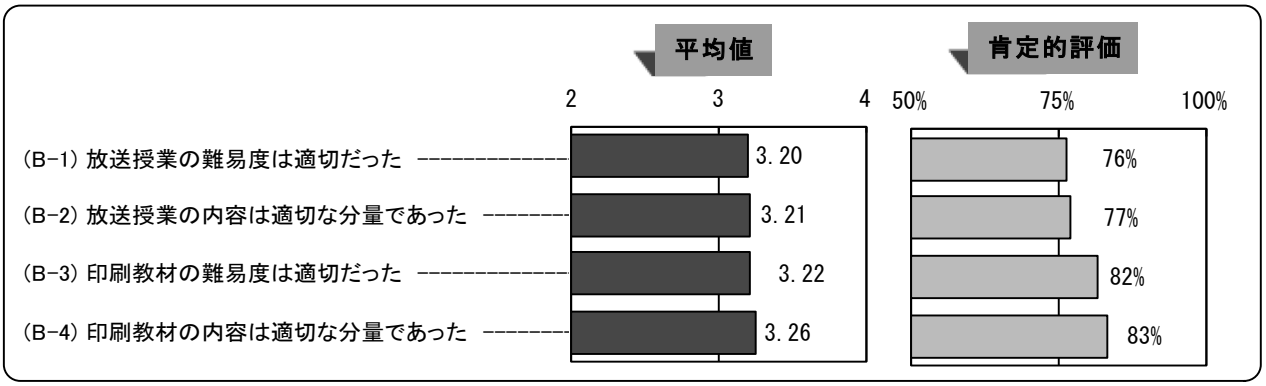


（２）授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていくこととする。

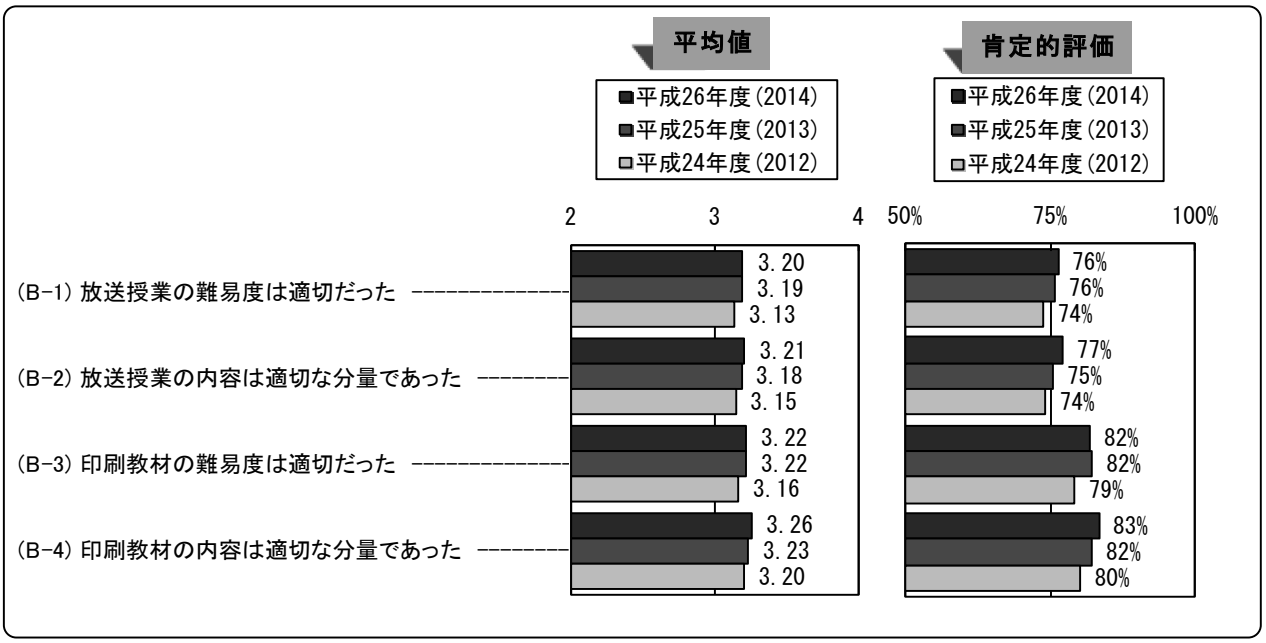
難易度・分量については（図２－２３）、平均値で見ると放送授業・印刷教材ともに比較的高い評価となっている。肯定的評価の割合で比較すると放送授業よりも印刷教材についての評価が高い。難易度・分量ともに改善の必要性が求められている。

図２－２３【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図２－２４）、分量においては平均値・肯定的評価の両方で放送授業・印刷教材ともに 2013 年度より高い評価となっている。難易度に関しては放送授業・印刷教材ともに 2013 年度とほぼ同じ水準を保っている。

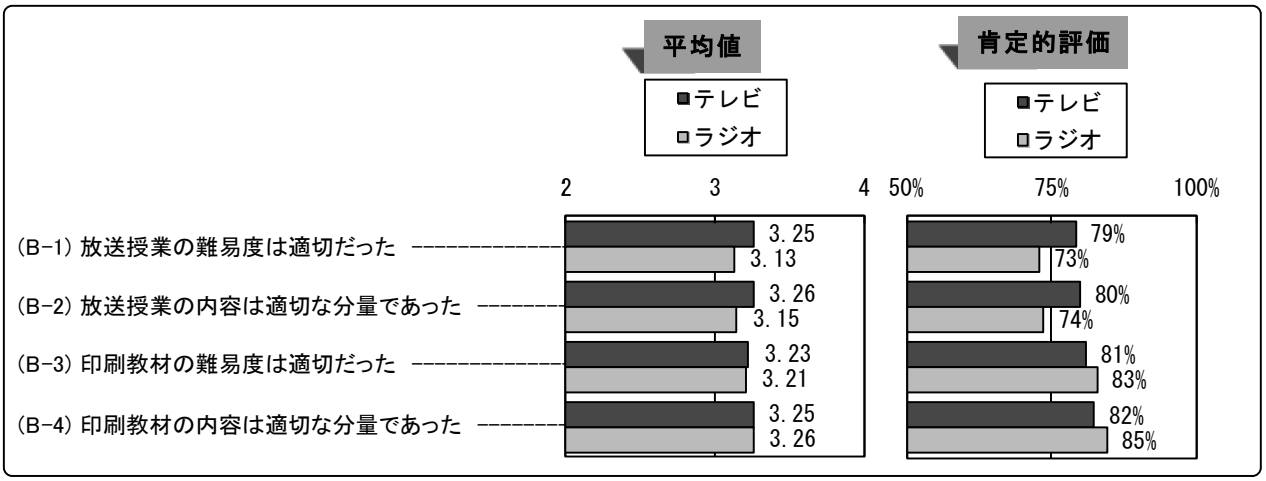
図２－２４【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図２－２５）、放送授業の項目でテレビ科目がラジオ科目を上回っている。特に肯定的評価の割合においてはその傾向が顕著である。ラジオ科目については、難易度・分量ともに工夫を求められていることがうかがえる。

また、印刷教材の項目では、反対にラジオ科目の方がやや高い。

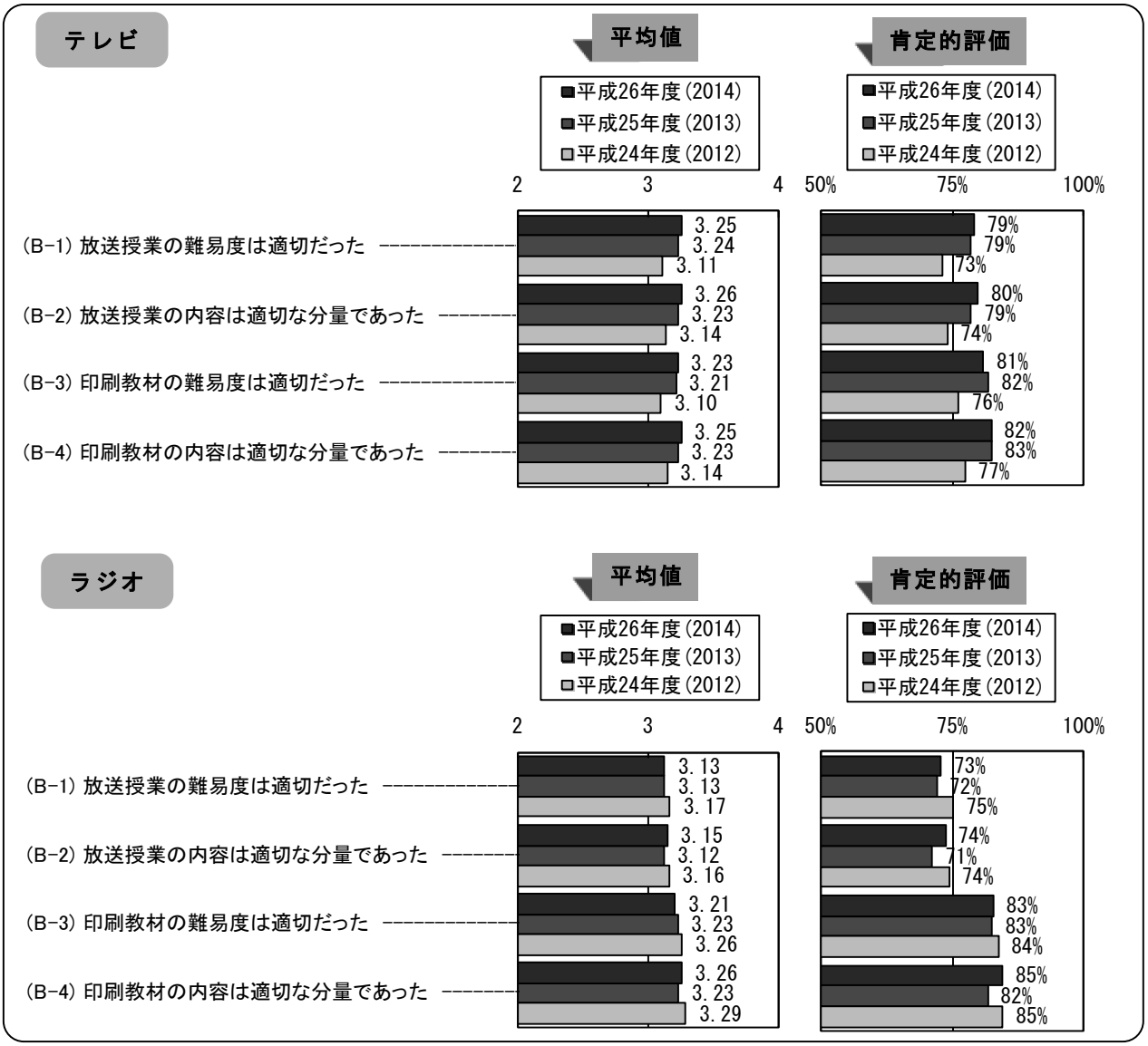
図２－２５【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図２－２６）、2013 年度に比べてテレビ科目は全ての項目で平均値がやや上がっている。肯定的評価は放送授業の方が上がっており、印刷教材はやや下がっているが、割合としては印刷教材の方が高い。

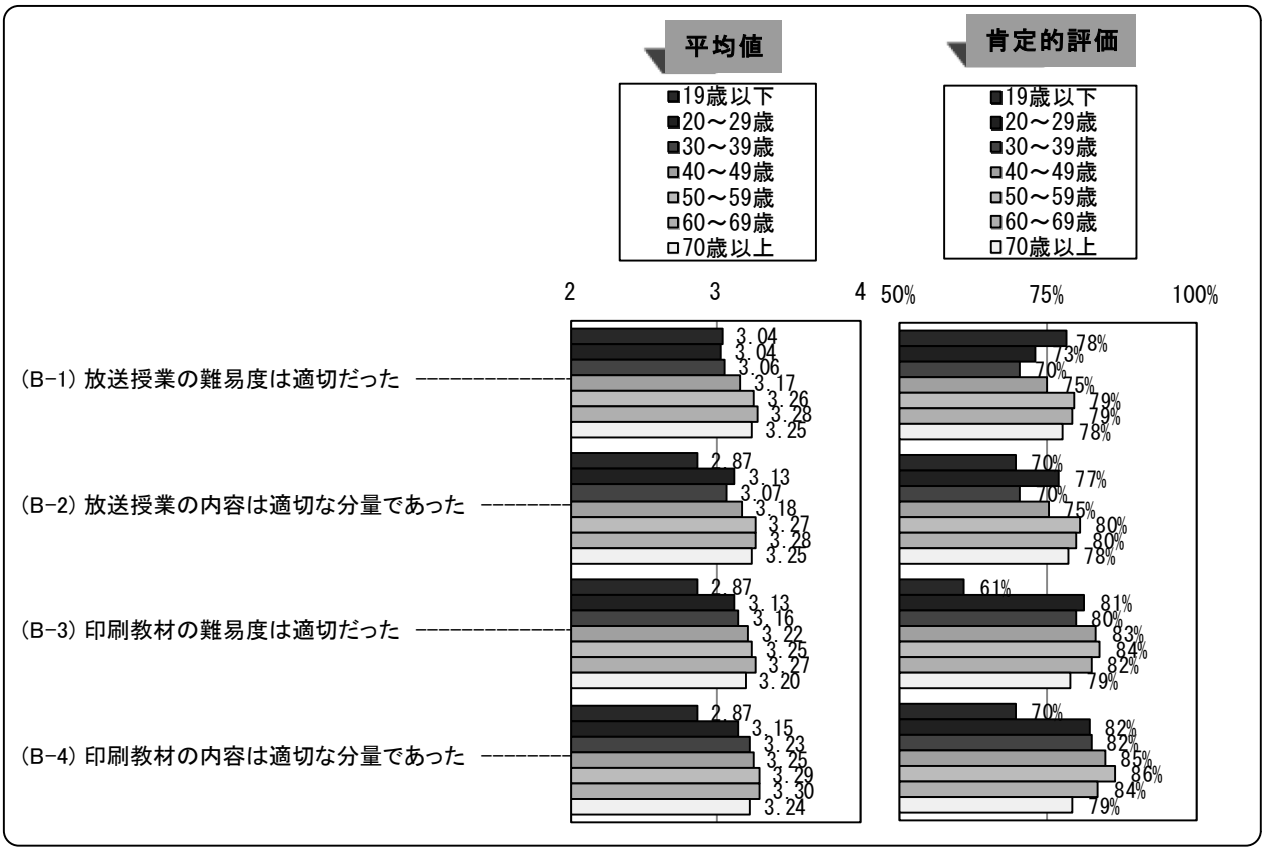
ラジオ科目は全ての項目で 2013 年度の水準をほぼ保っているため、あまり変化がなかったことがうかがえる。肯定的評価においては放送授業の割合が突出して低いため、さらなる改善が必要であるだろう。

図２－２６【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図２－２７）、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」、(B-3) 「印刷教材の難易度は適切だった」、(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の項目で 19 歳以下の評価が低いが、印刷教材の評価は全体として高い傾向にある。

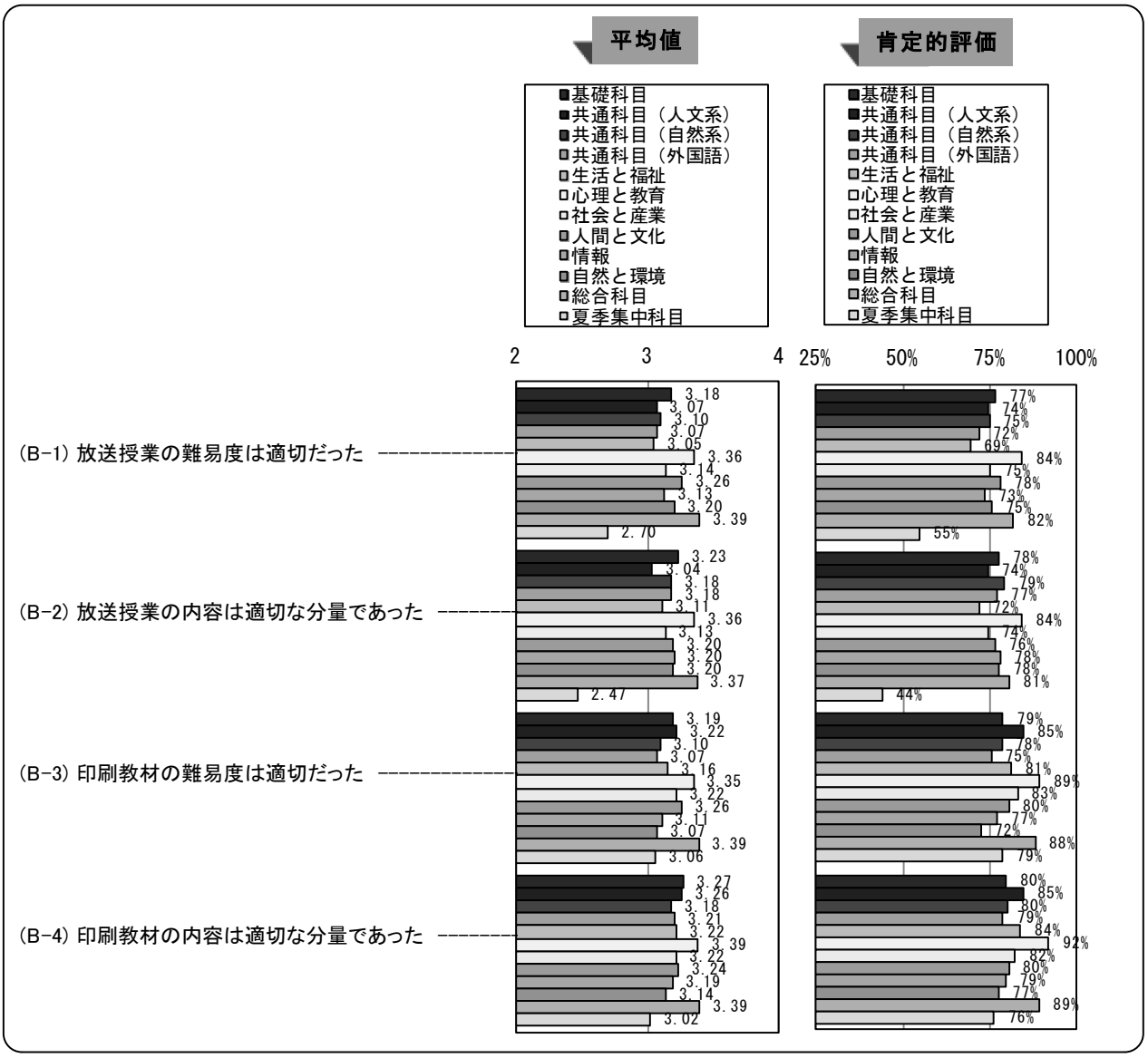
図２－２７【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図２－２８）、放送授業、印刷教材ともに、難易度と分量は、「心理と教育」「総合科目」で評価が高くなっている。

一方、放送授業に対する「夏季集中科目」の評価は極めて低い。

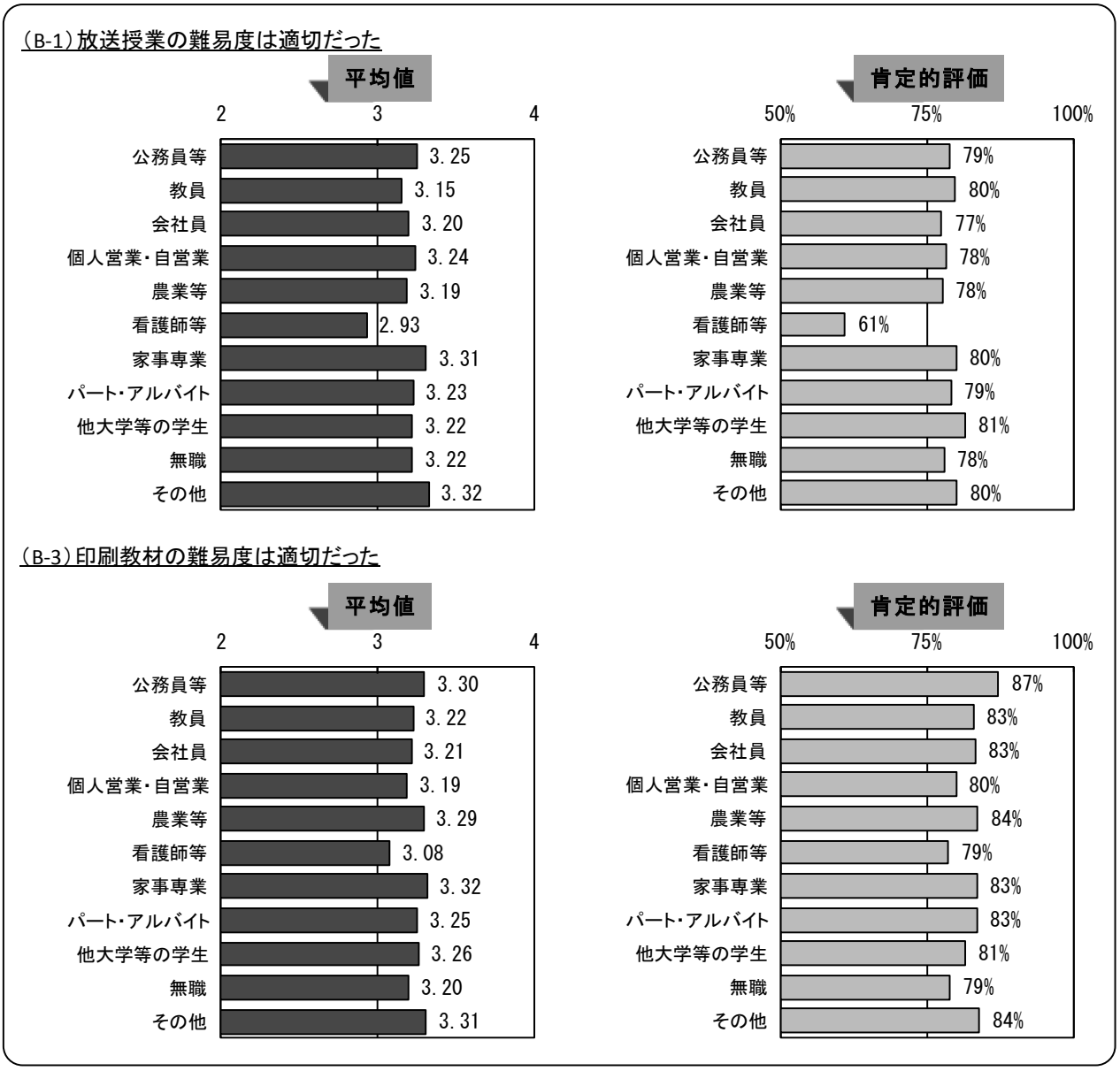
図２－２８【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（図２－２９）、放送授業の難易度は、「看護師等」で評価が低くなっているのが際立つ。取組姿勢の分析結果に表れたように、「看護師等」は時間的制約がある職業であり、そもそも放送授業を視聴することが難しいことと関連していると思われる。

授業の難易度は、科目の内容的な難易度、授業方法、そして学生の取組姿勢や学習意欲などが互いに影響し合い、評価がされていると考えられる。したがって、授業方法に変更があると、難易度の評価にも影響すると考えられるため、今後も授業方法のより良い改善に目を向けることは評価を上げるための大きな要因になると期待できる。

図２－２９【学部】職業別の授業難易度の評価

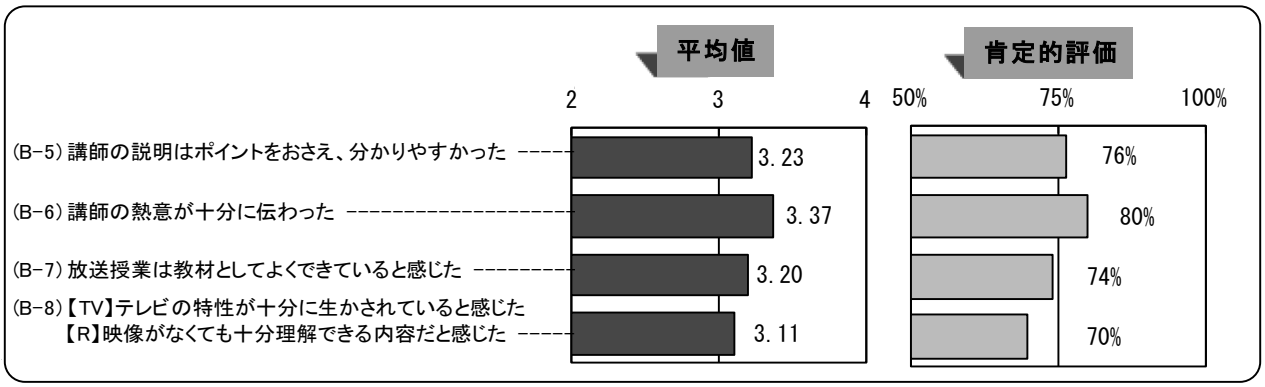


（３）放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

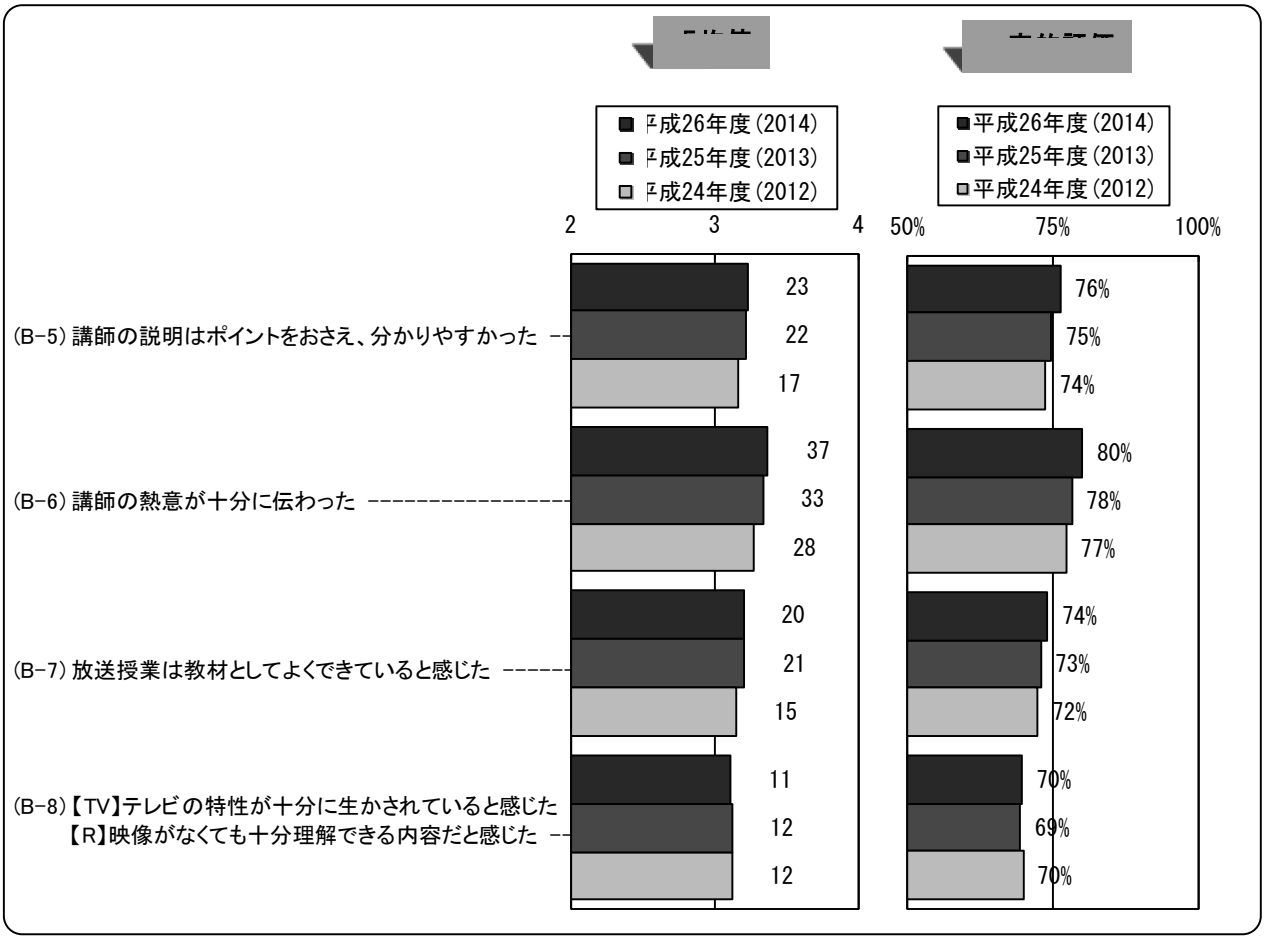
放送授業に関する評価項目で最も評価が高いのは（図２－３０）、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」であり、平均値 3.37、肯定的評価 80%となっている。しかし、放送授業の総合評価でもある（B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.20、肯定的評価 74%とやや低めである。なお、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も、平均値 3.11、肯定的評価 70%とやや低い水準である。

図２－３０【学部】回答者全体の放送授業の評価



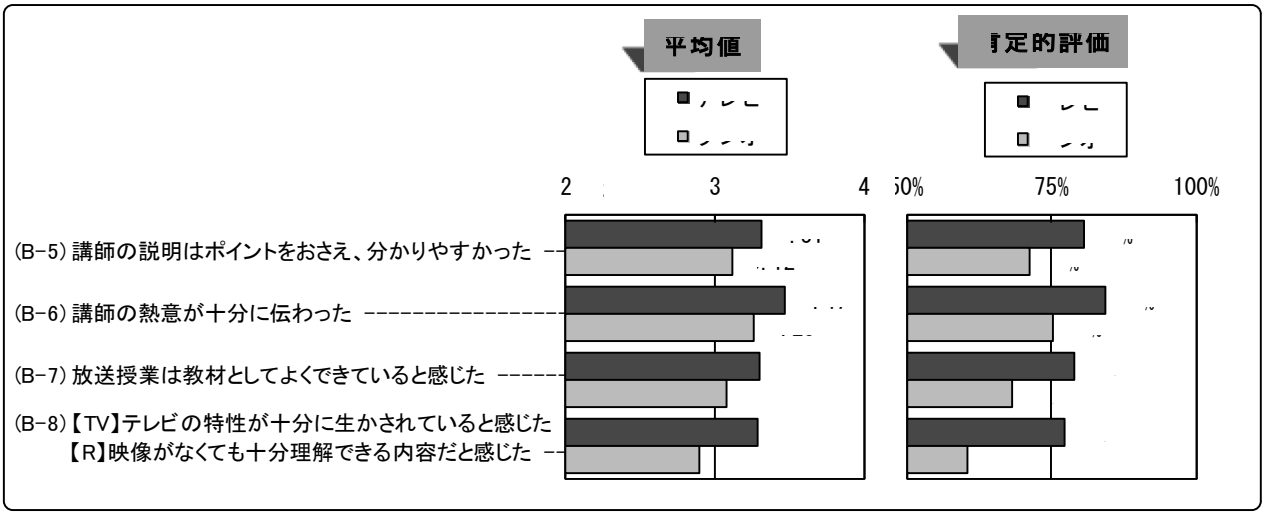
放送授業の評価の平均を時系列で見ると（図２－３１）、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の平均値は 2013 年度より若干低くなっているものの、そのほかの項目は 2013 年度よりやや高い評価になっている。

図２－３１【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図２－３２）、いずれの項目もテレビ科目がラジオ科目を上回っている。

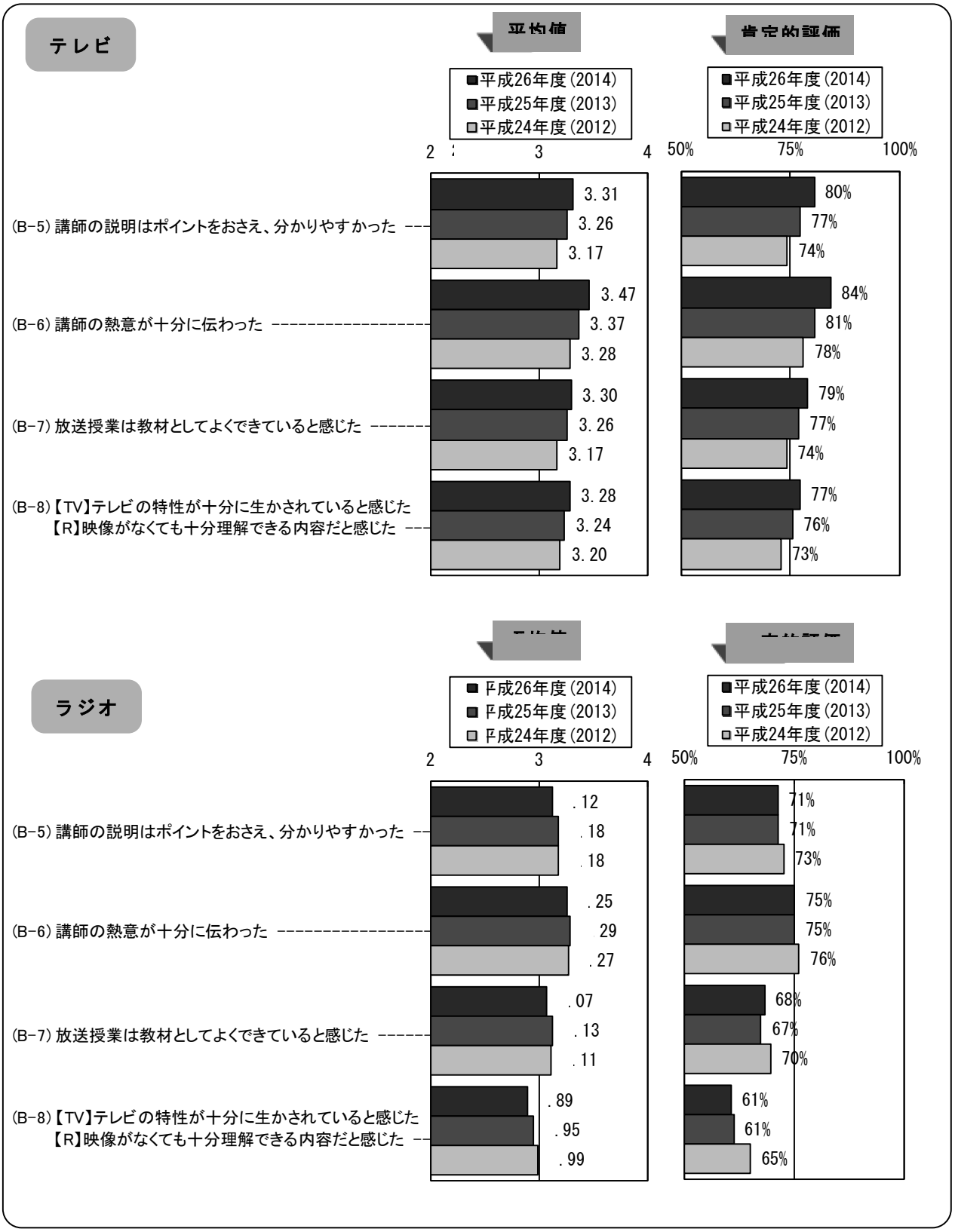
図２－３２【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（次頁図２－３３）、テレビ科目では、いずれの項目も 2013 年度に比べ、高い評価となっている。

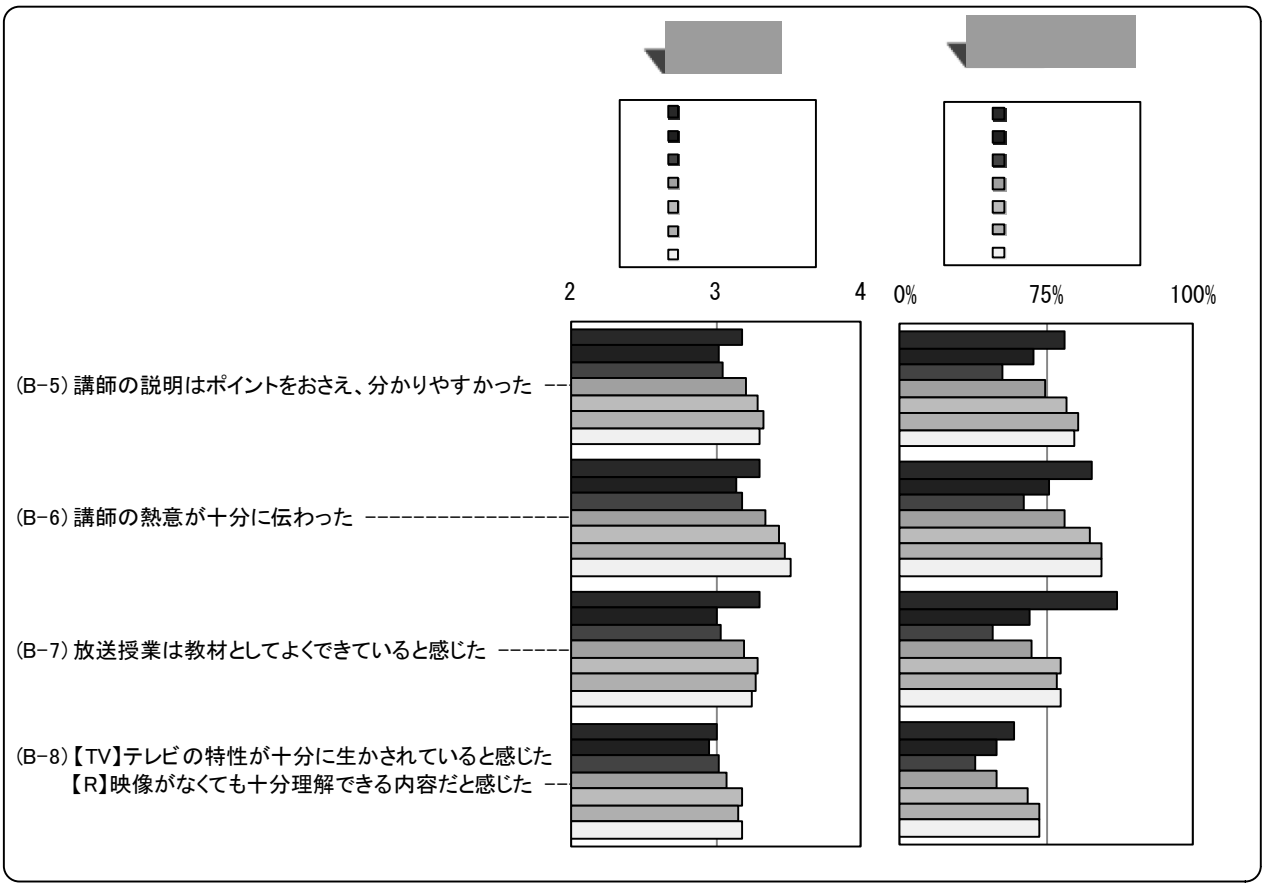
ラジオ科目においては、肯定的評価の割合はいずれの項目も 2013 年度に比べ同じ水準を保っているが、平均値においては全ての項目でやや低くなっている。

図２－３３【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図２－３４）、いずれの項目も、60 歳代、70 歳代は評価が高く、講師に関する項目では 19 歳以下も評価が高い。20 歳代、30 歳代の評価が、いずれの項目でも低い水準である。

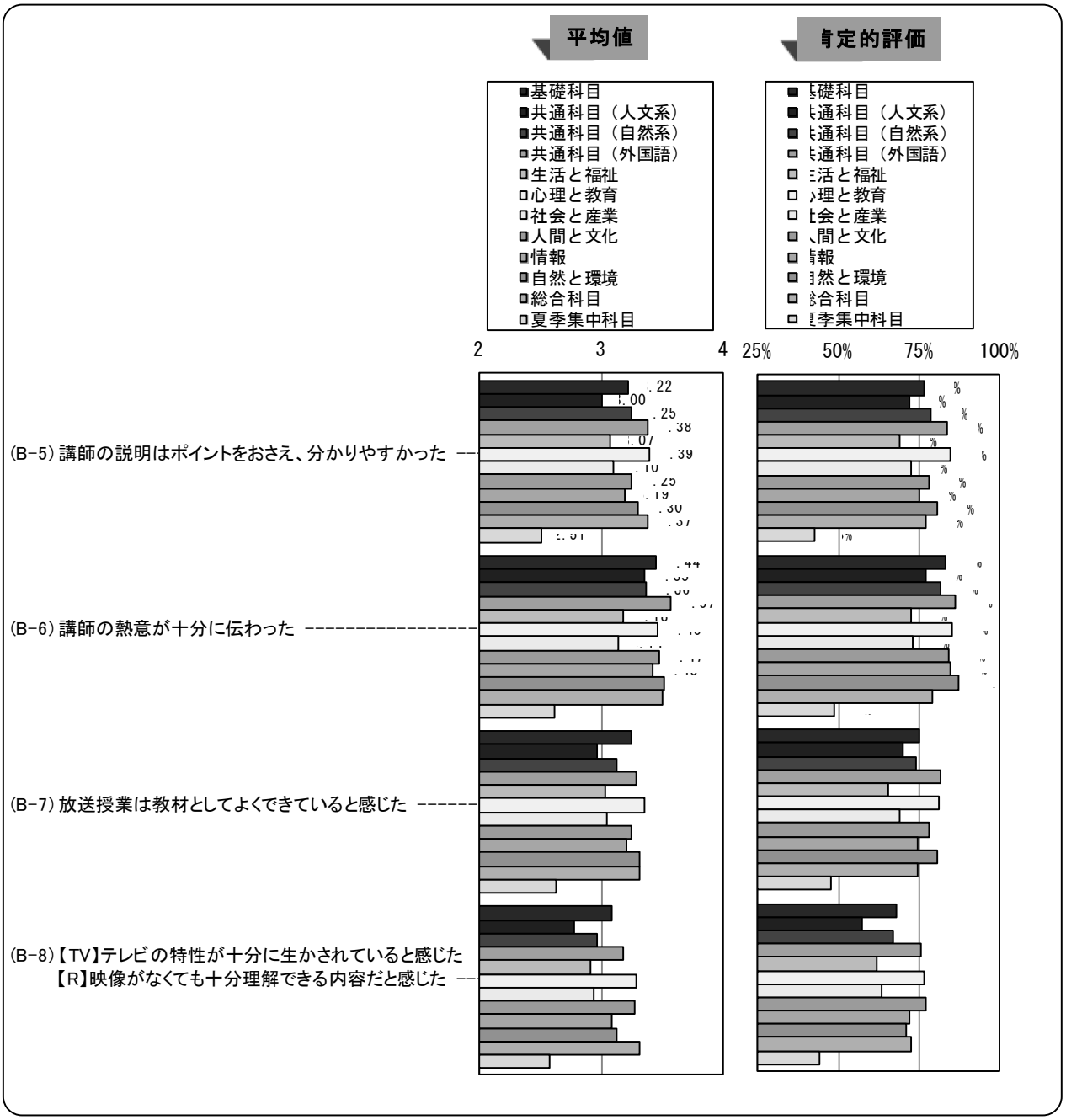
図２－３４【学部】年齢階層別の放送授業の評価



所属コース別に放送授業の評価を見ると（図２－３５）、すべての項目において「夏季集中科目」の評価が低いのが際立っている。それ以外の科目では、「共通科目：人文系」「生活と福祉」「社会と産業」の評価がいずれの項目でも低い水準にある。

一方、「共通科目：外国語」「心理と教育」「自然と環境」はいずれの項目でも評価は高い水準である。

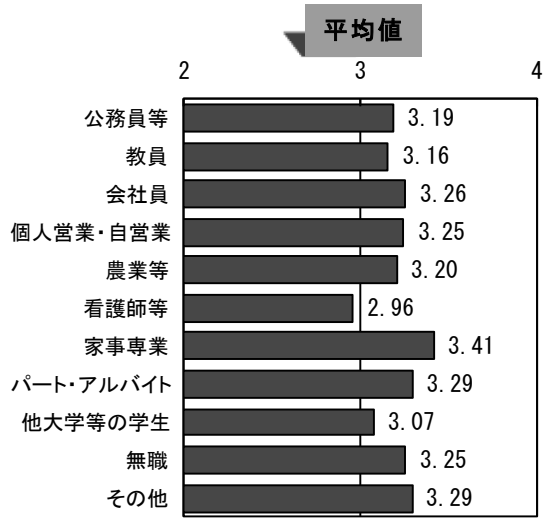
図２－３５【学部】所属コース別の放送授業の評価

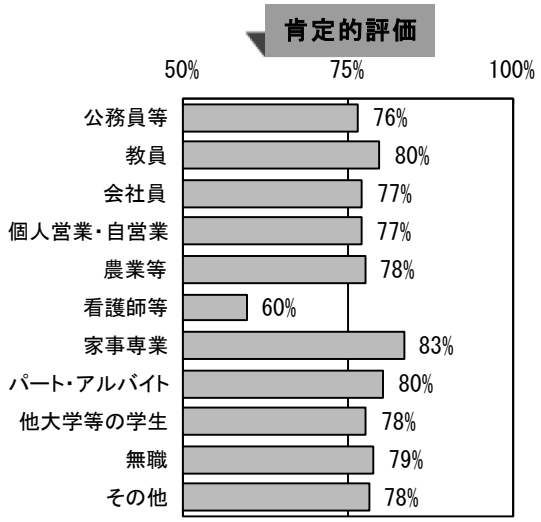


職業別に放送授業の評価を見ると（次頁図２－３６）、全体的に「看護師等」の評価が低く、不規則な職業のため放送時間に合わせての視聴が難しい現実がうかがえる。一方、放送時間に合わせて都合がつけやすい「家事専業」の評価はいずれの項目も評価が高い。

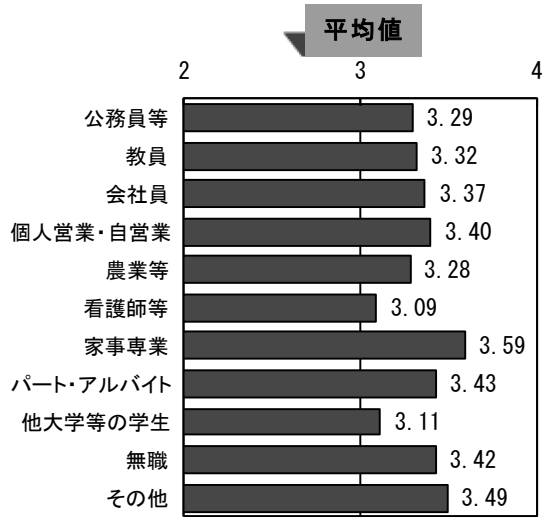
図２－３６【学部】職業別の放送授業の評価

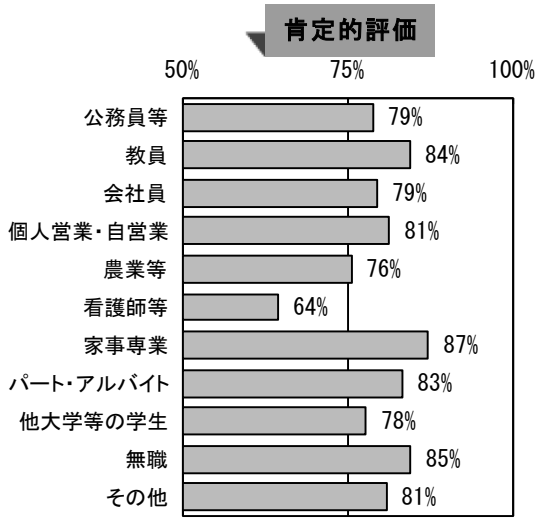
(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



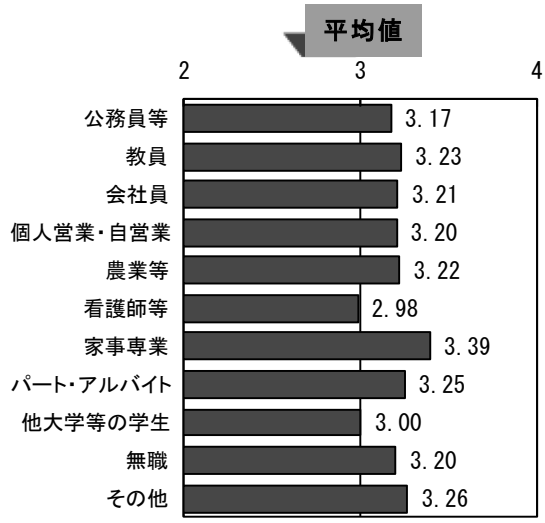


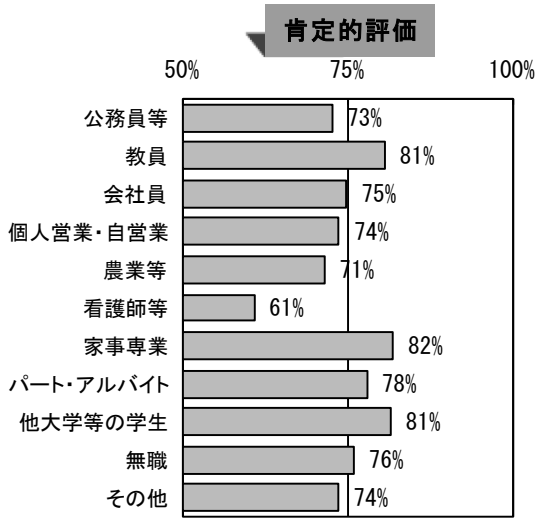
(B-6)講師の熱意が十分に伝わった





(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた



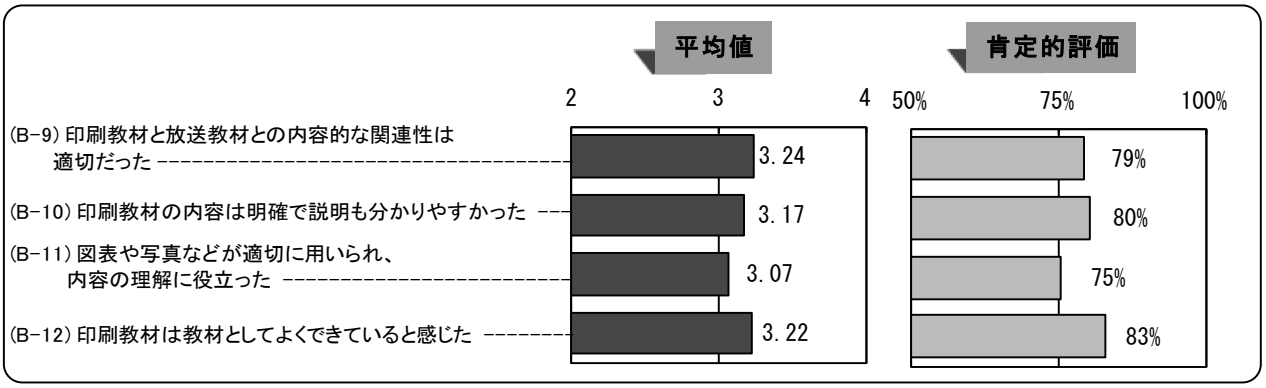


（４）印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

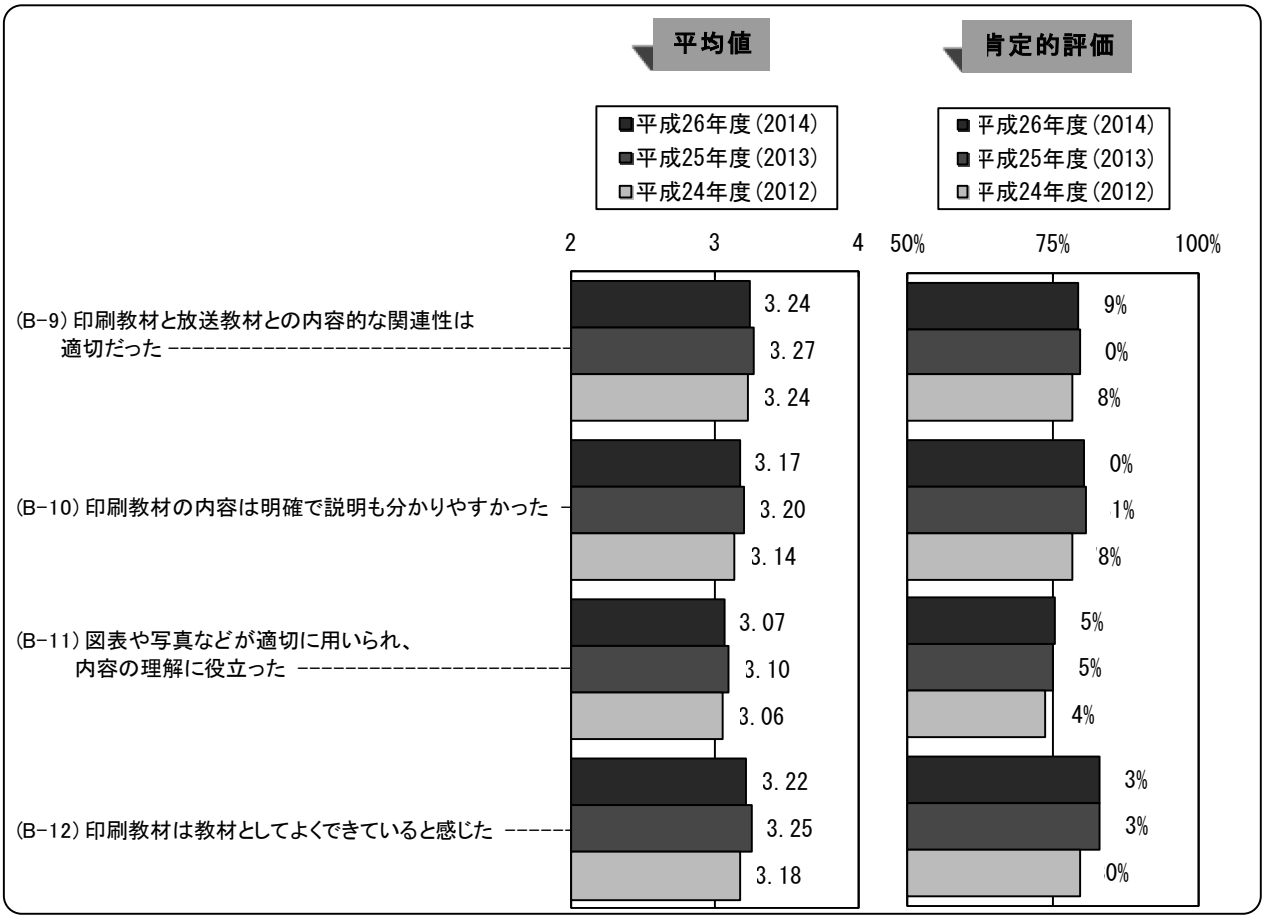
印刷教材の評価項目では（図２－３７）、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が平均値 3.22、肯定的評価 83%と高い評価のため、印刷教材として総合的に高評価といえる。また（B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と（B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」も高い評価であるが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は他の項目に比べるとやや評価が低い。自由記述でも図表や写真などに対する改善要望が見られたので、それらを参考にしたより理解しやすい教材に期待している様子がうかがえる。

図２－３７【学部】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（次頁図２－３８）、いずれの項目においても 2013 年度とほぼ同じか、やや低い。

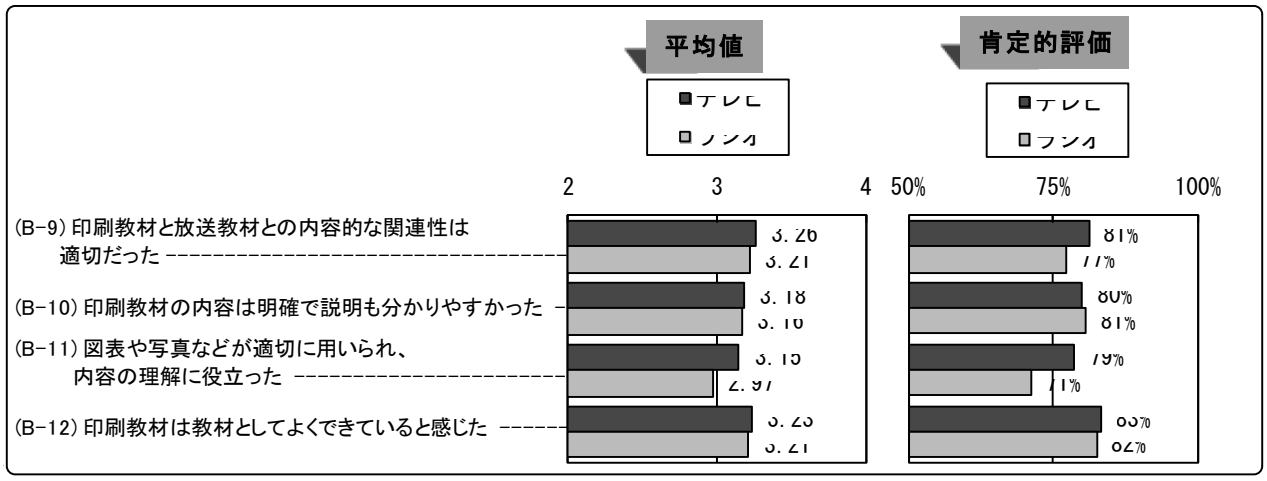
図２－３８【学部】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



メディア別に印刷教材の評価を見ると（図２－３９）、肯定的評価の割合においては(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」の項目はテレビ科目よりラジオ科目の方がわずかに高い評価となっているが、平均値を含めたその他の項目ではテレビ科目の評価がラジオ科目よりも高い。

特に、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」においてはテレビ科目とラジオ科目の評価の差が大きい。ラジオ科目の印刷教材の改善はこの項目の評価を上げる工夫をすることだろう。

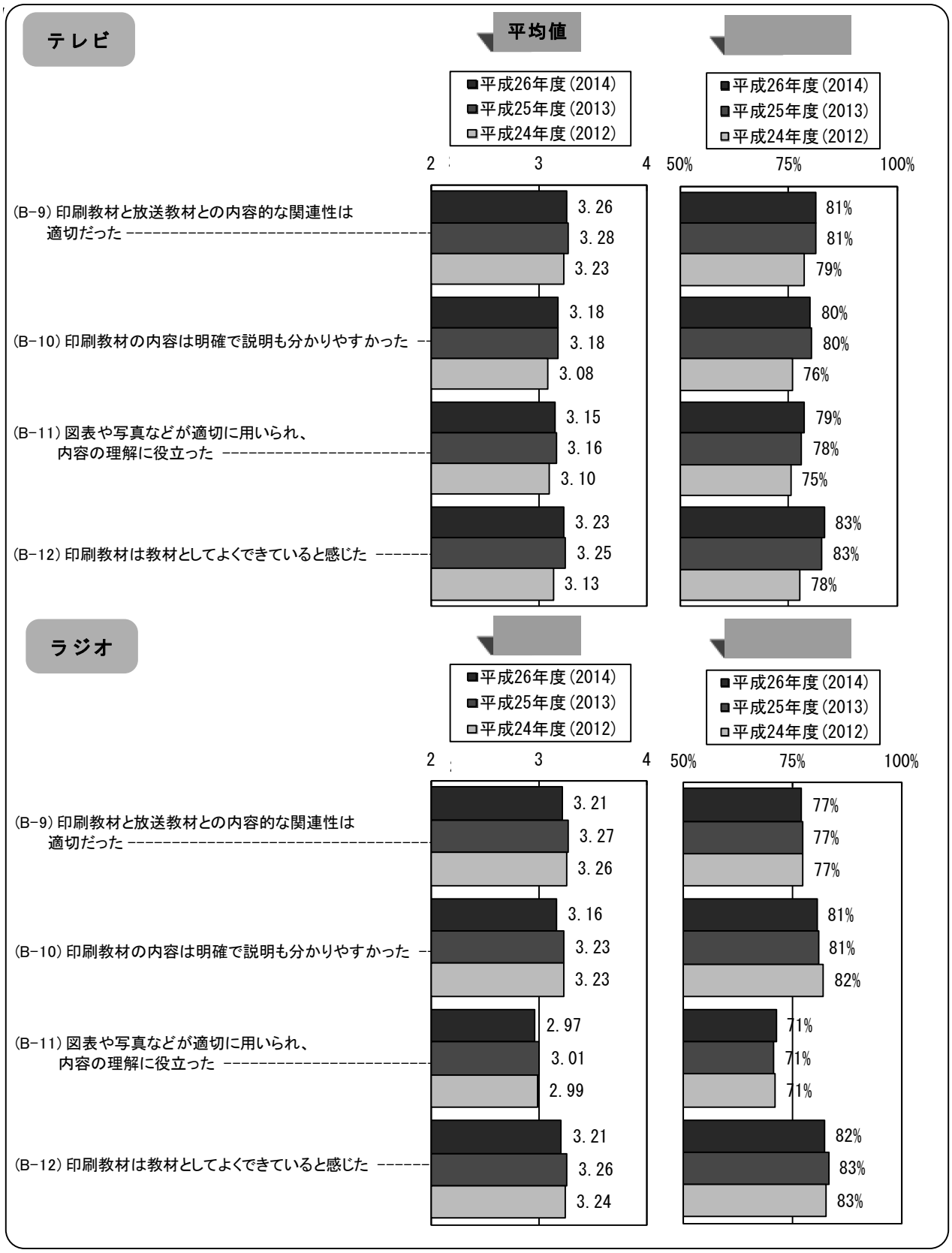
図２－３９【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると（次頁図２－４０）、平均値、肯定的評価の割合ともに､テレビ科目でもラジオ科目でも 2013 年度に対して評価が上回る項目がなかった。いずれの項目も評価は横ばいか、わずかに低くなっていて、改善の効果が出ているとは言えない。

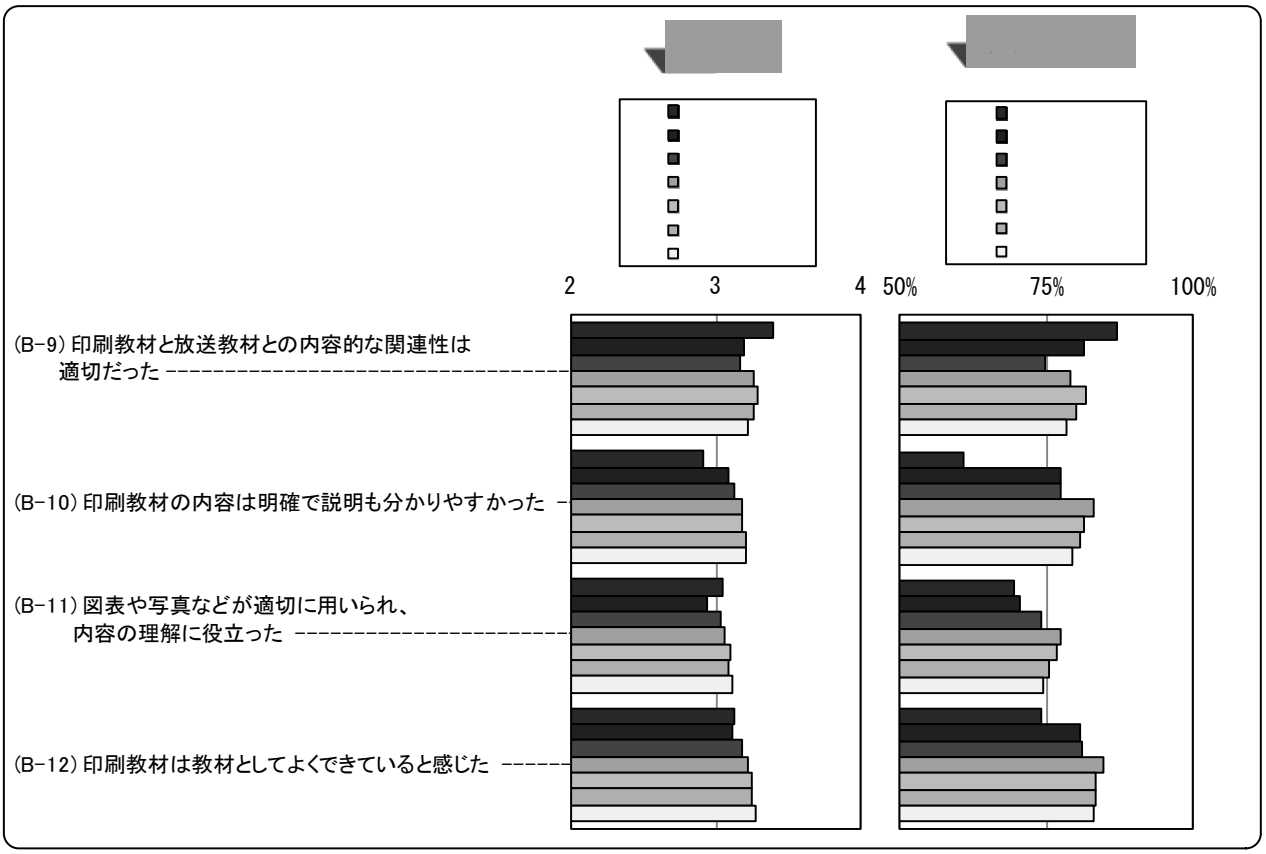
特に平均値に注目すると、ラジオ科目では全ての項目で低くなっており、印刷教材の改善のための全体的な対策が求められる。

図２－４０【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図２－４１）わかるように、全体として高い値となっている。全ての評価項目において、平均値・肯定的評価ともに 40 歳代以上の年代の評価がやや高い傾向である。読書量や社会経験などが反映されるのか、40 歳代以上の年齢層と 30 歳代以下の年齢層との間に理解度においてギャップがある。

図２－４１【学部】年齢階層別の印刷教材の評価

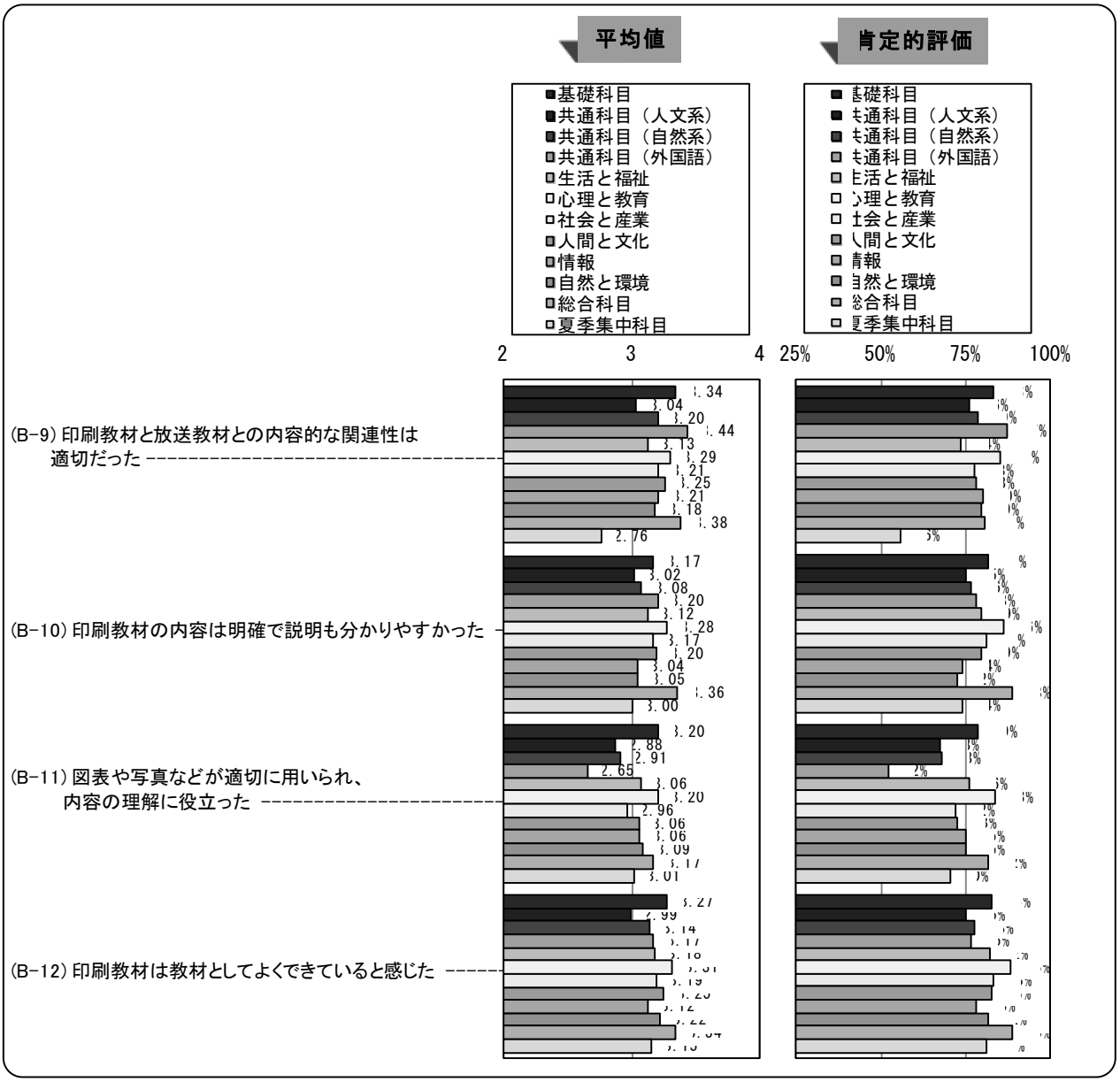


所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図２－４２）、「心理と教育」、「総合科目」が平均値、肯定的評価の割合ともに評価が高いことがうかがえる。

一方、「共通科目：外国語」が（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」において評価が低いのは、図表や写真をあまり必要とせずに学べるような科目内容だったからではないか。評価自体としては分析全体を通して高い方である。

「夏季集中科目」は（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」の評価が著しく低く、印刷教材と放送教材の整合性に改善が必要とされる。

図２－４２【学部】所属コース別の印刷教材の評価

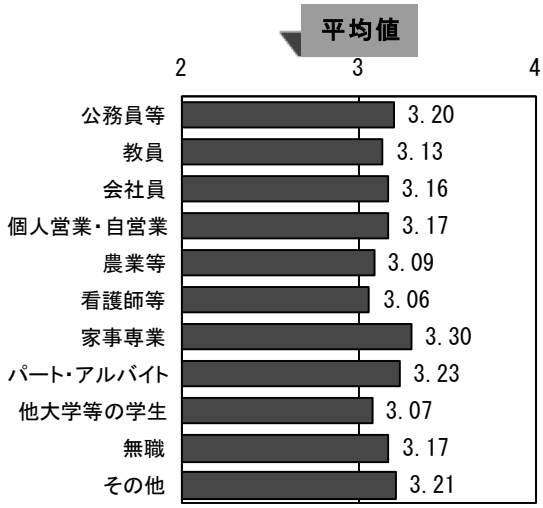


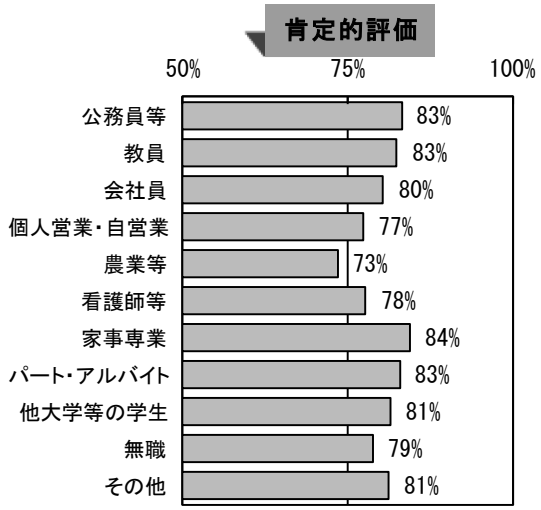
職業別の印刷教材の評価では（次頁図２－４３）、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」と(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は平均値、肯定的評価ともに「農業等」が高いのに反し、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では「農業等」の肯定的評価はやや低く矛盾を感じる。

「看護師等」でも(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は高いが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」はやや低くなっていることから見ても、印刷教材の改善が必要とされる。

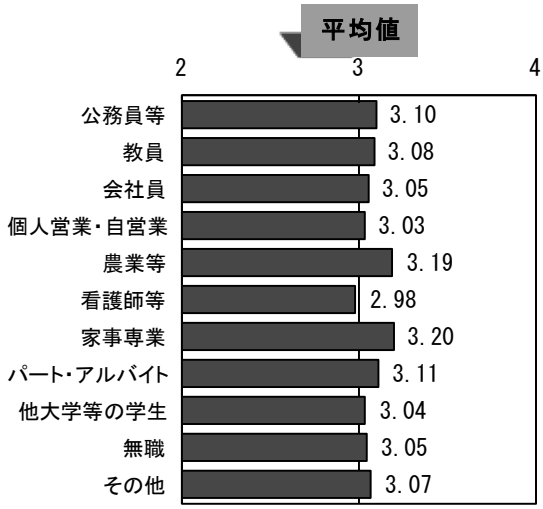
図２－４３【学部】職業別の印刷教材の評価

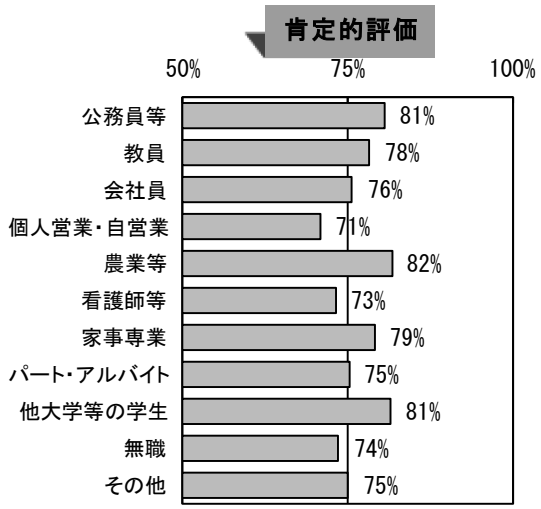
（B-10）印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



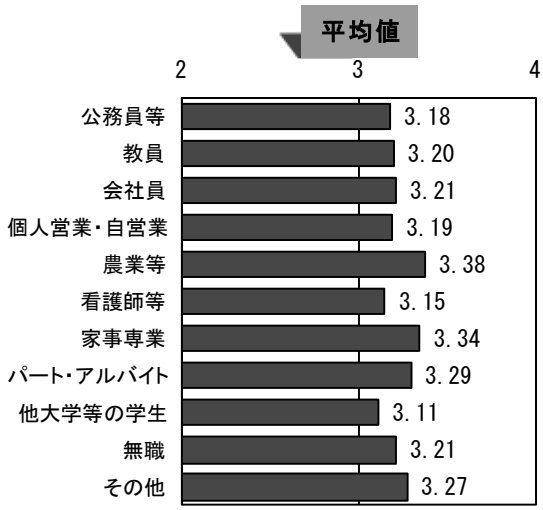


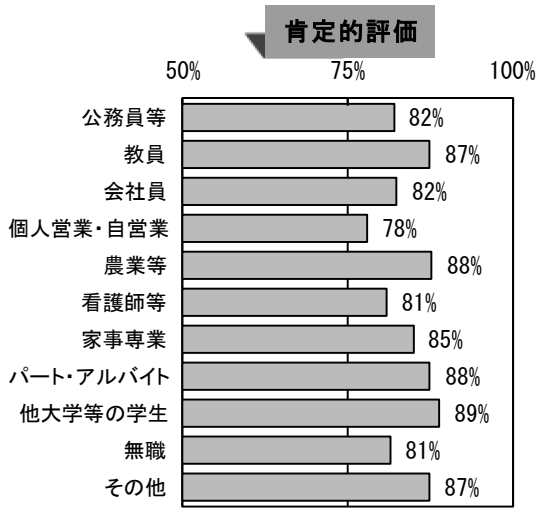
（B-11）図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った





（B-12）印刷教材は教材としてよくできていると感じた





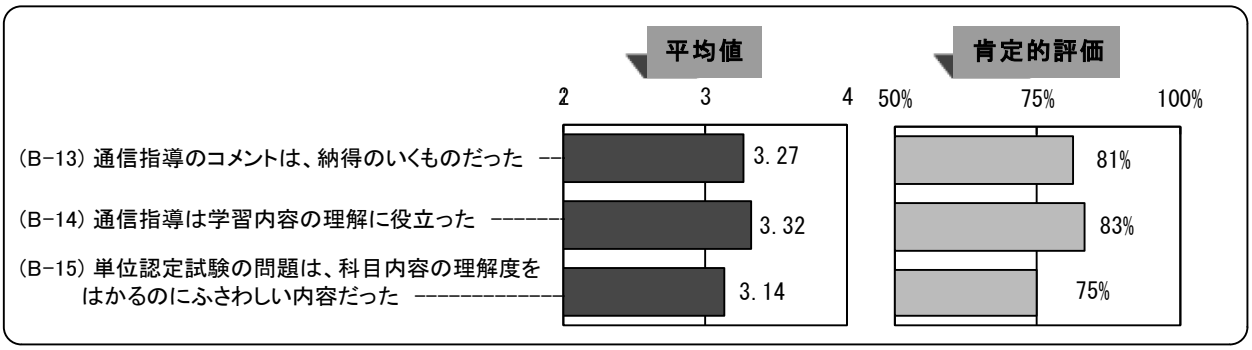
（５）通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については（図２－４４）、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.27、肯定的評価 81%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.32、肯定的評価 83%と、いずれも高い評価を得ている。

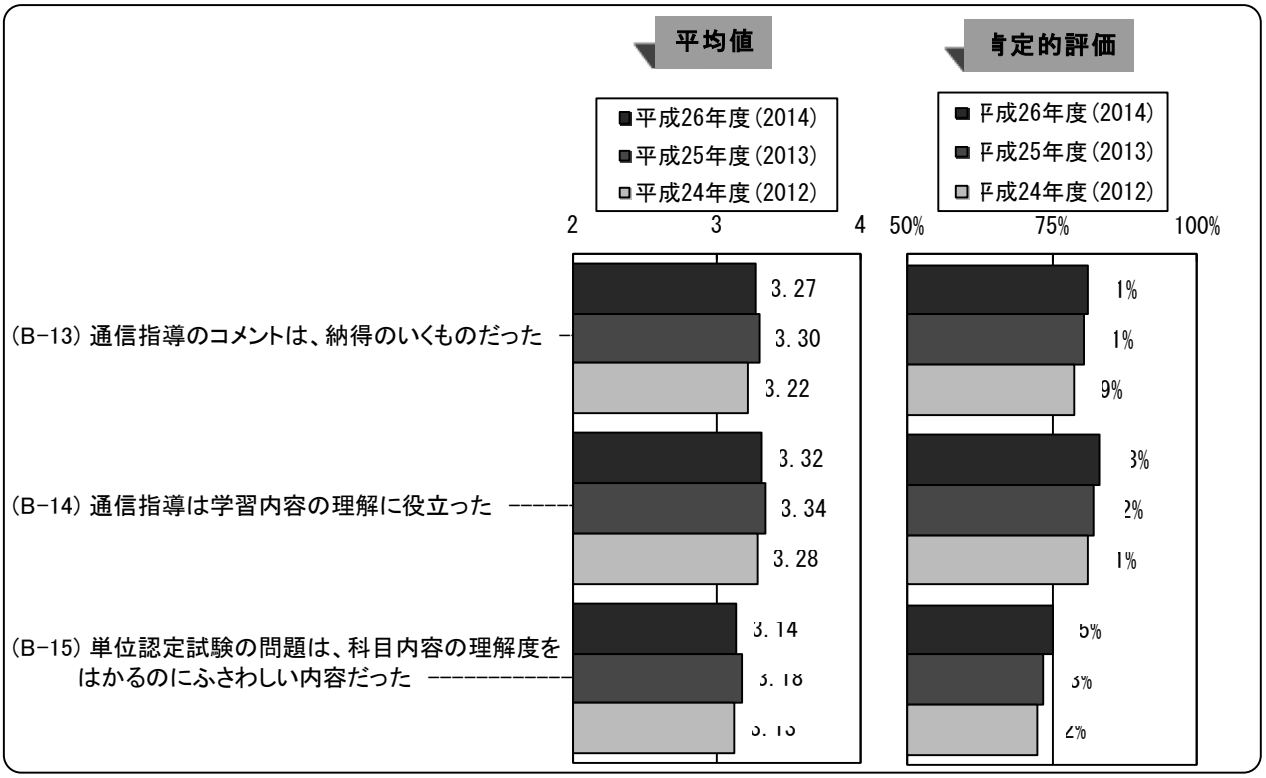
単位認定試験については、(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.14、肯定的評価 75%と比較的評価が低い。

図２－４４【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると（図２－４５）、総じて平均値では 2013 年度よりやや評価が低くなっているが、肯定的評価ではわずかに高くなっている。

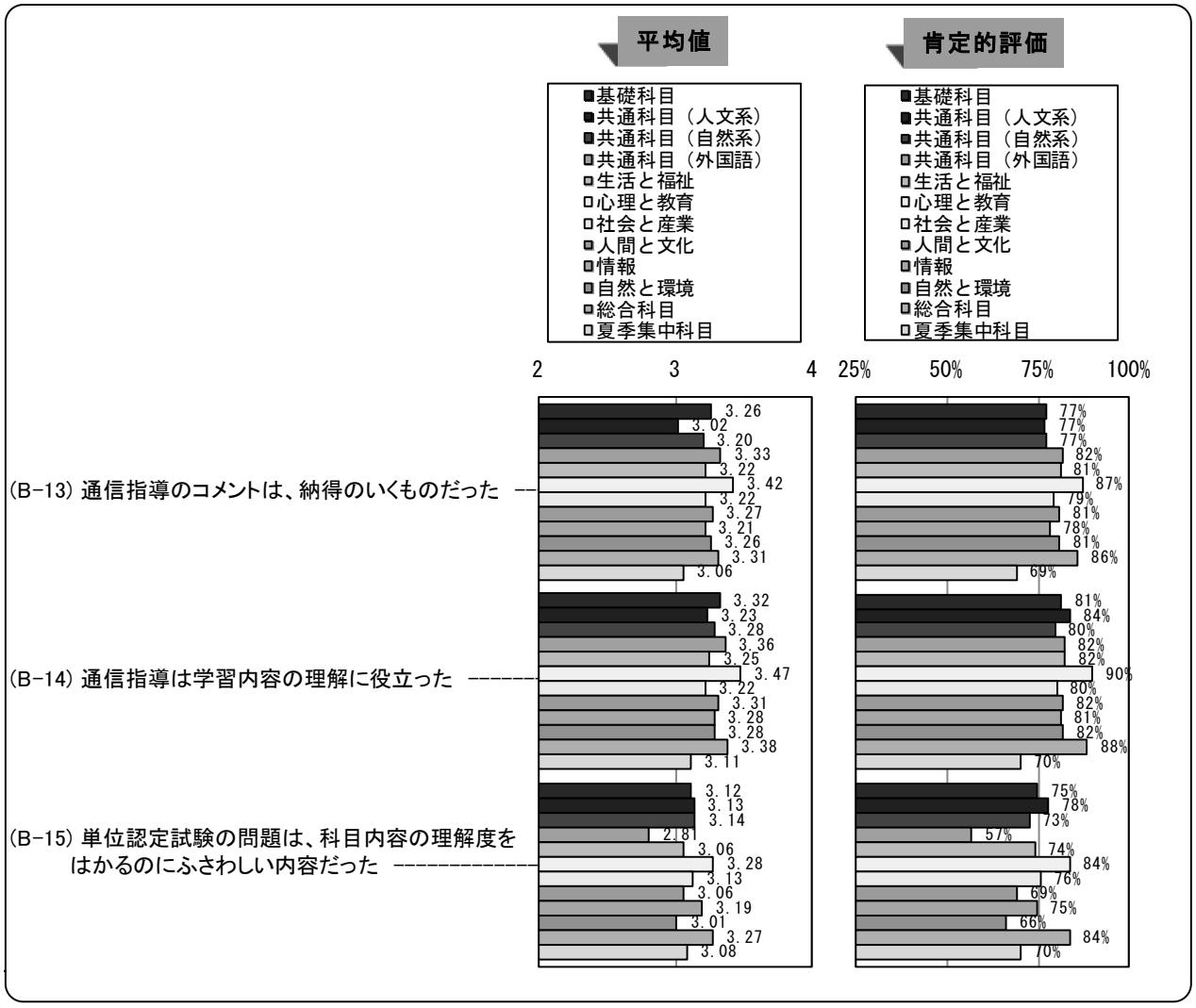
図２－４５【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図２－４６）、全ての項目において「心理と教育」の評価が高い。

一方、(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」では「共通科目：外国語」の評価が極めて低い。自由記述などで原因を精査し、改善すべきであろう。

図２－４６【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－1－4．参考

ここでは評価項目間の相関を見ることによって、より深く授業改善の糸口を探っていくことにする。分析には主にピアソンの単相関係数（以下、相関係数）を用いた。相関係数については巻末の参考資料を参照されたい。

ただし、相関係数による分析では、変数間の共変関係は分かっても、因果関係（つまりどちらが原因となる変数で、どちらが結果かということ）は分からないのが普通である。以下の分析ではそのことを十分留意していただきたい。

この分析では、「いずれの項目を基準に、いずれの項目との相関を見るのか?」 ということが分析において重要である。概して、総合的な評価は個別の評価を考慮してなされることを前提として、総合評価を基準にそのような評価となった個別評価はいずれの項目か、という観点から総合評価と個別評価との関係を見ていくことにしよう。

表２－２は、放送授業の各評価項目と（A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢）を元にした放送授業の各項目との相関との分析と、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価）を元にした放送授業の各項目との相関との分析を並べたものである。

表２－２　【学部】放送授業と各項目との単相関係数

	(A-2)放送授業を十分に視聴した	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた
(A-2)放送授業を十分に視聴した	1.000	0.404
(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.420	0.620
(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.412	0.616
(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.432	0.774
(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.471	0.733
(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.404	1.000
(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.401	0.691

これを見ると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」(放送授業への取組姿勢）と（B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(放送授業の総合評価）の相関係数は

0.404 と、相関は見られるものの、弱い相関となっている。つまり放送授業の取組姿勢は放送授業の評価とは、あまり関連性が強くない。

それに比べ、放送授業の総合評価である（B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」と各項目の相関は軒並み高く、特に（B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」の相関係数は 0.7 を越え、極めて強い相関となっている。

次に、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢）を基準に印刷教材に関する各評価項目との相関係数を求めた結果と、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価）を基準にと印刷教材に関する各評価項目との相関係数を求めた結果を並べたものが表２－３である。

表２－３　【学部】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A-3)印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.282
(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.306	0.579
(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.311	0.555
(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.250	0.577
(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.291	0.766
(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.256	0.694
(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.282	1.000

これを見ると、やはり取組姿勢と評価の間にはあまり強い相関はない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価）と印刷教材の各評価項目とでは相関は強い。特に（B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と（B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」は強い相関が見られる。

最後に（A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度)」と、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度)」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度)」の３項目をそれぞれ基準として各評価項目の相関係数を見たのが表２－４である。

表２－４　【学部】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.477	0.413
	(A-2)放送授業を十分に視聴した	0.588	0.319	0.294
	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	0.695	0.423	0.346
授業の難易度・分量	(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.364	0.535	0.566
	(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.336	0.491	0.531
	(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.322	0.556	0.594
	(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.319	0.522	0.567
放送授業	(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.344	0.512	0.582
	(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.354	0.417	0.498
	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.320	0.481	0.583
	(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.292	0.423	0.494
印刷教材	(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.300	0.465	0.538
	(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.302	0.592	0.632
	(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.282	0.494	0.534
	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.306	0.548	0.651
通信指導・単位認定試験	(B-13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.275	0.442	0.491
	(B-14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.295	0.462	0.528
	(B-15)単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.269	0.478	0.553
全体評価	(B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.333	0.533	0.592
	(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.423	0.625	0.743
	(B-18)新しい知識が身につき視野が広がった	0.396	0.595	0.683
	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.477	1.000	0.748
	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.413	0.748	1.000

まず、全体的な熱心度（取組姿勢）と科目の理解度、満足度との関係を見ると、熱心度は取組姿勢に関する評価項目に関しては高い相関を示しているが、各評価項目との相関は非常に弱い。理解度と 0.477、満足度と 0.413 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間の相関も決して強くない。

一方、理解度と満足度の相関係数は 0.748 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。

今までの分析で注意すべき点は、「相関が強い」ということはすなわち「評価が高い」という事にはならない事である。

つまり、元となる項目と低い評価が一致するところが多いため相関が強くなった、というケースも考えられるのである。

従って、改善点を洗い出す方法としては、次のアプローチが有効である。

1) 母集団から、評価の元になる項目で低い評価を出している標本を新たな母集団として抽出する

2) 新たな母集団で、評価の元になる項目と各項目の相関係数を求める。

3) その相関が強いということは、その項目は評価の元になる項目の評価が低い原因となっていると考えられる。

このようにして改善すべき項目を絞り込む。

このアプローチで放送授業、印刷教材について分析した結果が次頁の表２－５である。

表２－５【学部】放送授業と各項目との相関係数

		(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた。(評価1または2)
取組姿勢	(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.109
	(A-2)放送授業を十分に視聴した	0.347
	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	0.087
授業の難易度・分量	(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.423
	(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.432
	(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.048
	(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.057
放送授業	(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.638
	(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.554
	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	1.000
	(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.488
印刷教材	(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.412
	(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.138
	(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.160
	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.136
通信指導・単位認定試験	(B-13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.167
	(B-14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.175
	(B-15)単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.091
全体評価	(B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.124
	(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.168
	(B-18)新しい知識が身につき視野が広がった	0.140
	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.097
	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.147

表から読み取れるのは、講師に関する項目の値が高く、放送授業に対する評価の低さと強い相関にあると考えられる。特に(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、わかりやすかった」が 0.6 を越える強い相関を示している。

同じように、相関係数の高い項目に改善のポイントはあると推察できる。

次に、印刷教材についても同様の分析を行ったのが次頁の表２－６である。

表２－６【学部】印刷教材と各項目との相関係数

		(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた。(評価1または2)
取組姿勢	(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.121
	(A-2)放送授業を十分に視聴した	0.123
	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	0.036
授業の難易度・分量	(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.288
	(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.283
	(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.276
	(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.253
放送授業	(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.401
	(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.301
	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.384
	(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.333
印刷教材	(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.314
	(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.507
	(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.452
	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	1.000
通信指導・単位認定試験	(B-13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.285
	(B-14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.308
	(B-15)単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.254
全体評価	(B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.310
	(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.334
	(B-18)新しい知識が身につき視野が広がった	0.294
	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.286
	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.399

この結果から読み取れるのは、「印刷教材の内容は必ずしも明確ではなかった/説明も必ずしも分かりやすくなかった」「図表や写真などが必ずしも適切に用いられていなかった/必ずしも内容の理解に役に立たなかった」と感じている学生が印刷教材の評価を低くする要因となっている可能性が高いということである。

なぜか講師の項目とも相関が見られるが、授業というものは放送・印刷教材の両方で受けるものなので、アンケートで評価を下すにあたっては必ずしも放送授業・印刷教材という区分で分けられないケースもあるのではないかと推察される。

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

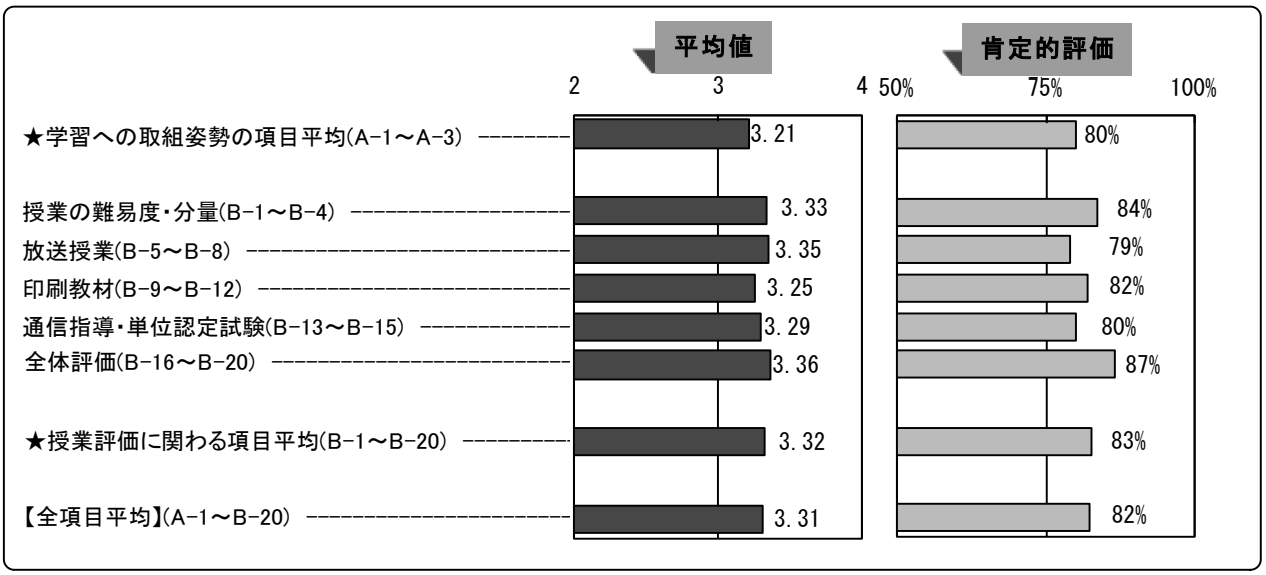
ここからは大学院科目の評価結果を見ていく。大学院の回答者全体について、評価項目の内容ごとにその平均を算出したのが図２－４７である。まずこれによって評価の全体的傾向を把握しておくこととする。

項目平均を全体的に見ると、学部生に比べて取組姿勢・授業評価がやや高く、また違った傾向がうかがえる。

『学習への取組姿勢の項目平均』は平均値が 3.21、肯定的評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）が 80%であり、『授業評価に関わる項目平均』も平均値が 3.32、肯定的評価が 83%と高い値を示している。学習への取り組みが熱心であったこと、また授業に対する評価が高いことが特徴的である。

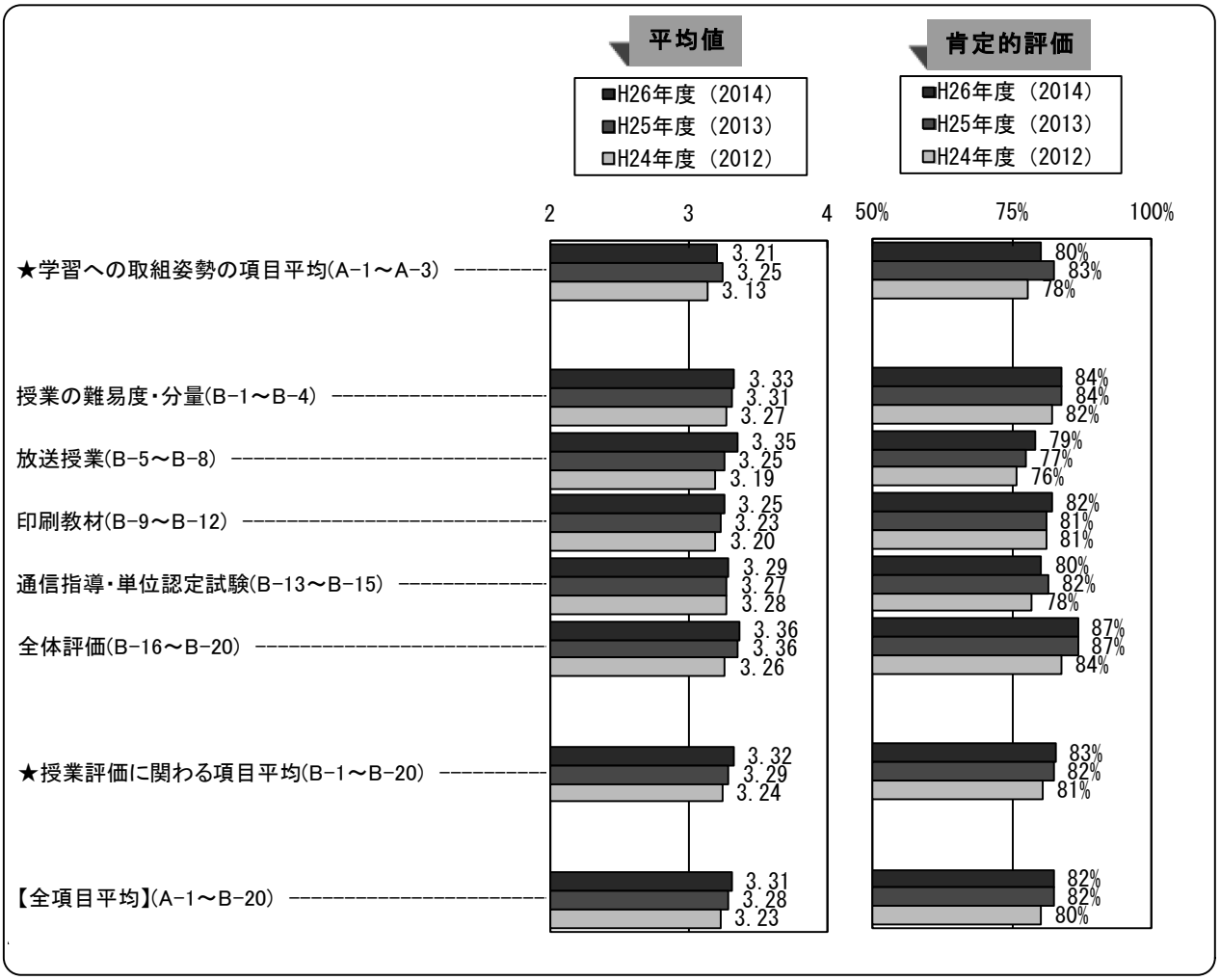
『授業評価に関わる項目平均』を内容ごとに見ると、『全体評価』は平均値 3.36、肯定的評価 87%と評価が高い。しかし『放送授業』『通信指導・単位認定試験』は平均値が高いが、肯定的評価では他の項目に比べてやや低い割合となっている。

図２－４７　【大学院】項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図２－４８）、2014 年度新規開設科目は、2013 年度新規開設科目に比べ、『学習への取組姿勢の項目平均』を時系列で見た場合は平均値、肯定的評価ともに前回よりやや低くなっている。その他ほとんどいずれの項目では、ほぼ昨年の水準を保っている。

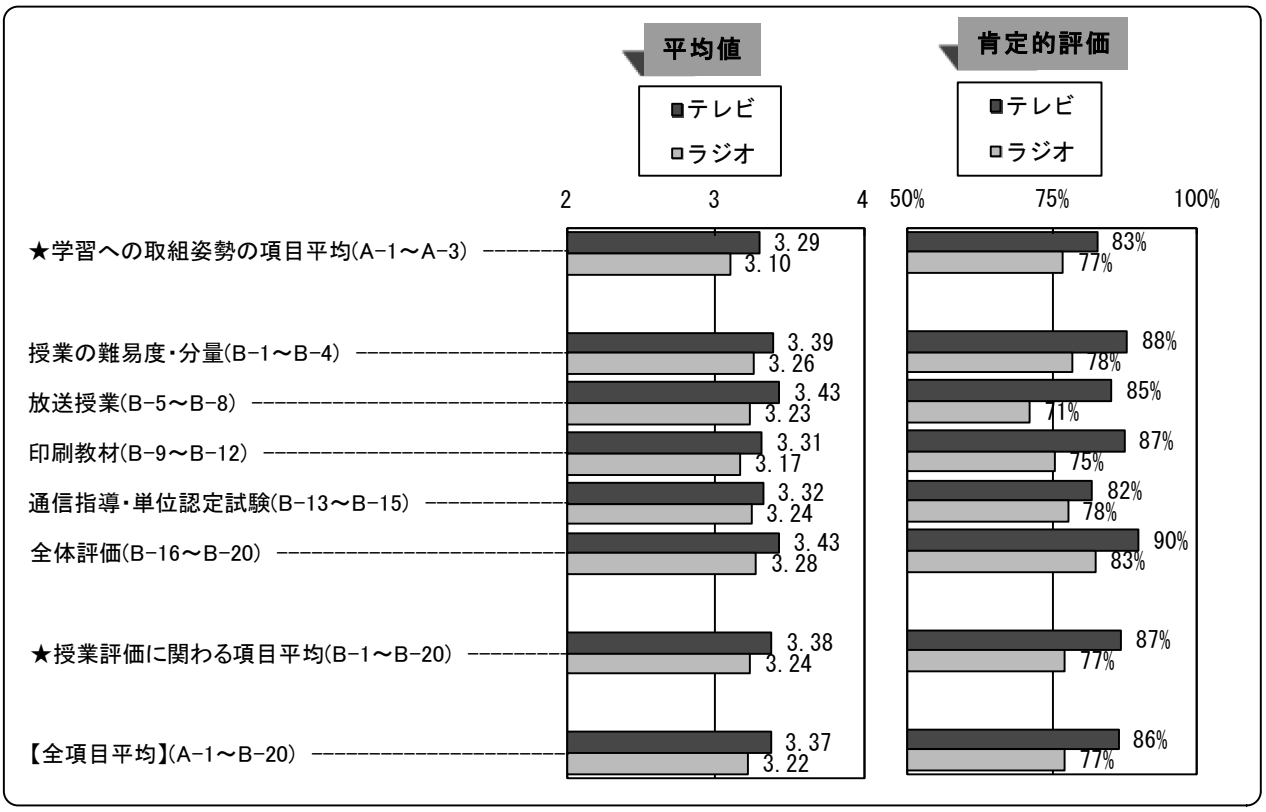
図２－４８　【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別に 2014 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図２－４９）、『学習への取組姿勢の項目平均』『授業評価に関わる項目平均』ともに、ラジオ科目に比べてテレビ科目の評価が高い。

特に『授業評価に関わる項目平均』では、平均値の差に比べ、肯定的評価の差が大きいことも特徴である。大学院の専門的な学習においては、聴覚よりも視覚で学習する方がよいという学生の考えが感じられる結果となっている。

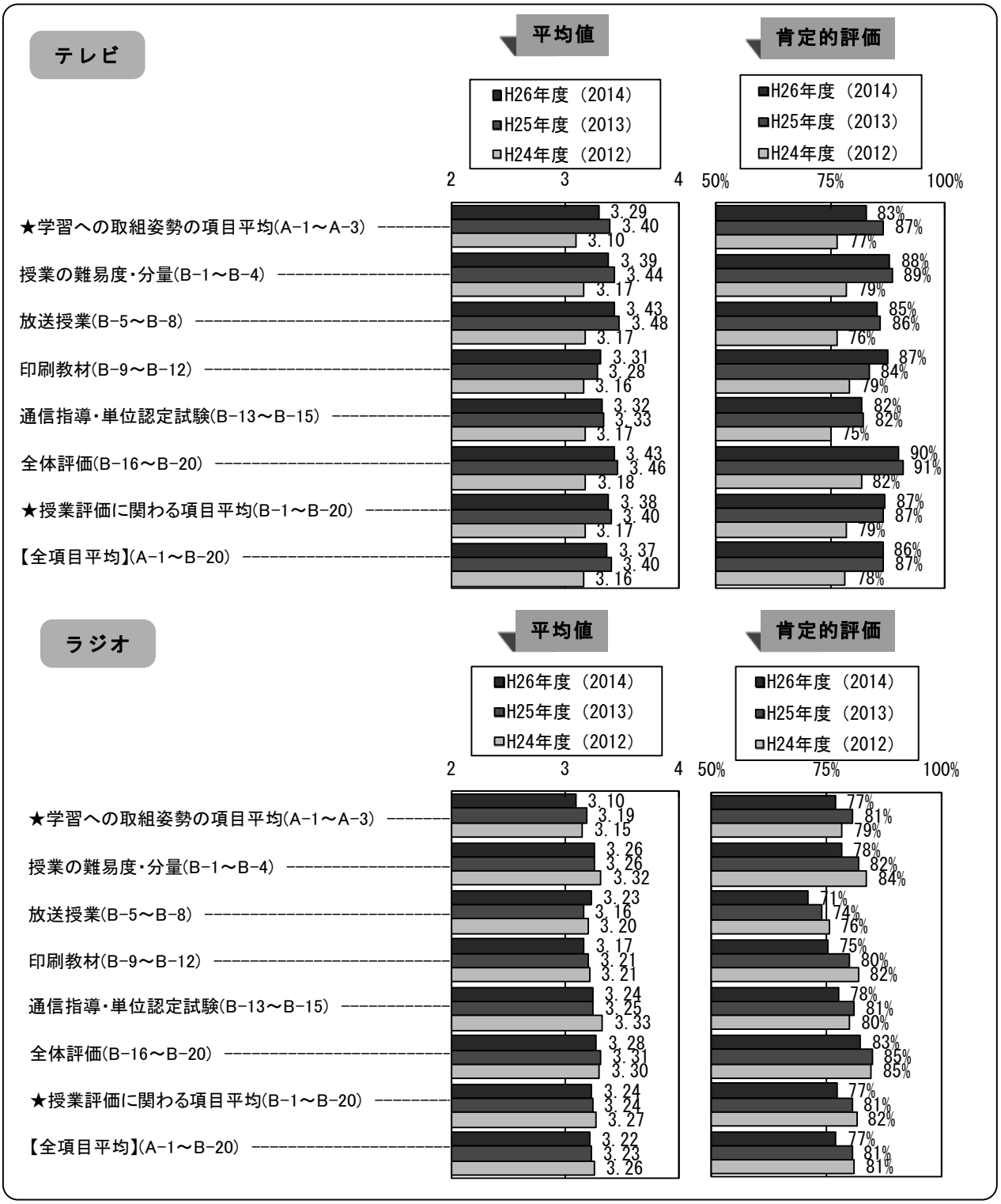
図２－４９　【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向



メディア別の項目平均を科目の開設年度で比較すると（図２－５０）、2014 年度新規開設科目では、2013 年度新規開設科目に比べ、テレビ科目は『学習への取組姿勢の項目平均』が低くなり、『授業評価に関わる項目平均』がやや低くなっている。

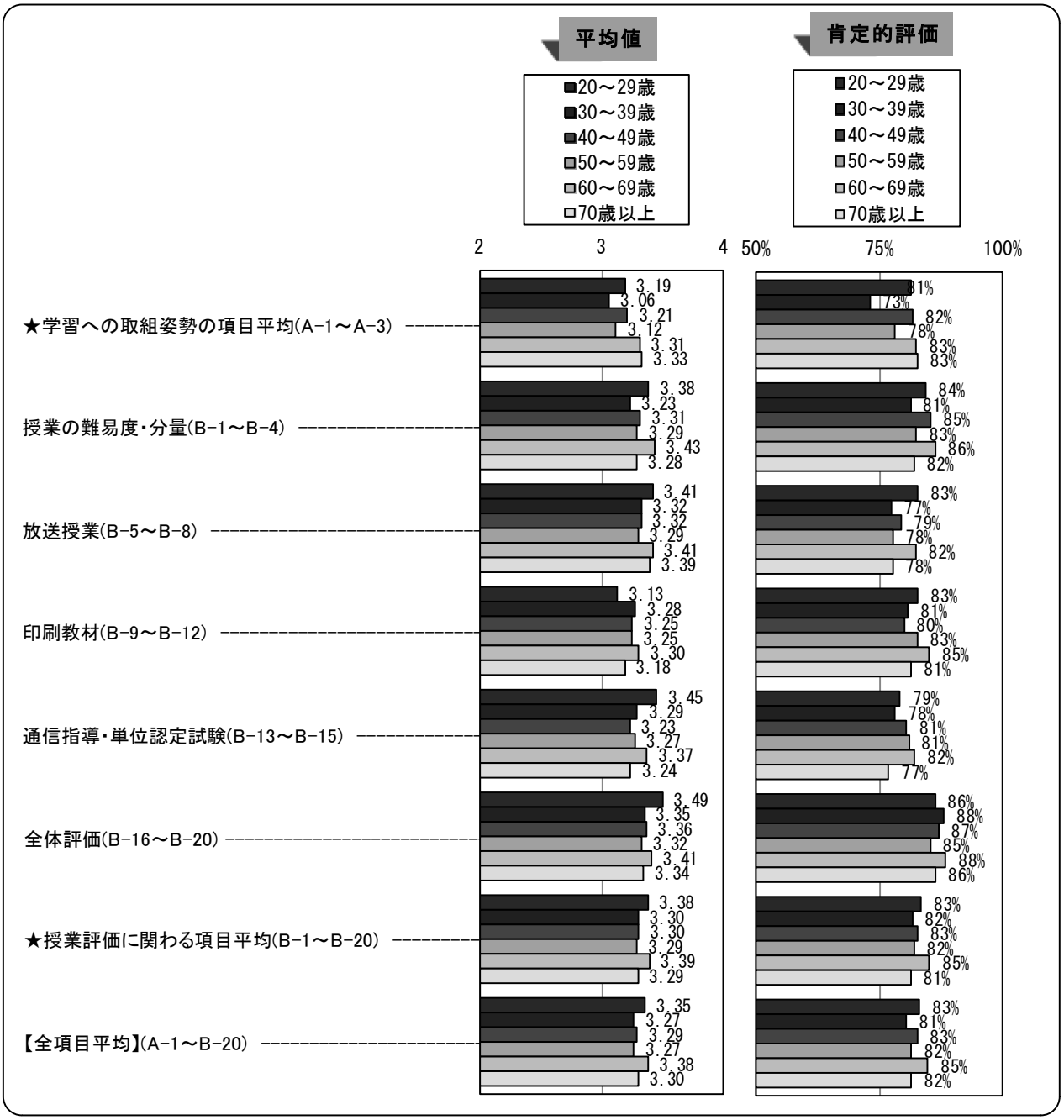
ラジオ科目では平均値はほぼ昨年の水準を保っているが、肯定的評価においては全ての項目で評価が低くなっている。

図２－５０　【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



回答者の年齢階層別で 2014 年度新規開設科目の項目平均を見ると（図２－５１）、ほとんいずれの項目において 20 歳代と 60 歳代が高い傾向にある。『印刷教材』の平均値は 20 歳代と 70 歳以上が突出して低いが、肯定的評価では高い割合となっている。

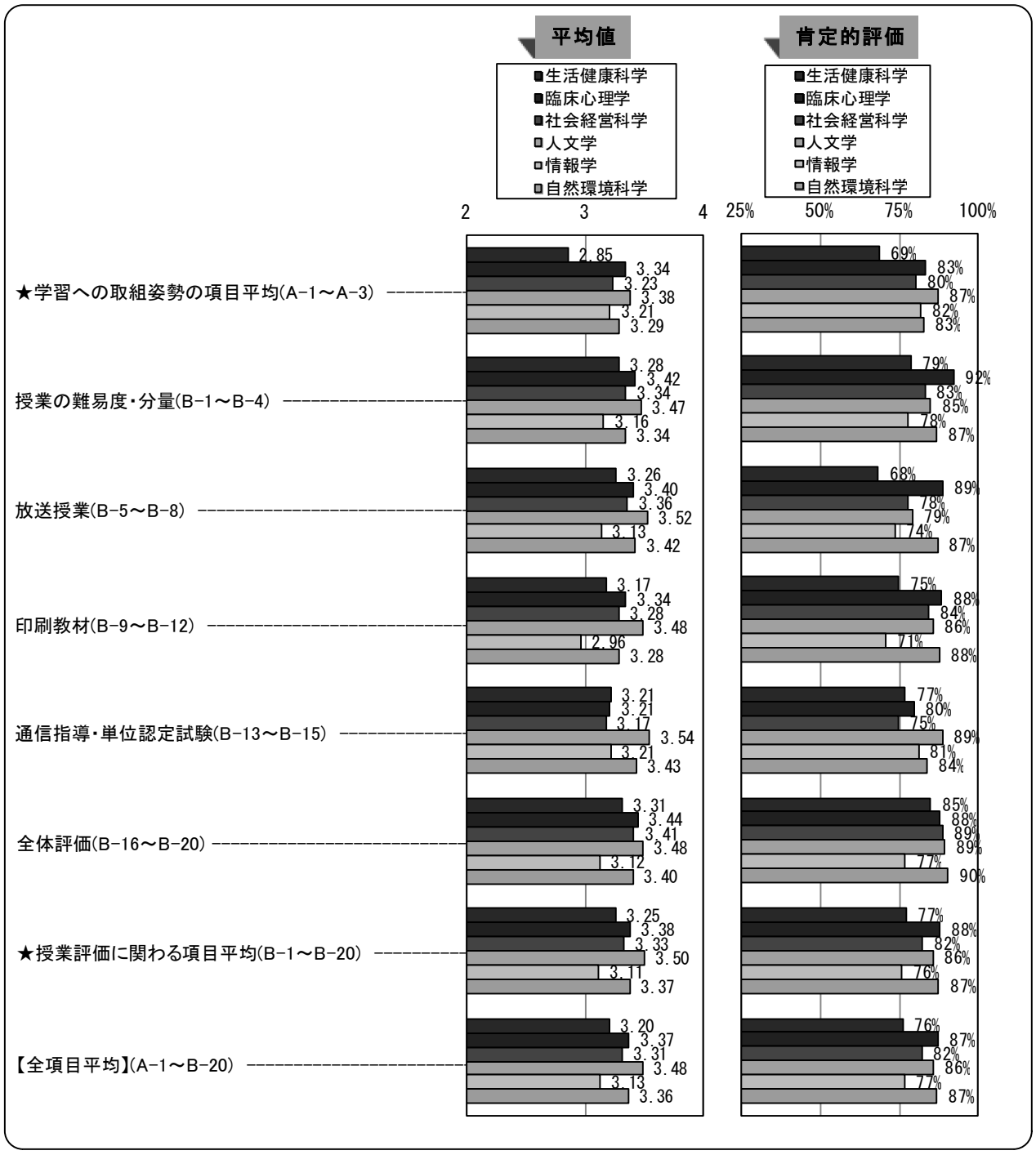
図２－５１　【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属プログラム別に項目平均を見ると（図２－５２）、『学習への取組姿勢の項目平均』は「人文学」、「臨床心理学」の値が高くなっている。

『授業評価に関わる項目平均』は、「臨床心理学」、「社会経営科学」、「人文学」、「自然環境科学」の評価が高い。一方で「生活健康科学」は多くの項目でやや低くなっており、改善が求められるプログラムである。

図２－５２　【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向

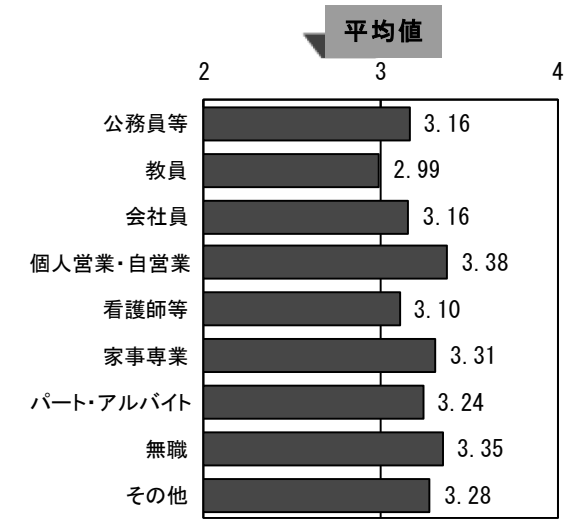


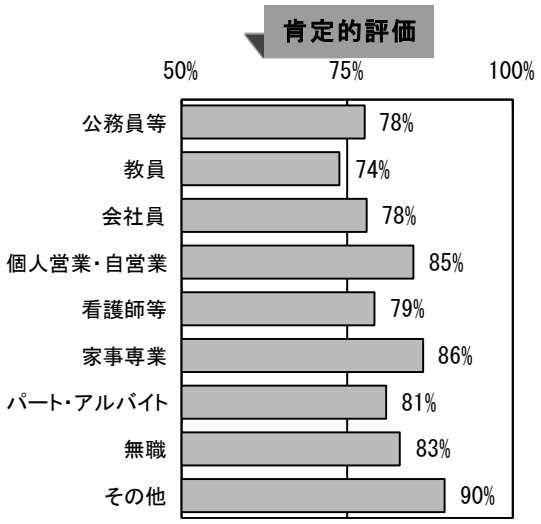
職業別に項目平均を見ると（次頁図２－５３）、『学習への取組姿勢の項目平均』は「個人営業・自営業」で評価が高く、「教員」で低くなっている。

『授業評価に関わる項目平均』は、「会社員」の評価がやや低めだが、他はまずまず高い水準になっている。

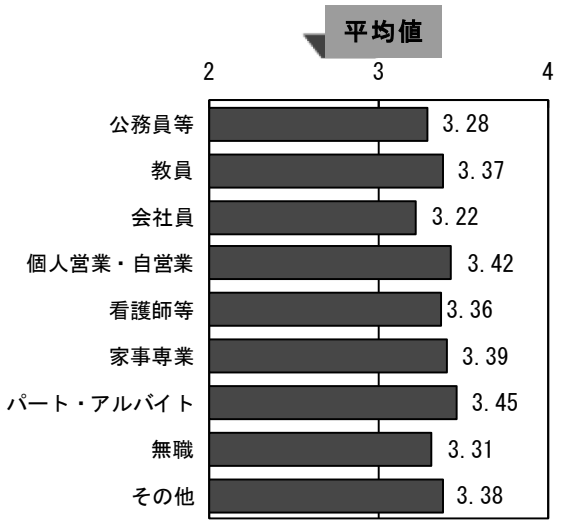
図２－５３　【大学院】項目平均による職業別全体的傾向

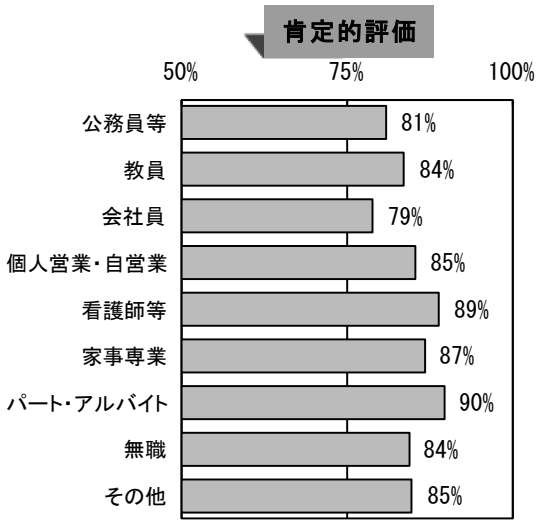
★学習への取組姿勢の項目平均（A-1～A-3）



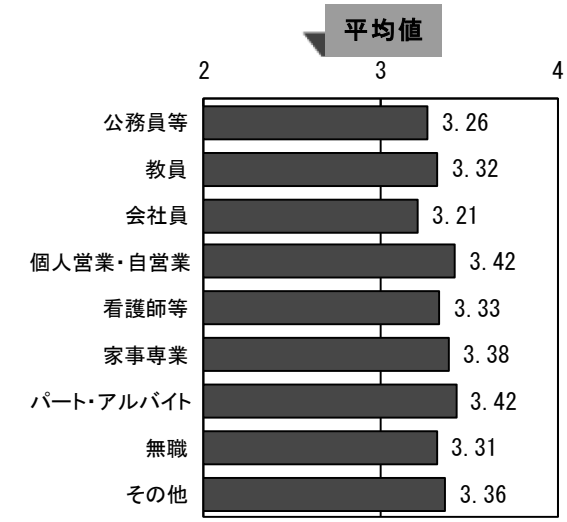


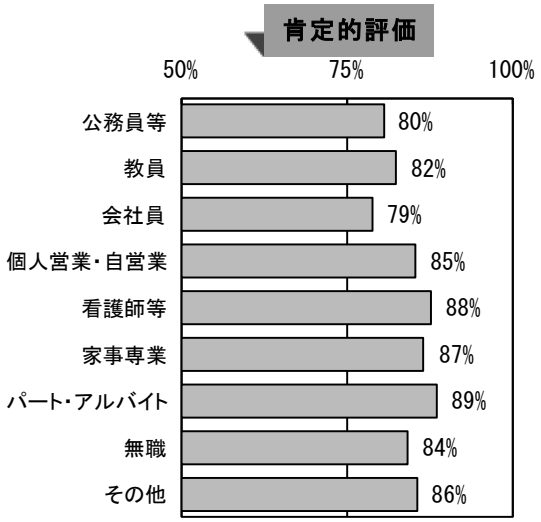
★授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）





【全項目平均】（A-1～B-20）



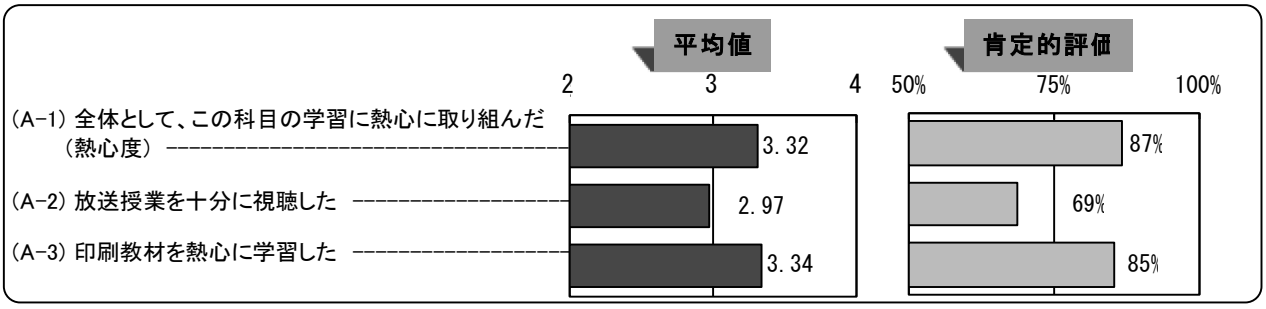


Ⅱ－２－２．学習への取組姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

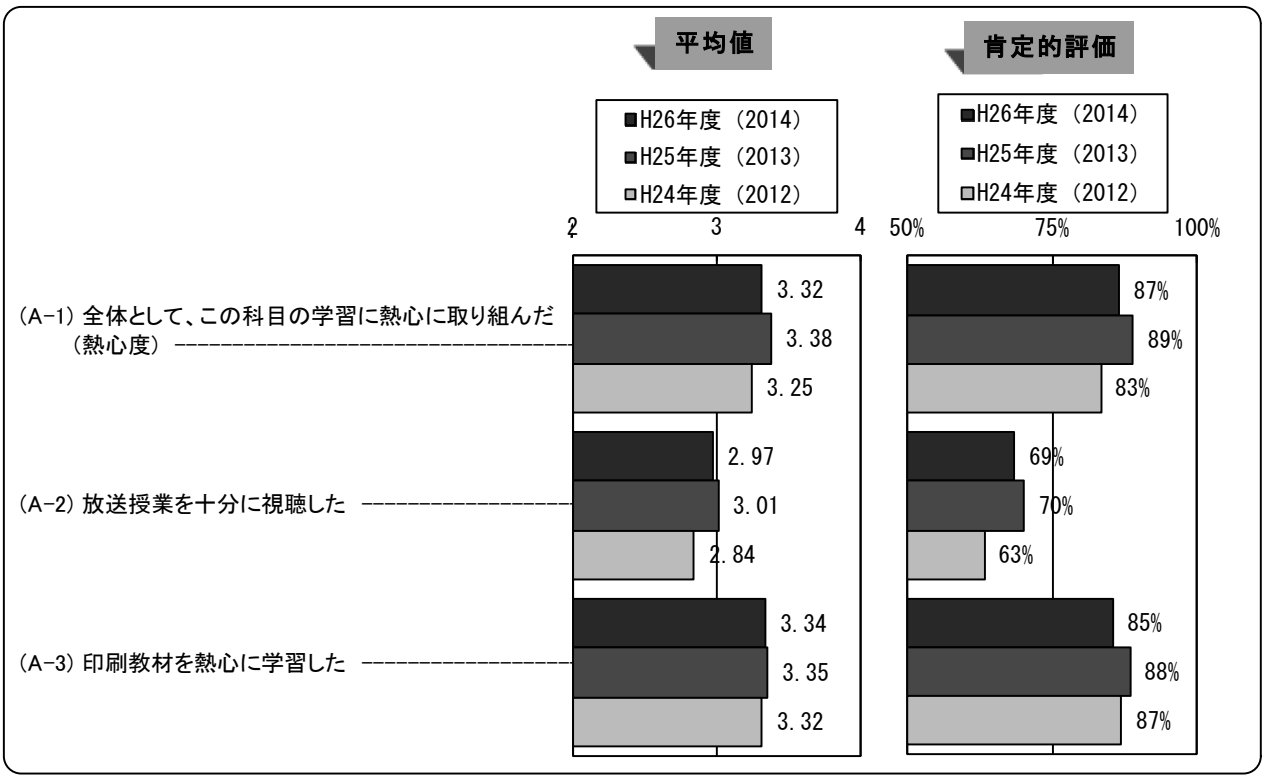
学習への取組姿勢（図２－５４）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度)」は、平均値 3.32、肯定的評価 87%で、熱心に学習されている。同様に（A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も平均値 3.34、肯定的評価 85%と高い。しかしこれらに比べると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、平均値 2.97、肯定的評価 69%と低くなっている。学部と同様、全体としては熱心に学習に取り組んでいるものの、印刷教材での学習が中心となっている。印刷教材に比べ放送授業の視聴度合いがよくないのは、時間的な制約も考えられるが、放送授業そのものの内容が影響しているとも考えられるので､今後もより興味を引く放送内容への改善努力を進めるべきであろう。

図２－５４　【大学院】回答者全体の取組姿勢



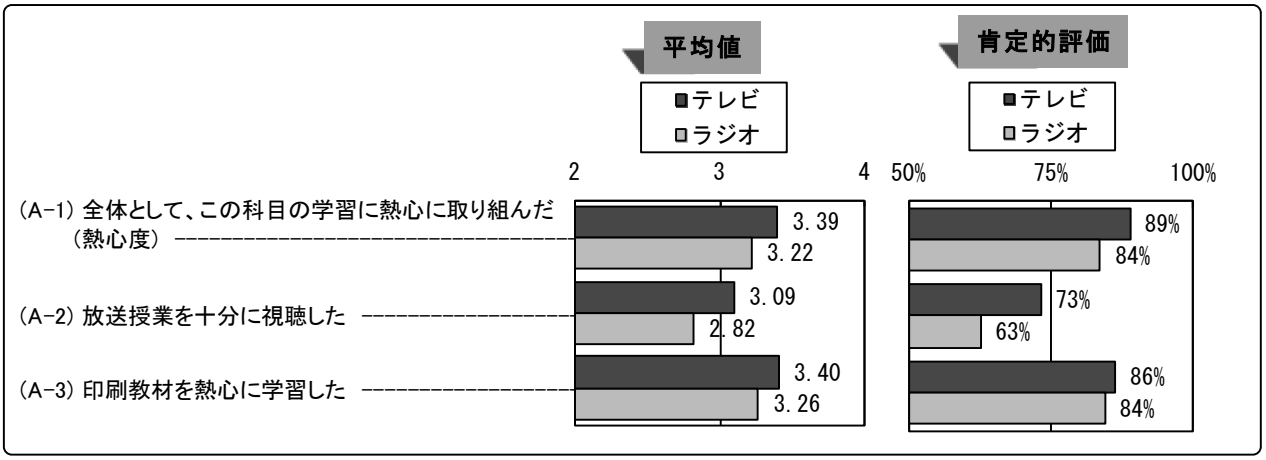
学習への取組姿勢を時系列で見ると（次頁図２－５５)、全ての項目において 2013 年度よりもわずかに下回っている事がうかがえる。(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の評価は通年において低い。

図２－５５　【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



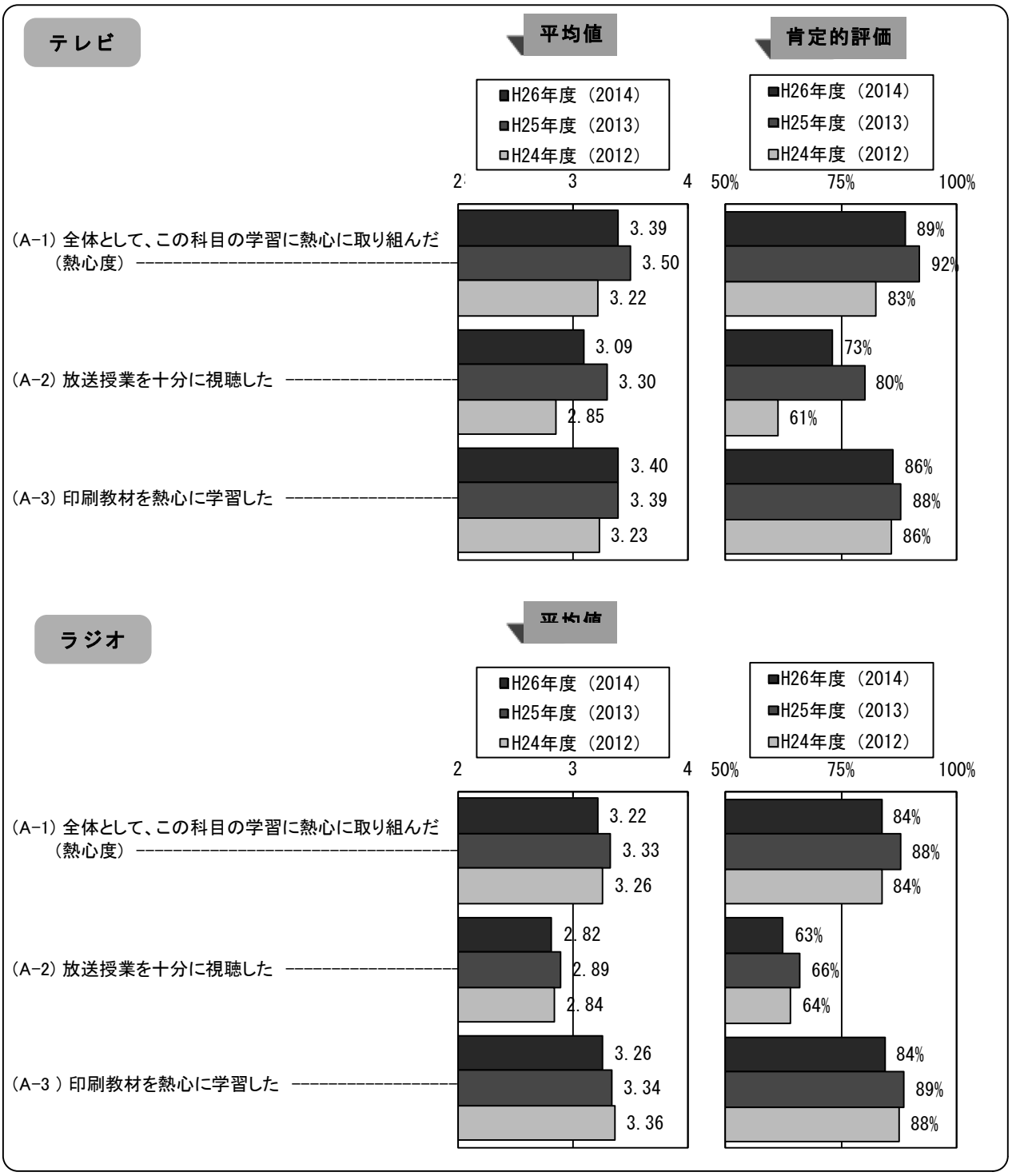
メディア別の取組姿勢を見ると（図２－５６）、いずれの項目においても、テレビ科目の方がラジオ科目より高い。(A-2)「放送授業を十分に視聴した」ではラジオ科目がかなり低くなっている。テレビ科目の視聴度はやや高いが、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では、ラジオ科目が同等の数字であるのに対し、テレビ科目は若干低くなっている。今後もテレビ科目、ラジオ科目ともに授業内容の見直し等を行うことにより、放送授業の視聴を上げていく必要があるだろう。

図２－５６　【大学院】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（次項図２－５７）、2014 年度新規開設科目では 2013 年度新規開設科目に比べいずれの項目でも下回る評価となっている。特に評価が低下したのはテレビ科目の（A-2)「放送授業を十分に視聴した」である。

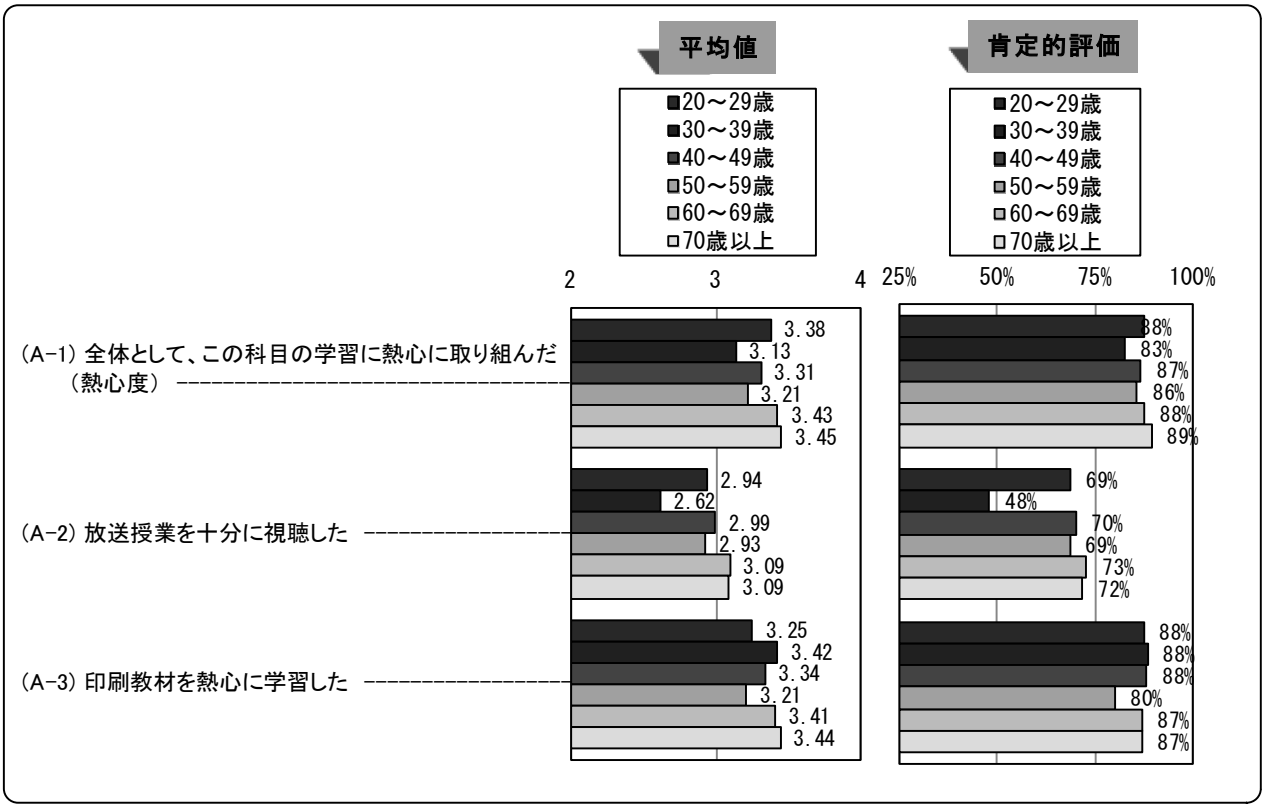
図２－５７　【大学院】メディア別の取組姿勢（時系列）



年齢階層別に取組姿勢を見ると（図２－５８）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度)」では全ての年齢階層で評価が高く、同様に(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が全ての年齢階層で評価が高い。一方で（A-2)「放送授業を十分に視聴した」では全体的にやや低い傾向の中、30 歳代の評価が際立って低い。

総じて全ての年齢階層で放送授業と印刷教材では印刷教材で熱心に学習していることがうかがえる。

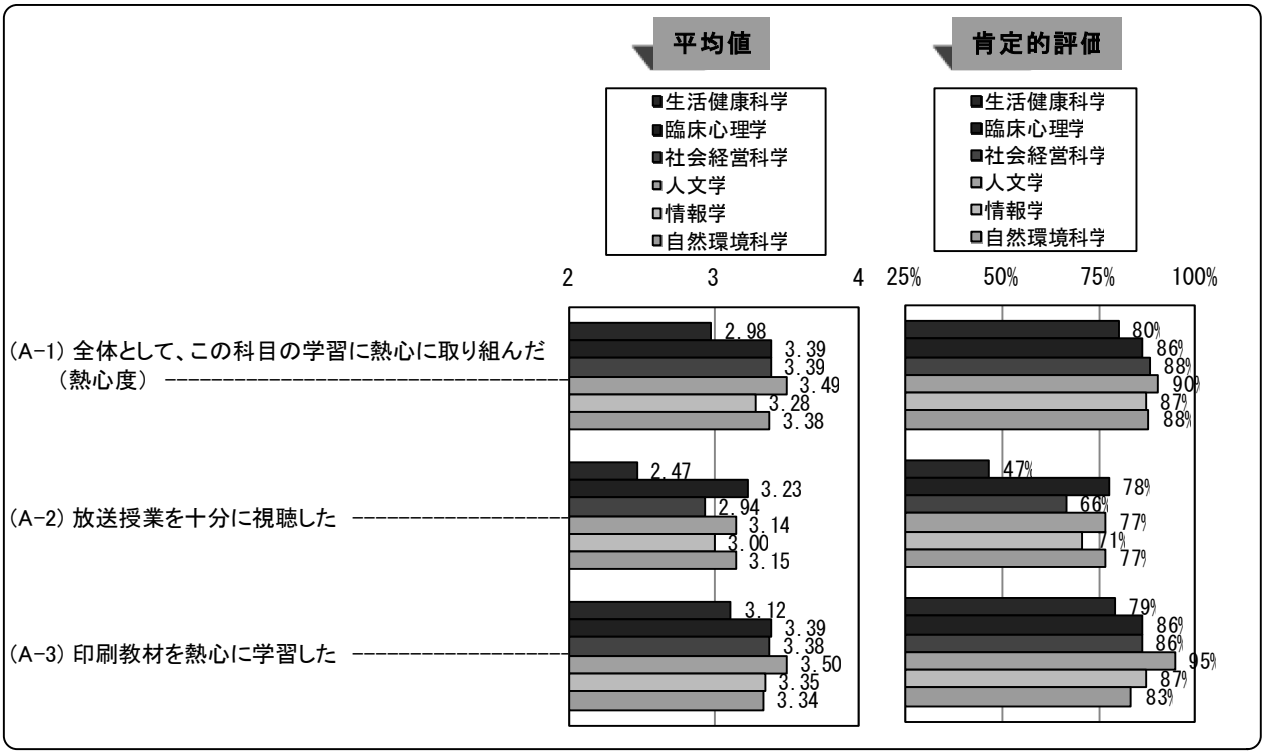
図２－５８　【大学院】年齢階層別の取組姿勢



所属プログラム別に取組姿勢を見ると（図２－５９）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では「人文学」で肯定的評価が高く、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」においても「人文学」が高い値を示している。

また、「生活健康科学」はいずれの項目でも評価が低く、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」に至っては 50% を割り込んでいる。昨年度は評価が高かったプログラムなので、原因の解明と改善策が求められる。

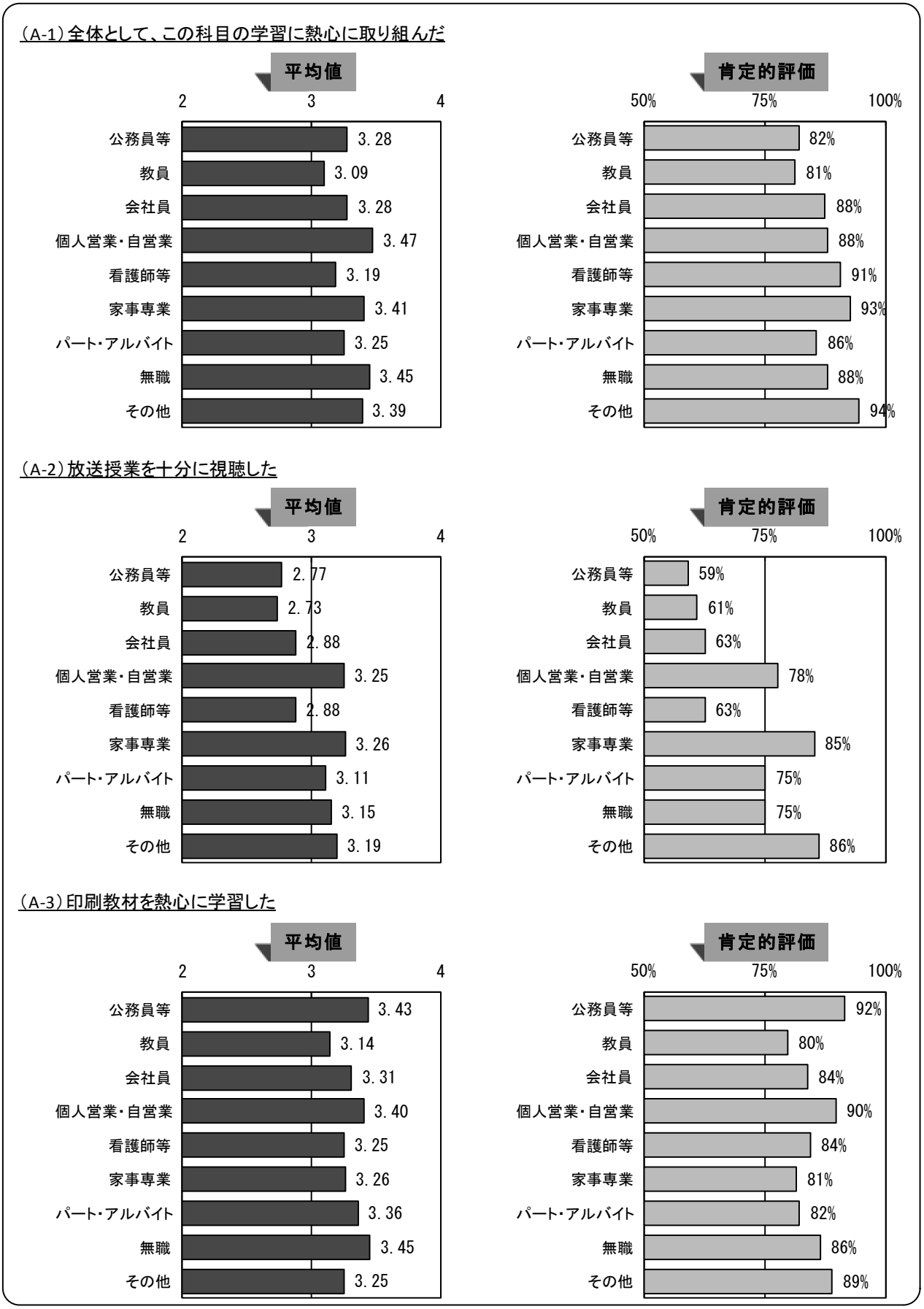
図２－５９【大学院】所属プログラム別の取組姿勢



職業別に取組姿勢を見ると（次頁図２－６０）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では全体的に評価が高いが、「教員」「看護師等」は評価がやや低い。(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」ではいずれの職業も取組姿勢は一定の高い水準を示している。

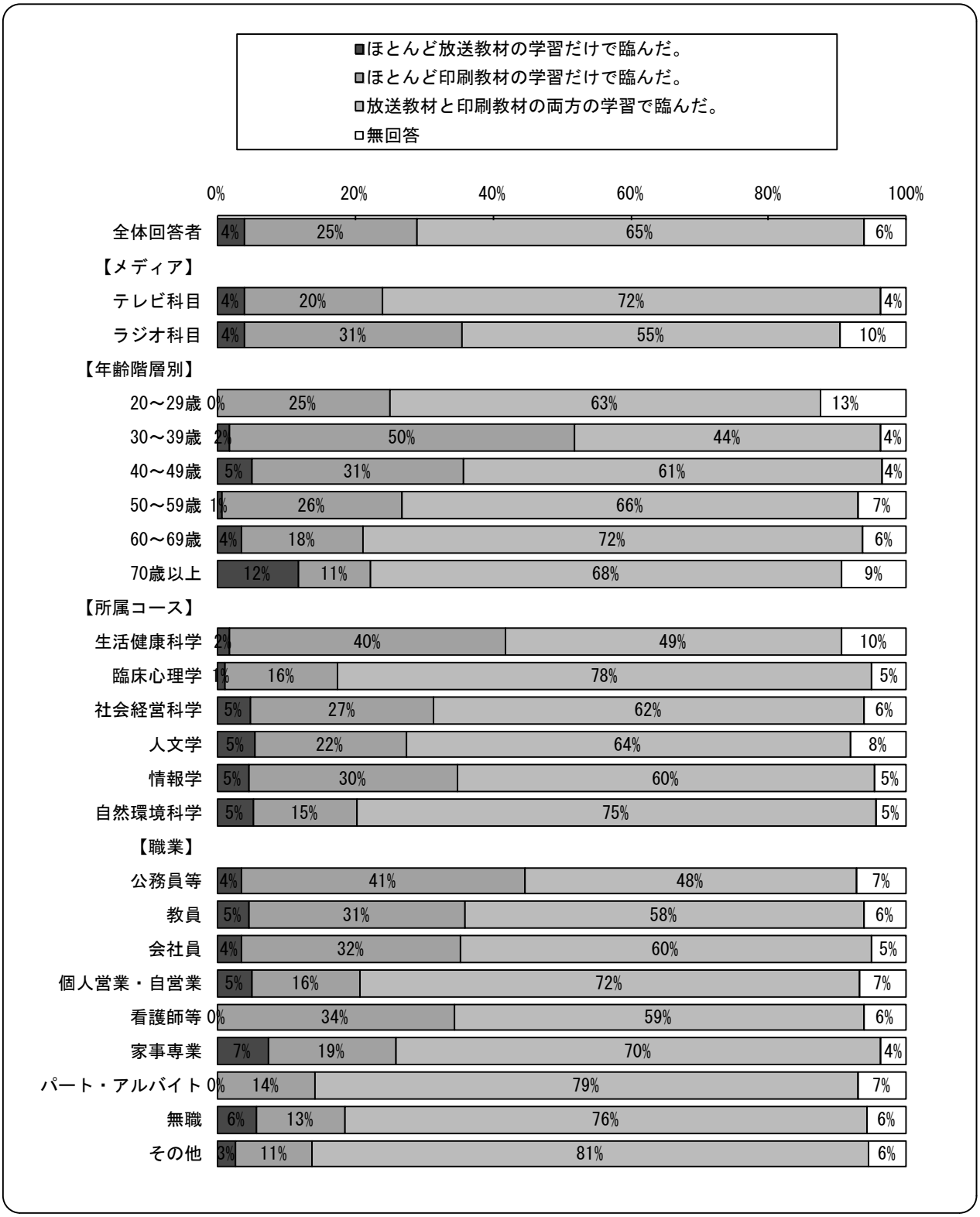
(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では、いずれの職業も低めの値だが、「個人営業・自営業」「家事専業」ではやや高めの値である。

図２－６０【大学院】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法（図２－６１）は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が 65%を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が 25%となっている。「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は極めて少なく、年齢階層別の 20 歳代、職業別では「看護師等」「パート・アルバイト」では 0%である。

図２－６１【大学院】単位認定のための学習方法



Ⅱ－２－３．大学院の授業評価

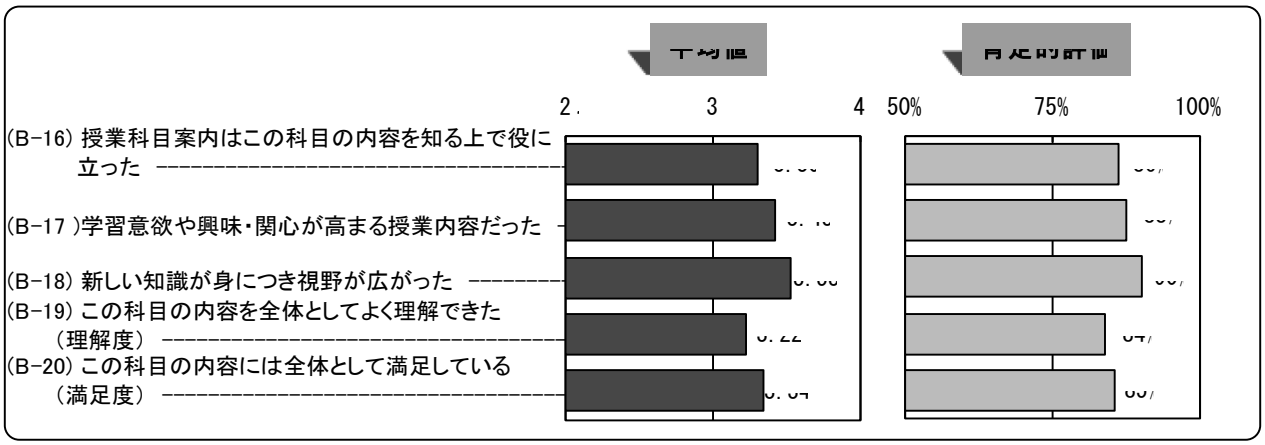
（1）全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくこととする。

まず全体評価を見ると（図２－６２）、いずれの項目も高い評価となっている。特に(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」は、平均値 3.53、肯定的評価 90%と非常に高くなっている。

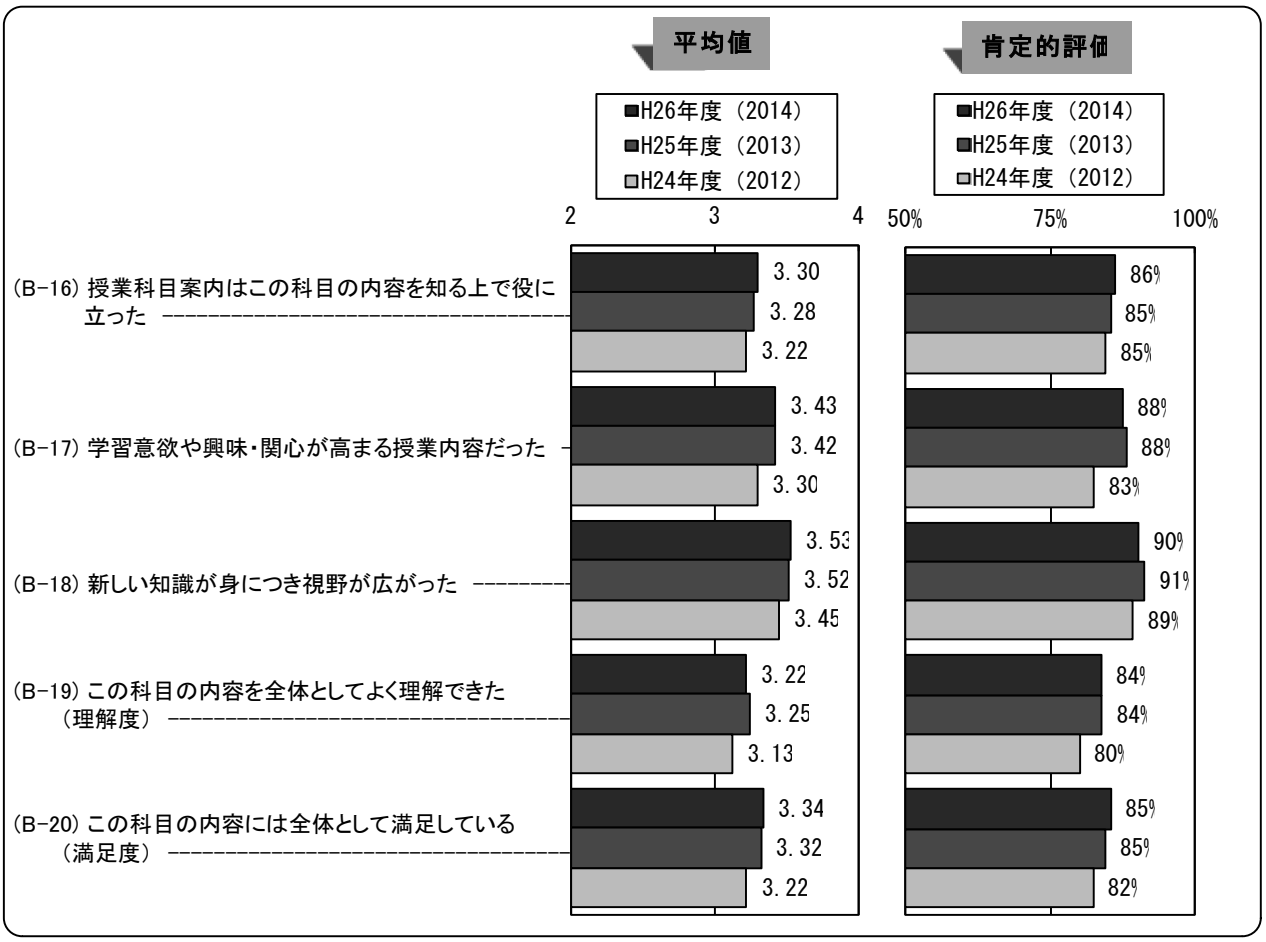
(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度)」も平均値 3.34、肯定的評価 85%と高い満足度を示しているのに対し、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度)」では、平均値 3.22、肯定的評価 84%となり、満足度と理解度にやや矛盾を感じる結果となっている。

図２－６２【大学院】回答者全体の全体評価



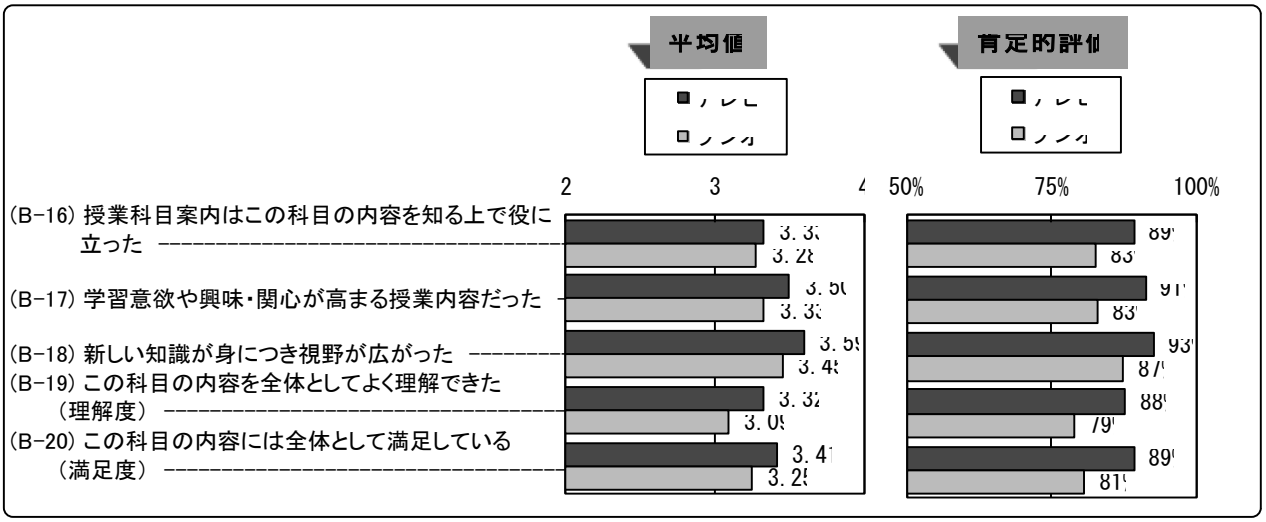
全体評価を時系列で見ると（図２－６３）、全ての項目において 2014 年度は 2013 年度の水準とほぼ変わらない値を維持している。

図２－６３【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



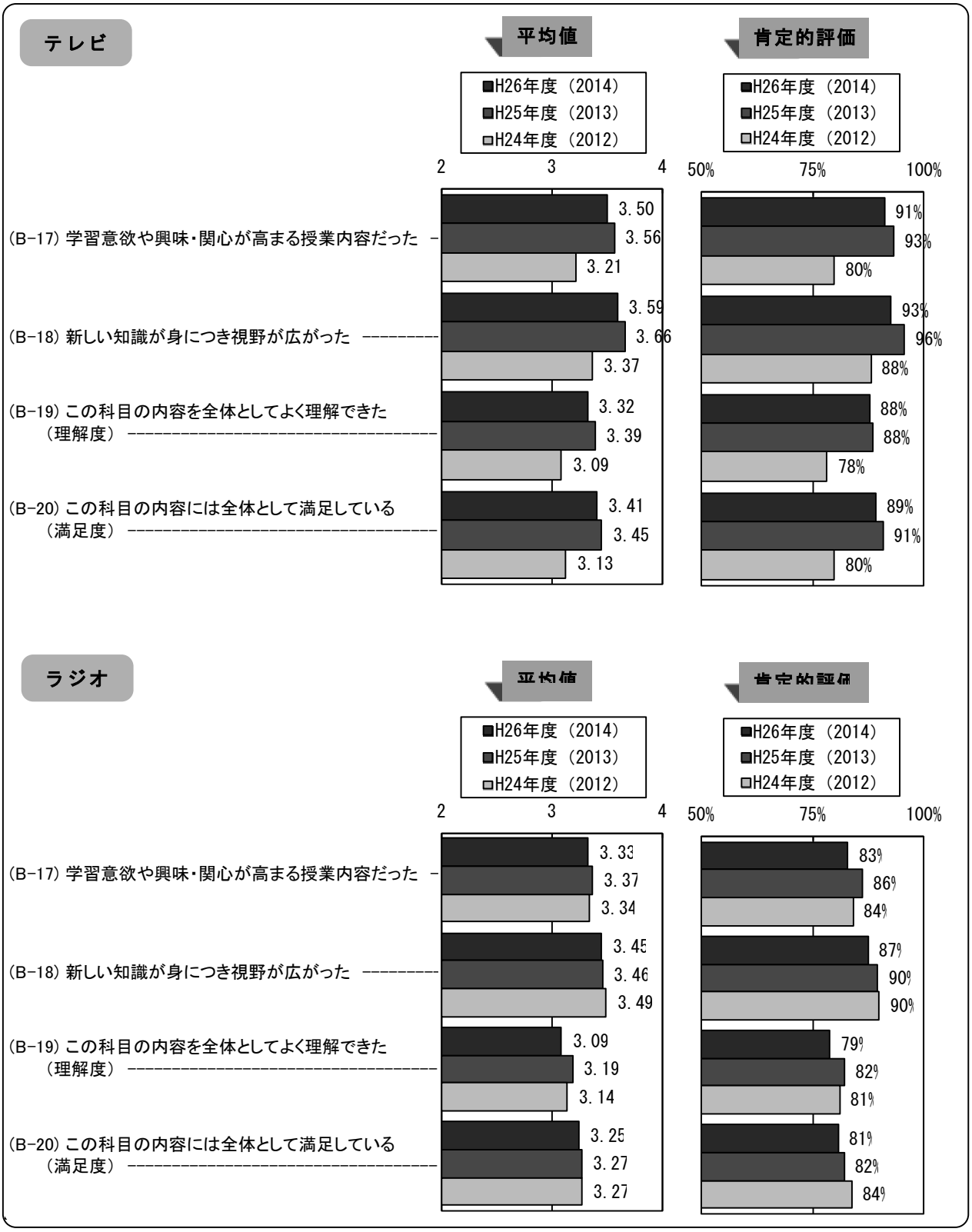
メディア別に全体評価を見ると（図２－６４）、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」のラジオ科目がやや低いが全体的に評価は高い。特に（B-18）「新しい知識が身につき視野が広がった」のテレビ科目では平均値 3.59、肯定的評価 93%と非常に高くなっている。

図２－６４【大学院】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（次頁図２－６５）、テレビ科目は、いずれの項目も 2013 年新規開設科目に比べ 2014 年新規開設科目でやや低くなっているものの、全体的には高い評価を維持している。ラジオ科目は、2013 年新規開設科目に比べ 2014 年新規開設科目ではいずれの項目においてもやや低下している。

図２－６５【大学院】メディア別の全体評価（時系列）

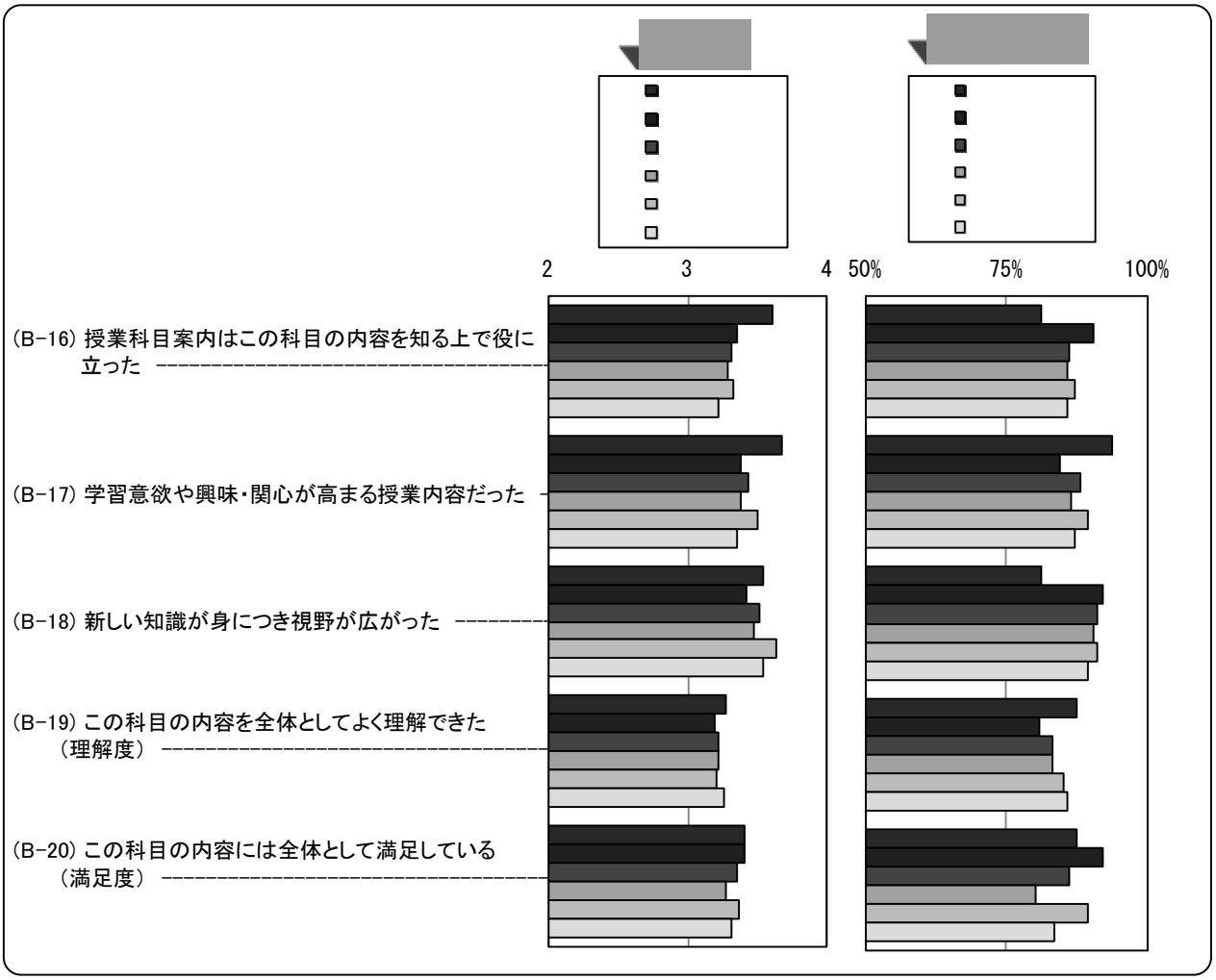


年齢階層別に全体評価を見ると（図２－６６）、全体的に評価が高いことがわかる。

（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」では 50 歳代の評価が低くなっているものの、平均値では 3.27、肯定的評価では 80%と高い水準にはある。

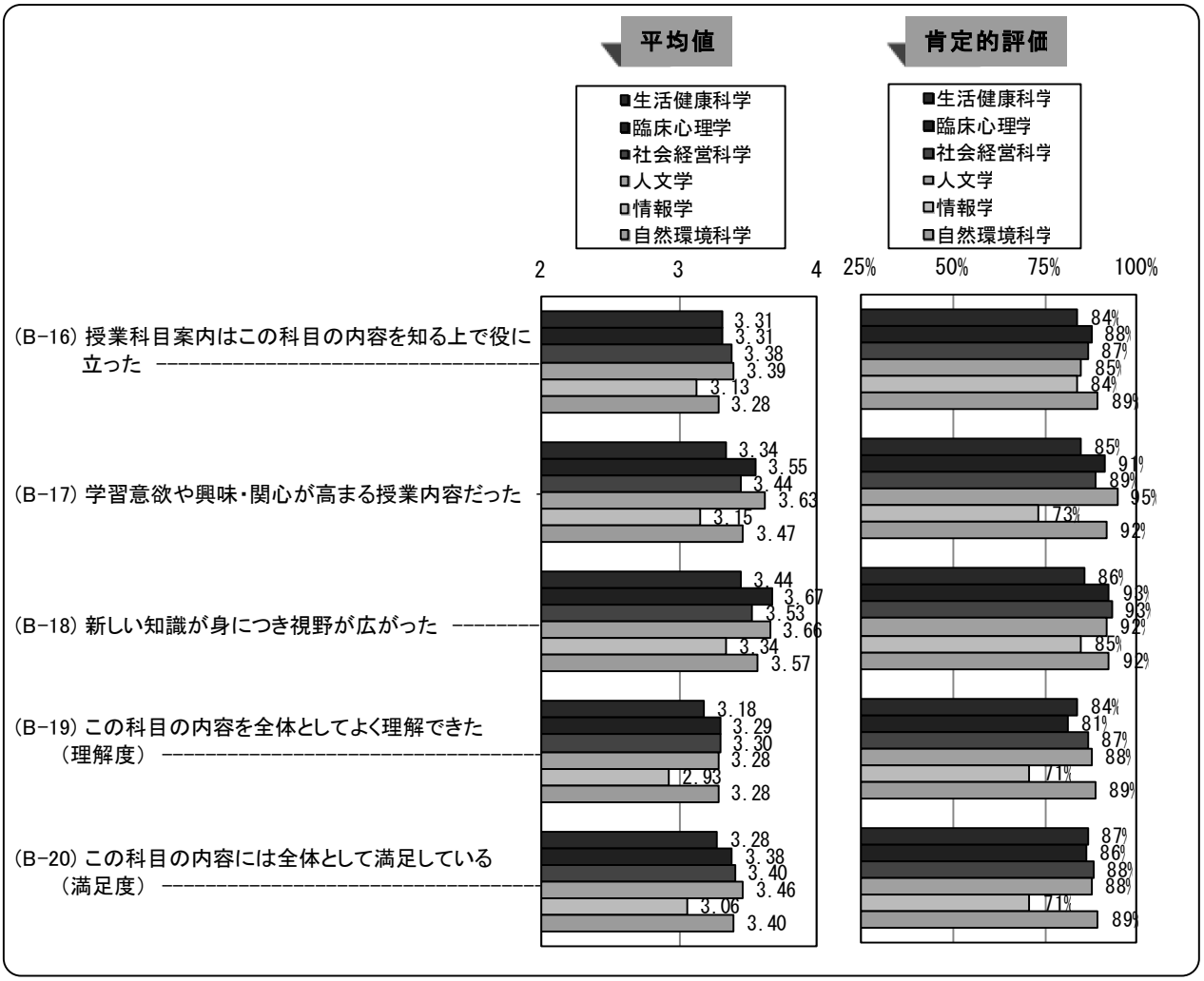
総じて、ほとんどの年齢層でいずれの項目においても平均値は 3.20 以上で、肯定的評価は 80%以上になっており、高い水準である。

図２－６６【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価を見ると（図２－６７）、ほとんどのプログラムで高水準の値を示している中、「情報学」は（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」、（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」で低い値を示している。

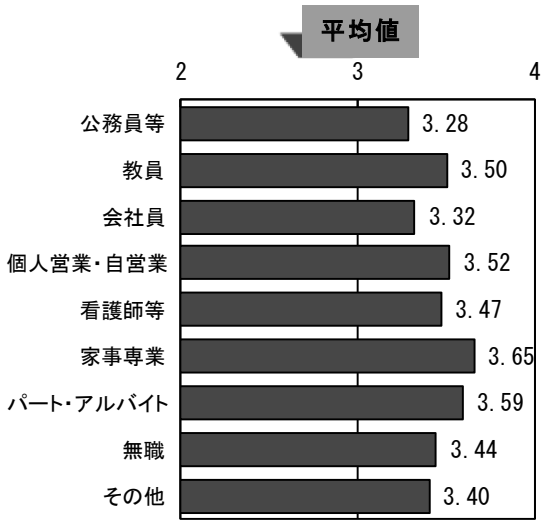
図２－６７【大学院】所属プログラム別の全体評価

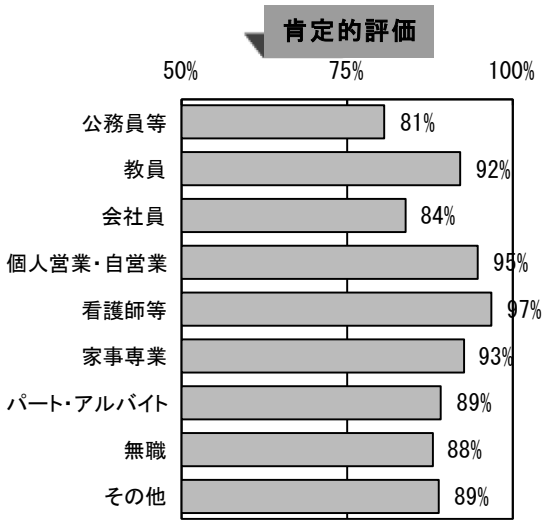


職業別に全体評価を見ると（次頁図２－６８）、（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は「公務員等」「会社員」がやや低く、その他の職業ではまずまずの高い評価となっている。（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」では「公務員等」が他の職業に比べ低く、（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」においては全体的に一定の水準の評価である。

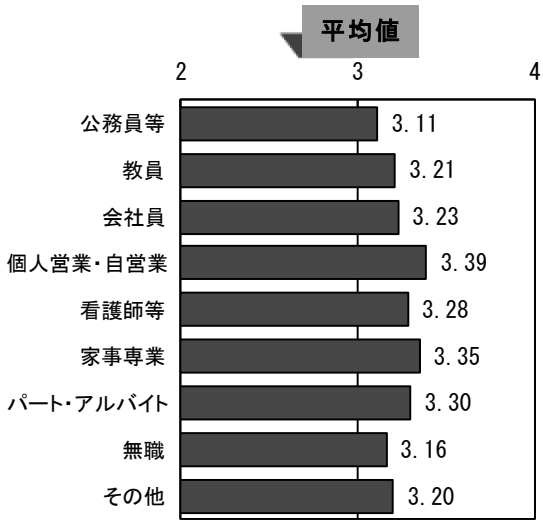
図２－６８【大学院】職業別の全体評価

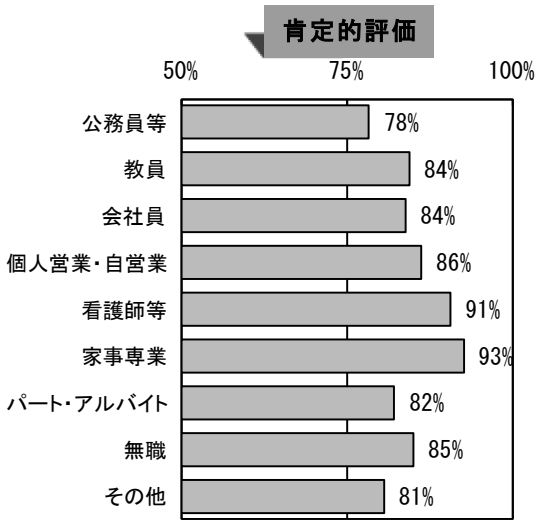
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



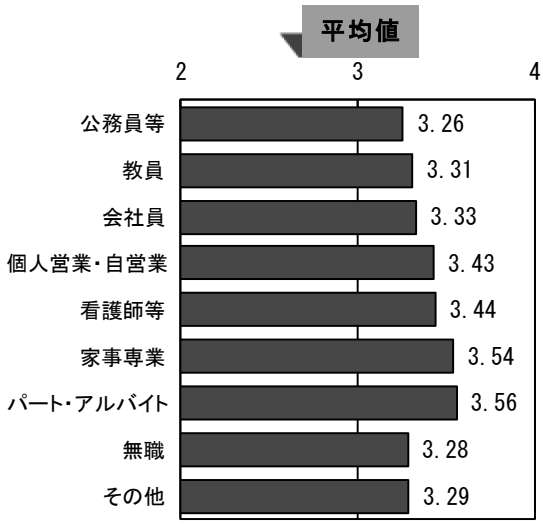


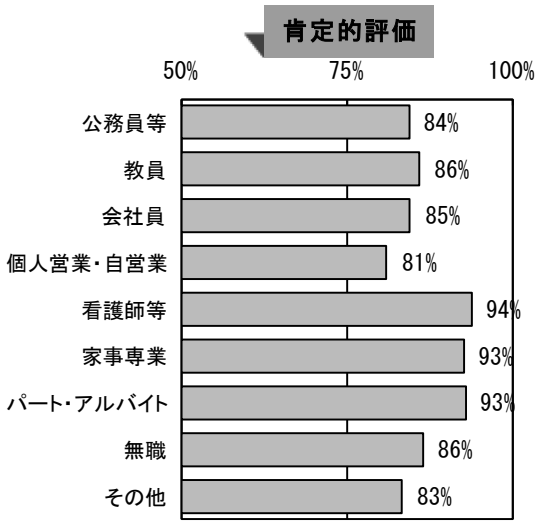
(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)





(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)



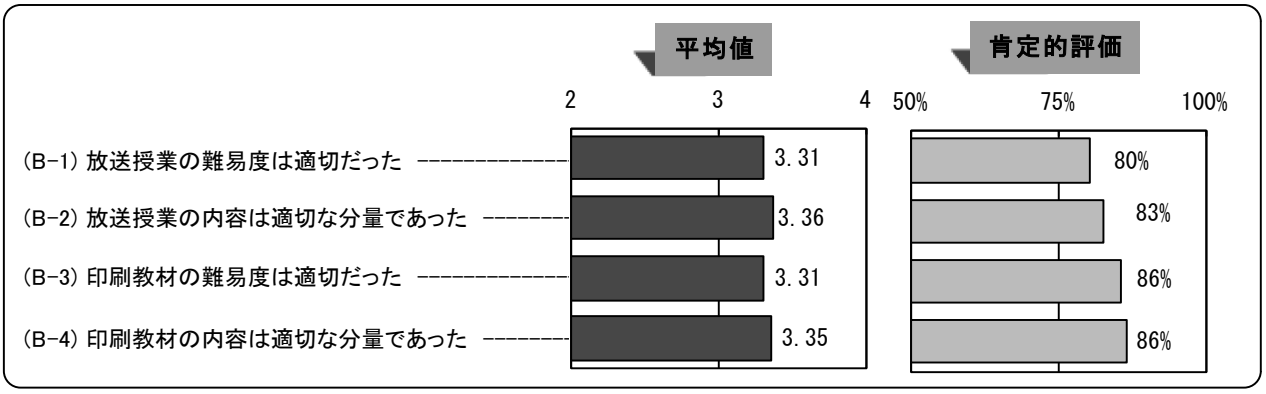


（２）授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について、評価項目ごとに見ていく。

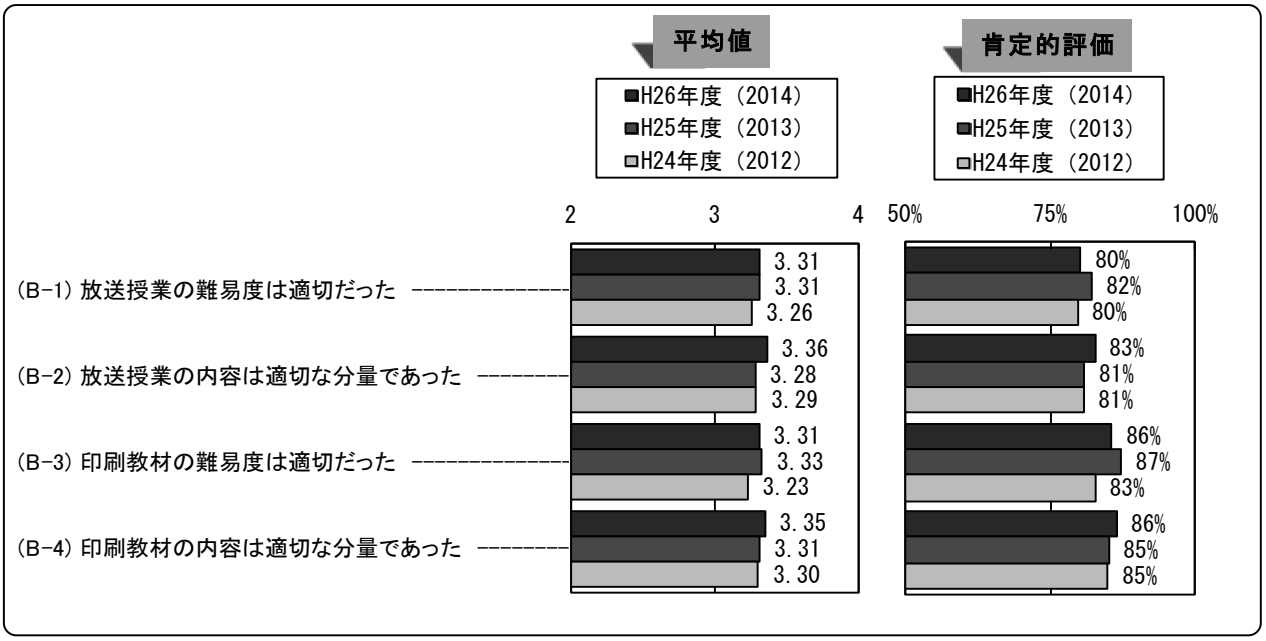
授業の難易度･分量の評価は(図２－６９)､いずれも高い評価となっている。ただし、印刷教材に比べ、放送授業は肯定的評価において難易度・分量ともやや低い。

図２－６９【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



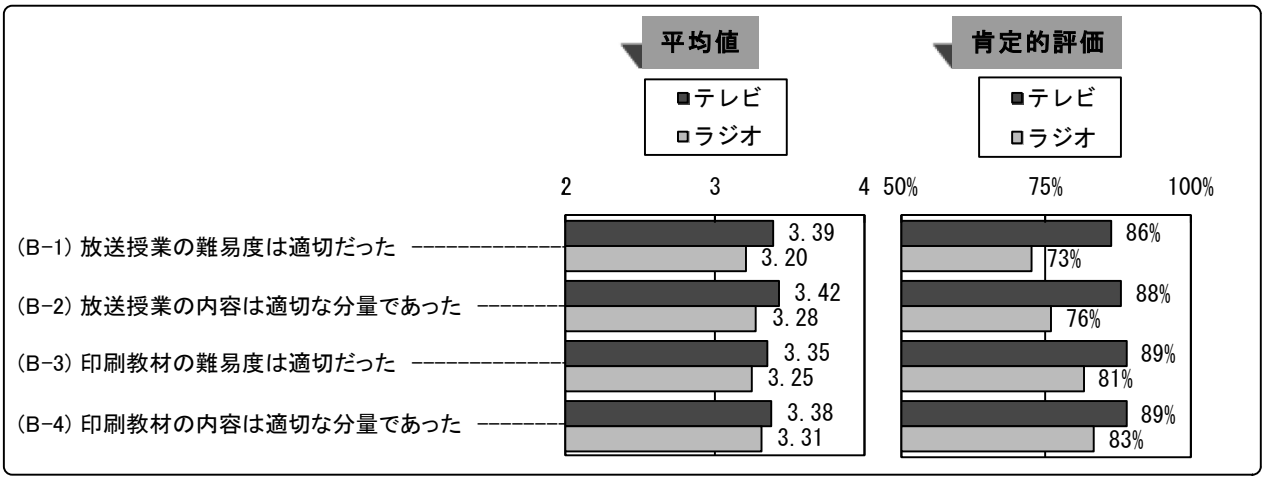
授業の難易度・分量の評価を開設年度で比較すると（図２－７０)、いずれの項目でも2013 年度と同程度の水準を保っている。

図２－７０【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図２－７１）、全体的にテレビ科目に比べてラジオ科目の評価が低くなっている。

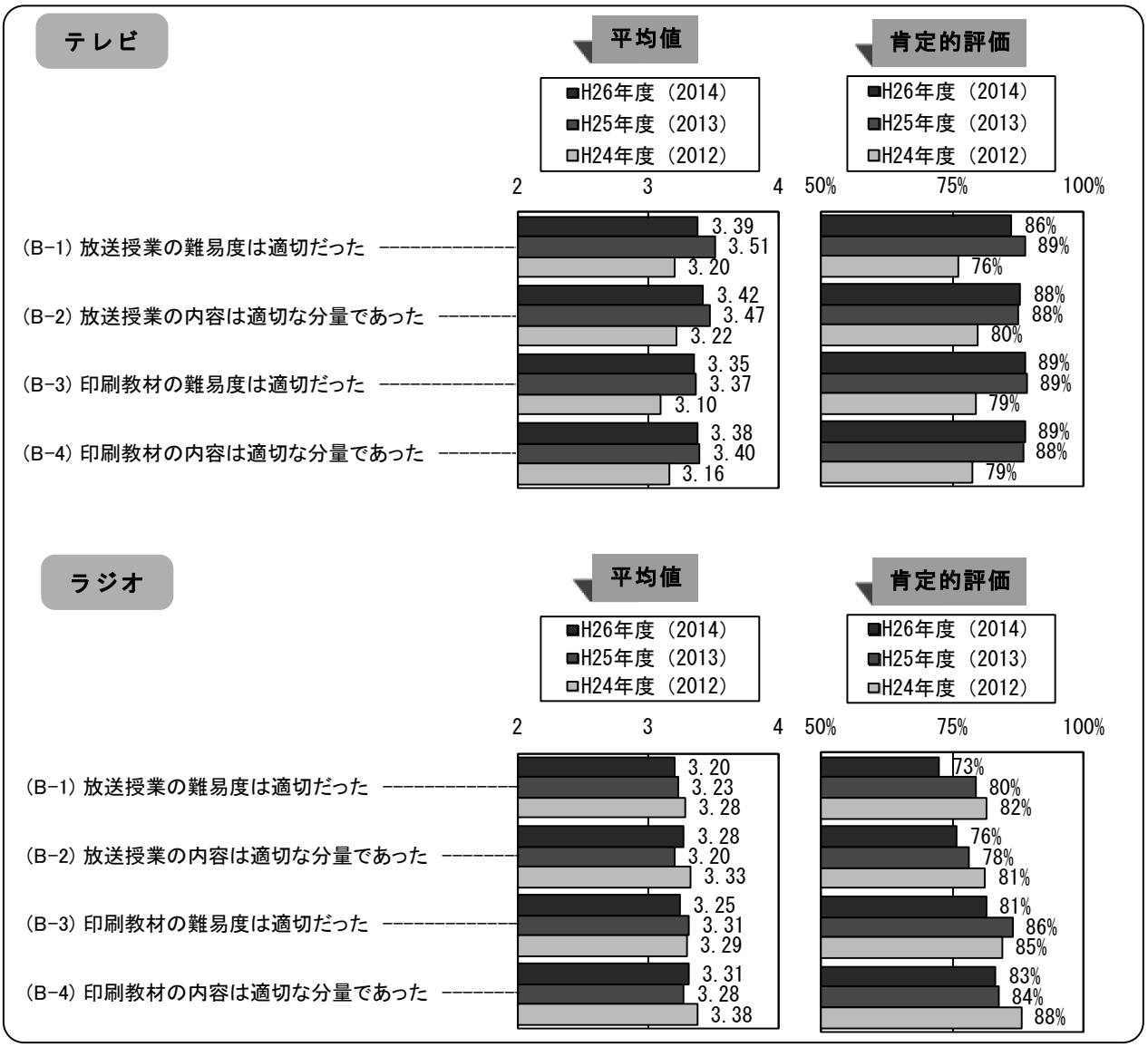
図２－７１【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図２－７２）、テレビ科目はまずまずの高い水準ではあるが、(B-1)「放送教材の難易度は適切だった」、(B-2)「放送教材の内容は適切な分量だった」で 2013 年度より平均値が低くなっているのが注目される。

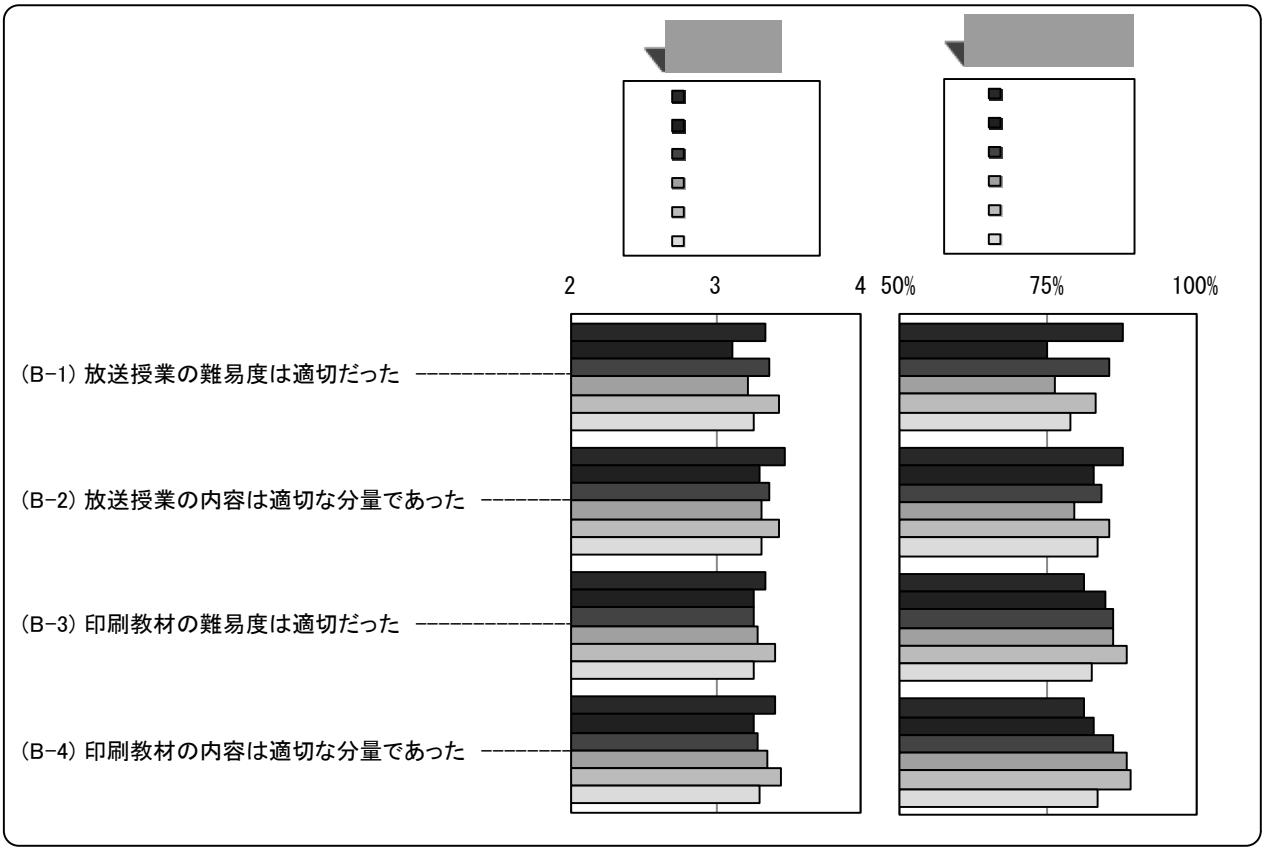
ラジオ科目は全ての項目の評価が前年度より低いが、（B-1)「放送教材の難易度は適切だった」、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」の肯定的評価の落ち込みが特に大きい原因を精査すべきであろう。

図２－７２【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図２－７３）、放送授業の難易度が 30 歳代、50 歳代、70 歳以上で低くなっているのが特徴的である。

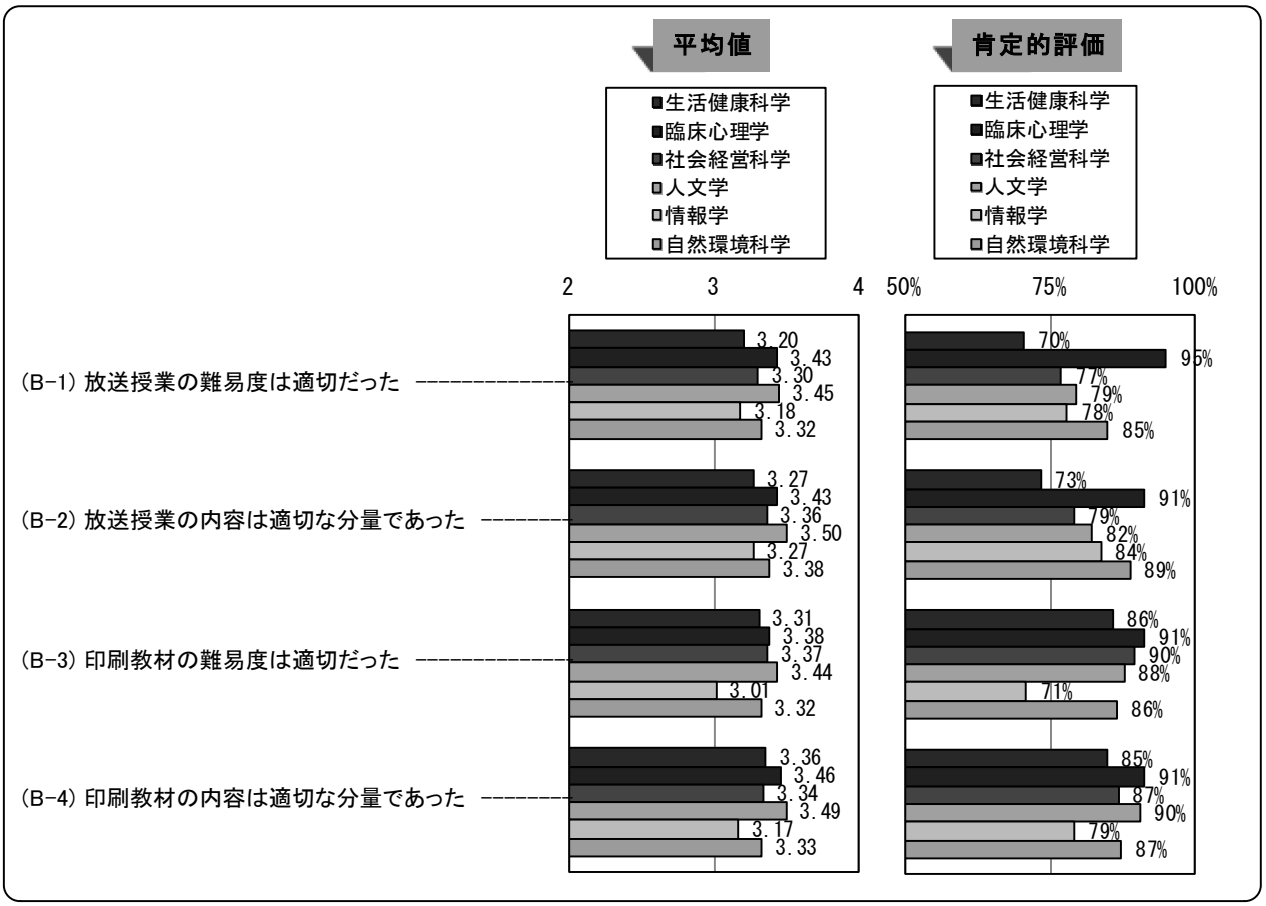
図２－７３【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図２－７４）、「臨床心理学」が肯定的評価においてはいずれの項目も 90%以上と突出して高い。

放送授業では難易度・分量ともに「情報学」の評価がいずれの項目でも低い。

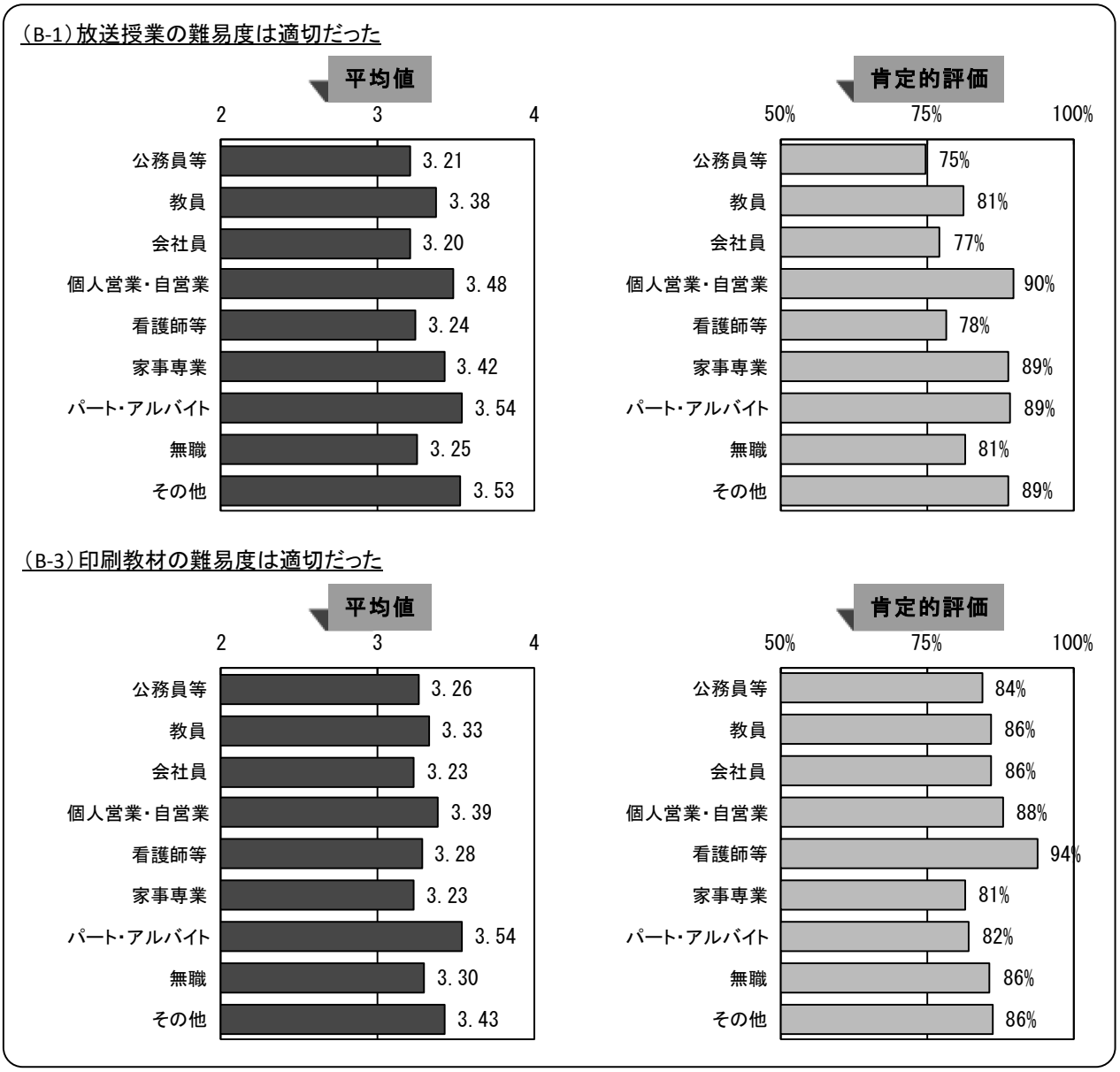
図２－７４【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（次頁図２－７５）、他の職業に比べて「個人営業・自営業」、「パート・アルバイト」で放送授業、印刷教材ともに難易度の評価が高くなっている。

また、印刷教材の難易度について「看護師等」の評価が極めて高いのも注目される。

図２－７５【大学院】職業別の授業難易度の評価

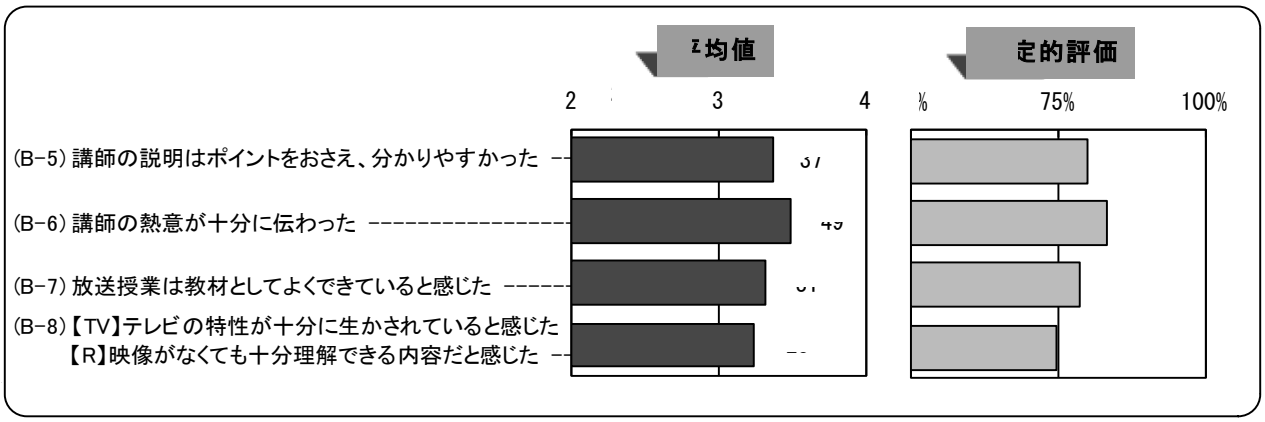


（３）放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目を見ると(図２－７６)、放送授業の総合評価でもある(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、平均値 3.31、肯定的評価 79%と比較的高くなっている。また (B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が最も評価が高く、平均値 3.49、肯定的評価 83%となっており、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」も平均値 3.37、肯定的評価 80%とやや高くなっている。一方、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、平均値 3.23、肯定的評価 75%に留まっている。

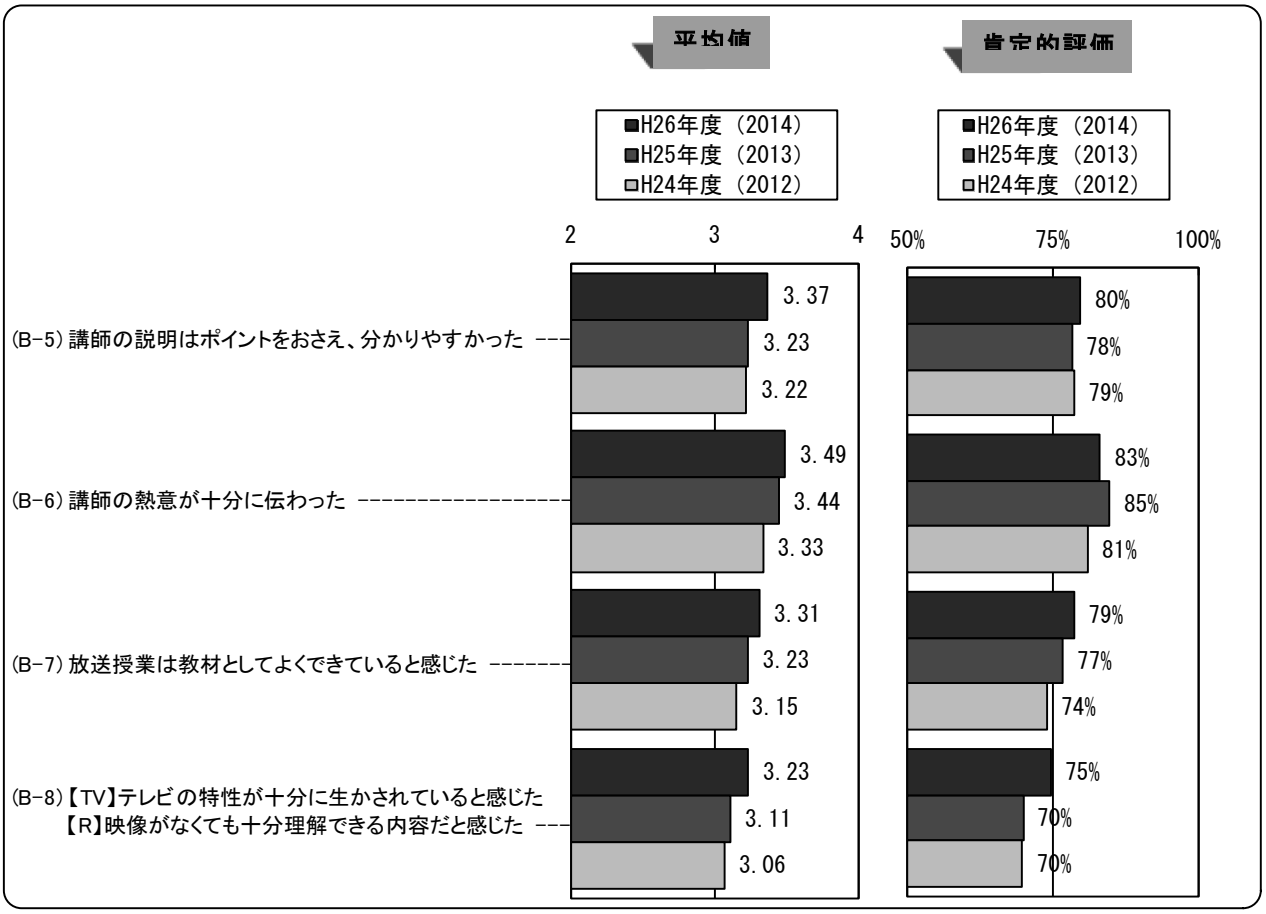
図２－７６【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図２－７７）、今年度の調査ではほぼ全ての項目で評価が上がっている。(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」の肯定的評価はわずかに低くなっているが、平均値では高くなっており、ほぼ同じ評価を保っていると言える。

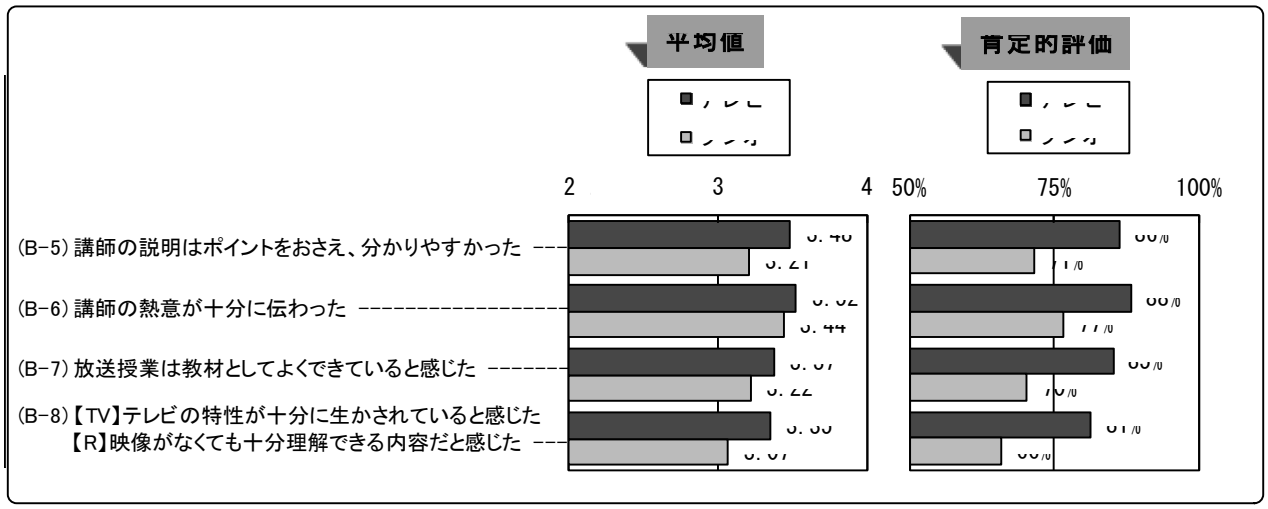
全体的に改善の試みが反映されていると言える。

図２－７７【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の評価を見ると（図２－７８）、テレビ科目はいずれの項目も高い評価を得ているものの、ラジオ科目はテレビ科目に比べ、全体的に評価が低く、放送授業全体を改善するには、まずラジオ科目の改善が必須と言える。

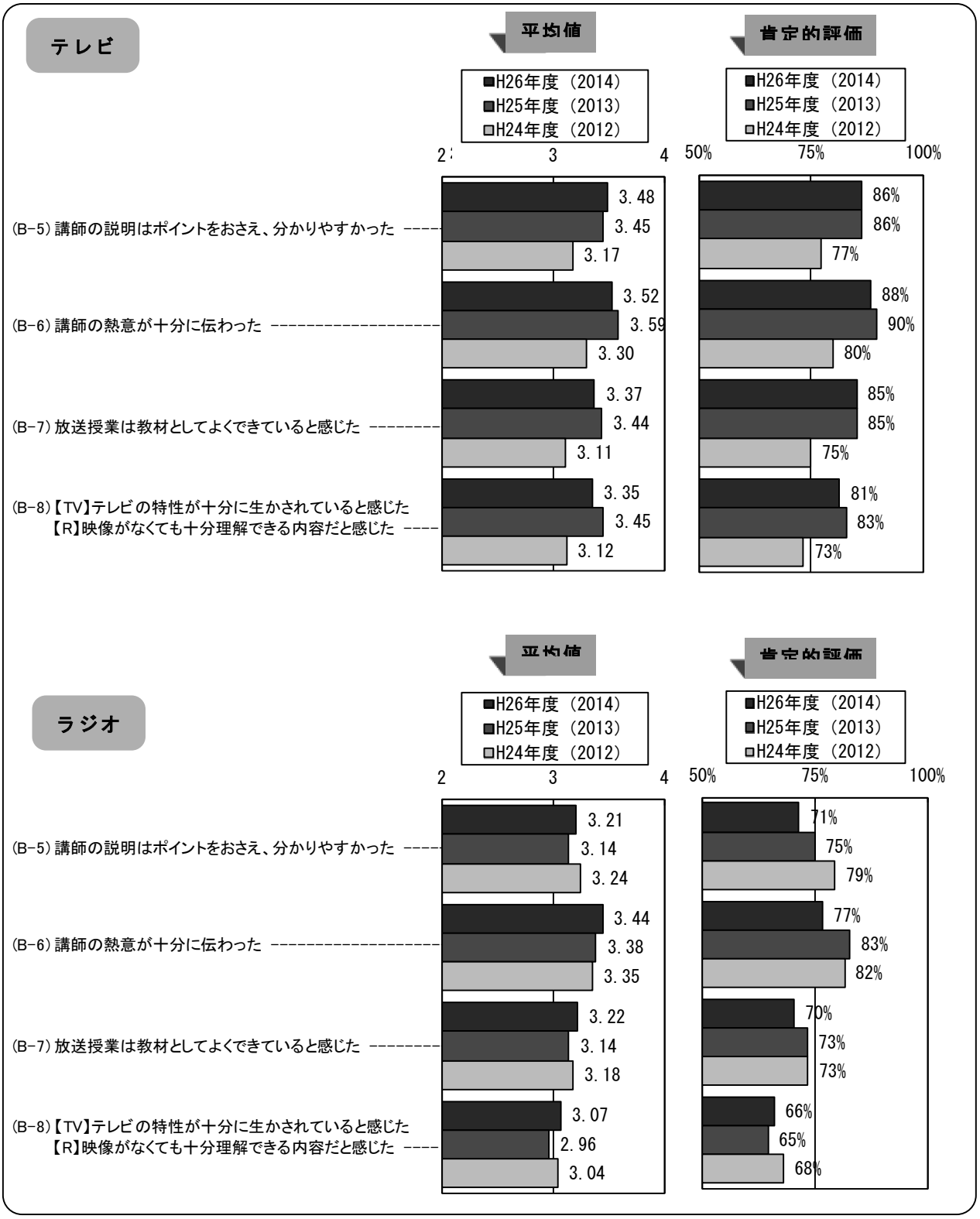
図２－７８【大学院】メディア別の放送授業の評価



メディア別の放送授業の評価を時系列で見ると（次頁図２－７９）、テレビ科目は全体的に 2013 年度と比べてほぼ同じ水準を保っている。

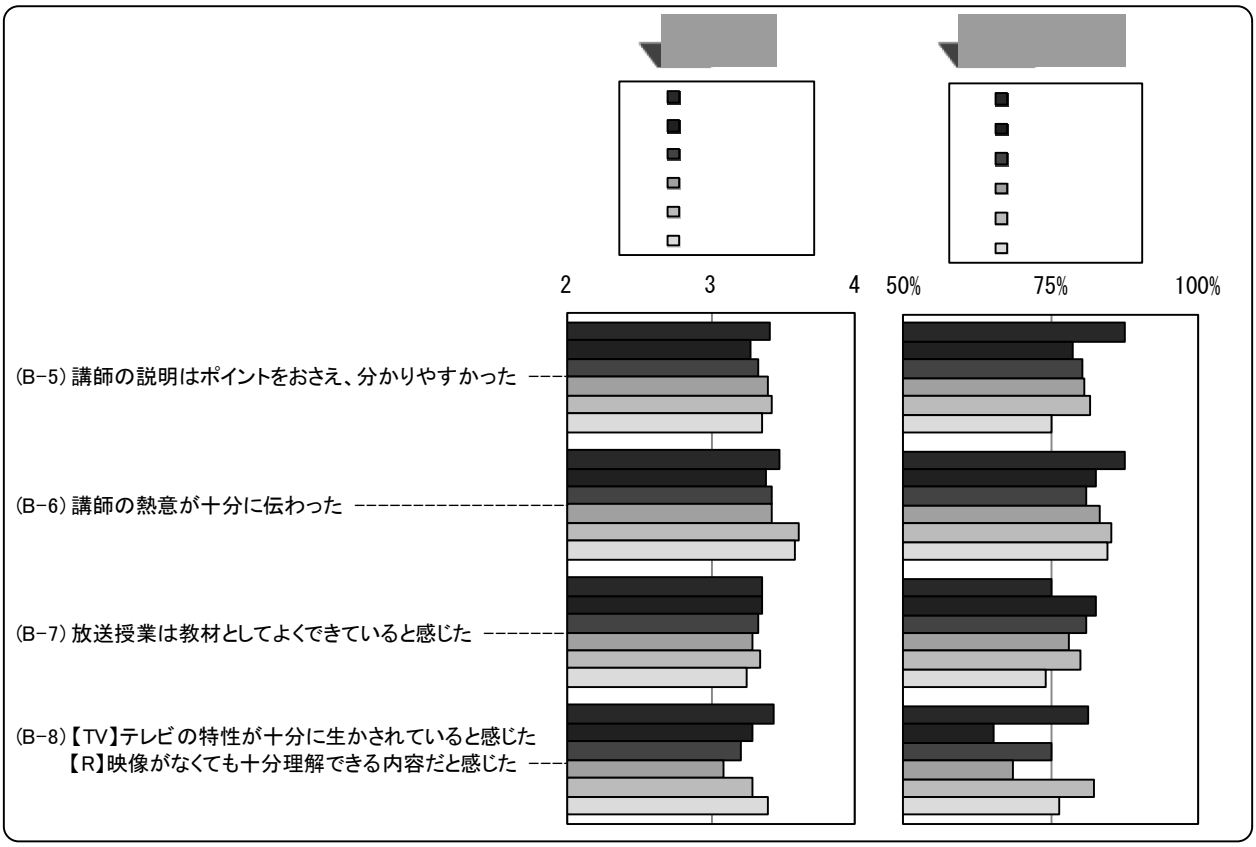
ラジオ科目については、平均値においてはいずれの項目でも 2013 年度よりも高くなっているが、肯定的評価では、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」を除いた項目では低くなっている。

図２－７９【大学院】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図２－８０）、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」で30 歳代、50 歳代の肯定的評価が際だって低い。20 歳代はほとんいずれの項目で評価が高いが、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」の肯定的評価では他の項目に比べ低い。

図２－８０【大学院】年齢階層別の放送授業の評価

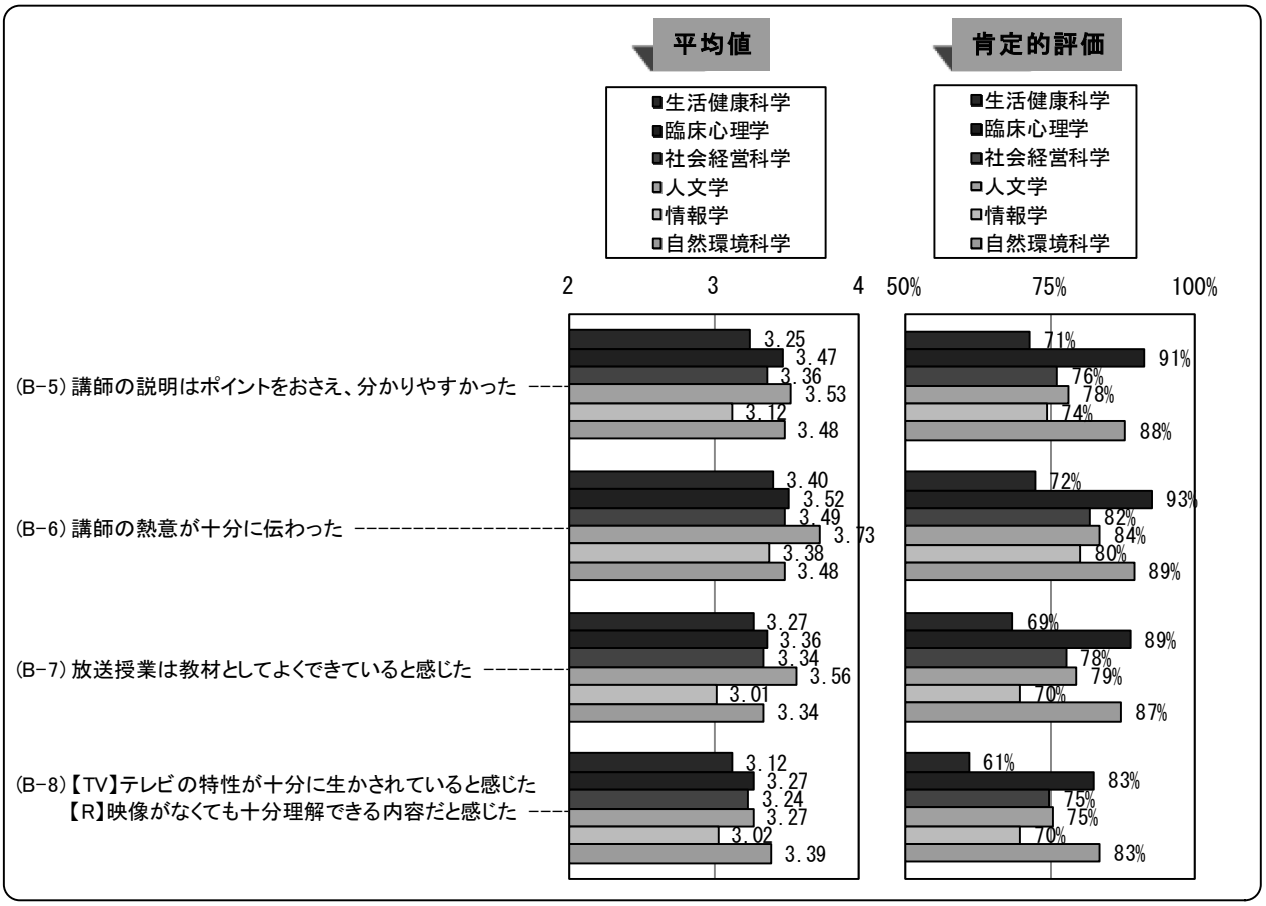


所属プログラム別に放送授業の評価を見ると（図２－８１）、総合評価の（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」を含め、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」とともに、「臨床心理学」「自然環境科学」「人文学」の３プログラムの評価が高い。

（B-8）「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、「臨床心理学」「自然環境科学」の評価が高い。

「生活健康科学」「情報学」では概ね評価が低く、改善が求められる。

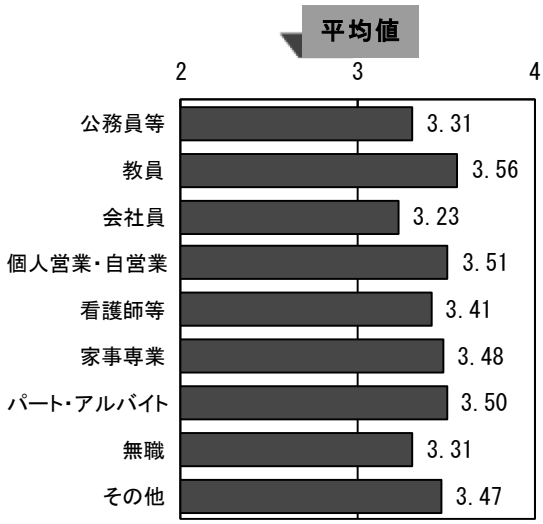
図２－８１【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価

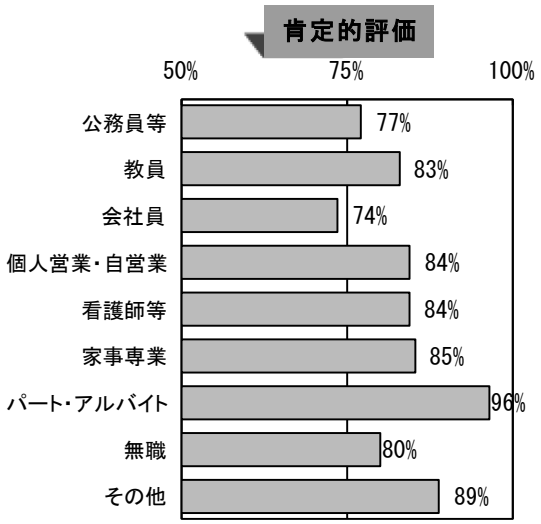


職業別に放送授業の評価を見ると（次頁図２－８２）、いずれの項目でも「会社員」、「公務員等」の評価が低い。また（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では「パート・アルバイト」の肯定的評価が非常に高い。

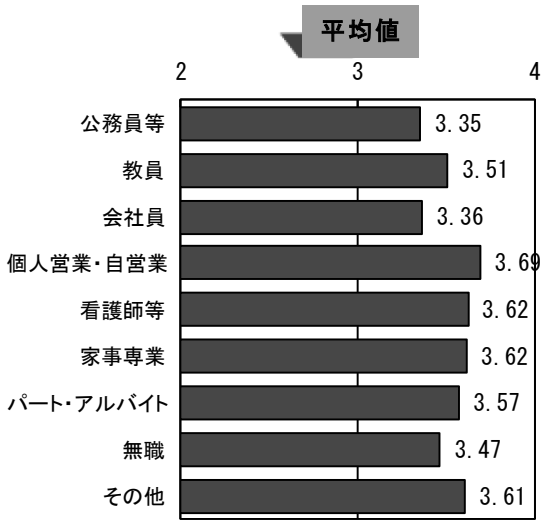
図２－８２【大学院】職業別の放送授業の評価

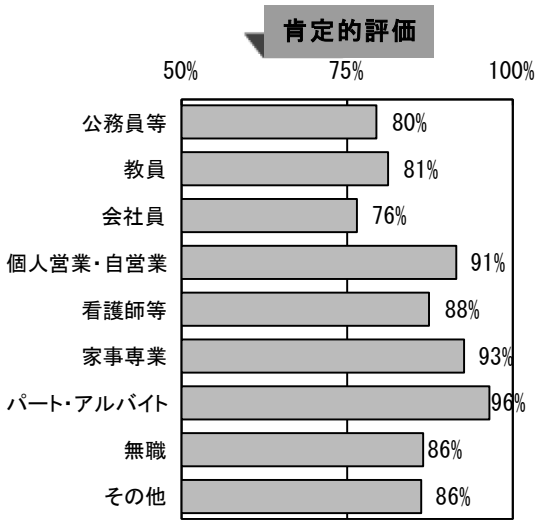
(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった



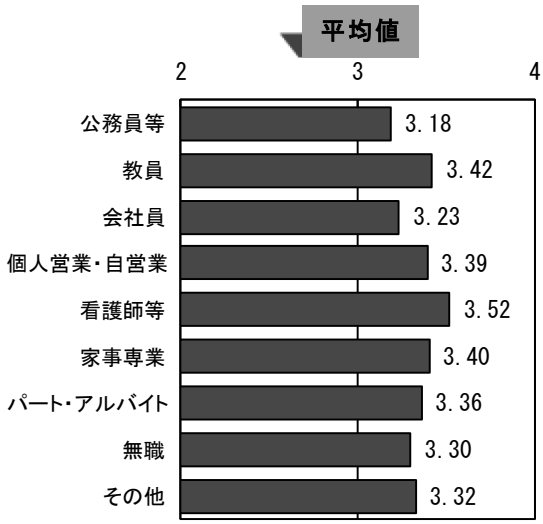


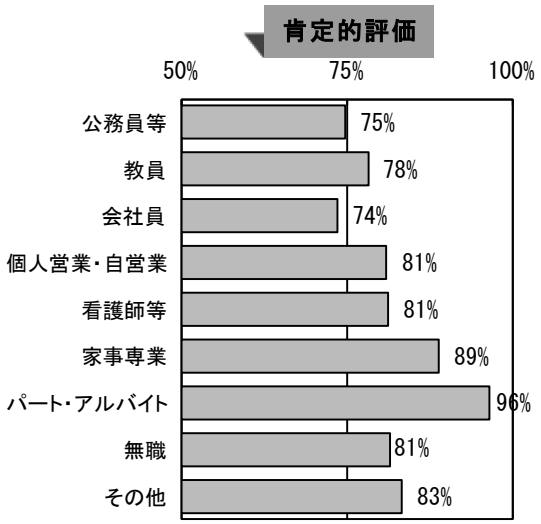
(B-6)講師の熱意が十分に伝わった





(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた



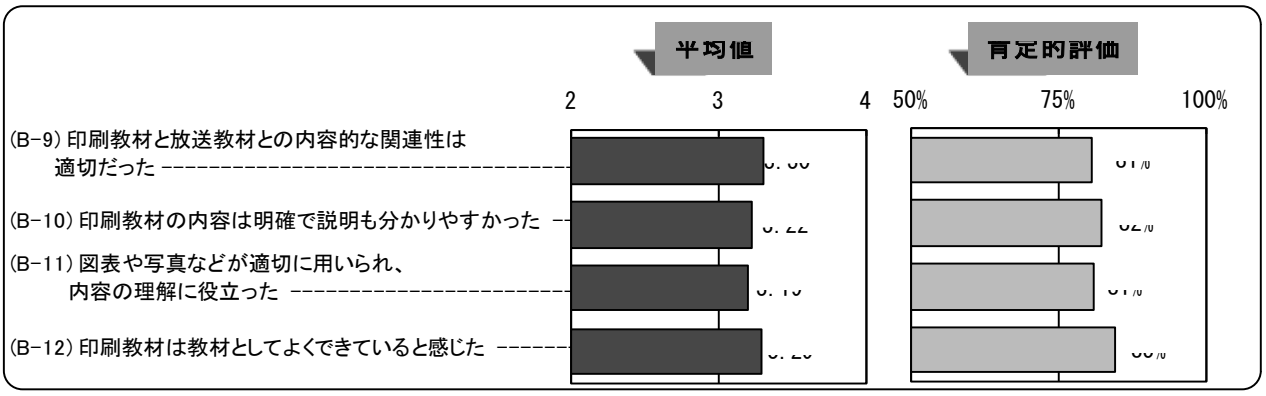


（４）印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

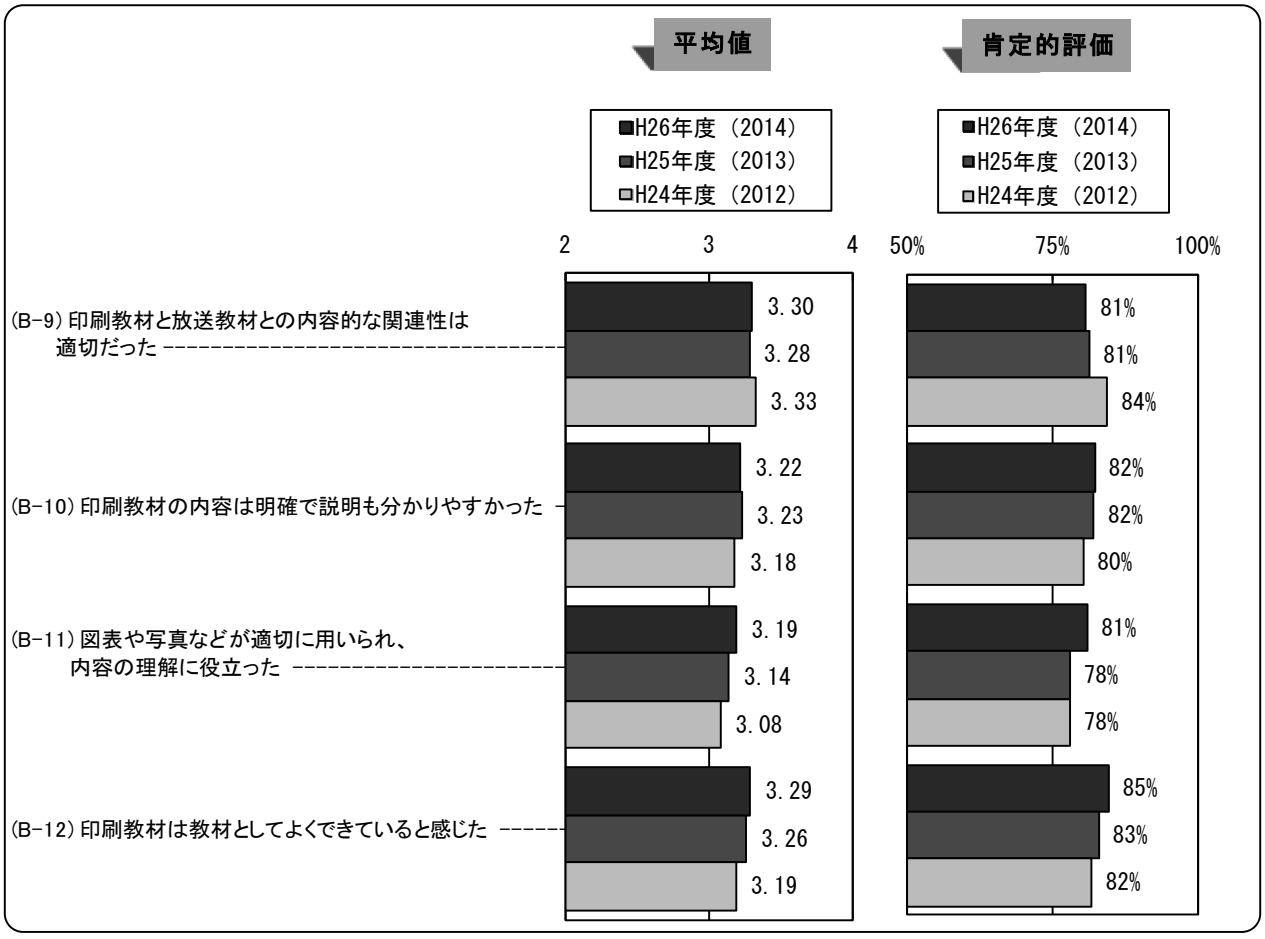
印刷教材の評価項目では（図２－８３）、いずれも高い評価を得ている。総合評価としての（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は平均値 3.30、肯定的評価 81%と高くなっている。

図２－８３【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



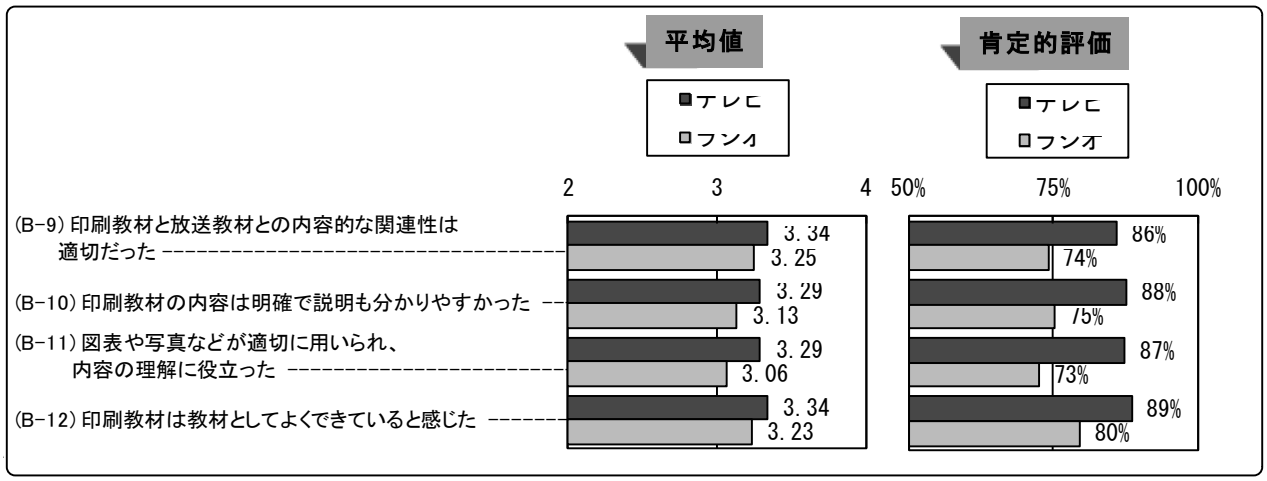
印刷教材の評価を時系列で見ると（図２－８４）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」ではほぼ同じ水準の評価を保ち、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では平均値・肯定的評価ともに 2013 年新規開設科目評価に比べて高くなっている。

図２－８４【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



印刷教材の評価をメディア別に見ると（図２－８５）、いずれの項目についてもテレビ科目に比べ、ラジオ科目の評価が低くなっている。(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」の項目がラジオでは特に低いため、映像のないラジオの放送授業を補完するために、テレビ科目以上に図表や写真などを活用することが必要であろう。

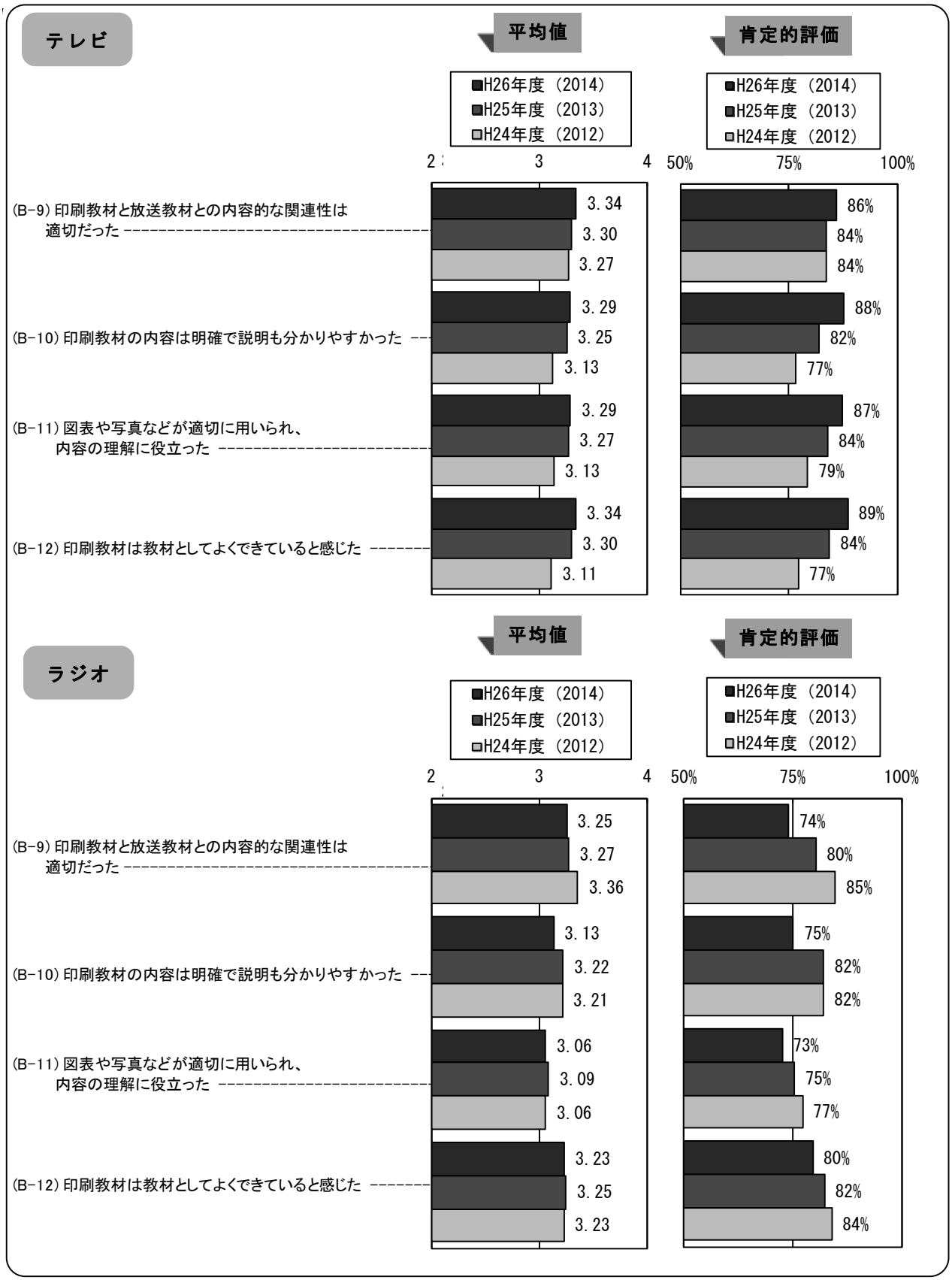
図２－８５【大学院】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の評価を時系列で見ると（次頁図２－８６）、テレビ科目については、2013 年新規開設科目よりも全ての項目において高くなる傾向である。

ラジオ科目については、今年度調査（2014 年新規開設科目）において全ての項目で低下する傾向にある。

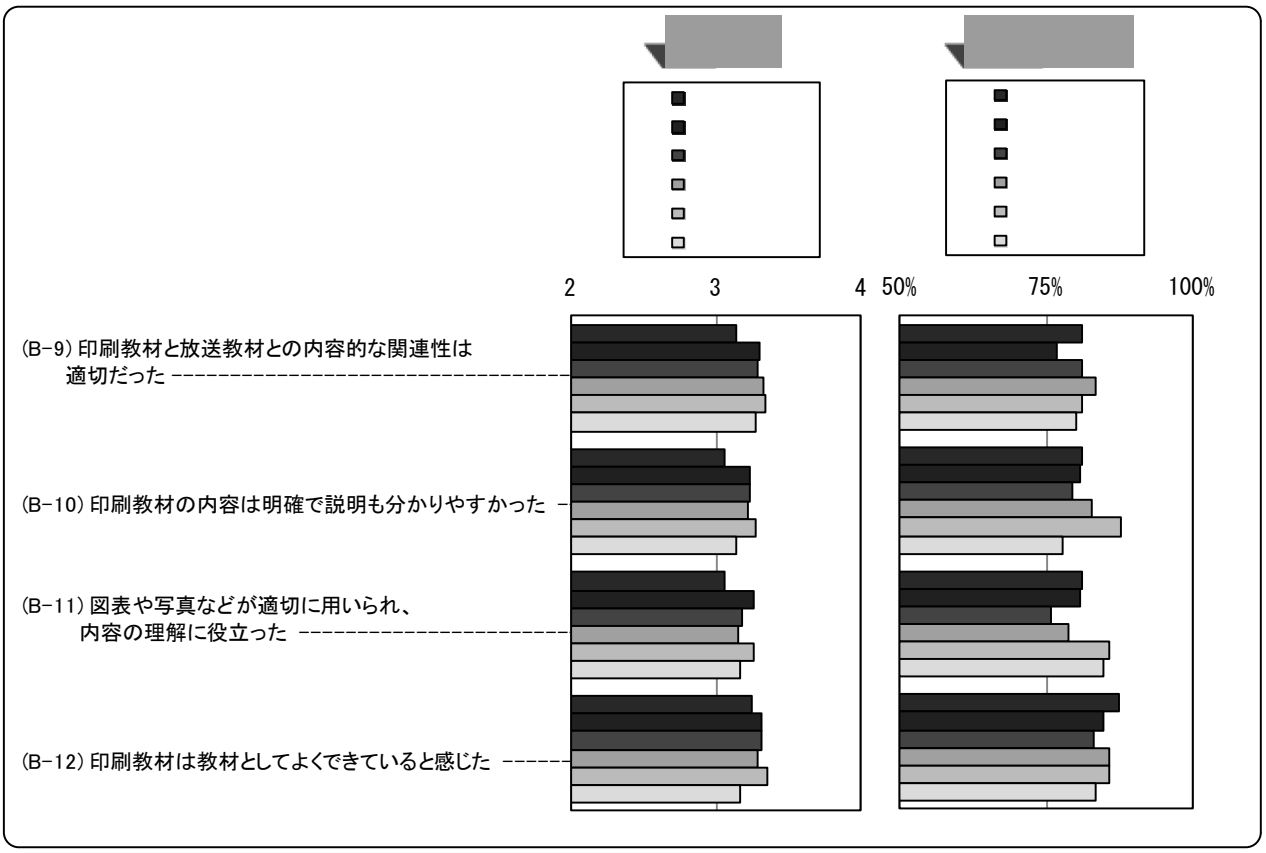
図２－８６【大学院】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると(図２－８７)、全体として高い値となっており、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では 30 歳代の評価がやや低く、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では 40 歳代の評価が低い。

しかしながら、全体的には高い水準の評価である。

図２－８７【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価

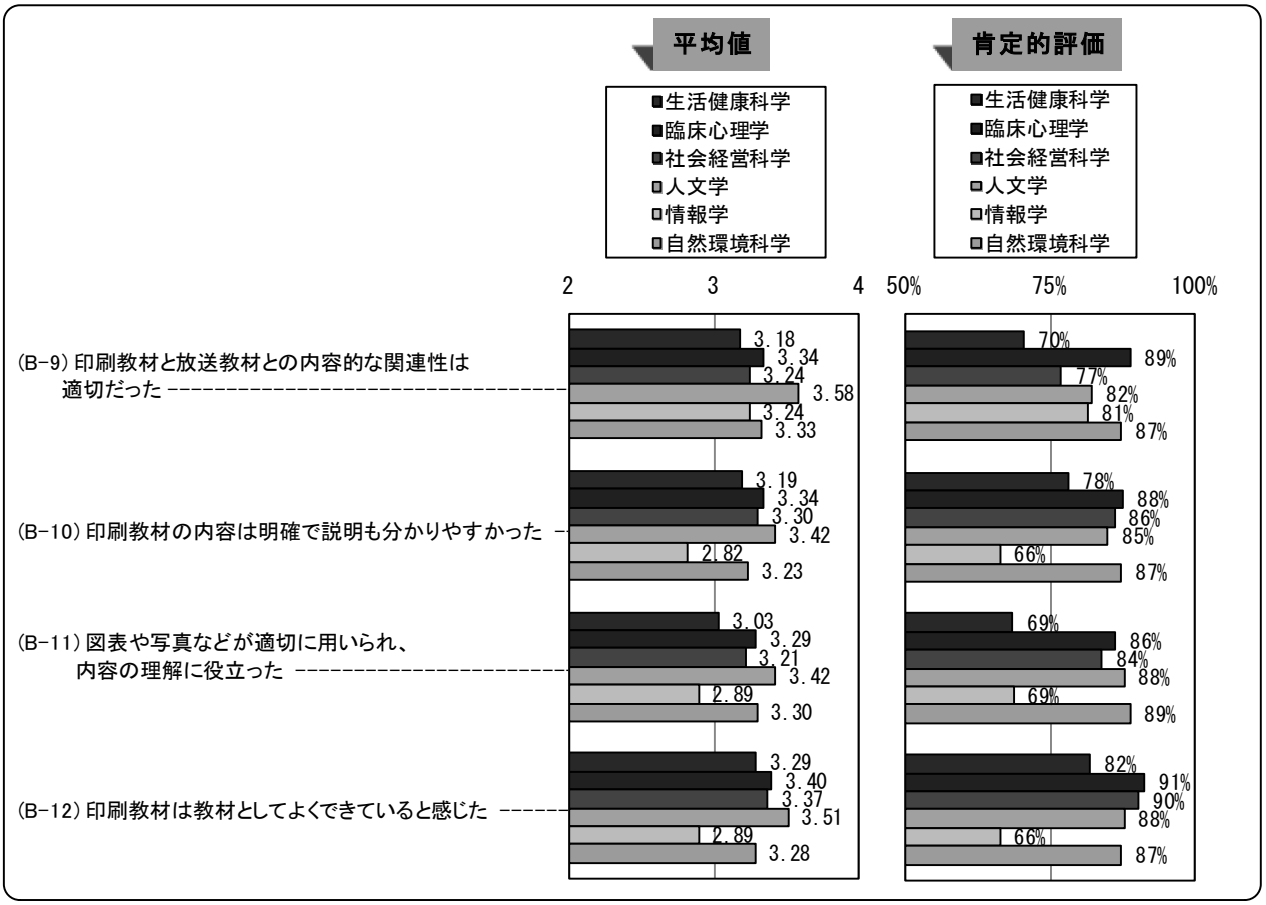


所属プログラム別に印刷教材の評価を見ると（図２－８８）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「臨床心理学」、「社会経営科学」、「人文学」の評価が高い。

ほとんどのプログラムで高い評価がつく一方で、「情報学」の評価の低さは際立っている。

「情報学」は（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」の評価が極めて低く、それが総合的な評価につながったと考えられる。

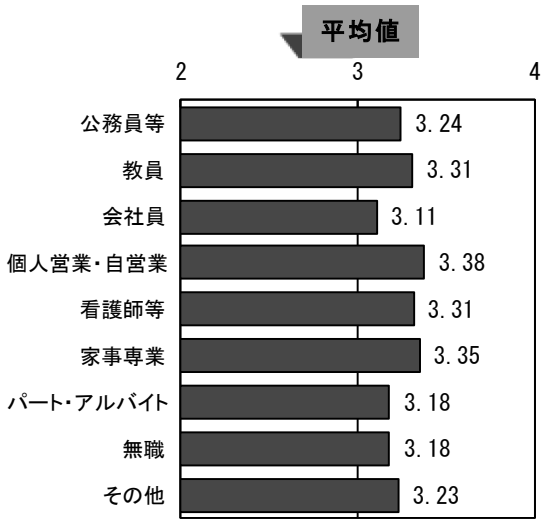
図２－８８【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価

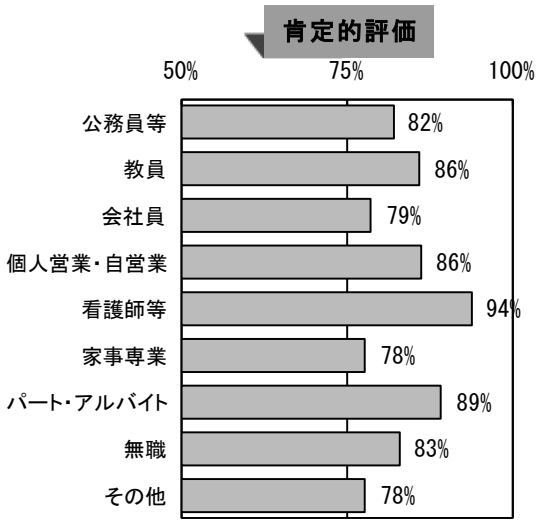


職業別に印刷教材の評価を見ると（次頁図２－８９）、総合評価の（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、全体的に評価が高い。「看護師等」では全ての項目でことごとく評価が高い。一方、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」の評価では「会社員」が他の職業に比べ低い評価となっている。

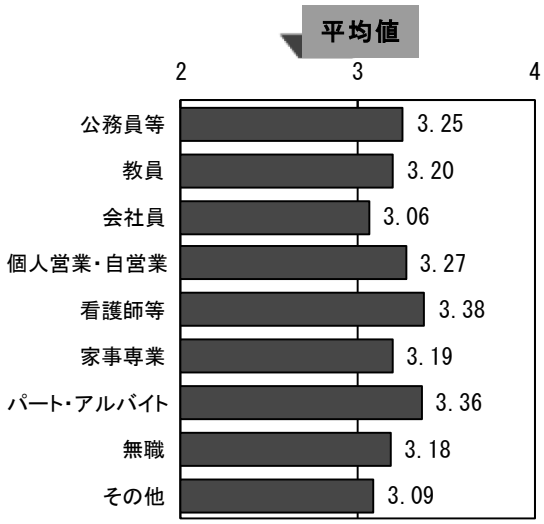
図２－８９【大学院】職業別の印刷教材の評価

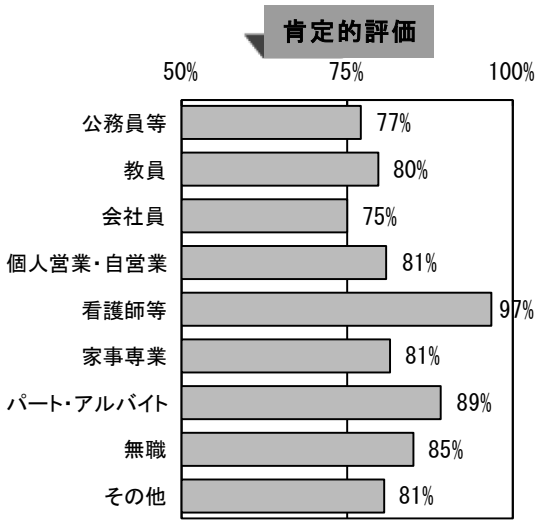
(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



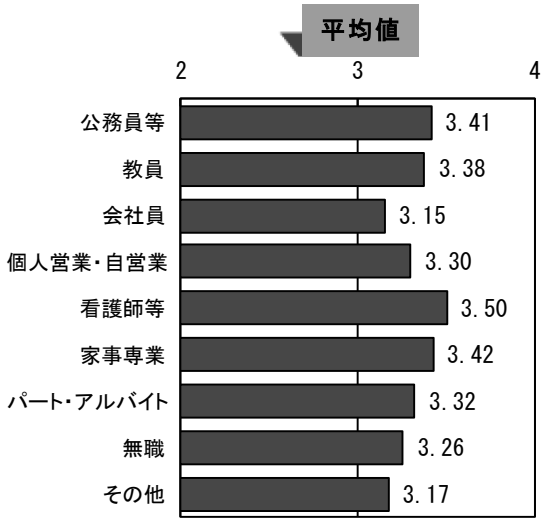


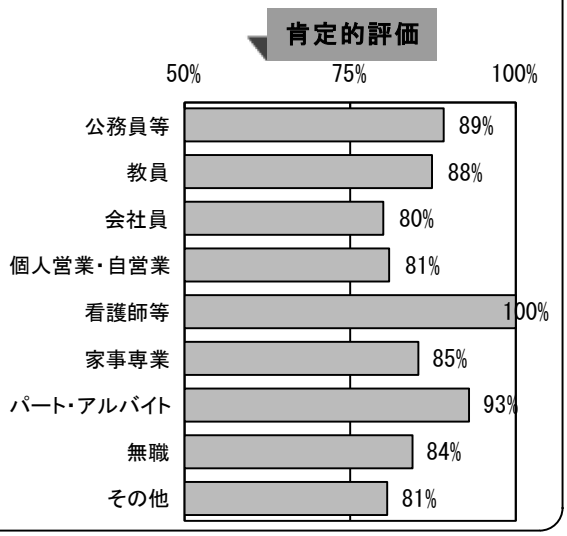
(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った





(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた





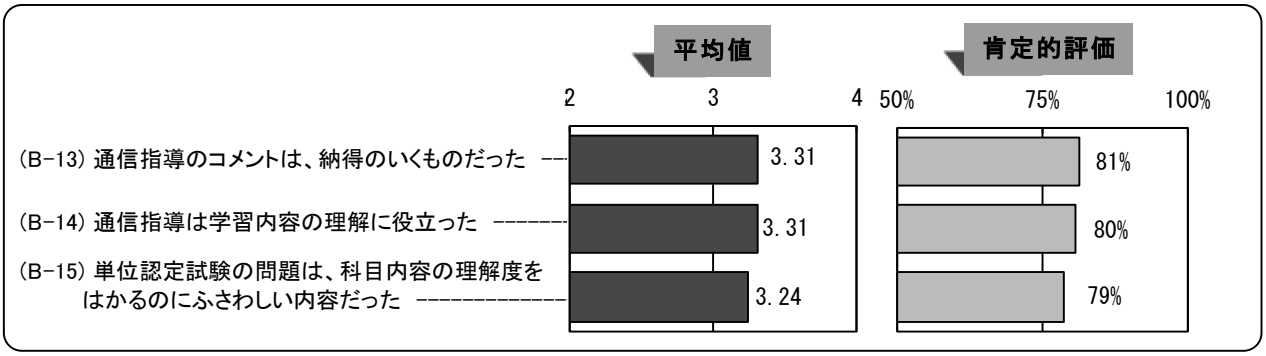
（５）通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について、項目ごとに見ていく。

通信指導については（図２－９０）、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が平均値 3.31、肯定的評価 81%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が平均値 3.31、肯定的評価 80%と、いずれも高い評価を得ている。

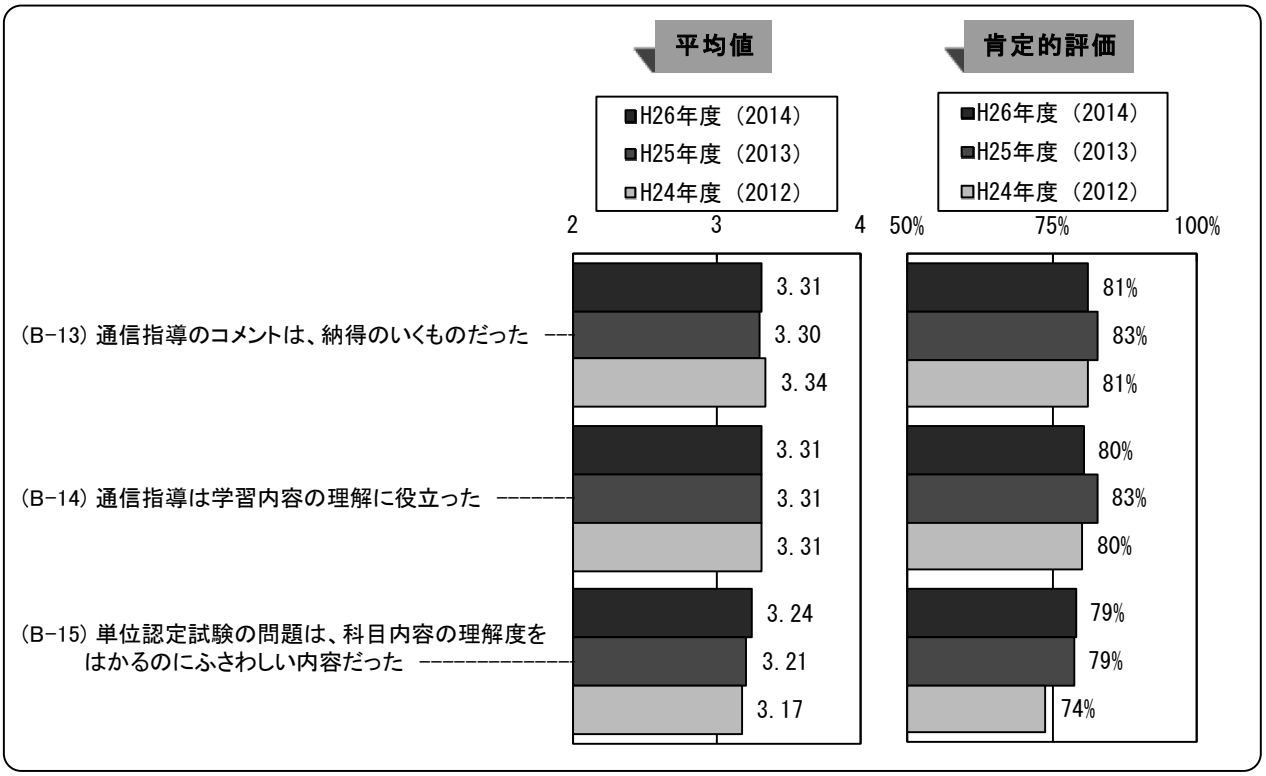
単位認定試験についても (B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が平均値 3.24、肯定的評価 79%と比較的評価が高い。

図２－９０【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると（次頁図２－９１）、2014 年新規開設科目は 2013 年新規開設科目に比べてほぼ同程度の水準を維持している。

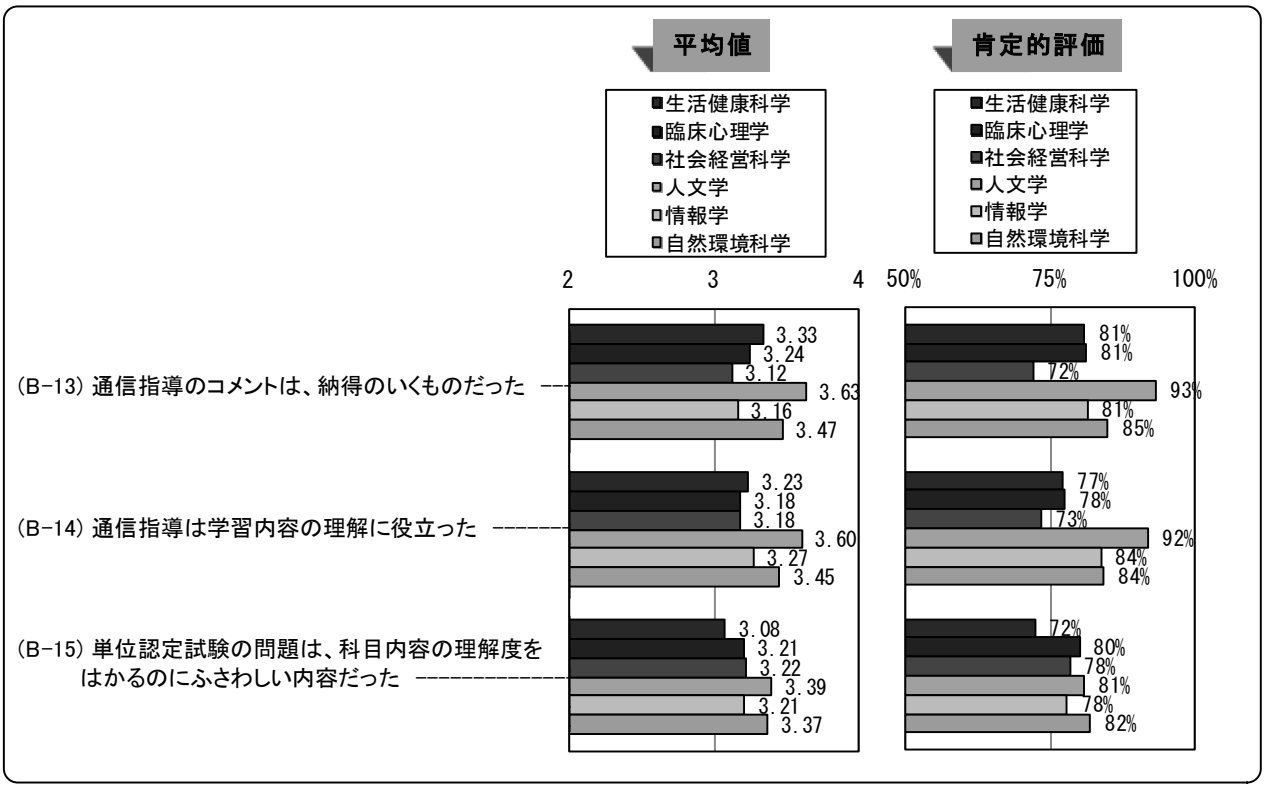
図２－９１【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



所属プログラム別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図２－９２）、通信指導は、「人文学」で評価が高く、「社会経営科学」ではやや低い。

単位認定試験においては、「生活健康科学」の評価が低い。

図２－９２【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．参考

ここでは、学部の場合と同様に、総合評価と各個別評価との関係を、相関係数を用いてみていく（相関係数の意味と見方については、巻末資料を参照されたい）。

表２－７は、放送授業の各評価項目と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）及び（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数である。

表２－７　【大学院】放送授業と各項目との相関係数

	(A-2)放送授業を十分に視聴した	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた
(A-2)放送授業を十分に視聴した	1.000	0.349
(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.381	0.578
(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.363	0.608
(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.378	0.775
(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.415	0.719
(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.349	1.000
(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.343	0.619

これを見ると、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と（B-7）「放送授業は全体としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）の相関係数は0.349と、やや相関は見られるものの、決して強くはない。

また（A-2）「放送授業を十分に視聴した」（放送授業への取組姿勢）と放送授業の各評価項目の間では、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」の相関係数が0.415ある程度の相関を示しており、放送授業の取組姿勢にある程度の影響を与えていることがわかる。

一方、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」（放送授業の総合評価）と放送授業の各評価項目との間では、いずれも強い相関が見られ、特に（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」が相関係数0.775、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が相関係数0.719と、強い相関を示している。したがって、総合評価を高める上では、学部と同様、いずれの評価項目もよく改善することが重要であるが、特に講師の説明の分かりやすさや講師の熱意が大切だと言える。

次に、印刷教材の各評価項目と、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢）及び（B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価）の相関係数を見たのが表２－８である。

表２－８　【大学院】印刷教材と各項目との単相関係数

	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた
(A-3)印刷教材を熱心に学習した	1.000	0.297
(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.336	0.643
(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.334	0.607
(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.261	0.638
(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.292	0.814
(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.308	0.746
(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.297	1.000

まず（A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(印刷教材への取組姿勢）と、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価）および印刷教材の各評価項目との間には、あまり相関は見られない。取組姿勢に対する自己評価では、授業・教材に対する評価はあまり表れていない。

一方、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(印刷教材の総合評価）と印刷教材の各評価項目とでは相関が強く、特に（B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は相関係数 0.814、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ内容の理解に役立った」が 0.746 と強い相関を示している。そのため印刷教材の総合評価を高めるためには、いずれの評価項目もよく改善すると同時に、特に説明の分かりやすさと図表や写真の有効利用に注力することが重要と言える。

続けて（A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度)」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度)」及び（B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度)」と各評価項目の相関係数を見たのが次頁表２－９である。

表２－９　【大学院】取組姿勢・全体評価と各項目との単相関係数

		(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)
取組姿勢	(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	1.000	0.478	0.457
	(A-2)放送授業を十分に視聴した	0.586	0.306	0.322
	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	0.712	0.375	0.358
授業の難易度・分量	(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.399	0.519	0.548
	(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.339	0.524	0.559
	(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.388	0.549	0.579
	(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.340	0.523	0.552
放送授業	(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.337	0.597	0.668
	(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.382	0.521	0.625
	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.342	0.552	0.686
	(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.325	0.482	0.554
印刷教材	(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.382	0.497	0.544
	(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.324	0.588	0.642
	(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.329	0.554	0.605
	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.346	0.598	0.675
通信指導・単位認定試験	(B-13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.154	0.356	0.432
	(B-14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.225	0.451	0.526
	(B-15)単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.251	0.400	0.497
全体評価	(B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.343	0.493	0.610
	(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.471	0.668	0.803
	(B-18)新しい知識が身につき視野が広がった	0.424	0.623	0.730
	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.478	1.000	0.740
	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.457	0.740	1.000

まず、全体的な熱心度（取組姿勢）と全体評価の理解度、満足度との関係を見ると、熱心度と理解度は 0.478、熱心度と満足度は 0.457 の相関係数であり、熱心度と理解度・満足度との間には緩やかな相関が見て取れる。また理解度と満足度の相関係数は 0.740 と強い相関が見られ、理解度が高いと満足度も高いと言える。

(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度)」と各評価項目の相関を見ると、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」が相関係数 0.712 と強い相関が見られるが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は相関係数 0.586 となっており、印刷教材中心の学習実態がうかがえる。さらに全体評価の各評価項目とも緩やかな相関が見られる。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度)」は、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」以外の各評価項目と相関が見られる。理解度は、放送授業や印刷教材の難易度・分かりやすさ、授業内容が興味や関心の高まるものであったかどうか、新しい知識が身につき視野が広がるものであったかどうかなど、さまざまな項目が要因となっている状況がうかがえる一方、取組姿勢とはあまり密接な関連は見られない。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度)」は、取組姿勢以外の各評価項目と相関が見られ、満足度を高める上でいずれの評価項目も影響していることが分かる。なかでも特に相関が強いのは、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」、(B-18)「新しい知識が身につき視野が広がった」である。科目の満足度を高める上で、印刷教材の分かりやすさ、興味・関心のもてる授業内容、視野が広がるような知識の習得などが特に重要なポイントと言える。

また、学部で行った分析と同様の方法で放送授業、印刷教材の改善点の分析を試みる。

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」を基準に、この項目に対して 1、2 の評価を下した標本を母集団に各項目との相関係数を求めたのが次頁の表２－１０である。

表２－１０　【大学院】放送授業と各項目との相関係数

		(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた。(評価1または2)
取組姿勢	(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.113
	(A-2)放送授業を十分に視聴した	0.147
	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	0.121
授業の難易度・分量	(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.367
	(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.386
	(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.404
	(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.310
放送授業	(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.569
	(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.400
	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	1.000
	(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.458
印刷教材	(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.424
	(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.489
	(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.357
	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	0.599
通信指導・単位認定試験	(B-13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.367
	(B-14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.249
	(B-15)単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.372
全体評価	(B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.403
	(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.401
	(B-18)新しい知識が身につき視野が広がった	0.434
	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.406
	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.509

(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」との相関が強い、ということは放送授業に対する低い評価の大きな改善点がこの項目であることを示唆している。また、放送授業とは別の印刷教材に対する相関も高いことから、印刷教材に対する否定的回答も放送授業の評価を下げる要因となっていることがうかがえる。

自由記述では、放送授業と印刷教材との整合性に対する改善要望が散見された。結果を精査し、改善に生かすべきと考える。

最後に、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」に対して 1、2 の評価を下した標本を母集団として同様に分析したものが次頁表２－１１である。

表２－１１　【大学院】印刷教材と各項目との相関係数

		(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた。(評価1または2)
取組姿勢	(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)	0.245
	(A-2)放送授業を十分に視聴した	0.244
	(A-3)印刷教材を熱心に学習した	0.149
授業の難易度・分量	(B-1)放送授業の難易度は適切だった	0.523
	(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった	0.429
	(B-3)印刷教材の難易度は適切だった	0.573
	(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった	0.327
放送授業	(B-5)講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.648
	(B-6)講師の熱意が十分に伝わった	0.490
	(B-7)放送授業は教材としてよくできていると感じた	0.709
	(B-8)【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.508
印刷教材	(B-9)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	0.433
	(B-10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.593
	(B-11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.345
	(B-12)印刷教材は教材としてよくできていると感じた	1.000
通信指導・単位認定試験	(B-13)通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.163
	(B-14)通信指導は学習内容の理解に役立った	0.217
	(B-15)単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	0.247
全体評価	(B-16)授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.467
	(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.467
	(B-18)新しい知識が身につき視野が広がった	0.405
	(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	0.511
	(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)	0.579

この結果から、印刷教材に対して低い評価を下す標本は、放送授業に対しても否定的評価を下す傾向にあるということがわかる。

放送授業に対して否定的評価を下す人々にとって、印刷教材の理解に放送授業が効果的な成果を伴っていないことがうかがえる。

Ⅲ．自由記述のまとめ

Ⅲ－1．総括

自由記述については、かなり多くの方が回答を寄せており、のべ 12,000 件の記入があった。回答の傾向は、コース・科目・メディア等によって若干ニュアンスが異なっている。これらの自由記述における意見を詳細に読み込むことで、さまざまな情報を得ることができるが、そのすべてをここに列記することは現実的な方法とはいえない。個々の回答は、全ての回答の原文を主任講師に提供しているので、それを査読していただくとして、ここではさらに学生の意見の全体像を俯瞰するために、前年度に倣い、自由記述に記入された意見を傾向ごとに分類・集約した。集約方法は、コース（プログラム）ごとに、その科目を受講して①「よかった点」及び②「気になった点」を、その意見内容の傾向によって分類整理し、さらにそこから「改善点の提案」を抽出した。

まず学部全体を集約すると、「よかった点」としては、

・ 勉強になった、役にたった
・ 知識の整理・拡大・深耕に役立った
・ 科目の内容がよかった、わかりやすかった
・ 今後の人生や仕事・学習に役立つ
・ 今まで知らなかった知識が身に付いた、増えた
・ 基礎的な知識が得られた
・ 視野が広がった、視点・考え方が変わった
・ 興味が持てた、関心が持てた

等といった意見が多く見られた。

全体的に要約すれば、

・「教養としての深まり」
・「知的好奇心の喚起・高まり」
・「実生活への反映」

の 3 つが高評価の要因となっている。

その他、放送授業のよかった点としては、

・「講師の指導がよかった」
・「授業内容がよかった、わかりやすかった」
・「楽しく受講できた、面白かった、好感が持てた」
・「映像・テレビでよかった」等の意見が多い。

印刷教材については

・「内容がよかった、理解しやすかった」

・「図表や写真・資料等があり理解しやすかった」
・「引用・参考文献、練習問題がありよかった」
等の意見が多い。

一方、科目内容で「気になった点」としては、「よかった点」の裏返しで
・ 難しかった、高度すぎた、理解できなかった
・ もっと詳しい説明・解説をして欲しい
・ 分かりにくかった、説明・解説が不十分だった
・ 放送授業と印刷教材の内容が異なった
・ 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
・ 具体例・事例・実践的な内容を増やして欲しい
・ 上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい
・ 内容が浅かった、もっと詳しい内容にしてほしい
等、難易度、内容や説明の不足、内容の広さ、具体例・事例不足に関する不満が多かった。
放送授業で気になった点では、
・ 構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった
・ テレビ科目にして欲しい（ラジオでの講義では理解できない）
・ 内容が理解しにくかった、解説が不十分だった
・ 印刷教材を読むだけの授業では放送授業の意味がない
・ 講師の話し方・発音がよくなかった
・ 難しかった、理解できなかった
・ 講義のテンポがよくなかった（早くて聞き取れない）
・ 専門用語がわからない
印刷教材で気になった点は、
・ 図表・写真・イラストを増やして欲しい
・ 放送授業の参考資料や板書・データ・頁を載せてほしい
・ 構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった
・ 内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった
・ 文字・図・表・写真が小さかったり、印刷がモノクロで分かりにくかった
・ 問題の解答・解答例・解説がほしい
・ 重要な部分がわかるようにしてほしい。
・ ＤＶＤやＣＤにしてほしい
等が多く見られた。
通信指導や試験については
・面接授業を増やしてほしい

・添削や質問にきめ細かく対応してほしい
・試験が難しすぎる（易しすぎる）
・出題は印刷教材から出してほしい

ポイントは「興味の持てる内容を、分かりやすく、おもしろく講義して、適切な試験でスムーズに単位が取得できるようにしてほしい」ということになる。

しかし、これは全体的に見た内容であり、さらに個々の科目ごとに見て行くと、それぞれの特徴が出てくる。それらを分析し、今後、そのカリキュラム編成や見直し、科目に合ったレベルや授業方法の改善に結びつけていきたい。

次に、大学院の集約した結果を見ると、よかった点としては、

・ 勉強になった、役にたった
・ 今後の人生や仕事・学習に役立つ
・ 内容がよかった、わかりやすかった
・ 知識の整理・深耕に役立った
・ 今まで知らなかった知識が身に付いた、増えた
・ 視野が広がった、視点・考え方が変わった

等が多い。

一方、科目内容で気になった点としては、

・ もっと詳しい説明・解説をして欲しい
・ 分かりにくかった、説明・解説が不十分だった
・ 具体例・事例・実践的な内容を増やして欲しい
・ 難しかった、高度すぎた、理解できなかった
・ 上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい

また、放送授業で気になった点は、

・ テレビ科目にして欲しい
・ 印刷教材を読むだけの授業はやめて欲しい
・ 内容が理解しにくかった、解説が不十分だった
・ 構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった

さらに印刷教材で気になった点は、

・ 図表・写真・イラストを増やして欲しい
・ 構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった
・ 内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった
・ 放送授業の参考資料や板書・データ・頁を載せてほしい

等が多く見られた。

全体の傾向としては、学部と同じような意見が多くなっているが、基本的に大学院で学ぶ人は意欲も高いのか、「気になった点」と回答した人の比率は、学部に比べ少ないよ

うである。しかし、プログラムや科目による差は見られるので、やはり科目ごとの検討が必要である。

基礎科目から大学院までを全体的にみると、いわゆる実学系と文学・アート・思想系では「良かった点、気になる点」の傾向に若干の差異が感じられる。

実学系では「実際に利するかどうか」が問われ、文学・アート・思想系では「面白く学べるかどうか」が問われているようである。

【学部】「基礎科目」

よかった点

（単位：人）

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	21	19	40
知識の整理・深耕に役立った	22	4	26
内容がよかった、分かりやすかった	17	6	23
興味が持てた、関心が持てた	10	10	20
今まで知らなかった知識が身に付いた	16	4	20
視野が広がった、視点・考え方が変わった	13	6	19
楽しく受講できた。面白かった	9	9	18
受講して良かった	10	8	18
学習意欲が湧いた	10	8	18
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	8	6	14
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	8	4	12
今後の人生や仕事・学習に役立つ	5	6	11
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	4	7	11
基礎的な知識を得られた	8	2	10
苦手意識がなくなった	1	5	6
自分の考えが持てるようになった	3	2	5
最新の情報や研究が学べた	4		4
専門的な内容だった	2	2	4
他の科目と関連性があった	1	2	3
現在の課題や身近な問題点を学べた	2		2
身近に感じることが出来る内容だった		1	1
学習センターがあって良かった	1		1
科目が多くて楽しい	1		1
便利になった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	9	1	10
ポイントが明確だった	1	2	3
内容がよかった、分かりやすかった	2		2
楽しく受講できた。面白かった	1		1
最新の情報や研究が学べた	1		1
学習意欲が湧いた	1		1
CD、テープが役に立った		1	1
引用・参考文献、練習問題がありよかった	1		1
教材の貸与があって良かった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	2		2
添削・コメントをしてもらえた	1	1	2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1	1	2
自分の考えが持てるようになった	1		1
やりがいがあった		1	1
印刷教材が持ち込めて良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	13	3	16
内容がよかった、分かりやすかった	6		6
映像・テレビでよかった	5		5
対話形式の授業がよかった	2	1	3
インターネットで受講できた	1	1	2
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		1	1
身近に感じることが出来る内容だった	1		1
具体的・事例・実験があった	1		1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	1		1
放送時間がよかった		1	1
ラジオでよかった		1	1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●難しい言葉・用語は説明する。
●学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●放送授業と印刷教材の連動に留意する。
●認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。

【学部】「基礎科目」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	18	3	21
難しい、高度すぎる、理解できない	11	9	20
分かりにくい、説明・解説が不十分	6	5	11
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	9	1	10
質問や相談がしたい	3	2	5
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	4	1	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	1	4
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	4		4
まとめや学習のポイントがほしい	2	2	4
インターネットで視聴したい	2	2	4
スケジュールを改善してほしい	1	3	4
関連科目を新設してほしい	1	3	4
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	3		3
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	1	2
参考文献を紹介してほしい	2		2
時間が不足している	2		2
独自性が感じられない	2		2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
面接授業を実施してほしい	1	1	2
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1	1	2
学習センターの利用について改善してほしい	2		2
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1
電子掲示版の利用について改善してほしい	1		1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	1		1
施設の空調を改善してほしい	1		1
風紀を改善してほしい	1		1
面接授業が受講しにくい、内容を改善してほしい	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	13	7	20
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	8	7	15
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	3	7	10
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	7	1	8
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	3	5	8
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	3	7
難しい、高度すぎる、理解できない	2	2	4
インターネットで視聴したい	4		4
図・表・写真を利用してほしい	3	1	4
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1	2	3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3		3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
放送授業と印刷教材の内容が異なる		2	2
内容に不満がある	2		2
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	1	1	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1
質問や相談がしたい	1		1
面接授業を実施してほしい	1		1
1科目の放送時間を延長してほしい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	5	3	8
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	3	4	7
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	4		4
分かりにくい、説明・解説が不十分	1	2	3
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	2		2
放送授業と印刷授業の内容が同じである		1	1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1
まとめや学習のポイントがほしい	1		1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		1	1
難しかった		1	1
誤植を直してほしい	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメントに不満があった	3		3
スケジュールを改善してほしい	1	1	2
面接授業を実施してほしい	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
質問や相談がしたい		1	1
インターネットで視聴したい	1		1
問題の解答・解答例・解説がほしい		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	5	4	9
内容に不満がある	5	1	6
難しい、高度すぎる、理解できない	4		4
問題が多かった、範囲が広かった	4		4
試験内容が印刷教材の内容と異なった	2	2	4
スケジュールを改善してほしい	3		3
問題数が少なかった	1	2	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1	2
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
独自性が感じられない	1		1
教材持込み可にしてほしい	1		1
単位数を増やしてほしい	1		1

【学部】「基礎科目」

よかった点

- おっかなびっくりながら受講を申し込んだが、回が進むにつれ、そんなに遠くないところに哲学というものがいたんだという気がしてきた。いままでかなり長いこと休んでいた頭をフル回転させなければならなかったものの、古代、中世、近世の生身の人間に触れたような気もする。新しい発見とはこういうことを言うのだろうかと思う。
- 古代ギリシャと近代国家における哲学の意義は興味深かった。周産期医学より倫理学を考え始めざるを得なかった吾人にとってはその根本にみるべきものの存在を感じることができた。
- 耳にするプラトンやギリシャ等々、読む機会も解れる時もなかったので良かったです。哲学とは自分なりに自分自身そのもの自分の心の奥の奥にある心が色々な体験をする事で色々な自分になるその最も基本、変ってはならない基本を持ち、様々な困難や出来事にふりまわされない哲学を持つ事、を思ってきました。そうした中、この本を学ぶ機会に出会えて自分の生き方に大丈夫だと思える共感する場面があった事はうれしい限りです。
- 心理学を中心に受講している関係で、元ネタであるこの科目を受講して、そこここ（遠近法、絵画等）に哲学の芽があることに対してよかったと思いました。A教授の語り口が好ましくてよかったです。高校時代（41 年前）倫理の授業で哲学に興味があったのですが、今回受講して入門的な一歩目となりよかったです。
- 歴史の中の人間像が、教材の内容、放送授業共、とても具体的に表現されていて理解出来た。自分に時間があれば参考資料を読んでいきたいと考える。とても興味が持てた授業であった。これを機会にもっともっと歴史的視点からの人間像を勉強にゆくつもりである。最終日のテレビの放映で総括的な構成も良かった。
- 最終 14 回、15 回の放送で教授の方々の総出演の「歴史」に対する考え方、ものの見方について、一級の研究者の先生方の高度な知見に基づく対論を視聴し、すごく勉強になったのは勿論のこと、このような著名な学者先生が一堂に会する場面を見ることは、放送大学ならではのスケールの大きさと感動しました。又、古墳時代から近代まで、均等に講義が配分されていて、それぞれの時代の知識を得ることでその時代時代に興味をもつことができました。
- 環境学関連として生物学の基本を押さえることができた。（特に宮古島の話は関心があった）死という現象を生物学からとらえると（人文科学的、哲学的視座とはまた違った）普通の生命現象と分かり、学ぶことになる多様な視座を得られた。全体として生命、生物の営みを合理的かつ不思議なものとして理解できて楽しかった。
- 生物学の基礎概要を学ぶことが出来た。今も印刷教材は読んで理解をしっかりしたものにしたいと考えている。知らないことは学ぶ楽しさがあり、仕事を離れて熱中することができた。（ストレス発散）この学びを次の学習につなげたいと考えている。講師の方々が、熱心に語られ、学ぶ気持ちを持続させることができた。
- 地球上に、どうやって生命が誕生し進化していったのか、改めて生命の不思議さを感じました。自分の身体が、細胞という集合の精密なシステムによって生かされているということに感動を覚えました。まさに生命はミクロの小宇宙ですね。高校の時には単に丸覚えしかしなかった、1 つ 1 つの事柄に意味を感じながら学習できたことは大変有意義でした。
- 最新の情報が入手でき、栄養士として又管理栄養士として学んだ時とは、比べものにならないくらいあって得るものがあった。ゆったりした授業でよかった。

気になった点

- ラジオ視聴なのですが、先生の声がやや聞き取りにくいのと先生が 1 人で説明しているので、あまり面白くなかったです。もう 1 人だれかと対話する放送であれば聞きやすかった。
- 哲学って遠い存在という意識は薄らいだものの、やはり用語は難しい。例えば「即自的」「対自的」など、漢字の持つ意味から入っていただけると良かったと思う。
- ラジオに慣れていないため、集中して聞くことが難しかった！！テレビでの講義を期待したい。言葉の意味が難しく、辞書を引きながらで、ちょっと大変だった。
- 本科目では複数の講師が 2～3 章ずつ担当する構成になっているが、講師によって講義内容の難易度にかなり差があり、本科目が基礎科目として置かれ、大学史学教育の入門科目として位置付けるつもりであれば、初学者には難解すぎる章がある。（特に西洋史の部分）
- 基礎的課程がかけており、教科書を読んでも理解ができない。テレビを見ても意味がわかりにくい。基礎課程をつくってほしいです。細胞、遺伝など。
- 相対性理論を 7 回の授業では無理がある。電磁気学を別けて、一本の科目にしてほしい、物理学全体として基礎科目から専門科目まで 5 科では少な過ぎる。情報科目の増加のあおりを受けているのでしょうか、せめて 7 科目まで増してほしい。
- 講師の先生がやや早口で説明されている所もあったので、重要な論点については、もっとゆっくり、くわしく説明していただけたらありがたい。
- 内容が難しかった。もう少し分かりやすくして頂けるか、量を少なめにして頂けたら助かった。
- 新しい試みと思うが、対象範囲が広過ぎる。日本史、東洋史、西洋史の中でどれか一つに絞ってはどうか？
- 様々な分野の人間が登場して良かったですが、欧米人やアジア人など人種や地域別に分けた教科もあっていいかなと思いました。
- 「名も無い人」取り上げられていますが、この趣旨は判るのですが、歴史を知る上で必要なのか、少し疑問に思いました。
- 浅く広い事柄を扱われている点が不満に思える。大学生であれば、範囲をせばめてでももう少し詳細に学べれば、もっとよく理解できたと思う。浅く広い事柄を扱われている点が不満に思える
- 中国の歴史と人間と云う大きな課題は私には大きすぎた問題で、もっと時間をかけて学ぶべきと感じて今後の課題としてとらえる。心構えを再考すべきと自分の浅い考えを一掃すべきで、真剣に取り組むべきである。浅く広い事柄を扱われている点が不満に思える

基礎科目総覧

「おもしろかった、わかった」と「わからなかった、難しかった」が混在しているが、おしなべて、新しい「知の扉」を開けた喜びを感じている人は多いようだ。特に「哲学」は高校で体系的に学ぶことは稀であり、大学の教養課程でも選択する人は多くない。それだけに、新鮮な感動を味わったという記述が見受けられた。

「歴史」はテレビの特性を生かしたダイナミックな授業構成が、興味を引いたようだ。

「生物学」は、加速度的に進歩しており、最新の研究を踏まえた放送大学は知的感動をもって受け入れられている。

「気になった点」では、内容と言うより、「ラジオの聞き難さ」を指摘する声が多かった。また、「基礎科目」とはいえ、「難しかった、用語が理解できない」等の声は多かった。一般の大学と異なり、基礎学力に差があるのはいたしかたないが、基礎科目のあり方の再考も必要だろう。

【学部】「共通科目：人文系」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った		12	12
今後の人生や仕事・学習に役立つ		10	10
視野が広がった、視点・考え方が変わった		8	8
楽しく受講できた。面白かった		8	8
興味が持てた、関心が持てた		7	7
受講して良かった		7	7
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		5	5
具体的・事例・実験があった		5	5
内容がよかった、分かりやすかった		4	4
今まで知らなかった知識が身に付いた		4	4
学習意欲が湧いた		3	3
知識の整理・深耕に役立った		2	2
基礎的な知識を得られた		2	2
現在の課題や身近な問題点を学べた		2	2
最新の情報や研究が学べた		2	2
身近に感じることが出来る内容だった		2	2
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた		1	1
受験・資格取得に役立つ		1	1
苦手意識がなくなった		1	1
他の科目と関連性があった		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった		17	17
対話形式の授業がよかった		4	4
知識の整理・深耕に役立った		1	1
内容がよかった、分かりやすかった		1	1
興味が持てた、関心が持てた		1	1
楽しく受講できた。面白かった		1	1
具体的・事例・実験があった		1	1
アシスタントがよかった		1	1
ラジオでよかった		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容がよかった、分かりやすかった		2	2
興味が持てた、関心が持てた		2	2
体系的、よくまとまっていた、整理されていた		2	2

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容がよかった、分かりやすかった		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった		1	1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●テキストの丸読みは避け、授業に独自性を持たせる。
●難しい言葉・用語は説明する。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。
●早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。
●通信指導や質問には迅速・丁寧・確実に対応する。
●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●放送事業と印刷教材の連動に留意する。
●認定試験は学習の内容や進捗 に合わせ、適切な出題とする。

【学部】「共通科目：人文系」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりにくい、説明・解説が不十分		4	4
難しい、高度すぎる、理解できない		3	3
質問や相談がしたい		3	3
面接授業を実施してほしい		3	3
内容に不満がある		2	2
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		2	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい		1	1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		1	1
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
時間が不足している		1	1
インターネットで視聴したい		1	1
スケジュールを改善してほしい		1	1
独自性が感じられない		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい		1	1
学習センターの利用について改善してほしい		1	1
面接授業が受講しにくい、内容を改善してほしい		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった		9	9
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい		4	4
放送授業と印刷教材の内容が異なる		3	3
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい		2	2
内容に不満がある		1	1
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい		1	1
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメントに不満があった		5	5
問題の解答・解答例・解説がほしい		3	3
難しい、高度すぎる、理解できない		2	2
内容に不満がある		1	1
スケジュールを改善してほしい		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい		8	8
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		7	7
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった		7	7
補助教材がほしい		3	3
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった		3	3
難しい、高度すぎる、理解できない		2	2
分かりにくい、説明・解説が不十分		2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる		2	2
スケジュールを改善してほしい		2	2
内容に不満がある		1	1
質問や相談がしたい		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		1	1
インターネットで視聴したい		1	1
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい		1	1
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい		1	1
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい		3	3
内容に不満がある		2	2
試験内容が通信指導の内容と異なった		2	2
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
分かりにくい、説明・解説が不十分		1	1
質問や相談がしたい		1	1
記述式および記述に関して改善してほしい		1	1
問題数が少なかった		1	1
試験の難易度を上げるべき		1	1

【学部】「共通科目：人文系」科目

よかった点

- 放送教材も印刷教材も分かりやすかった。実際に実験がどのように行われたのかがわかった。研究の入口部分が見られた気がした。
- 教員として生徒の理解力、問題解決能力、コミュニケーション能力等を向上させる新しい授業方法を理解することができました。
- 学習とはどういうことか理解できておもしろかった。いろいろな実験例が学べて楽しかった。専門用語もわかりやすい言葉で説明されていた。
- 教育にはあまり興味を持っていなかったが、先生方の話が分かりやすく、面白く楽しく学習できた。人は教えてもらわなくても自ら学ぶものだということを改めて理解した。学ぶということについて、多くの研究がなされていることが分かりうれしかった。頭の中で考えている事について学習する教科が存在することに驚いた。
- 素朴概念が協調的学習により、科学的概念へと変化していくプロセスがわかりました。教育に携わったことのない私にも、学ぶきっかけ作りが教育者にとって大切なことがわかりました。何故、学ぶ必要があるか、を認識できたような気がします。
- もっと固い、お決まりの暗記教科かな？と思っていたのですが、予想を裏切る面白さでした。先生ご夫妻のかけ合いが見事です(笑)。奥様の方がまろやかさの中に先導役を上手にしのばせ、旦那様の真面目かつ素朴で天然系(失礼!) の受け答えがとても楽しく、ラジオという不利な部分をこちらの想像力を引き出して下さる形で見事に引っ張って下さったと思います。いい学びになりました。感謝!
- 人が学んで賢くなるとはどういうことかが、いろいろな帰納的推論で考えられていることを知ることができた。人、ひいては自分もより成長させるためのヒントが得られたと思う。人が賢くなる根本的な原理を見直し、教育というものを心理学的観念から見直す良い機会となった。又、人は一生学び続ける仕組みを持っており、その質をできるだけ高く保ち一生発展させ続けてゆくためには、という研究、概論は自分自身へのエールにもなった。
- 思い返してみても、自分の小中高時代に習ってきた学習とは大きく異なる学習法が現在研究され、実際このような方法が教育の場で実施されつつあるということが、大きな驚きだった。自ら考えて学ぶ、教えられたことをそのまま暗記するのではなく、どのようなプロセスで人は理解に至るのか、学習のゴールをどこに設定するのかなどを”学び”という意味を深く掘り下げる授業展開が非常に興味深く、これからの自分の学び方というものも大きく役立ったと思える授業だった。
- 子育てする親として教育にも関わることが多いので今後も子どもと一年毎に勉強する上で、とても勉強になった。先生の教育心理学に対する熱意・情熱・問題意識の深さ等が感じられ、とても心引かれ、興味・関心が深まった。物を見る視点が明確で、今まで自分が持っていなかった新たな視点が与えられた事。とても魅力的な授業でした。
- 講師の方が対話形式で授業を進められることに驚き、新鮮な感じを受けた。対話形式であるためか、受講生に対する語りかけも自然であると感じた。
- 人の学びの構造が少しわかった気がした。学校での学びは経験則が土台となって、科学的知識に変えていくプロセスなんだと思った。“人は学び続ける動物”“学びが次の学びを引き起こす”等のフレーズが印象的だった。

気になった点

- 放送内容が印刷教材に全く無いことがあり、ノートをとるため幾度も録音したことを聞き直した。できれば重要なことは印刷教材に記載してもらいたい。
- 15 回ではコンパクトに内容を盛り込んでいて勿体ないと思い、1 年間通じての授業になればより楽しく勉強できたのかなと感じた。
- 教科書の索引がほとんど役に立たず、見直しや再確認にむだな時間を費やしてしまった。教科書を講師の方々が丸よみしているため、おもしろみがなかった。もっと絵や図表を用いてもいいのかなと思います。私としては、ラジオ放送ではなく、テレビ放送のほうが良いと感じました。
- 通信指導問題は「最も適切なものを選ぶ」など、答えに迷うものばかりで、教科書を何度も読み返したり放送授業を聞きなおしたりしても明確にならず、解説を読んでも充分に理解できたとは言えない状態です。もう少し丁寧な or 平易な説明が欲しいと思いました。
- 教育現場には、健常児だけでなく個性がそれぞれの子ども達がいる。その子達にも光を当てた幅のある応用も取り組んでほしい。理想論が強いように思えた。例えば発達障害の子供達は相互関係が築きにくい。その点を考慮する教育を考えてほしい。
- 印刷教材が読みにくく感じます。放送内容も印刷教材の内容と同じで(関連しているので当然ですが…)、理解しにくい印刷教材の内容理解を助けてくれるような放送授業だと助かります。択一式の問題があって、選択肢が理解不能のものがあり、答えにとまどう時が多かった。(科目の理解につながったか疑問である。)
- 授業内容は実験的試みが多く興味深いものであったが、かなり注意深く聴き、印刷教材に目を通していないと、その事ごと与えられている課題を明確に把握し損ねることがあり、それが今回は通信指導や単位認定試験での設問の択一式の質問内容の捉え方がいくつにも解釈できる。或いは解釈できずに、理解できずにいることで苦労する事になった。それがどう改善すべきものかわからないが、私個人としては難しい授業であると思った。特に素朴理論がいかに科学的概念に変化するかの概念変化の事は難しかった。
- 私の勉強不足かもしれませんが、8 回目までの通信指導の内容がいくらテキストと照らし合わせながら読んでも難解で理解できず、合格ラインに達しませんでした。概論というのは、その科目の一番本質である根幹を学ぶことだと思っていました。今回の課題は①微妙な言い回しの言葉遊びのような、②ふるい落とす為の試験技術を試されているかのような感じを受けました。③難解な文章から正解を見つけ出す国語のテストなのだろうかと思いました。④こんな風に考えさせることを目的とされているのかな、とも思いました。

【学部】「共通科目：自然系」

よかった点

（単位：人）

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	22	26	48
内容がよかった、分かりやすかった	22	13	35
基礎的な知識を得られた	10	12	22
知識の整理・深耕に役立った	13	7	20
視野が広がった、視点・考え方が変わった	9	6	15
今後の人生や仕事・学習に役立つ	7	6	13
受講して良かった	9	4	13
他の科目と関連性があった	4	5	9
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた		8	8
最新の情報や研究が学べた	4	4	8
学習意欲が湧いた	6	2	8
興味が持てた、関心が持てた	5	2	7
楽しく受講できた。面白かった	6	1	7
今まで知らなかった知識が身に付いた	3	4	7
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	3	3	6
自分の考えが持てるようになった	3		3
身近に感じることが出来る内容だった	3		3
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	1	1	2
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1
専門的な内容だった	1		1
苦手意識がなくなった	1		1
インターネットが充実している		1	1
学習センターがあって良かった	1		1
費用が安い	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	6	2	8
内容がよかった、分かりやすかった	1	2	3
ポイントが明確だった	2		2
勉強になった、役に立った	1		1
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった		1	1
愛情・熱意が伝わる教材だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	1		1
知識の整理・深耕に役立った	1		1
視野が広がった、視点・考え方が変わった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった	1	1	2
単位がとれた	1		1
評価がよかった	1		1
やりがいがあった	1		1
簡単だった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	8	1	9
内容がよかった、分かりやすかった	3	3	6
映像・テレビでよかった	2	2	4
インターネットで受講できた	2	2	4
勉強になった、役に立った	1		1
自分の考えが持てるようになった	1		1
他の科目と関連性があった		1	1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	1		1
放送のテンポがよかった	1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

- ●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
- ●難しい言葉・用語は説明する。
- ●学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
- ●早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。
- ●学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
- ●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- ●認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
- ●放送授業と印刷教材の連動に留意する。
- ●ラジオではわからないところが出てくる。テレビでの講義を求む。
- ●テキストの丸読みは避け、授業の独自性を持たせる。
- ●練習問題や演習など、授業以外での学びのチャンスを作る。

【学部】「共通科目：自然系」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	13	10	23
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	8	4	12
難しい、高度すぎる、理解できない	5	5	10
分かりにくい、説明・解説が不十分	3	5	8
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	6	2	8
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	4	4	8
関連科目を新設してほしい	5	2	7
まとめや学習のポイントがほしい	3	3	6
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	2	5
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	2	5
時間が不足している	3	2	5
質問や相談がしたい	4	1	5
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3	2	5
面接授業を実施してほしい	3	2	5
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2	1	3
インターネットで視聴したい		3	3
現実に活かせる内容にしてほしい	1	2	3
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	2	1	3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	1	2
補助教材がほしい	1	1	2
スケジュールを改善してほしい	1	1	2
面接授業が受講しにくい、内容を改善してほしい	1	1	2
参考文献を紹介してほしい		1	1
学習センターの利用について改善してほしい	1		1
短大制を導入してほしい		1	1
科目登録申請について改善してほしい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	8	5	13
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	4	4	8
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい	5	1	6
補助教材がほしい	4	1	5
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	3	1	4
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	2	1	3
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	3		3
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
難しかった	1	1	2
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	1	1	2
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
内容に不満がある		1	1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
教材の内容に重複がある	1		1
誤植を直してほしい		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	2	3	5
指導内容、コメントに不満があった	3	2	5
内容に不満がある	2	2	4
スケジュールを改善してほしい	2	2	4
質問や相談がしたい		1	1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	2	29	31
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	10	1	11
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	6	4	10
インターネットで視聴したい	3	6	9
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	2	6
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	3	3	6
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5		5
内容に不満がある	3	1	4
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	4		4
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	3	1	4
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	2	3
時間が不足している	3		3
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	2	3
難しい、高度すぎる、理解できない		2	2
まとめや学習のポイントがほしい	2		2
補助教材がほしい	1	1	2
スケジュールを改善してほしい	1	1	2
図・表・写真を利用してほしい	1	1	2
例題・実習・演習を取り入れてほしい	2		2
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい		1	1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
電子掲示版の利用について改善してほしい		1	1
質問や相談がしたい		1	1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	1		1
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
スケジュールを改善してほしい	2	2	4
試験の難易度を上げるべき	3	1	4
内容に不満がある	1	2	3
問題の解答・解答例・解説がほしい	1	2	3
質問や相談がしたい	1	1	2
記述式および記述に関して改善してほしい		2	2
試験内容が印刷教材の内容と異なった		2	2
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
時間が不足している		1	1
問題が多かった、範囲が広かった		1	1
問題数が少なかった		1	1
試験内容が通信指導の内容と異なった		1	1
面接授業を受けなくても単位が取れる様にしてほしい		1	1

【学部】「共通科目：自然系」科目

よかった点

- 放送大学でなければ近年のデジタルメディアについて学習することが出来なかったので、よい機会を与えていただき、感謝しています。高齢者には新しい用語が多く、難しかったが、判りやすく書かれており、また放送でも重ねて学習できたので、デジタルメディアの特性を考えることができた。
- 我々が IT メディアを使う上で、どのようなことに注意していくべきかがよくわかった。私自身はパソコンやスマートフォンをそれほど利用する機会はないが、日常生活の中でそれらのデジタルメディアが現代ではいかん様々な分野で用いられていてるかを知ることができた。これからは、デジタルメディアの技術的な分野ついても学んでいきたいと思った。
- 普段の生活に使用しているメディアが日々使いやすくなるよう進化しているのが良くわかった。メディアパソコンに関する用語をたくさん覚えられた。放送授業内のスキット「ホウダイ家」を見るのが毎回楽しみでした。
- 数学の基礎的科目にもかかわらず、理解しにくいと一般的に言われる中、段階をふんで説明して頂き、とても満足です。特に 2 次、3 次、n 次との順による説明に。他の書物ではなかなかありません。
- 理解でき視野が広がったと思う。物理の理解に大切な働きをしていることが分った。宇宙の進化等の理解に計算が大きな力を発揮していると分り良かった。助手の方のコメントが学習方法のよいヒントになり良かった。
- 小生 61 才ですが、数学は高校の時にお手上げになり文化系の私立大学に行ったため、18 才から縁がありませんでした、情報コースをとったため、数学を去年から取らせてもらいましたが、教え方がうまく素人のような学生にこれだけ教える（基礎から）のには大変良い講義だと思いました。A 先生も大変熱心で教科書も良くできていて、助手のＢさんも良い発言をしていたと思いました。評価はＣでしたが、良くも合格できたと感謝しております。
- 一般的に大学の授業は、思考過程を飛ばして説明する事が多い。（判っているか、参考書を利用して理解する）今回の説明では、証明が具体的で判り易く、教材テキストとテレビ映像がほぼ一致していて復習も容易であった。又、テレビの最後にＣさんが一言、勉強のヒントになる様な言葉を話されるので大いに参考になりました。「共通科目」ではありますが、科目内容を良く理解してもらうのは第一義と思います。この科目のように他の科目でもキメ細かい説明を心掛けていただけたらと思いました。
- 月実施の知的財産管理技能検定 2 級にパブリシティ権で勉強した内容が問われ、答えることができたことが大変うれしい。CC3 他 2 人など、今ひとつわからなかった点を確認できたのは、とても良かった。
- 仕事上必要な知識が身に付いた。図（放送大の教材）を使いながら説明をしたら相手に伝わった。

気になった点

- ・講師同士や専門家訪問時の対話も、学生に向けて聴かせるよう、少しゆっくり明瞭に話してほしい。・部外専門家の話と印刷教材内容が多々並列していて、インターネット配信で全体がやっと理解できた。教材は放送内容を補完するよう希望。
- 放送とテキストがかなり離れている感があった。1つの授業で2つの授業を受けられるので得をした感もあるし、もう少し関連付けて欲しかった感もあった。
- 印刷の文章が理解しにくい所が数か所あった。学習目的の答えがどこなのか分かりにくかった。私達の生活の場面であてはまる具体例がありましたが（クラウドソーイング→Wikipedia）もっとたくさん具体例があったらわかりやすかったのではないかと思った。
- 数式を使う授業をラジオで行うのは間違いである。録音して何度聴き直してもわからないことがあった。先生は原稿を棒読みしているようで、なじめず。複素数解析は、入門編として難しすぎる。余計だった。演習問題は解答のみで解き方わからず。
- 単位認定試験に授業にも印刷教材にも出てこない内容について掘り下げた問題が出ていて解答できなかったので、内容をもう少しやさしくしてほしい。
- アシスタントがもっと質問して(内容の理解に役立つような)いると、もっとよかったと思います。又、式や変換の意味する事を視覚的に表現するものがあると、学習している事をイメージしやすいのではないでしょうか。
- 授業が教科書丸写し 95%でビックリした。やや解法説明はあったものの、時間がなく、いつも Cの問題が授業でやらない→わからないまま、とばす他の理系大学を卒業した人によると、1年で基礎から応用までやっていた所もあるとか放送でとばす位なら、1年で、例えば数学Ⅰ、Ⅱと分けてもっと理解を深めるものにしてもらいたい。面白い科目なのに基礎ではもったいないと強く思う。孤独に通信大学で勉強しているのだから、質問箱にももっと早く回答して下さい!!別解もテキストにのせて欲しい、図も。
- ・各章末に、練習問題が欲しいと思います。もう少し、計算力を養うトレーニングにもなるようなものがあれば、更に良いと思いました。・線型代数の手法や考え方が、具体的にどう役立つのか、実例の紹介があれば、数学専攻以外の人の興味も湧きやすいと思いました。
- ・より知りたい内容のところで、「くわしくは印刷教材にかいているので読んで下さい」というのはよくないと思う。時間がかかる内容であれば載せなければいいし、きちんと載せるのであれば証明はすべきである。一番知りたい内容が Cut されれば何の為の勉強かわからない。
- ・テレビ授業にすべきだと思った。・印刷教材や、通信指導や解説にまちがいが散見されるので、直してほしい。・印刷教材が少しわかりにくく、他の参考書を読んでようやく理解した。・試験は少し簡単すぎました。このレヴェルなら 15 問か 20 問あってもいいです。
- 著作権と知的財産を勉強した上での学習が望ましいと思う。法律の知識が不可欠で注意が何を意味しているのかがわかるまでが大変で、今ではだいたいわかるものの、法律系の学生が注を読んで何を意味しているかがわかるまで訓練を授業で学んでいると思うが、放送大学の学生が学ぶ機会があるのか疑問。注の読み方のハンドブックを作成すべきではないかと思う。

【学部】「共通科目：外国語」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	19	16	35
楽しく受講できた。面白かった	14	3	17
学習意欲が湧いた	6	8	14
知識の整理・深耕に役立った	6	6	12
内容がよかった、分かりやすかった	4	8	12
基礎的な知識を得られた	8	2	10
視野が広がった、視点・考え方が変わった	6	2	8
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	4	4	8
受講して良かった	6	2	8
今後の人生や仕事・学習に役立つ	2	4	6
他の科目と関連性があった	2	2	4
興味が持てた、関心が持てた	1	2	3
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	1	2	3
最新の情報や研究が学べた	1	1	2
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	1	1	2
身近に感じることが出来る内容だった	2		2
今まで知らなかった知識が身に付いた		1	1
具体的・事例・実験があった		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
ポイントが明確だった	1	2	3
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	1	2	3
内容がよかった、分かりやすかった	1	1	2
引用・参考文献、練習問題がありよかった	1		1
愛情・熱意が伝わる教材だった	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった		2	2
内容がよかった、分かりやすかった		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
やりがいがあった	1		1
簡単だった		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	8	5	13
内容がよかった、分かりやすかった	3	1	4
映像・テレビでよかった	3	1	4
インターネットで受講できた		2	2
勉強になった、役に立った	1		1
今後の人生や仕事・学習に役立つ		1	1
受講して良かった		1	1
学習意欲が湧いた	1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●難しい言葉・用語は説明する。
●学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
●早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。
●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●認定試験は学習の内容や進捗 に合わせ、適切な出題とする。
●練習問題や演習など、授業以外での学びのチャンスを作る。
●興味を喚起する教材を用意する。
●以前の同様科目との連続性に留意する。
●必要に応じDVD・CD等の資料を活用する。

【学部】「共通科目：外国語」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	2	8	10
難しい、高度すぎる、理解できない	3	4	7
分かりにくい、説明・解説が不十分	6		6
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	5	1	6
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	1	5	6
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	5	1	6
関連科目を新設してほしい	2	3	5
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	2	2	4
質問や相談がしたい	4		4
スケジュールを改善してほしい		4	4
現実に活かせる内容にしてほしい	3	1	4
面接授業を実施してほしい	3	1	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	1	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1	1	2
まとめや学習のポイントがほしい	1	1	2
時間が不足している	1	1	2
インターネットで視聴したい	1	1	2
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	1	1	2
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい		1	1
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1		1
サブタイトルをつけてほしい		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		1	1
独自性が感じられない	1		1
学習センターの利用について改善してほしい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	2	7	9
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	6	1	7
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	4		4
インターネットで視聴したい	2	1	3
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2	1	3
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	2	1	3
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	1	2	3
難しい、高度すぎる、理解できない	2		2
分かりにくい、説明・解説が不十分	2		2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
内容に不満がある	1		1
時間が不足している		1	1
質問や相談がしたい		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
補助教材がほしい		1	1
図・表・写真を利用してほしい		1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	11	4	15
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	2	5	7
内容に不満がある		3	3
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	1	1	2
資料・データが古かった、改定版を出してほしい		2	2
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
補助教材がほしい	1		1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1
難しかった		1	1
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	1		1
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい		1	1
教材の装丁を改善してほしい		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	2	1	3
内容に不満がある	1	1	2
指導内容、コメントに不満があった	1	1	2
時間が不足している	1		1
独自性が感じられない	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の難易度を上げるべき	5	12	17
内容に不満がある	3	4	7
難しい、高度すぎる、理解できない		3	3
スケジュールを改善してほしい	1	1	2
試験内容が通信指導の内容と異なった	1	1	2
まとめや学習のポイントがほしい	1		1
時間が不足している		1	1
記述式および記述に関して改善してほしい	1		1
問題が多かった、範囲が広かった		1	1
問題数が少なかった	1		1
試験内容が印刷教材の内容と異なった		1	1
問題の解答・解答例・解説がほしい		1	1
教材持込み可にしてほしい	1		1
結果通知が届くのが遅い	1		1

【学部】「共通科目：外国語」科目

よかった点

- 中国語の分法や単語の並べ方などを知ることができ、さらに発音は非常に難しいことがわかった。まずの一歩を踏み出せたのは非常によかった。
- ・中国文法を体系的に学ぶ事ができたのが良かった。・放送授業で丁寧に一文一文、説明してもらえたのも良かった。
- 授業の構成、テキストの内容共に素晴らしい。又、講師陣の誠実な雰囲気が良く、余計な連想を起こさせなく、授業に集中出来るのが良い。なので、特に改善を思わせるところがない。本当に素晴らしい。
- これまで中国語入門Ⅰ・Ⅱ、中国語基礎講座を履修し、単位を取得しました。今回は復習のために中国語Ⅰを履修しました。復習だけではなく、新しい単語などを学習することができました。また、中国語検定4級に合格することができました。
- 独習では無理だったと思うことが、15回の授業で学べました。やはり大学の外国語選択クラスだったからだと思います。かつて大学生の時に、第2外国語としてフランス語を選択したのですが、40年という時が経過しましたので、あの頃よりずいぶん大変でした。が、とてもテキストの内容が楽しく、毎回たくさんの構文にもめげずやってこられたようです。（ミニ・レクチャー、ノート、まとめがすごく良かったです）
- ・ネイティブな発音が学習理解度向上に役立った（CD付で何回もヒアリングが出来た。）。・文法についても体系立った説明で非常に参考になった。・A先生のミニレクチャーは面白く、理解が早く出来た。
- 中国の観光地を巡る放送授業は映像を見るだけでも楽しかったです。交通機関の使い方も学べたので実際に行った時に役立つと思いました。半年で学ぶには内容が多く難しかったので、何度もくり返して細かい部分まで理解できるように単位をとった後も続けて行きたいです。中国語Ⅰを学び終え自信がついたら中国語Ⅱも学習したいと思います。是非TV放送で作って下さい。
- 昨年度までに、中国語入門Ⅰ、Ⅱ、中国語基礎を履修し、まとめのつもりで本科目を受講したが、Ⅰ、ⅡⅢ単元それぞれ異なった趣の教材内容で新鮮な気持で受講できました。印刷教材の内容からすると放送授業は時間が足りないように感じたが、印刷教材の学習のポイントで十分内容理解ができ、満足できるものであった。
- ラジオ科目だからこそ「老山界」の情景が目に浮かぶ様で良かったと思います。
- 私は昨年度“中国語入門Ⅰ（’10)”を受講しました。今年も引き続き本科目を受講しましたが、内容的に昨年度の「・・・入門Ⅰ（’10)」と大きな違いはなく、復習する様な気持ちで受講しています。講師陣も同じメンバーなので、講義の進め方もほぼ同じなので違和感なく受講出来て、更に理解が深まった様な気がします。講師陣の説明がうまく、素晴らしい。
- 普段はあまり触れる事の無い中国の文学作品を、中国語のまま読むことができた事。また、中国語Ⅰも受講したが、文法など内容が重なる点も多く、良い復習になった。中国の子供たちによる朗読も大変興味深く、良い学習のスタートが切れたと思う。そして、B先生の朗読はいつも聞き取りやすくて、大変助かった。

気になった点

- 入門（学習の第一段階）の学生には難しいと思う。もう少し細分化されたレベルが設定されていても良いと思う。
- 印刷教材をもう少し図を取り入れてわかりやすく説明してもらえると更に理解が深まったと思う。
- 課文の訳は載せてほしいです。授業では、そういう訳し方になる理由、中国語的な考え方と表現の関係、もし語順を変えてしまったらどうなるか、などなど、もっとＡ先生の授業のようにおもしろい事がききたいです。それからホンモノの会話をききたいです。Ｂ先生が CD みたいな役だったので、Ｂ先生とＣ先生の自然な雑談みたいなものでもききたかったです。Ｂ先生もＣ先生もＤさん役の方もＥさん役の方も教材ではなく人間として語って下さる場面があれば、それがなに気ない言葉でも学習者としては、断然モチベーションがあがると思います！
- 通信指導の内容と比べても、単位認定試験の問題はかなり易しいと感じた。印刷教材の添付 CD について、スキットだけでもゆっくり目のスピード＋ナチュラル・スピードの 2 種類の録音があると学習に役立つと思います。
- ・ピンインからゆっくり覚えていきましょうと言いつつ、毎回のスキットは長く難しい。試験はスキット内容からでるので、表面的にスキットを覚えればとけてしまう。これでは、決められた文言を暗記できているかの調査にしかなっておらず、本当に初級の中国語が身につく授業、試験の構成になっていないと思う。
- 印刷教材の文法解説の細かい説明が字が小さくて見にくいと思った。
- 1.本文とピンインを別にしているので使いにくい(両方から勉強出来るとしているが…)。2.本文の訳が書いていない。3.教科書と放送内容が異なっている。
- 練習問題が文法の解説部分を読んでも回答できない点。（文法だけは理解できたが、問題が難しいように感じられた）練習問題の解説をつけてほしい。
- 中国の現代社会を反映した題材を選んで欲しい。
- 放送教材と印刷教材の内容に剥離がある。しかも説明不足。
- 科目の内容に比べて単位認定試験はあまりにやさしすぎると思った。せっかく学習した力をためすことができなかった。
- 前期に中国入門Ⅰ（’10）を受講して単位が取れたが、今回連続して中国語Ⅱを受講。しかし、入門ⅠとⅡの間の難解度のギャップが大きすぎて理解するのに苦労した。今回は 10 版から’14 版切替の過渡期なので、やむを得ないが、改善を要する。
- 1.印刷教材に「中国学Ⅰ(’14)」を参照する記述が多く見られたが、「中国語入門Ⅰ(’10)」から「中国語Ⅱ(’14）へ進んだ私は、参照できなかった。2.通信指導の内容と単位認定試験の問題形式と関連性が低く、通信指導の問題からは単位認定試験の問題がイメージできなかった。
- 今回、14 年開講で中国語Ⅰと中国語Ⅱが同時に行なわれたわけですが、普通ならⅠを受けてからⅡを受けるという順序なのでしょうが、私は数年前中国語初級を受けてましたので、いきなり中国語Ⅱを受けました。ところがⅡの印刷教材や放送でも、Ⅰを参照せよとの部分がかなりありました。同時に開講しているのに、Ⅰを復習する事は出来ないのではないでしょうか？

共通科目総覧

基本的には「基本科目」と記述内容の傾向は変わらないが、科目によっては、学習を自分の仕事に生かす人がかなり見受けられた。人文系(心理と教育)は、実際に教育現場で働いている人、自然系（情報）は、IT 系や情報処理に係る仕事の人、等である。「良かった点」で「おもしろかった、わかった」より「身に付いた、役に立った」と答える人が多くなるのも当然だろう。仕事とは関係なくても「日常に反映させる、生活の指針とする」という人も多い。

それだけに、授業や教材・指導についても、もう一段階上を望む傾向があり、教材や授業の運び方にもいろいろと要望が出ている。特に、テキストを読むだけの授業や、印刷教材と放送授業の連携の悪さに対する指摘は多く、理数系の科目では、練習問題を望む声も多くあったりと、全般的に意欲的な学びへの欲求が感じられる。もちろん優れた講義や科目構成に対しては、順当に評価が高い。

なお、ここでも「ラジオよりテレビ」での授業を望む声は多い。

【学部】「生活と福祉」

よかった点

（単位：人）

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今後の人生や仕事・学習に役立つ	38	43	81
勉強になった、役に立った	34	36	70
知識の整理・深耕に役立った	27	23	50
内容がよかった、分かりやすかった	15	24	39
視野が広がった、視点・考え方が変わった	12	26	38
現在の課題や身近な問題点を学べた	10	22	32
興味が持てた、関心が持てた	15	16	31
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	9	20	29
今まで知らなかった知識が身に付いた	8	18	26
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	12	10	22
楽しく受講できた。面白かった	4	16	20
受講して良かった	8	11	19
自分の考えが持てるようになった	4	12	16
最新の情報や研究が学べた	5	9	14
学習意欲が湧いた	6	8	14
基礎的な知識を得られた	8	2	10
身近に感じることが出来る内容だった	4	4	8
具体的・事例・実験があった	6	2	8
専門的な内容だった	4	1	5
他の科目と関連性があった	1	3	4
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	1	1	2
受験・資格取得に役立つ	1		1
科目が多くて楽しい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	3	3	6
内容がよかった、分かりやすかった	1	4	5
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	2	3	5
量が適切であった		2	2
今まで知らなかった知識が身に付いた		1	1
他の科目と関連性があった	1		1
CD、テープが役に立った	1		1
引用・参考文献、練習問題がありよかった	1		1
ポイントが明確だった		1	1
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	1	1	2
講師の指導がよかった		1	1
パソコンが利用できた		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	3	4	7
試験内容が適切だった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	2	7	9
映像・テレビでよかった	9		9
現場取材やインタビューがあってよかった	3	3	6
内容がよかった、分かりやすかった		3	3
インターネットで受講できた	1	2	3
勉強になった、役に立った	1	1	2
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった		2	2
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた		2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1	1	2
興味が持てた、関心が持てた		1	1
視野が広がった、視点・考え方が変わった		1	1
楽しく受講できた。面白かった		1	1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		1	1
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった		1	1
音楽が良かった		1	1
放送授業と印刷教材の内容が同じだった		1	1
放送時間がよかった		1	1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
●幅広い年齢層に対応する。
●早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。
●ジェンダーや身体的条件、家族のありように配慮する。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。
●通信指導や質問には迅速・丁寧・確実に対応する
●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。

【学部】「生活と福祉」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	16	12	28
難しい、高度すぎる、理解できない	13	12	25
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	12	16
質問や相談がしたい	4	11	15
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	11	2	13
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	5	8	13
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	7	6	13
関連科目を新設してほしい	3	8	11
スケジュールを改善してほしい	1	9	10
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	5	2	7
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	2	4	6
現実に活かせる内容にしてほしい	3	3	6
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	2	4	6
面接授業を実施してほしい	2	4	6
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		5	5
まとめや学習のポイントがほしい	1	3	4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	3	4
時間が不足している	1	2	3
インターネットで視聴したい	1	2	3
独自性が感じられない		2	2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1	1	2
各種通信デバイス利用を充実してほしい		2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
電子掲示版の利用について改善してほしい	1		1
補助教材がほしい	1		1
学習センターの利用について改善してほしい		1	1
現役の講師を招聘してほしい	1		1
受講・卒業の規定を見直してほしい	1		1
放送大学のアピールをしてほしい		1	1
面接授業が受講しにくい、内容を改善してほしい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	8	25	33
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	9	11	20
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	9	11	20
放送授業と印刷教材の内容が異なる	7	11	18
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	6	7	13
分かりにくい、説明・解説が不十分	2	7	9
難しい、高度すぎる、理解できない	4	3	7
インターネットで視聴したい	5	1	6
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2	4	6
図・表・写真を利用してほしい	2	3	5
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	3	4
内容に不満がある	1	2	3
補助教材がほしい	3		3
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい		3	3
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい		3	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1	2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	2		2
質問や相談がしたい	2		2
スケジュールを改善してほしい	1	1	2
関連科目を新設してほしい	1	1	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		1	1
まとめや学習のポイントがほしい	1		1
時間が不足している		1	1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たし		1	1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1
例題・実習・演習を取り入れてほしい		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	8	18	26
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	6	6	12
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	5	6	11
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	4	5
補助教材がほしい	1	2	3
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	1	2	3
教材の内容に重複がある	1	2	3
難しい、高度すぎる、理解できない	1	1	2
分かりにくい、説明・解説が不十分		2	2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	2		2
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	2		2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		2	2
現実に活かせる内容にしてほしい	1	1	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
内容に不満がある		1	1
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		1	1
難しかった	1		1
誤植を直してほしい		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメントに不満があった	4	10	14
質問や相談がしたい	1	4	5
問題の解答・解答例・解説がほしい	1	4	5
難しい、高度すぎる、理解できない	2		2
内容に不満がある	2		2
放送授業と印刷教材の内容が異なる		1	1
面接授業を実施してほしい		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	6	9	15
問題の解答・解答例・解説がほしい	5	9	14
内容に不満がある	8	4	12
問題が多かった、範囲が広かった	5	4	9
試験内容が印刷教材の内容と異なった	2	7	9
記述式および記述に関して改善してほしい	1	5	6
試験内容が通信指導の内容と異なった	2	4	6
問題数が少なかった	2	3	5
スケジュールを改善してほしい	2	2	4
試験の難易度を上げるべき		4	4
分かりにくい、説明・解説が不十分	1	1	2
まとめや学習のポイントがほしい	2		2
質問や相談がしたい		2	2
教材持込み可にしてほしい		2	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1
時間が不足している	1		1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		1	1
試験官の声が小さい・話し方が平坦		1	1
単位数を増やしてほしい		1	1

【学部】「専門科目：生活と福祉」科目

よかった点

- 感染症にかからないために注意べき点や医師の診察を受ける時に注意点等日常生活にすぐ役立つ知識の他にニュース等で話題になる感染症の知識を得る事ができたため、今までは気に留めなかった世界各地で生活している人達に関心を持ち、より身近な情報として感じるようになり、知識の幅が広がったと思う。
- 興味、関心のある科目であったため、再学習することが出来ました。時代と共に新しい感染症が発見され、また生活の中でも身近にあることと改めて学べました。
- 看護師ですが、現代の医学をもとにつくられた科目でしたので役立つことばかりでした。日々進歩なので新しい知識を学ぶことは重要だと思います。
- 食物と健康の関係、中毒学、化学物質の代謝、発ガン物質、食物アレルギーの知識、生物学的病因、食の安全性を守る社会環境等の知識が得られたこと。
- 食物について管理の仕方が理解できたことは良かったです。腸管免疫の内容が具体的でより知識が深まりました。
- 非常に興味をひく良い講座だった。“リスク”という切り口が現代社会の問題として共感できた。ていねいに新しい話題や学説が盛りこまれていて、講師の熱心さが伝わってきた。
- 自分中心の家庭しか知らなかったけれど、この科目を学んで貧困や男性の生き方など、家族の問題が広くて深い事が分かりました。子供の問題が（虐待や貧困）速やかに対策を考えて欲しいです。学んで本当によかった！科目でした。
- これから仕事での実務を経て、介護福祉士の資格を取得したいという目的があるので、関連している内容でとても役に立ちました。
- 世界銀行の仕組が解った。アジア諸国の社福制度が解った。
- 福祉のとらえ方、考え方が国によって違うところが面白かったし、自分の国の福祉のあり方に比較して良い所、悪い所（？）を思いめぐらすことができました。
- 臨床家族社会学の扱ういろいろな場面がとりあげられていたこと、複数の先生がそれぞれの専門の立場から切りこんでいたことで臨床家族社会学の扱ういろいろな面を知ることができた。
- 問題をかかえる家族の捉え方の参考になりました。と同時に、自分の家族生活を日々営む上で配慮していきたいと思いました。
- 震災の話をまじえての教材で、医療や介護について分かりやすく学べた。トリアージについて理解できた。
- もともと災害看護を約 4 年前から勉強したり、学会に行ったりしていたため、内容が深まった。

気になった点

- テレビ科目だったら更によかったと思いました。
- 専門的な知識が多くて難易度が高いと思いました。
- 表や図の文字が小さすぎて、みづらい所があった。（印刷教材）放送授業も見てみましたが、流れが早い為、講師の方の説明で分からない所もそのままになってしまっていた。
- 男性側からの問題をとりあげており、女性側からの視点でもとりあげて欲しかったです。試験問題の出し方が、“昔”とかあいまいだったので“何年頃”とか明示して欲しいです。
- 昔の家族形態がどうであったという点ばかりに触れ、だから結局何が言いたいのか、未来に触れる頁がわずかしかなかったことに不満を感じた。
- 食のリスクの因果関係、リスクに陥った時の対策等々の詳細をもっと深く説明が欲しい。
- もう少し分かりやすく理解できるように教材を変更するべきだと思う。課題と試験の内容がちがいすぎる!!!
- 放送授業で印刷教材に全く触れない回が何回かあり、とまどった。貴重なお話かもしれないが、コンパクトにまとめられていず、だらだらしたインタビューが多かった。
- 通信指導で誤った回答、解説となっているものがあり、それがそのまま試験に出され、修正稿により修正されていた。本来であれば、通信指導の回答が誤っていたのだから、その問題は出すべきものではなかった。（出すとしても、全員正答扱いとすべき。）
- ラジオ授業より映像としてグラフや図の活用で理解が深まるのでは。
- 印刷教材において理解しづらい面があった。わかりやすい文章にしてもらえればと思う面がある。
- この科目を受講したことはとても勉強になり一生懸命勉強したが、試験の内容が重要な事ばかりでてきているようには思わなく、何故このような問題が？と思う問題が多く困惑しました。
- 災害看護：実際に災害が起こった際の、看護婦の具体的な役割ついて、もう少しほり下げて、イラスト写真入りで学びたかった。また取り組んでいる病院などの施設での対応・マニュアル・訓練についての課題に関しても学びをもっと深めたかった。国際看護学：これだけで一科目として学びたかった。もう少し詳しい内容を教本にして頂き実際に活動している方々の状況が課題に関して学習したかった。幅広い知識を持て、実践に生きるような情報も得たかった。

【学部】「心理と教育」

よかった点

（単位：人）

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	63	43	106
今後の人生や仕事・学習に役立つ	52	42	94
内容がよかった、分かりやすかった	28	35	63
視野が広がった、視点・考え方が変わった	32	20	52
楽しく受講できた。面白かった	21	24	45
受講して良かった	16	24	40
知識の整理・深耕に役立った	18	21	39
基礎的な知識を得られた	7	27	34
興味が持てた、関心が持てた	10	22	32
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	13	18	31
学習意欲が湧いた	18	13	31
身近に感じることが出来る内容だった	11	19	30
今まで知らなかった知識が身に付いた	18	6	24
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	12	11	23
他の科目と関連性があった	8	15	23
最新の情報や研究が学べた	5	6	11
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	7	2	9
具体的・事例・実験があった	6	3	9
現在の課題や身近な問題点を学べた	5	3	8
自分の考えが持てるようになった	4	4	8
専門的な内容だった	3	3	6
受験・資格取得に役立つ	3	1	4
学習センターがあって良かった	1	2	3
苦手意識がなくなった		2	2
面接授業が有り難い	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1	1	2
試験内容が適切だった	1	1	2
知識の整理・深耕に役立った	1		1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		1	1
学習意欲が湧いた		1	1
印刷教材が持ち込めて良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
映像・テレビでよかった	31	1	32
講師の指導がよかった	21	10	31
内容がよかった、分かりやすかった	13	2	15
インターネットで受講できた	7	5	12
アシスタントがよかった	11		11
現場取材やインタビューがあってよかった	8		8
楽しく受講できた。面白かった	5	2	7
具体的・事例・実験があった	3	3	6
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	5	1	6
勉強になった、役に立った	3	1	4
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	1	3	4
対話形式の授業がよかった	1	2	3
ラジオでよかった		3	3
放送のテンポがよかった	1	2	3
今まで知らなかった知識が身に付いた	2		2
知識の整理・深耕に役立った		1	1
興味が持てた、関心が持てた		1	1
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	1		1
受講して良かった	1		1
学習意欲が湧いた	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	3	8	11
内容がよかった、分かりやすかった	1	2	3
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	2		2
引用・参考文献、練習問題がありよかった	1	1	2
勉強になった、役に立った		1	1
最新の情報や研究が学べた		1	1
専門的な内容だった		1	1
CD、テープが役に立った	1		1
ポイントが明確だった		1	1
愛情・熱意が伝わる教材だった		1	1
量が適切であった		1	1
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	4	2	6
パソコンが利用できた		3	3
勉強になった、役に立った	1	1	2
学習意欲が湧いた	1	1	2
知識の整理・深耕に役立った	1		1
内容がよかった、分かりやすかった	1		1
講師の指導がよかった		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●難しい言葉・用語は説明する。
●学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
●早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。
●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。
●幅広い年齢層に対応する。
●テキストの丸読みは避け、授業の独自性を持たせる。
●認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
●ジェンダーや身体的条件、家族のありように配慮する。
●放送授業と印刷教材の連動に留意する。
●理論以上に具体的な方法論を取り入れる。

【学部】「心理と教育」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりにくい、説明・解説が不十分	7	18	25
内容に不満がある	15	9	24
面接授業を実施してほしい	9	10	19
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	6	10	16
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	8	8	16
質問や相談がしたい	8	8	16
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	8	6	14
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	7	6	13
難しい、高度すぎる、理解できない	7	5	12
関連科目を新設してほしい	9	2	11
スケジュールを改善してほしい	7	3	10
補助教材がほしい	2	4	6
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	3	3	6
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	2	4	6
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2	3	5
時間が不足している	4	1	5
インターネットで視聴したい	2	3	5
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3	2	5
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	3	4
独自性が感じられない	2	2	4
現実に活かせる内容にしてほしい	2	2	4
まとめや学習のポイントがほしい	2	1	3
学習センターの利用について改善してほしい	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる		1	1
放送授業と印刷授業の内容が同じである		1	1
図書館の利用について改善してほしい	1		1
放送大学のアピールをしてほしい	1		1
参考書や問題集を発行してほしい。		1	1
面接授業が受講しにくい、内容を改善してほしい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	5	41	46
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	19	22	41
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	18	12	30
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	7	20	27
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	5	6	11
放送授業と印刷教材の内容が異なる	6	4	10
内容に不満がある	4	4	8
インターネットで視聴したい	3	5	8
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	4	7
図・表・写真を利用してほしい	5	2	7
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	4	3	7
分かりにくい、説明・解説が不十分	5	1	6
まとめや学習のポイントがほしい	2	3	5
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	4		4
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	2	1	3
スケジュールを改善してほしい	1	2	3
難しい、高度すぎる、理解できない	1	1	2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1	1	2
質問や相談がしたい		2	2
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい		2	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
時間が不足している	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
補助教材がほしい		1	1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		1	1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
関連科目を新設してほしい	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
講師の質を改善してほしい	1		1
手話通訳がほしい		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	12	11	23
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	9	8	17
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	6	9	15
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	8	2	10
放送授業と印刷教材の内容が異なる	5	2	7
分かりにくい、説明・解説が不十分	3	1	4
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	2	3
難しかった	1	2	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		2	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2		2
内容に不満がある	1	1	2
まとめや学習のポイントがほしい		2	2
時間が不足している	1	1	2
補助教材がほしい	2		2
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	1	1	2
資料・データが古かった、改定版を出してほしい		2	2
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい	2		2
教材の内容に重複がある	1	1	2
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	1		1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1
独自性が感じられない	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
フリガナがほしい	1		1
印刷教材をPDF等のファイル化してほしい		1	1
教材の装丁を改善してほしい	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメントに不満があった	6	5	11
問題の解答・解答例・解説がほしい	3	6	9
内容に不満がある	3	2	5
質問や相談がしたい	4	1	5
補助教材がほしい	2	1	3
インターネットで視聴したい	1	2	3
面接授業を実施してほしい	1	1	2
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		1	1
独自性が感じられない	1		1
レポートの提出期限を事前に知りたい	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	6	7	13
記述式および記述に関して改善してほしい	10	1	11
難しい、高度すぎる、理解できない	7	3	10
問題数が少なかった	3	6	9
内容に不満がある	2	6	8
スケジュールを改善してほしい	3	5	8
試験の難易度を上げるべき	4	4	8
問題が多かった、範囲が広かった	4	2	6
試験内容が印刷教材の内容と異なった	3	1	4
質問や相談がしたい	2	1	3
まとめや学習のポイントがほしい	1	1	2
試験内容が通信指導の内容と異なった	2		2
教材持込み可にしてほしい	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
時間が不足している	1		1
面接授業を実施してほしい	1		1
結果通知が届くのが遅い	1		1

【学部】「心理と教育」科目

よかった点

- 映像だからこそ理解を深めることが出来たと感じています。印刷教材だけでは難しい部分も映像との組み合わせによって「なるほど」と実感できました。今まで知らなかった世界をしることができて、自分の世界がさらに広がったように思います。
- 今、重度、重複障がいのある児童、生徒の担任をしているので、日頃の様子をしっかり照らし合わせて深く学ぶことができました。
- 普段、私達が判断している事が、さらに客観的、論理的に自己検証できるような気がする。心理学や脳科学など今まで、触れなかった世界の研究が、ここまで進んでいることに感心した。
- 現場で働く教師が登場する放送授業は、机上の空論でないことが、理解できて良かったです。
- 不思議な錯視の事例や絵画芸術と錯覚の関係などから始まり、興味深く最後まで勉強することができました。
- 錯覚という切り口で、視覚、知覚、記憶、心理等、様々な方面から学べるように構成されていて大変勉強になりました。
- 特に最近の社会心理学の研究成果をコンパクトに紹介している点、従来の典型的な講義、教材よりも高く評価したい。実際興味のあるテーマについては、参考文献を何冊か読む結果となった。
- 生活（社会）の中で身近な事柄をわかり易く、解説していて面白かった。社会集団を見る時の基礎的なものが、多々盛り込んであった。自分が集団の中に生きる者としての行動を改めてふり返る機会になった。
- 介護福祉で学んだことが再認識出来て、新たな関連有る多くの知識を得ることが出来ました。DVD も良かった。
- カウセリングの仕事に関心がありますので、心理学関連の講座をこれまでにも受講しましたが、認知行動療法の知識は全くありませんでした。今回受講して今後注目される療法のほんのさわりを勉強できたような気がします。
- 心理臨床と臨床心理学の違いを知ることができた。
- 昨年 GCDF キャリアカウンセラーの資格をとり、その継続学習のために受講した。心理系の科目のとっかかりとして、また GCDF で学んだことの復習の意味も一部あり、この科目を選んだ。興味深く学ぶことができ、意義があったと思う。
- 更年期を専門にしているのですが、どちらかと言えば身体的側面の理解がすすみ、心理、社会的側面に対しての知識が薄かったと感じた。この科目を受講することで、自分の不足している心理社会的側面と苦手な高齢者についての知識を得る事ができた。
- 中高年の方々の内面の気持ちを自分で表現できない状態から、先生方のご説明・教材により、理解ができたと思う。自分の曖昧な理解や考えには、この科目を受講したことにより整理され、知識が広がったと思う。各章でそれぞれ納得、学ぶ所が多く、楽しく学習した。

気になった点

- 専門的なことをもっと掘り下げ、特別支援教育との関連性も強めてほしかった。
- 原因となる病気や、現場で気をつけたい医療的なケアなどは、説明よりも映像で見られたほうがいいと思いました。
- もう少し肢体不自由児の実際の映像が必要だと思いました。また、車イスをおしたり、排尿の手伝いなどをしたことがありますが、そういう大切なことが少ないように思います。医ケアももう少し細く指導してほしかったです。
- 専門的な言葉がたくさん出てくるのですが、その一つ一つの説明がわかりにくく、具体例もあまり書いていないので、とても理解しにくかったです。もう少しわかりやすい言葉に置きかえたり、図や写真などを加えたりして具体的に説明する部分がもっとたくさんあったらよかったと思います。
- やはりラジオよりもテレビの方が解りやすいし親しみもわくと思います。
- 試験内容と通信指導の関連がうすいと思った。記述式で試験をするのであれば、それなりの通信指導であるべき。
- 通信指導問題・自習型問題とも択一式なのになぜか、単位認定試験は記述式。記述式は択一式よりもかなり難しくなるので、自分は試験を受けませんでした。それに平成 26 年度開設科目で過去問も全くなかったのも理由です。放送大学の学生の多くは、仕事や病気や家庭の事情等々で通学課程に通えなかった生徒が多いと思います。学力はさほど高くありません。その点を配慮して問題等を作ってほしいです。
- この科目の授業は、難しい事をそのまま教えているので、分かりにくいままで終わる。難しい内容を誰が聞いても分かるように教えられるように改善したらいいかと思う。
- 教科書のページ数は限られているので、無理かもしれませんが、テレビ画面だけでは分かりにくい部分がありました。教科書に載せられた資料等、教科書にも掲載されると有り難いと思います。
- 難しい用語が多く出て、15 回の学習量が多すぎてテストに自信を持ってのぞめない。
- テキストにたくさん誤字が多かった。後、テキストを読み進めるだけで、四苦八苦でわかりませんでした。
- ・放送授業と印刷授業がはなれていること・講師陣が多すぎて、印刷教材が内容に差があることさらに療法についての詳しい方法や例も知りたかった。実際的なものとして応用できるレベルを知識と技として身につけたかった。
- さらに療法についての詳しい方法や例も知りたかった。実際的なものとして応用できるレベルを知識と技として身につけたかった。さらに療法についての詳しい方法や例も知りたかった。実際的なものとして応用できるレベルを知識と技として身につけたかった。
- 放送授業が、ただ単に印刷教材を文面通り読んでいるだけの単元があったので、わかり易くかみ砕いた説明にしてほしかった。
- 個々の理論や検査法の具体例がもっとあっても良かったのではと感じました。
- 放送授業と印刷授業が全く同じで先生がテキストを読んでいるだけという印象を受けたので、放送授業に興味がわきませんでした。

【学部】「社会と産業」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	32	65	97
今後の人生や仕事・学習に役立つ	17	52	69
知識の整理・深耕に役立った	24	15	39
内容がよかった、分かりやすかった	15	22	37
今まで知らなかった知識が身に付いた	9	25	34
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	8	23	31
現在の課題や身近な問題点を学べた	8	23	31
受講して良かった	8	22	30
視野が広がった、視点・考え方が変わった	5	22	27
基礎的な知識を得られた	7	14	21
興味が持てた、関心が持てた	6	15	21
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2	18	20
学習意欲が湧いた	3	15	18
楽しく受講できた。面白かった	4	9	13
身近に感じることが出来る内容だった	4	7	11
最新の情報や研究が学べた	2	7	9
自分の考えが持てるようになった	3	6	9
専門的な内容だった	1	6	7
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	3	4	7
他の科目と関連性があった	2	2	4
具体的・事例・実験があった	1	2	3
受験・資格取得に役立つ		2	2
面接授業が有り難い		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	8	8	16
インターネットで受講できた	6	4	10
内容がよかった、分かりやすかった	1	1	2
楽しく受講できた。面白かった		2	2
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	1	1	2
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なった		2	2
勉強になった、役に立った	1		1
今後の人生や仕事・学習に役立つ		1	1
視野が広がった、視点・考え方が変わった		1	1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	1		1
受講して良かった		1	1
具体的・事例・実験があった	1		1
映像・テレビでよかった		1	1
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	1		1
ラジオでよかった		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた		6	6
勉強になった、役に立った	3	2	5
内容がよかった、分かりやすかった		5	5
基本的な知識を得られた、概要がわかった	2	1	3
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1	1	2
量が適切であった		2	2
知識の整理・深耕に役立った		1	1
今後の人生や仕事・学習に役立つ		1	1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		1	1
引用・参考文献、練習問題がありよかった		1	1
ポイントが明確だった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	1	3	4
添削・コメントをしてもらえた	1	3	4
内容がよかった、分かりやすかった		1	1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	1		1
受講して良かった	1		1
パソコンが利用できた		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
やりがいがあった		3	3
受験・資格取得に役立つ		1	1
単位がとれた		1	1
試験内容が適切だった		1	1
試験日が休日で良かった		1	1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●難しい言葉・用語は説明する。
●学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
●早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。
●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。
●幅広い年齢層に対応する。
●テキストの丸読みは避け、授業の独自性を持たせる。
●認定試験は学習の内容や進捗 に合わせ、適切な出題とする。
●練習問題や演習など、授業以外での学びのチャンスを作る。

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	11	21	32
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	17	20
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8	11	19
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	8	8	16
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	5	9	14
難しい、高度すぎる、理解できない	3	8	11
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	5	6	11
質問や相談がしたい	2	9	11
面接授業を実施してほしい	3	8	11
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	6	10
関連科目を新設してほしい	3	7	10
スケジュールを改善してほしい	2	6	8
現実に活かせる内容にしてほしい	5	3	8
まとめや学習のポイントがほしい	1	6	7
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	1	6	7
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	4	5
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		5	5
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	1	3	4
放送授業と印刷教材の内容が異なる		3	3
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1	2	3
補助教材がほしい	3		3
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	2	1	3
学習センターの利用について改善してほしい	2	1	3
時間が不足している	1	1	2
独自性が感じられない		2	2
面接授業が受講しにくい、内容を改善してほしい	1	1	2
参考文献を紹介してほしい		1	1
インターネットで視聴したい		1	1
資格取得のための単位が取れるようにしてほしい	1		1
受講・卒業の規定を見直してほしい		1	1
費用が高い	1		1
閉講科目を参照したい		1	1
各種通信デバイス利用を充実してほしい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	1	46	47
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	15	25	40
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	5	17	22
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	3	13	16
インターネットで視聴したい	4	7	11
内容に不満がある	4	6	10
図・表・写真を利用してほしい	2	7	9
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	1	8	9
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	3	7
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	4	6
放送授業と印刷教材の内容が異なる	4	2	6
時間が不足している	1	4	5
難しい、高度すぎる、理解できない	1	3	4
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1	3	4
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい		4	4
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		3	3
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	2	1	3
質問や相談がしたい	1	1	2
面接授業を実施してほしい		2	2
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい	2		2
電子掲示版の利用について改善してほしい		1	1
サブタイトルをつけてほしい	1		1
まとめや学習のポイントがほしい	1		1
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		1	1
補助教材がほしい		1	1
独自性が感じられない		1	1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
関連科目を新設してほしい		1	1
例題・実習・演習を取り入れてほしい		1	1
放送授業が聞き取りづらい	1		1
ラジオの放送を充実してほしい		1	1
ラーニングポートフォリオを導入してほしい		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	8	21	29
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	1	13	14
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	1	11	12
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	4	2	6
分かりにくい、説明・解説が不十分	1	3	4
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		4	4
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	2	2	4
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい		4	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	2	3
難しかった		3	3
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	1	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		2	2
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		2	2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい		1	1
内容に不満がある	1		1
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1
教材の内容に重複がある	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題が多かった、範囲が広かった	2	13	15
記述式および記述に関して改善してほしい	5	8	13
問題の解答・解答例・解説がほしい	3	9	12
スケジュールを改善してほしい	3	8	11
内容に不満がある	2	8	10
問題数が少なかった	5	3	8
試験内容が印刷教材の内容と異なった	1	3	4
教材持込み可にしてほしい		4	4
難しい、高度すぎる、理解できない	2	1	3
試験の難易度を上げるべき	1	2	3
分かりにくい、説明・解説が不十分	1	1	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		1	1
時間が不足している	1		1
試験内容が通信指導の内容と異なった		1	1
時間割表の記載が分かりづらい	1		1
試験会場を増やして欲しい		1	1
試験内容の設問に違和感があった	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	4	6	10
質問や相談がしたい	1	5	6
指導内容、コメントに不満があった	3	3	6
内容に不満がある	3	1	4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	4		4
スケジュールを改善してほしい	1	1	2
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
時間が不足している		1	1
補助教材がほしい		1	1

【学部】「社会と産業」科目

よかった点

- 私が携わっている仕事に関係する内容と関係があり、より深く理解が出来た。
- 環境教育インストラクターとして地域での活動に参画していますが、都市の緑化、クールスポットの形成の重要性を良く理解できました。内容はエクセルギーはじめ、最近の話題が取り上げられておりレベルは結構高いものでした。環境デザイン論と同時に受講して大変参考になった。
- 著作権について、体系的に学ぶ事のできる構成になっており、大変学習しやすかったです。特に「手紙」をめぐる著作権については、我が国とヨーロッパの現状比較があり、興味深く学ぶ事ができました。
- エキスパート（歴史系博物館プラン）の必修科目の為、単位取得を目ざして授講した。「著作権」について何もしらない状況で授講したので、その権利が非常に高範囲な分野に及んでいる事、又日々新しい問題が発生している事がわかり、「目からウロコ・・・」の思いを強く感じています。多少ですが、「著作権」をカジル事が出来た事により今後の生活の色々の場面で役立てる事が出来るから座右の書として手元におきたい。
- 法律等細かく憶えておく事は、日常的には難しいが、仕事（事務）を行う上で、自分の中である程度それが判断基準になり、誤った仕事をする事がないかも知れないと思うので受講しておいて良かった。又、印刷教材は今後再読する事もあり良い。
- これから大学職員として働いていく上で、大きな視野で事象をとらえられるようになったと思う。
- 大学の事務職員ですが、自分が所属したことがない部署のことについても知ることができたので、全く仕事の内容を知らずにその部署に行くということがなくなったことが良かったと思います。事務職員として大学経営の観点を常に意識しながら業務に取り組むことができるようになったと思います。
- 私自身、現在農業をしていますので、日本農業の現状と将来について、大変勉強になりました。
- 新聞テレビ等でよく耳にする TPP などより注意深く見たり聞いたりするようになり、日本の問題を考えている自分に驚いている。今まで無関心だった農業問題それにつながるビジネスに目がいくようになった。日本の野菜や肉などの食料を積極的に買っていたが、すぐ値段で揺らぐ気持ちが勉強したことで払拭され、地産地消と国産品を買うしっかりとした裏付けがされた気がした。これから賢い消費者になっていこうと思う。自分が賢くなっていくのが嬉しい。受講して本当に良かったです。ありがとうございました。
- 農業問題を幅広く、多くの要因を抱えている政治的・社会的・経済的諸問題とからめ総合的に学習することの大切さがわかった。
- 経済、金融の知識を広く、やや深く学ぶ事ができ、投資をしている身としては改めて初心を思い出し、基礎を学び返す事ができて非常に良かったです。
- もう現役を退いてしまっていて残念でした。親の家業を継いで、資金繰をして、自社に合った銀行との付き合いでは無かったので、大変苦労しました。現在導いてくれる人もなく、商売をしている弱小企業の人々が学ばれたらどんなにか良い内容だろうかと思います。
- 企業に務めていますが、この講義を通じて担当セクションだけでなく、会社全体でものを考えられるようになったので、勉強が仕事につながってよかった。

気になった点

- 通信指導の形式が記述式であるが単位認定試験は択一式でとまどいがあった。学習の進め方に違いがあるので、同一の形式が望まれる。
- 学説や歴史的な流れよりもニュースを理解する助けになる具体的内容に重きを置いた方が受講者のニーズに合っていると思う。
- （印刷教材として難しいかもしれないが）判例だけでなく、より現実的な問題をとりあげ、多角的にどのように解釈していったらよいのかを問う授業があったらおもしろいと思う。
- 法律用語には特殊、独特のものがある。印刷教材にない難しい法律用語が時に放送教材で用いられたが、発音及び漢字が分からず、理解できないことがあった。
- 全般に図示が少ない、逐条的に大言のみで解説されている部分が多いように思う。内容によっては可能な限り、図解をして視覚に訴えた後、条文に入る事も理解を高め、且つ印象を深めることが出来るものと思う。紙数の関係もあるかと思うが、ご検討戴ければ良いかと思います。
- ラジオが印刷教材の朗読のようになっている。
- 学問でもなく、知識・情報として参考になる程度の内容である。結論も一般論に終始しており、科目として学ぶ必要性を感じない。具体的な能力開発に繋がる内容（科目）に特化すべきではないか。
- テキストと放送内容がどこを話されているのか？と思う時が多々ありました。教材を見ながらラジオ放送を聞いていますが、内容がどこなのか？教材（テキスト）をさがすのが大変でした。例えば「この内容は何ページです」の言葉があると良かった。
- 放送授業はテレビ放映の方が分かり易く、また録画も出来るのでよいと思う。
- 講師により印刷教材から離れたことが放送の主体になっている。教材を殆んど読んでいるよりはましだが、折角作られた教材中心に話して欲しい。
- 全体として放送授業、教科書共に理解出来たが、デリバティブについては専門用語も多く、放送授業、教科書いずれも難解で、もう少し分かりやすく説明して欲しかった。
- 言葉が専門的すぎて巻末に用語説明などをのせてもらえると勉強がしやすいと思います。
- 印刷教材の説明が分かりづらく、正確さも欠きます。学生や他大学の研究者の意見を求めて改定してはどうかと考えます。質問もさせていただきましたが、適切かつ充分なご回答をいただけず、質問の意図をご理解いただいていないように感じました。今後はより丁寧にご対応いただきたいです。
- 印刷教材と講義の話が同じなので、もっと解釈や考え方、解説を講義では話してほしい。内容が同じだと講義を聞く意味がないので、講義を聞こうとする意欲が湧いてこなくなります。

【学部】「人間と文化」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	77	22	99
知識の整理・深耕に役立った	40	20	60
視野が広がった、視点・考え方が変わった	41	13	54
今まで知らなかった知識が身に付いた	38	12	50
内容がよかった、分かりやすかった	36	13	49
興味が持てた、関心が持てた	37	12	49
学習意欲が湧いた	23	20	43
受講して良かった	27	12	39
楽しく受講できた。面白かった	30	8	38
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	23	11	34
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	18	15	33
基礎的な知識を得られた	13	10	23
今後の人生や仕事・学習に役立つ	14	6	20
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	12	6	18
身近に感じることが出来る内容だった	8	4	12
他の科目と関連性があった	6	6	12
自分の考えが持てるようになった	8		8
苦手意識がなくなった	3	4	7
現在の課題や身近な問題点を学べた	3		3
専門的な内容だった	1	2	3
最新の情報や研究が学べた	2		2
インターネットが充実している		1	1
学習センターがあって良かった	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	7	2	9
内容がよかった、分かりやすかった	6	1	7
勉強になった、役に立った	4	1	5
ポイントが明確だった	3	2	5
引用・参考文献、練習問題がありよかった	2	2	4
愛情・熱意が伝わる教材だった	2	1	3
興味が持てた、関心が持てた	2		2
学習意欲が湧いた	2		2
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1	1	2
視野が広がった、視点・考え方が変わった	1		1
量が適切であった	1		1
基本的な知識を得られた、概要がわかった	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	4	1	5
パソコンが利用できた	2	1	3
勉強になった、役に立った		1	1
内容がよかった、分かりやすかった		1	1
受講して良かった	1		1
添削・コメントをしてもらえた		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	29	11	40
映像・テレビでよかった	21	2	23
現場取材やインタビューがあってよかった	7		7
内容がよかった、分かりやすかった	3	2	5
インターネットで受講できた	4	1	5
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	3	1	4
楽しく受講できた。面白かった	2	1	3
放送のテンポがよかった	2	1	3
音楽が良かった		2	2
放送時間がよかった	2		2
勉強になった、役に立った	1		1
知識の整理・深耕に役立った		1	1
具体的・事例・実験があった	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なった	1		1
対話形式の授業がよかった		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった	1	1	2
学習意欲が湧いた	1		1
やりがいがあった	1		1
自分の理解度がわかった	1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

- ●通信指導や質問には迅速・丁寧・確実に対応する。
- ●テキストの丸読みは避け、授業の独自性を持たせる。
- ●TV授業では内容の理解につながる映像・音楽・録音を適切に使用する。
- ●複数の講師や担当する場合は、講義・教材の内容に統一性を持たせる。
- ●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
- ●早口やこもりがちなトークに気をつけ、滑舌に注意する。

【学部】「人間と文化」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	29	8	37
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	27	10	37
関連科目を新設してほしい	23	6	29
難しい、高度すぎる、理解できない	11	16	27
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	18	6	24
分かりにくい、説明・解説が不十分	14	7	21
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	15	6	21
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	14	6	20
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	13	5	18
面接授業を実施してほしい	16	2	18
スケジュールを改善してほしい	12	4	16
質問や相談がしたい	10	3	13
時間が不足している	8	2	10
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	5	4	9
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	5	3	8
まとめや学習のポイントがほしい	6	1	7
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	3	3	6
補助教材がほしい	5		5
独自性が感じられない	5		5
面接授業が受講しにくい、内容を改善してほしい	5		5
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	4		4
参考文献を紹介してほしい	2	1	3
現実に活かせる内容にしてほしい	3		3
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
インターネットで視聴したい	1	1	2
各種通信デバイス利用を充実してほしい	2		2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1		1
電子掲示版の利用について改善してほしい	1		1
試験の時間が足りない	1		1
施設の空調を改善してほしい		1	1
単位認定試験の持込み教材を検討してほしい		1	1
風紀を改善してほしい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	20	13	33
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	18	12	30
放送授業と印刷教材の内容が異なる	19	3	22
図・表・写真を利用してほしい	20	2	22
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	11	7	18
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	11	6	17
分かりにくい、説明・解説が不十分	6	5	11
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	7	1	8
放送授業と印刷授業の内容が同じである	2	4	6
インターネットで視聴したい	4	2	6
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	1	5
時間が不足している	3	2	5
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	5		5
スケジュールを改善してほしい	4		4
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	3	1	4
難しい、高度すぎる、理解できない		2	2
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	2		2
内容に不満がある	2		2
まとめや学習のポイントがほしい	2		2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2		2
補助教材がほしい	1	1	2
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい	2		2
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
参考文献を紹介してほしい	1		1
質問や相談がしたい		1	1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	1		1
関連科目を新設してほしい		1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	38	12	50
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	12	13	25
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	12	11	23
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	13		13
放送授業と印刷教材の内容が異なる	9	2	11
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい	8	2	10
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3	4	7
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	6		6
難しかった	4	2	6
難しい、高度すぎる、理解できない		5	5
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	4	1	5
補助教材がほしい	1	4	5
内容に不満がある	2	2	4
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1	3	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	1	3
分かりにくい、説明・解説が不十分	2	1	3
放送授業と印刷授業の内容が同じである		2	2
まとめや学習のポイントがほしい	2		2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2		2
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	1		1
インターネットで視聴したい	1		1
独自性が感じられない		1	1
フリガナがほしい		1	1
教材の内容に重複がある		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	4	5	9
指導内容、コメントに不満があった	7	2	9
質問や相談がしたい	2	2	4
インターネットで視聴したい	1	2	3
面接授業を実施してほしい	1	2	3
問題の解答・解答例・解説がほしい	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		1	1
スケジュールを改善してほしい		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題が多かった、範囲が広かった	16	4	20
内容に不満がある	14	4	18
記述式および記述に関して改善してほしい	5	10	15
スケジュールを改善してほしい	6	5	11
難しい、高度すぎる、理解できない	10		10
試験の難易度を上げるべき	6	3	9
問題の解答・解答例・解説がほしい	7	1	8
分かりにくい、説明・解説が不十分	2	3	5
問題数が少なかった	3		3
試験内容が印刷教材の内容と異なった	3		3
試験内容が通信指導の内容と異なった	1	2	3
時間が不足している		2	2
教材持込み可にしてほしい	1	1	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
質問や相談がしたい		1	1
補助教材がほしい	1		1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
面接授業を実施してほしい		1	1
夏期の試験で飲料水の持ち込みを許可してほしい	1		1
先の試験日を事前に知りたい	1		1
時間割表の記載が分かりづらい	1		1
単位計算がしづらい	1		1
結果通知が届くのが遅い		1	1

【学部】「専門科目：人間と文化」科目

よかった点

- 和歌と物語文学（源氏・伊勢）及び現代の短歌に至る経緯がよく理解出来ました。加えて、映像で歌碑、記念館等も紹介してもらうことで、一層関心が高まり、原文を読むことだけでなく由縁の地も探訪したいと思っています。特に歌人（評論家）のＡ先生の実体験に裏打ちされての講義（現代歌人塚本邦など）は印象深いものでした。総じて各講義では”柱”の説明があり、大変理解し易いものでした。
- 放送授業（テレビ）が美しかったです。講師が現地にいて、解説してくれるのがわかりやすかったし、印刷教材も内容がイメージしやすい文章だったので、すんなり学習できました。また繰り返し見て読んで学びを深めたいと思います。半年ではもったいないです。
- 和歌、短歌の長い歴史と要点を 15 回という限られた時間、回数でコンパクトにまとめられていると思う。各章のテーマに関連する土地を探訪する方式を採用することにより、授業の単調さを避けることができ、また主題に対する興味を引き出し、学習意欲を高めることができた。直接には関係しないが、これまでの放送教材とは違って、画質が鮮明だったように思う。
- 時代背景や作者個人の歴史を知ることが、美術を観賞するうえでとても大事であること、今まで絵巻や仏画など、詳細に奥深く味わったことはなかったが、授業で、「観賞の作法」が理解出来、大変感動しました。
- 私は今までマヤとインカの違い、ピラミッドとマチュピチュの背景の違いも区別できなかったのです。とってもよくわかりました。でも面白かったのは古代だけではありません。近現代の南米についてもとても興味深いものがありました。最近まで多くの行方不明者がでる恐怖政治もあったようですが、もっとその時代のことも詳しく知りたいと思いました。
- 独学では理解が困難かつ取っ掛かりが難しいドイツ哲学の巨人の業績要旨についてレベルを極端におとさない形で学べたことは大変有意義だった。
- 放送大学の全ての学生におすすめの内容。語りも、落ち着いていて安心して聴講できるトーン、美声である（Ｂ氏）。哲学をこれだけ分かりやすく親しみやすくしたのは、Ｃ氏以来ではないのか。文脈がイイのかなぁと思った。
- 西洋古典文学の内容だけでなく、構造からみることで、手法の発展や表現の変遷も学ぶことができ、文学を構造的に理解するという事を知ったこと。
- ヘロドトス「歴史」、ダンテ「神曲」、フランソワ・ヴィヨンを一部でも読めた事を幸せに思う。扱っている作品すべてに興味がわかなかった自分自身が悲しいが、例えば「イリアス」「カンタベリー物語」を早速求め、いつも手許に置き見たい時見るようにしました。「デカメロン」の構成、ことばの力に目を見張り、フランソア・ヴィヨンのコミカルの底の悲壮感に心をつかれました。なんと豊かな言葉がつまった古典！
- 各作品名についてはほぼ知識として知っていたが、内容についてほとんど知らなかったので受講して良かったと思います。ほぼ期待通りでした。「朗読」についても素晴らしく、繰り返して聴いて学習しました。各講師についても熱意と専門家としての迫力が圧倒的に感じられました。大変興味を持ちます。
- 物事のとらえかた方が変化しました。人間の社会はその人達が置かれている状況の中でベストな有り様を創り出す知恵があることを知りました。私の常識の域を越えた人間社会の有り様を学べたことで、今日起きている異常な犯罪のニュースを聞いたとき、なぜこの様な行動が起きてしまうのか文化人類学的視野で考えようとしています。
- 人類学というジャンルの学問は始めてだったので、非常に興味深く学習することができた。フィールドワークによる現状分析はすばらしいと思いました。未開の地で何が起こなわれているのかよく分りました。人類が文化に関わる理由が分ったような気がした。

気になった点

- 通信指導のコメントをもう少していねいに記載して頂きたいと思った。
- 原文を読むとき、プロの声優に読んでもらえるとうれしい。折角の放送授業なのだから、授業にメリハリをつけるのに役に立つと思う。
- 放送授業で取り上げられた作品の写真が印刷教材に載っていない部分が多く、復習時に苦労しました。教科書に絵を描くなどして学習を進めましたが、やはりとり上げられる作品数が多く、全てとはいかないと思いますが、もう少し写真で確認できる様にして頂けると良いと思います。
- アメリカ大陸全体という広い範囲の長い歴史をカバーしているので、時間的・紙幅的な制約から説明が要約的にならざるを得ないのは理解できます。出来れば、特定の国とかテーマに絞った面接授業を設定して戴けると有難い。
- 「南」と「北」を一つの科目で全て終えるのは大変だと感じました。「南」と「北」で分けるのではなく、19 世紀あたりを区切って、2 つに分けて欲しいと感じています。
- ラジオ講座のため、テキストに写真、絵画などもう少しほしかったと思います。読みやすいテキストでした。
- 一部放送授業と教科書が離れている気がしました。放送を聞きながら教科書をみていますが、今、どこをしているのかわからない時がありました。
- 古典の原典に近い形の画像を見たいと感じました。印刷教材に図面としてあるとよいと思います。
- ①印刷教材を見ながら、放送授業を見ようとすると、どこに何が書いてあるのか、追う事が出来なかった。印刷教材、放送授業を関連したものにして欲しい。フィールドワークの自慢話の印象もあった。②細かい事例が多くありすぎた様に思う。

【学部】「情報」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	52	13	65
内容がよかった、分かりやすかった	33	8	41
知識の整理・深耕に役立った	26	8	34
基礎的な知識を得られた	25	8	33
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	20	5	25
今後の人生や仕事・学習に役立つ	19	3	22
今まで知らなかった知識が身に付いた	13	8	21
学習意欲が湧いた	16	2	18
視野が広がった、視点・考え方が変わった	13	4	17
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	12	1	13
興味が持てた、関心が持てた	11	1	12
受講して良かった	9	3	12
現在の課題や身近な問題点を学べた	8	3	11
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	6	1	7
自分の考えが持てるようになった	5	2	7
他の科目と関連性があった	4	3	7
楽しく受講できた。面白かった	5	1	6
専門的な内容だった	6		6
最新の情報や研究が学べた	4	1	5
身近に感じることが出来る内容だった	4	1	5
受験・資格取得に役立つ	2	2	4
具体的・事例・実験があった	2		2
面接授業が有り難い	2		2
苦手意識がなくなった	1		1
学習センターがあって良かった	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	15	3	18
内容がよかった、分かりやすかった	3	3	6
インターネットで受講できた	3	3	6
映像・テレビでよかった	4	1	5
勉強になった、役に立った	2	2	4
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	2	2	4
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	2	1	3
具体的・事例・実験があった	1	1	2
アシスタントがよかった	2		2
受講して良かった	1		1
他の科目と関連性があった	1		1
対話形式の授業がよかった	1		1
放送のテンポがよかった	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	3	3	6
内容がよかった、分かりやすかった	2		2
ポイントが明確だった	1	1	2
今後の人生や仕事・学習に役立つ		1	1
他の科目と関連性があった	1		1
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1		1
引用・参考文献、練習問題がありよかった	1		1
コラムがよかった		1	1
量が適切であった	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	4		4
試験内容が適切だった		1	1
評価がよかった		1	1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●TV授業では内容の理解につながる映像・音楽・録音を適切に使用する。
●講師以外の人材を適切に活用する。
●担当講師は、放送前に十分な準備を行う。
●学習をスムーズに進められるよう、必要に応じて、開講前に事前アナウンスを行う。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。
●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●放送授業と印刷教材の連動に留意する。
●難聴・色弱・弱視者に留意する。

【学部】「情報」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	20	7	27
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	19	6	25
難しい、高度すぎる、理解できない	20	3	23
分かりにくい、説明・解説が不十分	16	3	19
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	11	4	15
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	10	3	13
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	12	1	13
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	5	4	9
面接授業を実施してほしい	6	2	8
関連科目を新設してほしい	4	3	7
質問や相談がしたい	5	1	6
補助教材がほしい	5		5
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	4	5
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	1	4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3	1	4
スケジュールを改善してほしい	4		4
まとめや学習のポイントがほしい	2	1	3
インターネットで視聴したい	2	1	3
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	1	2	3
参考文献を紹介してほしい	2		2
独自性が感じられない	1	1	2
現実に活かせる内容にしてほしい		2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1		1
時間が不足している	1		1
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1		1
学習センターの利用について改善してほしい		1	1
受講・卒業の規定を見直してほしい	1		1
風紀を改善してほしい	1		1
各種通信デバイス利用を充実してほしい	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	5	22	27
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	17	5	22
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	12	2	14
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	7	6	13
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	9	2	11
分かりにくい、説明・解説が不十分	5	1	6
放送授業と印刷教材の内容が異なる	6		6
インターネットで視聴したい	4	2	6
図・表・写真を利用してほしい	4	2	6
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	4	1	5
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい	4		4
難しい、高度すぎる、理解できない	3		3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3		3
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	3		3
まとめや学習のポイントがほしい	3		3
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2	1	3
現実に活かせる内容にしてほしい	2	1	3
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1	1	2
内容に不満がある	1	1	2
補助教材がほしい	1	1	2
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	2		2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	1	2
例題・実習・演習を取り入れてほしい	1	1	2
放送授業が聞き取りづらい	1	1	2
電子掲示版の利用について改善してほしい	1		1
時間が不足している		1	1
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
スケジュールを改善してほしい	1		1
独自性が感じられない	1		1
関連科目を新設してほしい		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	19	8	27
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	10	2	12
放送授業と印刷教材の内容が異なる	5		5
分かりにくい、説明・解説が不十分	3	1	4
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	4		4
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	3		3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1	1	2
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	2		2
難しかった	1	1	2
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい	1	1	2
教材の内容に重複がある	2		2
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
放送授業と印刷授業の内容が同じである		1	1
内容に不満がある	1		1
サブタイトルをつけてほしい	1		1
質問や相談がしたい	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
独自性が感じられない	1		1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
フリガナがほしい	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメントに不満があった	10	3	13
問題の解答・解答例・解説がほしい	4		4
面接授業を実施してほしい	2	1	3
質問や相談がしたい	2		2
スケジュールを改善してほしい	2		2
内容に不満がある	1		1
時間が不足している	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	4	4	8
試験の難易度を上げるべき	6	2	8
問題が多かった、範囲が広かった	5	2	7
問題の解答・解答例・解説がほしい	6	1	7
試験内容が印刷教材の内容と異なった	5		5
スケジュールを改善してほしい	2	1	3
記述式および記述に関して改善してほしい	3		3
難しい、高度すぎる、理解できない	2		2
問題数が少なかった	2		2
試験内容が通信指導の内容と異なった	1	1	2
教材持込み可にしてほしい	2		2
分かりにくい、説明・解説が不十分		1	1
テストの解答例を送付しないでほしい		1	1

【学部】「情報」科目

よかった点

- 仕事でプログラムを組みますが、なかなかハードウェア、論理回路といった分野に手を出すことができませんでした。しかし、授業を受講したことで、強制的に勉強できて良かったです。レジスタ、CPU までも漠然としか知りませんでしたが、原理を知ることができて、苦手意識がなくなったことも良かったです。
- プログラム（プログラミング）についての基本を学べ、新たな興味がわきました。この科目とは直接関係ありませんが、フリー統計ツール”R”を用いたプログラミングを始める良い機会になりました。テキストを PDF 公開して頂いている事、単位認定試験が持込不可である事も良かったと思います。
- 難しい現象でも数値を用いて図式化することができて、また再現できるということを学べたことが良かったと思います。日常生活でどのような場面で数学が役に立っているか、どのように役立てていくべきか理解できたように思います。
- 近年の情報セキュリティにおける光と影について理解することが出来た。また、暗号についてはこの歳で初めて習ったが、良く分かり、説明も良かったと感じています。
- 情報の分野のみではなく、経営や教育全般に生じている問題に対応できる内容だったことを良かったと思っています。具体的には、社会的同調と自己・個性の関係やモラル教育及び内部告発等。
- 先行科目「情報ネットワークとセキュリティ」からの発展として本科目で追加された内容の 1 つに子どものインターネット利用についての考案がありますが、これに関しては印刷教材･放送授業ともに十分に練られていて、とても理解しやすく感じました。
- 実際の生活で触れるものについてテキスト等で取り上げていた点がわかりやすく、大変興味を持つことができてよかったです。
- ①通信技術について偏ることなく全般的に学習できた。②数式がしばしば現れるが、放送授業の中でまたは「コラム」を通してＡ先生のわかりやすい説明で理解が深まった。③これからも何度も読みかえしたい印刷教材であると思う。
- 通信工学の基礎を概観できた。良い意味で〝放送大学らしからぬ〟科目だと思います。（こんな〝固い〟科目も今どき開講されているのかと思った。こんな科目もあっていい！
- 推論の妥当性チェックにタブローの方法を間違いなく使えるようになった。日本語から論理式への翻訳がまがりなりに出来るようになった。論理学に出会ったのは 30 年以上前だった。三段論法や「悪者と紳士」の問題を言葉でグチャグチャ解説する本ばかりだったが、今回記号ですっきりした。
- 情報化社会と教育、情報化社会における教育のあり方と可能性、今まさに学んでいる放送大学というものを第三者的視線で考える事ができて、非常に興味深いものとなった。
- 情報化社会と言われる今日における教育分野の様々な課題に触れることができました。また、その課題について、自分の考えを整理する時間を持てたことが、最大の収穫でした。

気になった点

- 放送授業ビデオ全、2日みました。印刷教材も合わせて勉強しましたが、両方が連動してない様な内容が多くて理解しづらい所がありました。放送授業はアシスタントのおねえさんが楽しくしている部分が多く、受験生の立場になっての説明が不足していると思った。教授の頭で説明をしている様に思った。
- 放送授業は、一発撮りだとは思いますが、何年も放送するものなのですから、もう少し台本など準備して、会話中に「あれ、何だったっけ」という場面が少ないと良いと思います。テキストは、初心者向きではないと思いました。専門科目ではあるのですが、これからプログラミングをしてみよう、という人に役に立つ内容だったらと思います。
- 代数や微分・積分学を学んでいなければ少し難しい内容かと思われます。基本的なことがらについて、もう少し触れてもよかったように思います。もしくはここを学んでおくと役に立つというような手引きがあればありがたいと思います。
- 情報セキュリティ基盤技術の理解が、難しかった。(教科書は秩序だけ記載してあった。)組織名の細かな理解の必要性はないのではないか。
- 昨今、SNSをツールをツールとした事件が起こっています。子どもも大人も使用者が急増しているので、もう少し掘り下げて、取り上げて、取り上げてほしいと思います。
- ユニバーサルデザインの必要ばかり強調しても、そうでない国家が世界には無数にあり、余り、北欧、英国、アメリカ、などの先進国家の例ばかり取り挙げるのは片偏よりである。
- 日本の伝統的な器や什器、着物等は元来からユニバーサルデザインの範疇に入ると思いますが、その点をユニバーサルデザインの視点で掘り下げて頂いても良かったのではないでしょうか。
- ラジオでの授業でなく、ぜひテレビにしていただきたい。数式、図の説明がラジオでは困難である。
- 私は通信系の国家資格をいくつか保有しておりますが、それでも教科書の理解には苦労しました。難しい概念に対して説明が簡単すぎます。具体的にはたとえば通信指導問題4(ガラス雑音)とか、雑音電力とか。
- ・高等教育の情報化(文教政策)までの過程が非常に簡略化されすぎている。・「通信制(教育)過程」など、専門家は使用しない言葉がでてきています。また、遠隔教育研修を行っている方にテキストを書いてもらうべきです。後半部分は、指導要項の羅列のみで、解説がほとんどない。研究者(実務家教員ではなく)にテキストをかきなおしてもらうべき。
- 科目の関係上ゲストスピーカーの多いのは理解できます。しかし、私の様に難聴の者はラジオでは何回聞いても判りません。TV ですと表示が出たりして読むことは出来ますが早口で話され、印刷教材にも書いてないことは、ほとんどわかりません。

【学部】「自然と環境」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	29	6	35
視野が広がった、視点・考え方が変わった	10	13	23
内容がよかった、分かりやすかった	12	9	21
興味が持てた、関心が持てた	12	9	21
知識の整理・深耕に役立った	13	7	20
学習意欲が湧いた	15	2	17
楽しく受講できた。面白かった	11	5	16
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	12	3	15
最新の情報や研究が学べた	13	1	14
今まで知らなかった知識が身に付いた	9	5	14
今後の人生や仕事・学習に役立つ	4	9	13
基礎的な知識を得られた	10	2	12
身近に感じることが出来る内容だった		12	12
受講して良かった	7	5	12
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	6	3	9
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	5		5
他の科目と関連性があった	5		5
専門的な内容だった	3	1	4
自分の考えが持てるようになった	2	1	3
苦手意識がなくなった	2	1	3
現在の課題や身近な問題点を学べた		1	1
具体的・事例・実験があった	1		1
費用が安い	1		1
面接授業が有り難い	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	2		2
ポイントが明確だった	1	1	2
体系的、よくまとまっていた、整理されていた		2	2
愛情・熱意が伝わる教材だった		2	2
内容がよかった、分かりやすかった	1		1
楽しく受講できた。面白かった	1		1
最新の情報や研究が学べた	1		1
基本的な知識を得られた、概要がわかった	1		1
カラー印刷のページがあって良かった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	1	3	4
講師の指導がよかった	2		2

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
興味が持てた、関心が持てた		1	1
試験内容が適切だった	1		1
簡単だった	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	10	3	13
アシスタントがよかった	4		4
インターネットで受講できた	2	1	3
映像・テレビでよかった	1	1	2
内容がよかった、分かりやすかった	1		1
興味が持てた、関心が持てた	1		1
楽しく受講できた。面白かった	1		1
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	1		1
最新の情報や研究が学べた	1		1
他の科目と関連性があった	1		1
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なった		1	1
放送授業と印刷教材の内容が同じだった	1		1
現場取材やインタビューがあってよかった	1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●放送授業と印刷教材の連動に留意する。
●授業や教材内での数字や単位・用語を統一する。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。
●学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
●学習に利する参考文献や資料を紹介・提供する。
●WEBでの授業フォローを行う。
●認定試験は学習の内容や進捗 に合わせ、適切な出題とする。
●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●テキストの丸読みは避け、授業の独自性を持たせる。

【学部】「自然と環境」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	14	3	17
関連科目を新設してほしい	13	4	17
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	12	1	13
難しい、高度すぎる、理解できない	8	3	11
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	9	2	11
内容に不満がある	6	4	10
まとめや学習のポイントがほしい	7	2	9
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2	4	6
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	4	2	6
分かりにくい、説明・解説が不十分	5		5
スケジュールを改善してほしい	3	2	5
面接授業を実施してほしい	3	2	5
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	3	1	4
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	4		4
時間が不足している	4		4
質問や相談がしたい	4		4
補助教材がほしい	3	1	4
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	1	3	4
現実に活かせる内容にしてほしい	2	1	3
独自性が感じられない	1	1	2
面接授業が受講しにくい、内容を改善してほしい	2		2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
インターネットで視聴したい		1	1
学習センターの利用について改善してほしい	1		1
受講・卒業の規定を見直してほしい	1		1
図書館の利用について改善してほしい	1		1
各種通信デバイス利用を充実してほしい	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	7	26	33
放送授業と印刷教材の内容が異なる	6	7	13
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	5	4	9
図・表・写真を利用してほしい	3	5	8
インターネットで視聴したい	2	3	5
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	3	2	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	2	4
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	4		4
分かりにくい、説明・解説が不十分	3		3
時間が不足している	3		3
質問や相談がしたい	2	1	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2		2
内容に不満がある	1	1	2
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2		2
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2		2
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	1	1	2
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	1		1
放送授業と印刷授業の内容が同じである		1	1
補助教材がほしい	1		1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		1	1
スケジュールを改善してほしい	1		1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
関連科目を新設してほしい	1		1
例題・実習・演習を取り入れてほしい	1		1
放送授業が聞き取りづらい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	8	3	11
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	5	2	7
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	4	5
難しかった	5		5
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	5		5
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	4		4
補助教材がほしい	3		3
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	2	1	3
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい	1	2	3
難しい、高度すぎる、理解できない	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2		2
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1	1	2
参考文献を紹介してほしい	2		2
まとめや学習のポイントがほしい	2		2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
放送授業と印刷授業の内容が同じである		1	1
内容に不満がある	1		1
時間が不足している	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		1	1
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	3	2	5
指導内容、コメントに不満があった	3	2	5
内容に不満がある	1	2	3
質問や相談がしたい	2	1	3
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
時間が不足している		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい	10	2	12
問題が多かった、範囲が広かった	5	2	7
内容に不満がある	3	3	6
記述式および記述に関して改善してほしい	3	3	6
問題数が少なかった	5		5
試験内容が印刷教材の内容と異なった	2	3	5
スケジュールを改善してほしい	3	1	4
試験の難易度を上げるべき	2	2	4
難しい、高度すぎる、理解できない	3		3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
教材持込み可にしてほしい	1	1	2
まとめや学習のポイントがほしい	1		1
時間が不足している		1	1
試験内容が通信指導の内容と異なった		1	1
評価方法に疑問を感じる	1		1

【学部】「自然と環境」科目

よかった点

- サラリーマン退職後自由時間を得て、興味のある宇宙関係の講座を受講した。本講では特に地球以外の宇宙での生命体の発見に、多くの国々の様々な人達が夢を持って取り組んでいる姿を知り、益々関心を大きくした。
- 現地ロケが多く、大変楽しかった。天文学というより、正に地学という印象を受けました。
- 知ることって楽しい！素晴らしい!感動の乏しくなった私が久々に瞠目した科目でした。
- 場の考え方→一般相対性理論まで現在の物理体系をおぼろげながら見えてきて、このテーマを理解するための指針が得られた。
- 丁寧な通信指導、問題の解答、解説により時間、空間、および物質のつくり出す場についてから電磁波と相対性理論の概念をよく理解出来ました。教本が図を多く理解に役立ちました。
- 長年電気関係の開発技術者として働いて来て、製品は自分の経験の中で作って来ましたが、今、自分の仕事を振り返って見て、電磁気学と相対性理論の結果だけを学んだ高校の電気科の裏に踏み込んだ授業は「目から鱗の落ちる」感じがした。
- 「本書に入る前に」で記述されているように、記述されているように、歴史的な流れに沿いながら、重力波やブラックホールに関する最新の話題について記述されている。楽しい内容になっています。まだまだ、理解できずにいますが、何度も反芻して理解していきたいです。
- 日常では意識しない身の周りにある生活用品に対する見方が変わったこと。科学の重要性をより深く認識できました。
- 大気、水、土、食品添加物など生活に密着したものと化学がどのように結びついているかを知る事がほんの少し理解できた（難しい点が多かったので）。A先生、B先生の熱意がよく伝わってきましたし、印刷教材は、私の宝物となりそうです。
- 化学という目を持って生活上の疑問に答えられるようにいくらかでもなれたかと思う。化学まがいの情報が蔓延している現代で、その取捨選択は、個人の知識にゆだねられているような、適切な行動をするために、このような学びは必要と思われる。
- 気圧とは空気の分子が 70 億回／秒ぶつかり合っているということが分かったこと。こんなことは、今までだれも教えてくれなかった。

気になった点

- 放送授業では印刷教材全てをカバーしきれないので、印刷教材の一部分については授業で省略されることがある。この場合、教材のどの部分を講義されているのか該当部分を探すのに手間取ることがあるので、できるだけ教材の順に講義が進められるとよいと思う。
- 大きさ、距離などのスケール観を実感できる様な方法の工夫がもう少しほしかった。
- 印刷・放送教材とも色々と制約があるので難しいとは思いますが、現場的な写真や図解をもっと沢山のせて欲しいと思います。
- 相対性理論を7回の授業では無理がある。電磁気学を別けて、一本の科目にしてほしい、物理学全体として基礎科目から専門科目まで5科目では少な過ぎる。情報科目の増加のあおりを受けているのでしょうか、せめて7科目まで増してほしい。
- 一部の式の説明がテレビ、印刷教材ともに不十分であった。特に印刷教材では式の算出をもっとくわしい参考文献をあげて欲しかった。
- 印刷教材の数式の意味および展開が難しかった。基礎化学のようにWebにてサイバ・リーダのような補助教材を提供していただきたい。
- 印刷教材や放送内容を学習しても、テスト問題に答えられない。教材だけでの学習では答えられない問題が出ている。放送では、易しい内容の解説しかしなくて、難しい内容は「印刷教材をよく勉強してください」と言うが、それは、無理。印刷教材を読んでも分からない内容こそ放送で説明して欲しい。視聴の効果が少なく、テスト対策にもなっていない。テスト対策になる放送をしてほしい。
- ・印刷教材にはポイントになる数式の説明はしてあるが、その点について詳細に解説している参考書等、論文等を欄外にでも示してあると、学習を進めるにあたって助かる。・多くの現象やデータを写真、表などに数多く提示してもらいたい。とにかく、実際はこうなどだ…ということを知らないと特に目に見えない（極微の世界、極大の宇宙）では、可視化することが大切に思う。
- 電磁気学と相対性理論という大変大きなテーマ、領域をわずか4ヶ月間でやるのは量的に多すぎ。個人的には“自由度(教科書 P242, P246)”や、“テンソル”は難解でもう少し解説がほしかった。テレビ授業も終盤は次から次へと膨大な数式がでてきて、考えている余裕はなかった。教科書の3章～8章の文章で、referされている数式番号が相当誤記があり、訂正が必要です(校正の段階で数式を追加や変更したのが文章中に反映されていない感じをうけます)。（追記）…(改善すべき点ではなく感想です。）ベクトル解析、解析力学、テンソルなど高度な数学的素養を要し、多大な時間を要し、他の科目は全く手がつけられませんでした。過去に受講した中で、最も時間を要し、かつ難解でした。
- 見ることに慣れている化学系の科目をラジオでの受講に少々抵抗ありました。できるなら、講師のお顔を拝見しながらの受講がいいと思いました。
- 生活と科学で、原子、分子の大きさ、電子雲、イオン半径と、特に液体の構造などと生体構造等を造るには、重要ですが、難しい項目でした。又、プラスチック(合成樹脂）は、便利な反面、廃棄時の処置に関して、説明もあればと思いました(生分解性高分子の機能の様に)。
- 放送授業の講師が「印刷教材」を丸々読むだけの者が居た。あれでは放送の意味がない。
- 講師の先生方のラジオの講義内容とテキストの文の並行関係に差がありとまどった。テキストに忠実に話しを喋る先生や、一方で大部分脱線して大切なポイントが全く話されないなど差があった。もう少しポイントの重みづけや配分について再考されたい。

専門科目総覧

これまでの各科目と傾向は変わらないが、専門性をさらに推し進めた内容になっているといえよう。ここでも、学習を自分の仕事や生活に生かす人は多いが、かなり専門的なことまで踏み込んでおり、教養系の科目（美術や文学）でも深い理解まで進んでいる。社会・政治系の科目では自分と社会や世界との関わり方に目が向けられるようになっている。

それだけに、さらに深く広い科目構成と授業内容を望む声が多く、教える側に向ける目もシビアなものになっている。

【学部】「総合科目」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	53	17	70
今後の人生や仕事・学習に役立つ	40	29	69
知識の整理・深耕に役立った	24	11	35
視野が広がった、視点・考え方が変わった	28	7	35
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	19	12	31
内容がよかった、分かりやすかった	17	13	30
受講して良かった	11	13	24
現在の課題や身近な問題点を学べた	18	4	22
興味が持てた、関心が持てた	12	6	18
今まで知らなかった知識が身に付いた	11	6	17
身近に感じることが出来る内容だった	12	3	15
楽しく受講できた。面白かった	12	2	14
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	8	4	12
基礎的な知識を得られた	8	3	11
自分の考えが持てるようになった	7	4	11
学習意欲が湧いた	9	2	11
具体的・事例・実験があった	8	1	9
最新の情報や研究が学べた	5	1	6
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	4	2	6
学習センターがあって良かった	3		3
専門的な内容だった		1	1
面接授業が有り難い	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	5	4	9
内容がよかった、分かりやすかった	1	1	2
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	2		2
量が適切であった	2		2
勉強になった、役に立った		1	1
興味が持てた、関心が持てた		1	1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		1	1
他の科目と関連性があった	1		1
ポイントが明確だった	1		1
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	2		2
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	1		1
受講して良かった	1		1
パソコンが利用できた		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
やりがいがあった	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	19	3	22
映像・テレビでよかった	6		6
内容がよかった、分かりやすかった	4	1	5
勉強になった、役に立った	1	3	4
興味が持てた、関心が持てた	2		2
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	2		2
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	2		2
音楽が良かった		2	2
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	2		2
インターネットで受講できた	2		2
現場取材やインタビューがあってよかった	2		2
放送のテンポがよかった	2		2
知識の整理・深耕に役立った	1		1
楽しく受講できた。面白かった	1		1
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	1		1
自分の考えが持てるようになった		1	1
具体的・事例・実験があった		1	1
放送授業と印刷教材の内容が異なった		1	1
ラジオでよかった		1	1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●放送授業と印刷教材の連動に留意する。
●学生の学びの速度と講義の進捗に留意する。
●認定試験は学習の内容や進捗 に合わせ、適切な出題とする。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。
●理論以上に具体的な方法論を取り入れる。（現実と理論の遊離に注意する）

【学部】「総合科目」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	12	9	21
分かりにくい、説明・解説が不十分	11	5	16
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	13	3	16
関連科目を新設してほしい	5	9	14
質問や相談がしたい	7	6	13
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8	3	11
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	6	5	11
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	9		9
難しい、高度すぎる、理解できない	6	2	8
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	2	5	7
まとめや学習のポイントがほしい	3	4	7
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	7		7
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	3	3	6
面接授業を実施してほしい	5	1	6
スケジュールを改善してほしい	4	1	5
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	2	2	4
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1	1	2
参考文献を紹介してほしい	1	1	2
時間が不足している	2		2
補助教材がほしい	2		2
現実に活かせる内容にしてほしい	2		2
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	1	1	2
電子掲示版の利用について改善してほしい	1		1
独自性が感じられない	1		1
学習センターの利用について改善してほしい	1		1
各種通信デバイス利用を充実してほしい	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	17	10	27
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	18	6	24
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	13	4	17
放送授業と印刷教材の内容が異なる	7	2	9
図・表・写真を利用してほしい	6	2	8
分かりにくい、説明・解説が不十分	1	5	6
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	4	2	6
内容に不満がある	3	2	5
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		5	5
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	3		3
放送授業と印刷授業の内容が同じである	2	1	3
質問や相談がしたい	1	2	3
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	3		3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1	2
インターネットで視聴したい	1	1	2
スケジュールを改善してほしい	1	1	2
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2		2
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
まとめや学習のポイントがほしい	1		1
時間が不足している	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
補助教材がほしい	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
面接授業を実施してほしい	1		1
例題・実習・演習を取り入れてほしい	1		1
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい	1		1
放送授業が聞き取りづらい	1		1
ラジオの放送を充実してほしい		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	12	8	20
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	6	8	14
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	5	4	9
放送授業と印刷教材の内容が異なる	4	1	5
難しかった	4		4
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	3		3
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	3		3
難しい、高度すぎる、理解できない	2		2
分かりにくい、説明・解説が不十分	1	1	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2		2
まとめや学習のポイントがほしい	1	1	2
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	2		2
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい	1	1	2
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1		1
内容に不満がある		1	1
質問や相談がしたい	1		1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
教材の内容に重複がある	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
質問や相談がしたい	3	3	6
指導内容、コメントに不満があった	6		6
内容に不満がある	1	1	2
面接授業を実施してほしい	2		2
問題の解答・解答例・解説がほしい	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
補助教材がほしい		1	1
スケジュールを改善してほしい	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	5	4	9
記述式および記述に関して改善してほしい	5	2	7
教材持込み可にしてほしい	2	3	5
試験の難易度を上げるべき	3	2	5
難しい、高度すぎる、理解できない	2	2	4
問題の解答・解答例・解説がほしい	3	1	4
質問や相談がしたい	2	1	3
スケジュールを改善してほしい	2	1	3
問題数が少なかった	1	2	3
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
問題が多かった、範囲が広かった	1		1
試験内容が印刷教材の内容と異なった		1	1
試験内容が通信指導の内容と異なった	1		1
試験内容の設問に違和感があった		1	1

【学部】「総合科目」科目

よかった点

- 一言で言えばわかりやすい。たいくつに感じる放送授業もある中で、集中して取り組む事ができました。問題点、当時考えられた改善策、成功例と失敗例など一通り知りたい情報がそろっていました。
- 途上国の過去・現在・将来について多面的な考察をする助けになった。今後、個別にある国またはある地域について考えるときに、どのような見方をすれば良いか分かった。A講師の授業はパネルに重点事項を示しながら論理的に進められたので理解しやすく、自分で勉強するときに役立った。
- 途上国を援助するのにどうすればよいか深く考えさせてくれた。開発経済学的な要素もあり、有意義であった。将来、NGOやシニアボランティアで海外へ行きたいので引き続き援助に関する勉強をしていきたい。
- 先生方の熱い情熱のようなものが感じられた。ボランティアに対する見方が変わり、自分もいつかやってみたいという思いがわいてきた。
- 自分の将来に役立つ情報を得ることができた。身近に関わることがないボランティアについて興味はあった為、授業をうけた事でフェアトレードや国内に居ながら関われる国際ボランティアの実際を知れたことは有益であった。
- 日本で老人ホームのボランティア(学習療法）をしていますが、もう少し若ければ外国で算盤を教えたいと思いました。今は毎月のユニセフの募金のみです。
- フェアトレード等身近な形でのボランティアの参加ができるとわかったこと、ボランティアに参加した人の体験が知れてよかったです。印刷教材付録4”私の成長ある「国際ボランティア」のライフストーリー”がおもしろかったです。
- 国際ボランティアに興味があったので、全てに新鮮な状態で受講出来た。特に理解出来なかったところをさらに追求して、社会貢献に結びつけられたら良いと思う(村落支援やコンピテンシーなど)。
- 私は僧侶を仕事にしており、死生観にはたずさわることが多いです。またホスピス　ボランティアで宗教者として話を伺うこともあり、学問だけに関わらず、執筆者の個人的な考えや想いが受講しても分かりやすいと思いました。巻末にある「課題」は多いに参照となり、今一度生死を考えてあてはめることが出来ました。
- 死（2人称の死も、1人称の死も）をどのように受け止めれば良いか気構えが出来た。
- マネジメントの視点で、対象領域をまとめ、専門の講師による説明があり、ユニークな科目として受け止めています。受講して良かったと思います。
- ・教科書の内容が深くて面白かったです。・放送授業も先生方二人のやり取りで進むので分かりやすかったです。・質問に丁寧なお返事がかえってきて嬉しかったです。・過去問などを見る限り、今年度から内容が大幅に変わったようで、今このタイミングでこの科目を受講できてよかったと思います。
- 技術現場で従事する者にとって法律対応関連業務は当事者の一端を担うものの、中途半端な理解や権利感覚の無知から必要な要求行為や抵触の判断を反省するための知識を学習した。個人や法人情報の公開と秘匿性を保護する関連問題は社会問題として取り上げられるが、報道関係者の正義感に基づく基本理念とも言うべき意義が理解できた。

気になった点

- 印刷教材がわかりづらい。文章が長いのか、内容がとびすぎているのか、書き方が悪いのか不明だが結局何を言いたいのかわからない。結論が出しにくい科目であるのか、初心者でもわかりやすいように改善すべきと思う。
- 先生が一生懸命講義して下さっているのですがテンポが早くて初めは話の内容と教科書が一致しなくて困りました。少し慣れると「あ～、こういうことか」とわかるのですが。
- 印刷教材を読んで勉強しましたが、説明がわかりにくいと感じました。また講師の意見、主観と思えるところが多くあると思いました。
- マンガが、出てきたので不愉快だった私はマンガが嫌いだし、まして「殺し合いの～」等目にしたくない画像で　このようなものに 5～6 ページも使うのはもったいないと思う。マンガでももっと違うものならよかったと思う。
- 試験問題が択一式でしたが、記述式の問題も 1 問あってもいいのではないかと思いました。例えば、「第 6 章のマスメディアで死生について考える」の様に自身が影響を受けたマスメディアと自身の死生観を記述する、という問いも学習をより理解する上の 1 つの方法だと思います。
- 宗教的分野になるのかも知れないが、先祖の死と法事のときに考える生と死についても、もう少し触れ、現代人との死生や、子孫の死生観が、今後どのように伝え継がれるものなのかについても、学術的に体系化されたものを考察してみたい。
- 法律などの説明事項が多くて、やや退屈な内容となっている。確かに、演習問題で具体的に実例などを調べるようになっているが、なかなかそこまで行けなかった。演習問題について、ヒントあるいはコメント、著者の考え方、解答を示していただけたらありがたい。
- 授業内容の一つにて、権利行為の実施者の関係性や侵害行為の手段など例示をパネル明示すると想像力が増し理解の深度化が図られる。よって多様な手段が類推される項目の授業にはテレビ科目が良いと考える。環境権関連説明の例示にて、公害裁判に至った件など現場収録又は居住者などの被害に基づく意見や考え方等、生の声が理解の深度化に繋がると考える。

総合科目総覧

総合科目は、ひとつの分野にとどまらず、クロスオーバーしたコンセプトが魅力であり、文字通り総体的な科目である。履修した学生の好奇心もおしなべて旺盛なようだ。授業内容への高い関心、教授陣への共感が感じられる記述も多く、「気になった点」も、科目や授業そのものへの不満ではなく、より積極的な学びのための提言になっている。これは、「総合科目」としての科目構成・内容が、幅広い学生のニーズにマッチし、受け入れられたということが感じられる。

【学部】「夏季集中科目」

よかった点

（単位：人）

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	7	6	13
知識の整理・深耕に役立った	3	4	7
今後の人生や仕事・学習に役立つ	4	2	6
今まで知らなかった知識が身に付いた	4	2	6
内容がよかった、分かりやすかった	4	1	5
視野が広がった、視点・考え方が変わった	2	3	5
楽しく受講できた。面白かった	2	1	3
基礎的な知識を得られた		1	1
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1
最新の情報や研究が学べた		1	1
受験・資格取得に役立つ	1		1
受講して良かった	1		1
学習意欲が湧いた	1		1
学習センターがあって良かった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	1	1	2
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた		1	1
簡単だった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	2		2
内容がよかった、分かりやすかった	1		1
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●テキストの丸読みは避け、授業の独自性を持たせる。
●学習に利する参考文献や資料を紹介・提供する。

【学部】「夏季集中科目」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい		1	1
内容に不満がある		1	1
質問や相談がしたい	1		1
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	2	3	5
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい		3	3
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	1		1
難しかった		1	1
教材の内容に重複がある	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	3	1	4
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	3	1	4
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	1	2
質問や相談がしたい	1	1	2
インターネットで視聴したい		1	1
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		1	1
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	1		1
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった		1	1
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
質問や相談がしたい		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題が多かった、範囲が広かった	2	2	4
スケジュールを改善してほしい	3		3
試験内容が印刷教材の内容と異なった		1	1
試験内容が通信指導の内容と異なった		1	1

【学部】「夏季集中」科目

よかった点

- “母性”という概念が不明確であった今までより H9(1997) 年に改正された母子保健法により、ライフサイクルとして促え広い視野から理解し、学ぶことは必要だと思います。人の一生は様々ですが、特段女性の生き様も多様化しており、少子化など社会から子供を産み育てる事の意味を深く考えさせられました。出産・育児・仕事この人生の流れを体験する方も減っている。または、虐待について…。世界の周産期システムと日本の課題では諸外国の医療システムを知る事が出来、お国が違えば…国民性も違うものだと制度に今更ながら、とても勉強になりました。今の事を知らなければダメだと思いました。
- まだ独身で子供を産んだ経験もなく、老療で仕事しているため、あまり詳しく学習していなかったので、今回きっかけに再度勉強できて改めて分かった所も有ったので良かったと思う。
- 20 年も昔に学んだ母性看護とは内容が違い、時代おくれで知識の浅い自分だったことに気づく機会を与えていただいた科目でした。人口動態等統計値という分野が新鮮でさらに医療体制、専門看護師など新たな分野を学べることができて、母性看護学の奥深きを感じると共にＡ先生に感謝致します。
- 世界の母子保健にも目を向け、大変参考となった。毎講義の最初と最後の授業のポイント提示と振りかえりが良かった。
- 職場では、老人の方が多いが、成人の方も入院していたりするので、成人の心のケアなど、老人とのちがいが学習できたので職場でも役に立てそう。
- 成人病が個別代 ex.）癌、肺疾、循環器系 etc 病態生理～看護～アセスメントまであるのが良かった。

気になった点

- もうすこし図を入れてほしいと思いました。
- 単位認定試験にそった授業にしてほしい。
- 教材に載っていない問題がある事。どう調べて良いか悩んだ。
- 講師の先生によっては、テキストを読むだけの講義もありました。それなら、自分で読めばよいので、わざわざ時間を割いて授業を受ける意味がないと思いました。
- 印刷教材は活字がほとんどで読む気がおきない‥意欲がわくものではなかった。
- ラジオに慣れていない為 TV 放送の方がよかった。

夏季集中講座総覧

夏季集中講座は、「司書教諭資格取得」、「看護師資格取得」に資する科目である。同時に、現場で働きつつキャリアアップを目指す目的の人もいるように推測される。学生の目的もはっきりしているが、それだけに授業や教材に対する目は厳しいようだ。

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った		13	13
視野が広がった、視点・考え方が変わった		11	11
今後の人生や仕事・学習に役立つ		9	9
内容がよかった、分かりやすかった		6	6
興味が持てた、関心が持てた		5	5
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた		4	4
現在の課題や身近な問題点を学べた		4	4
自分の考えが持てるようになった		4	4
知識の整理・深耕に役立った		3	3
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった		3	3
最新の情報や研究が学べた		3	3
基礎的な知識を得られた		2	2
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった		2	2
今まで知らなかった知識が身に付いた		2	2
身近に感じることが出来る内容だった		2	2
楽しく受講できた。面白かった		1	1
受験・資格取得に役立つ		1	1
受講して良かった		1	1
具体的・事例・実験があった		1	1
学習意欲が湧いた		1	1
学習センターがあって良かった		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった		7	7
今後の人生や仕事・学習に役立つ		1	1
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった		1	1
対話形式の授業がよかった		1	1
アシスタントがよかった		1	1
ラジオでよかった		1	1
放送のテンポがよかった		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた		2	2
引用・参考文献、練習問題がありよかった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式がよかった		1	1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●難聴・色弱・弱視者に留意する。
●認定試験は学習の内容や進捗に合わせ、適切な出題とする。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。
●講師以外の人材を適切に活用する。

【大学院】「生活健康科学」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		3	3
内容に不満がある		3	3
面接授業を実施してほしい		3	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		2	2
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		2	2
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい		2	2
関連科目を新設してほしい		2	2
分かりにくい、説明・解説が不十分		1	1
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい		1	1
時間が不足している		1	1
質問や相談がしたい		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1
学習センターの利用について改善してほしい		1	1
図書館の利用について改善してほしい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		4	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		3	3
内容に不満がある		3	3
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい		3	3
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい		2	2
スケジュールを改善してほしい		2	2
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい		2	2
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった		2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		1	1
インターネットで視聴したい		1	1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
関連科目を新設してほしい		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった		1	1
例題・実習・演習を取り入れてほしい		1	1
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
資料・データが古かった、改定版を出してほしい		4	4
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい		2	2
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった		1	1
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい		1	1
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい		2	2
指導内容、コメントに不満があった		2	2
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
内容に不満がある		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式および記述に関して改善してほしい		3	3
内容に不満がある		2	2
教材持込み可にしてほしい		1	1
試験対策がしづらかった		1	1

【大学院】「生活健康科学」科目

よかった点

- ・これからの社会福祉のあり方(方向）が良く理解できた。今後の政策に早く反映させていただきたい。・社会福祉の日本と欧米の歴史認識の大切さを感じた。・理論や実践、研究方法の視点を理解できた。
- 日本のセーフティネットの特徴と今後改善すべき点が明確に理解できた。また、変容する社会情勢の中において、生活支援の社会福祉が有効な力を発揮するために必要な政策（方策）を教える機会となった。
- 社会福祉について、医療、福祉、保健の連携をもとに、特に経済面、家庭の環境の変化等 QOL を高める点で学びが深められた。セーフティネットの事前課題は、今後の社会経済を理解していく上で大切で良かったと思う。
- 社会福祉について、深く考えさせられる内容であった。もっと現状を知り自分に何ができるのか考え実践していきたい。
- 国際的視点を含め、予想以上に幅広い視点から物事を考えることができたこと。
- 自分が気付いていなかった視点をいくつか教えられた。

気になった点

- 教材の字を大きくして下さい。冊子を大きくして下さい。カラーを付けて下さい。
- たとえば、日本のセーフティネット、外国のセーフティネットにしましても、もう少し理解しやすければよかったと考えます。
- 試験の出題が印刷教材では答えられないテーマだったように思う。どの科目でも 3 ヶ月でいろいろな知識をとり入れよう（参考文献）とすると、とてもむずかしい。少子高齢社会の時代、生活支援の重要性は一層必要であるが支援の内容が自立させる方にむけたら良い。
- 放送の内容が(私には）あっちこっちしているようで、うまくついていけなかった。次学期からも同じ内容で放送するのかしらと疑問に感じた。
- 少年事件などに対する熱意と、主任講師の専門分野に対する熱意に差があるように感じました。
- 科目名の「福祉」から少し離れた内容も含んでいるので、その点があらかじめ科目案内でわかるようになっているとなおよいと思います。
- ・ゲストの話は興味深いが、ゲストの活動等への批判的な意見の紹介などはほぼ無いので、ゲストの広報・宣伝と余り変わらず、研究としてふさわしいのか疑問に思った。・福祉政策の財源問題に全く触れていないのが、今日の社会状況から見て不自然。・第 4 回の障がい者の自立生活について、第 11 回の“自立とは何か”のような説明がなければ不可解

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	11		11
今後の人生や仕事・学習に役立つ	9		9
視野が広がった、視点・考え方が変わった	9		9
今まで知らなかった知識が身に付いた	6		6
興味が持てた、関心が持てた	3		3
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	3		3
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	3		3
知識の整理・深耕に役立った	2		2
内容がよかった、分かりやすかった	2		2
楽しく受講できた。面白かった	2		2
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2		2
自分の考えが持てるようになった	2		2
受講して良かった	2		2
最新の情報や研究が学べた	1		1
身近に感じることが出来る内容だった	1		1
学習意欲が湧いた	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	6		6
内容がよかった、分かりやすかった	2		2
映像・テレビでよかった	2		2
インターネットで受講できた	1		1
現場取材やインタビューがあってよかった	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	1		1
基本的な知識を得られた、概要がわかった	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●実験や体験などを多く取り入れる
●TV授業では内容の理解につながる映像・音楽・録音を適切に使用する。
●通信指導や質問には迅速・丁寧・確実に対応する

【大学院】「臨床心理学」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
面接授業を実施してほしい	3		3
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	2		2
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	2		2
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2		2
スケジュールを改善してほしい	2		2
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
まとめや学習のポイントがほしい	1		1
インターネットで視聴したい	1		1
独自性が感じられない	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	6		6
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	4		4
図・表・写真を利用してほしい	4		4
質問や相談がしたい	2		2
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	2		2
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2		2
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1		1
内容に不満がある	1		1
インターネットで視聴したい	1		1
スケジュールを改善してほしい	1		1
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	1		1
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	1		1
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい	1		1
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	3		3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
難しかった	1		1
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメントに不満があった	6		6
スケジュールを改善してほしい	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容に不満がある	3		3
スケジュールを改善してほしい	2		2
問題数が少なかった	2		2
問題の解答・解答例・解説がほしい	1		1
教材持込み可にしてほしい	1		1
試験の難易度を上げるべき	1		1

【大学院】「臨床心理学」科目

よかった点

- 歴史としての流れが整理できたし、家族療法の技法についてより具体的に学ぶことが出来たと思います。
- 最近の動向がわかったこと。今後の学習意欲が高まったこと。実際の面接場面の映像があり、リアルで具体的でイメージ化できとても役立つものでした。
- 家族療法の可能性を感じた。もっと研修に実践できるようになりたいと思った。
- ・家族の面接場面等を実際の雰囲気や様子がわかり易い映像を用いていたのが、大変良かった。・その日の学習項目の流れを最初にフリップで示し、テキストの順に進めていったので、今、どの部分の説明をしているのかが、よくわかり、ページをまちがえることがあまりなかった。

気になった点

- もっと実演の内容があってもよかったと思います。
- もっと多く療法(家族療法）の映像をみたい。
- テレビ科目の特性があまり生かされていない。
- 通信指導の問題が、授業の内容と少し離れているように感じた。具体例など教材にもう少し記述があってもよかった。また、指導コメントも何がどのように悪く、このように改善するなどの具体例がほしかった。

【大学院】「社会経営科学」

よかった点

（単位：人）

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	19	10	29
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	9	2	11
今後の人生や仕事・学習に役立つ	9	1	10
知識の整理・深耕に役立った	7	2	9
視野が広がった、視点・考え方が変わった	3	4	7
受講して良かった	3	4	7
今まで知らなかった知識が身に付いた	3	2	5
自分の考えが持てるようになった	2	3	5
内容がよかった、分かりやすかった	2	2	4
基礎的な知識を得られた	2		2
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2		2
最新の情報や研究が学べた	2		2
専門的な内容だった	1	1	2
具体的・事例・実験があった	2		2
興味が持てた、関心が持てた	1		1
楽しく受講できた。面白かった	1		1
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった		1	1
苦手意識がなくなった	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	1	1	2
知識の整理・深耕に役立った	1		1
最新の情報や研究が学べた	1		1
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1		1
引用・参考文献、練習問題がありよかった		1	1
愛情・熱意が伝わる教材だった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
○×式でよかった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	5	3	8
現場取材やインタビューがあってよかった	2	5	7
受講して良かった	0	2	2
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	1	1	2
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	1		1
専門的な内容だった	1		1
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1		1
映像・テレビでよかった	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なった		1	1
ラジオでよかった	1		1
放送のテンポがよかった		1	1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●学習をスムーズに進められるよう、必要に応じて、開講前に事前アナウンスを行う。
●映像のないラジオではわかりにくい授業はテレビで行う。
●放送授業と印刷教材の連動に留意する。
●講師以外の人材を適切に活用する。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。
●認定試験は学習の内容や進捗 に合わせ、適切な出題とする。
●複数の講師や担当する場合は、講義・教材の内容に統一性を持たせる。

【大学院】「社会経営科学」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりにくい、説明・解説が不十分	3	3	6
内容に不満がある	3	2	5
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	5		5
関連科目を新設してほしい	4		4
難しい、高度すぎる、理解できない	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	1	2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
現実に活かせる内容にしてほしい	1	1	2
面接授業を実施してほしい	1	1	2
図書館の利用について改善してほしい	1	1	2
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1
時間が不足している		1	1
質問や相談がしたい		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
補助教材がほしい		1	1
学習センターの利用について改善してほしい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	6	1	7
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	1	3
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	2	1	3
難しかった		3	3
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい	3		3
放送授業と印刷教材の内容が異なる		2	2
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい		2	2
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
分かりにくい、説明・解説が不十分		1	1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1
フリガナがほしい		1	1
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		1	1
補助教材がほしい		1	1
指導内容、コメントに不満があった		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	2	7	9
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	5	4	9
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	6	2	8
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	6		6
分かりにくい、説明・解説が不十分	3	1	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3		3
放送授業と印刷教材の内容が異なる		3	3
内容に不満がある	3		3
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい	2	1	3
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1	1	2
インターネットで視聴したい	2		2
図・表・写真を利用してほしい	1	1	2
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	1	1	2
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
補助教材がほしい	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	1		1
放送授業が聞き取りづらい	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の難易度を上げるべき	5		5
記述式および記述に関して改善してほしい	4		4
スケジュールを改善してほしい	1	2	3
時間が不足している	1		1
問題数が少なかった		1	1
試験内容が印刷教材の内容と異なった		1	1

【大学院】「社会経営科学」科目

よかった点

- 考えが柔軟になった。広い立場に立って物事を考えるようになった。
- 協力という概念を柱として様々な分野の学者の知見を学ぶことが出来たこと。
- 新たな知識が今後、仕事の場面でも活かしていけるのではないかと思っている。
- 成果主義等への移行する社会の変遷や政府の政策移行がよく理解できた。組織の個人の管理、育成、国際化への企業の取組みや課題についてよく把握できた。
- 私は現役時代、年功序列型、企業別組合、終身雇用制の中で過ごしてきました。この科目でキャリア開発、非正規雇用、女性労働、知識労働、グローバル人材など新しい分野のことを部分的にでも学び得たことは非常によかったと思います。
- 人的資源管理の重要性が理解できた。就業者の中で組織に勤める人の割合が大多数になった昨今、その必要性は益々大きくなると思われる。
- 管理職としてとても勉強になりました。後 2～3 回教本を読み返したいです。

気になった点

- 「社会的協力論」という標題から福祉的な事を想像していたが、経済論だと思った。私の勘違いだった。
- インタビューがテレビ（映像）であったら、よりその人となりを感じ取ることができたのではないかと思われます。難しい問題であるとは思いますが・・・。
- 印刷教材と放送教材が別物と言ってもよい内容であった。片方だけでは単位取得につながらないと感じた。
- 通信問題の出した方が難しいので、結果として協力論の内容とのギャップが大きいと感じた。出題内容に工夫があっても良いと感じた。
- インタビュー、ゲストスピーカーを招くなど工夫に満ちた講義内容だが、講師とゲストとの会話は、もう少しインタラクティブで自然な感じであると良い。
- ・現在の企業の対策についての説明は大変役立ったが、端的に言えば大企業の事例が多かった。人口の多数を占める中小、零細企業では、はるかにレベルの低い状態が日常化しており、それに対する取り組みのアイデアなどが含まれるとより良いと感じた。
- テスト問題に関して、択一の選択方式はよくない！学生に自分の考えをまとめて記述する方式が、この科目に限らず少なくなってきている。私は修士全科生を修了し、他大学の博士後期課程を修了し、博士号を取得しているが、近年とみに放送大学のレベルが低下していると感じる。その 1 つにテストの択一問題の出題が多すぎることが低下につながっている。改善すべきと考える。
- 印刷教材の中で、執筆者が異なる章の間で用語の統一が図れていない部分が見受けられた。

【大学院】「人文学」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った		11	11
楽しく受講できた。面白かった		10	10
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた		9	9
受講して良かった		7	7
視野が広がった、視点・考え方が変わった		5	5
知識の整理・深耕に役立った		4	4
興味が持てた、関心が持てた		4	4
学習意欲が湧いた		4	4
基礎的な知識を得られた		3	3
今まで知らなかった知識が身に付いた		3	3
今後の人生や仕事・学習に役立つ		2	2
内容がよかった、分かりやすかった		2	2
自分の考えが持てるようになった		1	1
身近に感じることが出来る内容だった		1	1
受験・資格取得に役立つ		1	1
苦手意識がなくなった		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった		11	11
興味が持てた、関心が持てた		1	1
視野が広がった、視点・考え方が変わった		1	1
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった		1	1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた		1	1
映像・テレビでよかった		1	1
ラジオでよかった		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
愛情・熱意が伝わる教材だった		2	2
楽しく受講できた。面白かった		1	1
最新の情報や研究が学べた		1	1
基本的な知識を得られた、概要がわかった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が適切だった		1	1
やりがいがあった		1	1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●TV授業では内容の理解につながる映像・音楽・録音を適切に使用する。
●通信指導や質問には迅速・丁寧・確実に対応する

【大学院】「人文学」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい		7	7
関連科目を新設してほしい		5	5
分かりにくい、説明・解説が不十分		4	4
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい		4	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		3	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		2	2
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
放送授業と印刷授業の内容が同じである		1	1
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
時間が不足している		1	1
質問や相談がしたい		1	1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		1	1
スケジュールを改善してほしい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりにくい、説明・解説が不十分		2	2
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい		2	2
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい		2	2
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		2	2
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい		2	2
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		1	1
放送授業と印刷授業の内容が同じである		1	1
内容に不満がある		1	1
まとめや学習のポイントがほしい		1	1
質問や相談がしたい		1	1
補助教材がほしい		1	1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった		1	1
図・表・写真を利用してほしい		1	1
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい		1	1
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		2	2
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい		1	1
内容に不満がある		1	1
時間が不足している		1	1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった		1	1
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい		1	1
フリガナがほしい		1	1
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった		1	1
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい		1	1
誤植を直してほしい		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメントに不満があった		6	6
内容に不満がある		1	1
質問や相談がしたい		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
スケジュールを改善してほしい		3	3
記述式および記述に関して改善してほしい		2	2
時間が不足している		1	1
教材持込み可にしてほしい		1	1
試験の難易度を上げるべき		1	1

【大学院】「人文学」科目

よかった点

- 文学についての関心が高まった。いろいろな章に分かれていて、それぞれ関心を持てた。おもしろかった。時々音楽などがあり、良かった。自分の興味の所が教材にあり良かった。
- 宗教におけるジェンダー問題、特にキリスト教の根本にある男女不平等について、目を向けられたのは良かったです。
- 中世ルネサンス文学が、これほど豊かで多岐に渡るものとは知らなかったので、大変おもしろかった。この年になって、初めて「神曲」の翻訳を読んだ。研究書を読み比べて、シェークスピアの戯曲は観ただけではわからなかった部分が理解できておもしろかった。「じゃじゃ馬ならし」etc。
- 難しくはあったが、受講しなければ読まなかったであろう本に接することができて、本当に良かった。

気になった点

- 文学作品の解説、言語について、もう少し深く説明して欲しい。印刷教材のページ数の関係もあると思うが。
- とりあげる文学作品をもう少し限定して、深く探求してもいいのではないかと思います。同じ作品、同じテーマで、別の先生の講義があってもいいと思います。
- 文化を扱う授業は、現地の映像やインタビューもとり入れて、テレビで実施した方がよい。
- 通信指導が貧弱。大学院なので 4000 字程度の課題を 4～5 本課しても良い。また、「再提出」を課すのも良いだろう。放送大の形式的なルールの枠内では、人は育たない。

【大学院】「情報学」

よかった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	5	5	10
視野が広がった、視点・考え方が変わった	5	3	8
知識の整理・深耕に役立った	2	4	6
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2	3	5
今後の人生や仕事・学習に役立つ	2	2	4
今まで知らなかった知識が身に付いた	2	2	4
受講して良かった	2	2	4
内容がよかった、分かりやすかった	3		3
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	2	1	3
基礎的な知識を得られた	1	1	2
興味が持てた、関心が持てた	1	1	2
楽しく受講できた。面白かった	1	1	2
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1
最新の情報や研究が学べた		1	1
専門的な内容だった		1	1
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	1		1
自分の考えが持てるようになった	1		1
他の科目と関連性があった		1	1
学習意欲が湧いた	1		1
科目が多くて楽しい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	2	2	4
勉強になった、役に立った		1	1
興味が持てた、関心が持てた	1		1
視野が広がった、視点・考え方が変わった	1		1
受講して良かった		1	1
愛情・熱意が伝わる教材だった	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
内容がよかった、分かりやすかった	2		2
興味が持てた、関心が持てた	1		1
視野が広がった、視点・考え方が変わった	1		1
受講して良かった	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	5	1	6
知識の整理・深耕に役立った	1		1
今後の人生や仕事・学習に役立つ	1		1
興味が持てた、関心が持てた	1		1
視野が広がった、視点・考え方が変わった	1		1
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1		1
映像・テレビでよかった	1		1
インターネットで受講できた	1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●放送授業と印刷教材の連動に留意する。
●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●必要に応じDVD・CD等の資料を活用する。
●学生の自主性・自発性を重んじる

【大学院】「情報学」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	3	3	6
関連科目を新設してほしい	3	3	6
内容に不満がある	3	2	5
質問や相談がしたい	3		3
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	2	3
分かりにくい、説明・解説が不十分		2	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		2	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	1		1
時間が不足している	1		1
インターネットで視聴したい		1	1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい		1	1
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい		1	1
学習センターの利用について改善してほしい	1		1
図書館の利用について改善してほしい		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	3	5	8
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	2	5	7
分かりにくい、説明・解説が不十分	3	1	4
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	3	1	4
内容に不満がある	1	2	3
難しい、高度すぎる、理解できない	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1
時間が不足している		1	1
質問や相談がしたい		1	1
補助教材がほしい	1		1
インターネットで視聴したい		1	1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
関連科目を新設してほしい		1	1
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった		1	1
図・表・写真を利用してほしい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する図・写真・イラストを増やしてほしい	2	1	3
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった		3	3
難しかった	1	2	3
難しい、高度すぎる、理解できない		2	2
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
内容に不満がある	1		1
フリガナがほしい	1		1
文字・図・表・写真が小さかった、分かりにくかった		1	1
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1		1
教材の内容に重複がある		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメントに不満があった	1	5	6
難しい、高度すぎる、理解できない		1	1
関連科目を新設してほしい	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式および記述に関して改善してほしい	4		4
問題が多かった、範囲が広かった		2	2
時間が不足している		1	1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
教材持込み可にしてほしい	1		1
試験の難易度を上げるべき	1		1
評価方法に疑問を感じる		1	1

【大学院】「情報学」科目

よかった点

- メディア概念が良く理解出来た。メディアを実践的に使用することの大切さをお教え頂いた。メディアは扱う主体によって都合よく加工されている事をお教え頂いた（週刊誌、新聞、NHK、民放で内容が違って見えること）。
- email 等は良く使っておりますが、ソーシャルメディア等の新しいアプリ等は使っていませんが、多方向通信が更に進んだ活用方法について、遊びからビジネスや暮らしに進展して行ったら、日本の将来が明るくなるだろうと思います。そうした事を考えるきっかけを与えて下さいました。
- 情報社会の問題点のいくつかを、歴史的にも理解できたこと。私はこの分野の歴史的変化を体験しているので、共感できるところが多くあった。
- 極端な話、新しいメディアの出現によって「世の中のありよう」が変化してきたことが良く理解できた。今後、世の中がどう変っていくか予測するとき、こういう考え方がとても役立つと思う。
- 著作権や特許権などの個別の内容のみならず、知的財産権全体の内容及びそのサイクルを総合的に学習することができたのはよかったと思います。
- 知的財産権について新しい知識を得られたことと、いくつもの法律を比較したり俯瞰することができたこと。
- 知的財産権の構造、問題点と課題を理解することができた。今後の自身の研究を進めるうえで、重要な事項を学ぶことができた。

気になった点

- 放送授業と印刷教材が乖離している。もう少し合致させた方が理解されやすい。
- 「21 世紀」と称しているものの、歴史的経緯の部分に紙面（テキスト）が多く割かれており、「現在」」と「今後」を知る上では納得がいかなかった。
- テキストに「不要」に、こむずかしい用語を多用しているのが、理解の妨げになったと思う。同じ意味で平易な用語もあるので、もっと読み易かったら良かった。著者のこだわりなのでしょうが･･･。
- さらに多くの映像資料がほしい。
- 印刷教材と放送教材がほぼ同一内容であったが、放送教材ならではの内容に一工夫があればさらに興味・関心を高めることができたのではないかと思います。また、印刷教材のうち記憶遺産や無形文化遺産にかかる記述の内容については少し疑問を感じました。
- 教材（印刷教材）がたいへん分かりにくい。ご自身の論文の切り貼りを構成したに過ぎない部分が多く、この分野を研究した経験が無いと分かりにくい。日本語の文章が分かりにくい。
- ・テキストに誤記が見受けられたこと。誤字でなく固有の名称がまちがっていると、誤解のもとです。・文章が非常に分かりにくかった。内容は難しくなくても、まわりくどすぎて理解を妨げた。
- ①ひと通りの法体系の概説を何回か行った後は、現在の知的所有権の課題や問題点を提示して、自分で調べさせるような方法が必要ではないかと思う。

【大学院】「自然環境科学」

よかった点

（単位：人）

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
知識の整理・深耕に役立った	16		16
勉強になった、役に立った	15		15
今まで知らなかった知識が身に付いた	14		14
体系的に学べた、幅広く学べた、詳しく学べた	11		11
今後の人生や仕事・学習に役立つ	10		10
視野が広がった、視点・考え方が変わった	8		8
受講して良かった	6		6
基礎的な知識を得られた	4		4
興味が持てた、関心が持てた	4		4
楽しく受講できた。面白かった	4		4
身近に感じることが出来る内容だった	4		4
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	3		3
学習意欲が湧いた	3		3
最新の情報や研究が学べた	2		2
具体的・事例・実験があった	2		2
内容がよかった、分かりやすかった	1		1
今までにない内容で興味深かった。新鮮だった	1		1
自分の考えが持てるようになった	1		1
受験・資格取得に役立つ	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	3		3
受験・資格取得に役立つ	1		1
体系的、よくまとまっていた、整理されていた	1		1
教材の貸与があって良かった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1		1
試験内容が適切だった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の指導がよかった	3		3
内容がよかった、分かりやすかった	2		2
映像・テレビでよかった	2		2
勉強になった、役に立った	1		1
身近に感じることが出来る内容だった	1		1
受講して良かった	1		1
図表や写真・資料などがあり理解しやすかった	1		1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	1		1
インターネットで受講できた	1		1
放送のテンポがよかった	1		1

主な改善点の提案：「気になった点」から抽出・集約

●放送授業と印刷教材の連動に留意する。
●学生のレベルは千差万別であることに留意し、科目構成・授業を行う。
●以前の同様科目との連続性に留意する。
●印刷教材の内容やレイアウトに留意し、必要な場合は図や表、用語説明を加える。
●授業や教材には最新のデータや現状・現実を取り入れ、時代に即したものにする。

【大学院】「自然環境科学」

気になった点

（単位：人）

科目全般

意見	テレビ	ラジオ	合計
上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい	10		10
質問や相談がしたい	7		7
難しい、高度すぎる、理解できない	6		6
内容に不満がある	6		6
関連科目を新設してほしい	5		5
面接授業を実施してほしい	5		5
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	4		4
分かりにくい、説明・解説が不十分	3		3
スケジュールを改善してほしい	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
内容が浅い、もっと詳しい説明をしてほしい	1		1
放送授業と印刷授業の内容が同じである	1		1
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		1
サブタイトルをつけてほしい	1		1
時間が不足している	1		1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	1		1
独自性が感じられない	1		1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	12		12
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5		5
図・表・写真を利用してほしい	5		5
難しい、高度すぎる、理解できない	3		3
内容に不満がある	2		2
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2		2
ラジオでは難しい、ラジオではなくテレビにしてほしい	2		2
講師の話し方がよくなかった、熱意が感じられなかった	2		2
具体例・事例・練習問題を増やしてほしい	2		2
講義のテンポがよくなかった、改善してほしい	2		2
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
参考文献を紹介してほしい	1		1
質問や相談がしたい	1		1
インターネットで視聴したい	1		1
事前に受講前提となる知識を示すべき・前提を満たしていないと理解が難しい	1		1
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	1		1
例題・実習・演習を取り入れてほしい	1		1
テレビの図が見にくく、見せ方を改善してほしい	1		1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった、内容を改善してほしい	4		4
放送授業の参考資料やデータページを載せてほしい	4		4
内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった	3		3
難しかった	2		2
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	2		2

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメントに不満があった	6		6
問題の解答・解答例・解説がほしい	2		2
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式および記述に関して改善してほしい	5		5
スケジュールを改善してほしい	3		3
問題が多かった、範囲が広かった	2		2
難しい、高度すぎる、理解できない	1		1
内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
問題の解答・解答例・解説がほしい	1		1

【大学院】「自然環境科学」科目

よかった点

- 40 年前ごろまでに学んだ宇宙観とはまったくちがっていて、興味を持って学習を進めることができました。今の人間の活動がすごいスピードで地球環境に影響を与えているから、孫の時代に負の遺産を残さないようにと、ライフスタイルを見直さないといけないと感じたこと。
- 宇宙は無限なのか？有限なのか？無から始り、膨張をしている宇宙の概念は、とても不思議なものです。我々が住む地球にも限りがあることを知り、「なるほど」と思いました。宇宙を知って、日々を生きる大切さを再認識しました。
- 地球から宇宙全体まで、宇宙の始まりから最近の人間の発展まで、広い範囲の話を、全体的にわかりやすく整理されていたので、全体の把握がし易かったです。
- ・最新の生物学の研究事例が紹介されていて、興味深かった。・根粒菌と植物の共生のしくみ等、従来の教科書より詳しい解説があり理解が深まった。
- 通信指導にコメントを手書きで書いていただいて感動しました。単位認定試験は仕事の都合で受けられませんでしたが、勉強は続けたいと思います。
- 1.生物多様性の重要さについて教えられた。2.カースト制と社会性昆虫をはじめて知り、インドのカースト制はまったくおくれた制度と思っていたが、1 つの社会の有り方であるとも教えられた。3.極限環境の微生物、ウィルス、バクテリアの生命力の強さに、生物の広がりの大きさを知った。
- 高校の生物の教員なので、教材研究になった。
- 環境によって遺伝子が変化する。遺伝子が環境（化学物質、紫外線、放射線、活性酸素など）により、かなりの影響を受けること、突然変異のことなど大変有意義でありました。
- 自分が防火・防災を長年仕事として、今は退職したが、地球、宇宙レベルからの地震問題やパリ消火設備の環境問題等は大変興味深く視聴しました。
- 環境を見るミクロの視点として環境を物資科学の立場で学べたこと。

気になった点

- 計算過程について紙面を都合上省略されている部分があるが、どのようにその結果が導かれるのか、詳細な説明の記載が欲しいと感じた部分がいくつかあった。
- 文系の大卒でしたので、理系の知識はほとんどなく（物理）理解が困難な部分（公式・数式）がある。講義の中で、もう少し基本の部分も少しだけでいいので、ふれるか、どの分野にあたるのかを示唆してほしいと思った。
- 08 物質環境科学Ⅱと類似していた。数年間の科学の進歩がもう少し強調されていればなお良かった。
- 恒星の進化について、もう少し分かりやすくして欲しいと思います。恒星の進化の段階に応じて、状態をよく表現した絵があるとイメージしやすいと思います。
- 印刷教材は少し見直して頂きたいと思いました。せっかく動・植物とわけているのであれば、教材も対比できる構造をとってほしかったですが、一部項目にだけで内容があっていないところがあったように思います。個々の章としてよむのはおもしろいのですが、比較がしづらかったです。
- 現代生物科学というタイトルであるため、これまでの生物との違いについて解説されることを期待していた。現代生物学の最前線情報や発展過程を重点的に解説されていたら良かったと感じた。
- 基礎的な知識が不足していても、理解することができる説明・指導がほしいと感じました。
- 少し範囲が広過ぎます。ⅠとⅡとか…2 つの科目に分けて下さい。内容は大変良いので「広く浅く」はしたくない。
- 広すぎて専門性に欠け難易度も低すぎた。細分化し、もっと深く理解できるようにしてほしい。
- 物質環境科学であるので、物質についてもっと取り上げても良いのではないでしょうか？ダイオキシンや活性酸素については取上げられていましたが、物足りなさ感があります。化石燃料やエネルギー問題、廃棄物やゴミ焼却問題及び、それらに関する技術も取上げてほしいと思いました。

大学院総合科目総覧

さすがに大学院ともなると学びの深さが異なる。「試験を簡単にしてほしい」とか「授業が理解できない」というレベルの声は見られない。また、授業そのものへの不満は少なく、教材への要望が多くなっている。それも単に「図や解説を多く」や「説明文をつけてくれ」といった「見た目に分かりやすくしてほしい」というものではなく、内容に踏み込んで自らの学びを深化させたいという要望が多い。

大学院であるから当然ではあるが、それぞれの探求の姿勢と方向性が専門的かつ明確であり、志学の焦点がはっきりしていることが感じられる。

平成26年度学生による授業評価集計結果概要 について

1. 調査の概要

（1）調査目的　自己点検・評価の一環としして、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

（2）調査方法　郵送により質問紙調査

（3）調査対象

①対象科目

【学部】

	基礎科目	共通科目：社会系	共通科目：自然系	共通科目：外国語	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
H26（2014）	3	1	5	2	7	8	7	6	8

自然と環境	総合科目	夏季集中科目	計
3	5	2	57

【学部】

	生活健康科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	計
H26（2014）	2	1	2	1	2	3	11

①対象者　平成26年度第1学期履修登録者
※対象科目の全登録者から学部科目250人、大学院科目200人を無作為抽出
※登録者数が上記の人数未満の科目は全数
※1人当たり最大3科目まで

（4）調査時期　質問紙配布：　8月15日（平成26年度第1学期単位認定試験終了後）
質問締切：　9月30日
調査結果の集計：10月

2. 集計結果

（1）回収状況

	標本数（人）			有効回答数（人）			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
H26（2014）	14,256	12,924	1,332	5,977	5,357	620	41.9%	41.5%	46.5%

(2)回答者の属性

【学部】

	新コース所属全科履修生								
H24(2012)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
	7.7%	15.7%	19.4%	13.8%	－	6.5%			
	旧専攻所属全科履修生						全科履修生（計）	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解			
	0.9%	1.1%	1.3%	1.1%	1.6%	0.6%	69.6%	18.1%	7.4%
H25(2013)	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
	9.2%	11.7%	14.2%	17.6%	2.9%	10.3%			
	旧専攻所属全科履修生						全科履修生（計）	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解			
	1.8%	0.4%	1.0%	0.6%	1.5%	0.8%	71.8%	16.7%	7.3%
H26(2014)	新コース所属全科履修生								
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
	13.3%	17.1%	9.7%	14.3%	5.8%	7.1%			
	旧専攻所属全科履修生						全科履修生（計）	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解			
	1.4%	0.3%	0.4%	0.2%	0.6%	0.5%	70.5%	16.5%	7.7%

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H24(2012)	48.8%	46.7%	0.7%	10.8%	16.9%	22.2%	16.6%	22.7%	8.8%
H25(2013)	51.7%	46.4%	0.4%	8.5%	14.2%	19.9%	16.9%	26.3%	13.4%
H26(2014)	48.9%	49.5%	0.4%	7.8%	13.6%	21.1%	19.5%	25.2%	11.9%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

(2)回答者の属性

【大学院】

	新プログラム所属修士全科生								
H24(2012)	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学	
	2.4%	3.6%	1.3%	6.0%	5.8%	－	－	2.5%	
	旧プログラム所属修士全科生						修士全科生（計）	修士選科生	修士科目生
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理			
		文化情報	環境システム						
	－	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	21.9%	67.8%	6.5%
H25(2013)	新プログラム所属修士全科生								
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学	
	2.3%	2.0%	2.2%	6.7%	－	4.9%	4.6%	3.0%	
	旧プログラム所属修士全科生						修士全科生（計）	修士選科生	修士科目生
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理			
		文化情報	環境システム						
	1.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	27.2%	59.7%	7.6%
H26(2014)	新プログラム所属修士全科生								
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学	
	4.4%	0.8%	1.3%	9.4%	－	5.0%	2.4%	4.8%	
	旧プログラム所属修士全科生						修士全科生（計）	修士選科生	修士科目生
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理			
		文化情報	環境システム						
	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.7%	59.8%	8.1%

	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H24(2012)	61.5%	36.3%	2.4%	15.0%	28.0%	28.9%	17.5%	7.8%
H25(2013)	61.2%	35.4%	3.4%	13.8%	22.0%	23.8%	24.4%	11.1%
H26(2014)	63.5%	33.1%	2.6%	8.4%	22.1%	25.2%	27.4%	13.7%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

（3）評価結果（4段階評価における評点平均
【学部】
①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H24(2012)	3.10	3.10	3.1	3.18	3.16	3.21	3.16	3.12	3.22	3.18	3.20	3.14	3.15	3.13	3.18	3.21	3.17	3.28	3.21	3.18	3.26
H25(2013)	3.14	3.16	3.12	3.24	3.25	3.22	3.21	3.23	3.18	3.22	3.28	3.14	3.21	3.22	3.19	3.27	3.23	3.32	3.29	3.28	3.29
H26(2014)	3.10	3.18	3.06	3.23	3.27	3.18	3.22	3.25	3.19	3.23	3.34	3.08	3.17	3.20	3.14	3.24	3.24	3.24	3.28	3.31	3.25

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	基礎科目	共通科目：人文系	共通科目：社会系	共通科目：自然系	共通科目：外国語	生活と福祉	心理と教育
H24(2012)	3.17(3.73～2.55)	3.14	3.23	3.07	3.33	3.04	3.26	2.88	3.03	3.27
H25(2013)	3.27(3.71～2.72)	3.26	3.27	3.35	－	3.28	3.34	3.05	3.16	3.31
H26(2014)	3.26(3.75～2.72)	3.29	3.23	3.23	3.14	－	3.16	3.19	3.13	3.42

※（　）内の値は「最高値～最低値」

コース・科目区分別					
社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	総合科目	夏季集中科目
3.27	3.20	－	－	3.11	3.25
3.24	3.35	3.22	3.15	3.21	3.29
3.23	3.28	3.18	3.27	3.43	3.16

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H24(2012)	3.22	3.12	2.97	3.16	3.11	3.13	3.18	3.23	3.29
H25(2013)	3.25	3.28	3.59	3.21	3.26	3.23	3.27	3.28	3.31
H26(2014)	3.24	3.28	3.17	3.16	3.24	3.29	3.28	3.28	3.24

（3）評価結果（4段階評価における評点平均
【大学院】
①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H24(2012)	3.13	3.10	3.15	3.24	3.17	3.27	3.27	3.17	3.32	3.19	3.17	3.20	3.20	3.16	3.21	3.28	3.17	3.33	3.26	3.18	3.30
H25(2013)	3.25	3.40	3.19	3.29	3.40	3.24	3.31	3.44	3.26	3.25	3.48	3.16	3.23	3.28	3.21	3.27	3.33	3.25	3.36	3.46	3.31
H26(2014)	3.21	3.29	3.10	3.32	3.38	3.24	3.33	3.39	3.26	3.35	3.43	3.23	3.25	3.31	3.17	3.29	3.32	3.24	3.36	3.43	3.28

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別							
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学
H24(2012)	3.22(3.57～2.78)	3.13	3.27	3.43	3.35	3.16	3.23	3.09	－	－	－
H25(2013)	3.32(3.61～2.93)	3.45	3.27	3.21	3.45	3.44	3.21	－	3.44	3.24	2.93
H26(2014)	3.34(3.53～2.67)	3.41	3.25	3.28	－	3.38	3.40	－	3.46	3.06	3.40

※（　）内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H24(2012)	3.27	3.19	2.62	3.13	3.22	3.30	3.25	3.31
H25(2013)	3.24	3.47	3.14	3.45	3.41	3.30	3.25	3.26
H26(2014)	3.34	3.36	3.40	3.40	3.35	3.27	3.37	3.32

（参考）集計方法について
各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあたはまらない」、「あてはまあない」の回答をそれぞれ
4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出し集計している。

平成26年度学生による授業評価の調査結果一覧【2014年度新規開設科目】（単純集計）コース・科目区分別、プログラム別

		回収状況			取組み姿勢				難易度・分量					放送授業					印刷教材					通信指導・単位認定試験				全体評価						授業にかかる評価（B1-B20）の平	全体（A1-B20）の平均
		調査対象	回答者数	回収率	A-1	A-2	A-3	項目平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目平均	B-13	B-14	B-15	項目平均	B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	項目平均		
学部	全科目平均	12,924	5,357	41.5%	3.26	2.82	3.30	3.13	3.20	3.21	3.22	3.26	3.22	3.23	3.37	3.20	3.11	3.23	3.24	3.17	3.07	3.22	3.17	3.27	3.32	3.14	3.24	3.25	3.33	3.46	3.12	3.26	3.28	3.23	3.22
	科目最高値			－	3.56	3.35	3.52	3.48	3.63	3.62	3.61	3.59	3.61	3.76	3.78	3.64	3.77	3.74	3.66	3.65	3.60	3.63	3.63	3.58	3.58	3.49	3.55	3.52	3.76	3.73	3.54	3.75	3.66	3.64	3.62
	科目最低値			－	2.72	1.81	2.82	2.45	2.35	2.43	2.43	2.64	2.46	2.48	2.55	2.48	1.88	2.35	2.68	2.34	2.42	2.60	2.51	2.63	2.81	2.48	2.64	2.74	2.79	2.96	2.44	2.72	2.73	2.54	2.53
	テレビ科目（ＴＶ）平均	6,946	2,952	42.5%	3.29	2.96	3.28	3.18	3.25	3.26	3.23	3.25	3.25	3.31	3.47	3.30	3.28	3.34	3.26	3.18	3.15	3.23	3.20	3.27	3.32	3.13	3.24	3.26	3.37	3.50	3.15	3.29	3.31	3.27	3.26
	ラジオ（Ｒ）平均	5,978	2,405	40.2%	3.22	2.65	3.32	3.06	3.13	3.15	3.21	3.26	3.19	3.12	3.25	3.07	2.89	3.08	3.21	3.16	2.97	3.21	3.14	3.27	3.31	3.14	3.24	3.23	3.29	3.42	3.08	3.23	3.25	3.18	3.17
	「基礎科目」項目平均	747	334	44.7%	3.20	2.83	3.33	3.12	3.18	3.23	3.19	3.27	3.22	3.22	3.44	3.24	3.08	3.24	3.34	3.17	3.20	3.27	3.25	3.26	3.32	3.12	3.23	3.22	3.28	3.48	3.09	3.23	3.26	3.24	3.23
	「共通科目：人文系」項目平均	250	117	46.8%	3.16	2.69	3.22	3.02	3.07	3.04	3.22	3.26	3.15	3.00	3.35	2.96	2.78	3.02	3.04	3.02	2.88	2.99	2.98	3.02	3.23	3.13	3.13	3.10	3.32	3.50	2.95	3.14	3.20	3.10	3.09
	「共通科目（自然系）」全体	874	313	35.8%	3.20	2.84	3.14	3.06	3.10	3.18	3.10	3.18	3.14	3.25	3.36	3.13	2.96	3.17	3.20	3.08	2.91	3.14	3.08	3.20	3.28	3.14	3.21	3.14	3.15	3.27	2.96	3.16	3.14	3.14	3.13
	「共通科目：外国語」項目平均	407	174	42.8%	3.29	3.11	3.24	3.21	3.07	3.18	3.07	3.21	3.13	3.38	3.57	3.28	3.17	3.35	3.44	3.20	2.65	3.17	3.12	3.33	3.36	2.81	3.17	3.14	3.30	3.34	3.07	3.19	3.21	3.20	3.20
	「生活と福祉」項目平均	1,733	715	41.3%	3.14	2.53	3.29	2.99	3.05	3.11	3.16	3.22	3.13	3.07	3.18	3.04	2.91	3.05	3.13	3.12	3.06	3.18	3.12	3.22	3.25	3.06	3.18	3.22	3.25	3.41	3.04	3.13	3.21	3.14	3.12
	「心理と教育」項目平均	1,994	851	42.7%	3.36	2.89	3.41	3.22	3.36	3.36	3.35	3.39	3.36	3.39	3.45	3.36	3.28	3.37	3.29	3.28	3.20	3.31	3.27	3.42	3.47	3.28	3.39	3.37	3.47	3.59	3.28	3.42	3.43	3.37	3.35
	「社会と産業」項目平均	1,608	647	40.2%	3.18	2.66	3.25	3.03	3.14	3.13	3.22	3.22	3.18	3.10	3.14	3.04	2.94	3.06	3.21	3.17	2.96	3.19	3.13	3.22	3.22	3.13	3.19	3.26	3.26	3.43	3.09	3.23	3.25	3.17	3.15
	「人間と文化」項目平均	1,484	747	50.3%	3.34	3.02	3.35	3.24	3.26	3.20	3.26	3.24	3.24	3.25	3.47	3.25	3.28	3.31	3.25	3.20	3.06	3.25	3.19	3.27	3.31	3.06	3.21	3.24	3.38	3.53	3.11	3.28	3.31	3.26	3.25
	「情報」項目平均	1,449	531	36.6%	3.25	2.94	3.23	3.14	3.13	3.20	3.11	3.19	3.16	3.19	3.43	3.20	3.08	3.22	3.21	3.04	3.06	3.12	3.11	3.21	3.28	3.19	3.23	3.14	3.25	3.34	3.09	3.18	3.20	3.18	3.18
	「自然と環境」項目平均	728	314	43.1%	3.29	3.05	3.17	3.17	3.20	3.20	3.07	3.14	3.15	3.30	3.52	3.31	3.12	3.31	3.18	3.05	3.09	3.22	3.13	3.26	3.28	3.01	3.18	3.21	3.44	3.48	2.92	3.27	3.27	3.21	3.21
	「総合科目」項目平均	1,150	530	46.1%	3.36	2.81	3.39	3.19	3.39	3.37	3.39	3.39	3.39	3.37	3.49	3.31	3.31	3.37	3.38	3.36	3.17	3.34	3.31	3.31	3.38	3.27	3.32	3.36	3.47	3.56	3.32	3.43	3.43	3.37	3.35
	「夏季集中科目」項目平均	500	84	16.8%	2.95	1.96	3.25	2.72	2.70	2.47	3.06	3.02	2.81	2.51	2.61	2.63	2.57	2.58	2.76	3.00	3.01	3.15	2.98	3.06	3.11	3.08	3.08	3.15	2.94	3.33	3.09	3.16	3.13	2.92	2.89

		回収状況			取組み姿勢				難易度・分量					放送授業					印刷教材					通信指導・単位認定試験				全体評価						授業にかかる評価（B1-B20）の平	全体（A1-B20）の平均
		調査対象者数	回答者数	回収率	A-1	A-2	A-3	項目平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目平均	B-13	B-14	B-15	項目平均	B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	項目平均		
大学院	全科目平均	1,332	620	46.5%	3.32	2.97	3.34	3.21	3.31	3.36	3.31	3.35	3.33	3.37	3.49	3.31	3.23	3.35	3.30	3.22	3.19	3.29	3.25	3.31	3.31	3.24	3.29	3.30	3.43	3.53	3.22	3.34	3.36	3.32	3.31
	科目最高値			－	3.49	3.26	3.50	3.42	3.49	3.51	3.44	3.49	3.48	3.65	3.79	3.56	3.49	3.62	3.58	3.42	3.42	3.51	3.48	3.63	3.60	3.52	3.58	3.45	3.63	3.67	3.43	3.53	3.54	3.54	3.52
	科目最低値			－	2.81	2.39	2.86	2.69	2.85	3.00	2.74	3.00	2.90	2.54	2.92	2.44	2.50	2.60	3.02	2.44	2.56	2.51	2.63	3.00	2.94	3.05	3.00	3.03	2.77	3.15	2.54	2.67	2.83	2.78	2.77
	テレビ科目（ＴＶ）平均	786	350	44.5%	3.39	3.09	3.40	3.29	3.39	3.42	3.35	3.38	3.39	3.48	3.52	3.37	3.35	3.43	3.34	3.29	3.29	3.34	3.31	3.31	3.35	3.30	3.32	3.33	3.50	3.59	3.32	3.41	3.43	3.38	3.37
	ラジオ（Ｒ）平均	546	270	49.5%	3.22	2.82	3.26	3.10	3.20	3.28	3.25	3.31	3.26	3.21	3.44	3.22	3.07	3.23	3.25	3.13	3.06	3.23	3.17	3.31	3.25	3.17	3.24	3.28	3.33	3.45	3.09	3.25	3.28	3.24	3.22
	「生活健康科学」項目平均	215	105	48.8%	2.98	2.47	3.12	2.85	3.20	3.27	3.31	3.36	3.28	3.25	3.40	3.27	3.12	3.26	3.18	3.19	3.03	3.29	3.17	3.33	3.23	3.08	3.21	3.31	3.34	3.44	3.18	3.28	3.31	3.25	3.20
	「臨床心理学」項目平均	199	80	40.2%	3.39	3.23	3.39	3.34	3.43	3.43	3.38	3.46	3.42	3.47	3.52	3.36	3.27	3.40	3.34	3.34	3.29	3.40	3.34	3.24	3.18	3.21	3.21	3.31	3.55	3.67	3.29	3.38	3.44	3.38	3.37
	「社会経営科学」項目平均	273	143	52.4%	3.39	2.94	3.38	3.23	3.30	3.36	3.37	3.34	3.34	3.36	3.49	3.34	3.24	3.36	3.24	3.30	3.21	3.37	3.28	3.12	3.18	3.22	3.17	3.38	3.44	3.53	3.30	3.40	3.41	3.33	3.31
	「人文学」項目平均	131	73	55.7%	3.49	3.14	3.50	3.38	3.45	3.50	3.44	3.49	3.47	3.53	3.73	3.56	3.27	3.52	3.58	3.42	3.42	3.51	3.48	3.63	3.60	3.39	3.54	3.39	3.63	3.66	3.28	3.46	3.48	3.50	3.48
	「情報学」項目平均	197	86	43.7%	3.28	3.00	3.35	3.21	3.18	3.27	3.01	3.17	3.16	3.12	3.38	3.01	3.02	3.13	3.24	2.82	2.89	2.89	2.96	3.16	3.27	3.21	3.21	3.13	3.15	3.34	2.93	3.06	3.12	3.11	3.13
	「自然環境科学」項目平均	317	133	42.0%	3.38	3.15	3.34	3.29	3.32	3.38	3.32	3.33	3.34	3.48	3.48	3.34	3.39	3.42	3.33	3.23	3.30	3.28	3.28	3.47	3.45	3.37	3.43	3.28	3.47	3.57	3.28	3.40	3.40	3.37	3.36

（注） 平均評点は、調査票の選択肢「あてはまる：４点」「ややあてはまる：３点」「あまりあてはまらない：２点」「あてはまらない：１点」として算出した。

科目No.

2014年度学生による授業評価調査票（学部）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

Ⅰ．　この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

（注）通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A．授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1．ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2．ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3．放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B．以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8)	（テレビ科目についてのみお答えください） テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 （ラジオ科目についてのみお答えください） 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	4	3	2	1
＜印刷教材＞					
(9)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
(13)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
(16)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18)	新しい知識が身につき視野が広がった。	4	3	2	1
(19)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

Ⅱ．次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、
どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ．この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

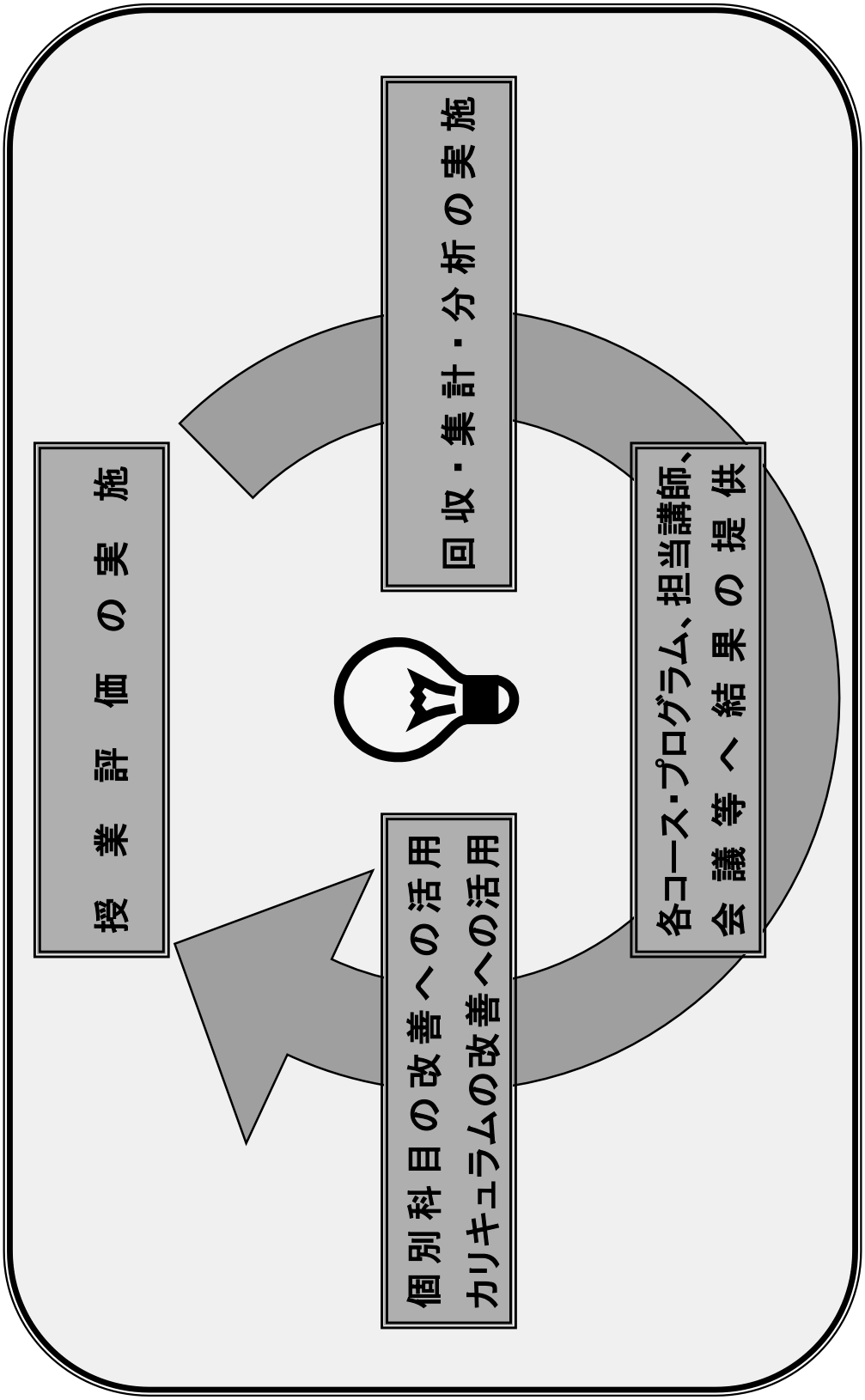
1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ．あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	〔全科履修生 新コース所属の方〕 1. 生活と福祉　2. 心理と教育　3. 社会と産業　4. 人間と文化　5. 情報 6. 自然と環境 〔全科履修生 旧専攻所属の方〕 7. 生活と福祉　8. 発達と教育　9. 社会と経済　10. 産業と技術　11. 人間の探究 12. 自然の理解 〔選科履修生･科目履修生〕 13. 選科履修生　14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性　2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下　2. 20～29歳　3. 30～39歳　4. 40～49歳 5. 50～59歳　6. 60～69歳　7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等　2. 教員　3. 会社員　4. 個人営業・自営業 5. 農業等　6. 看護師等　7. 家事専業　8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生　10. 無職　11. その他（　　）

どうもありがとうございました。

授業評価の組織的な活用



参考資料：相関係数について

アンケートの分析などで、近年常識になってきているのが統計学の手法である。
「相関」は統計学での基礎的な理論で、ある項目と別の項目の間の因果関係を分析するアプローチである。
例えば、
項目Ａの値が高ければ高いほど項目Ｂの値も高く、
項目Ａの値が低ければ低いほど項目Ｂの値も低い
などの現象がみられたら項目Ａと項目Ｂは相関関係がある可能性がある。

相関係数は、ある項目と別の項目の相関の程度を数値化したものである。
数値化するにあたっていろいろな理論があるが、最も一般的なのが「ピアソンの相関係数」である。（以下、「相関係数」と略記）
これを求める理論の詳細は省略するが、
重要な点は次の２点である。
1）相関係数は -1 ～ 1 までの値を取り得る
2）相関係数の絶対値が 1 に近ければ近いほど､比べている項目の相関は高いと言える。

1）に関して、相関係数が負の値になるということは、
項目Ａの値が高ければ高いほど項目Ｂの値は低く、
項目Ａの値が低ければ低いほど項目Ｂの値は高い
というような逆転現象がおきている場合である。

2)に関しては、次のよう目安がある。（R は相関係数の値）
1.0≧|R|≧0.7 ：かなり高い相関がある
0.7≧|R|≧0.5 ：高い相関がある
0.5≧|R|≧0.4 ：中程度の相関がある
0.4≧|R|≧0.3 ：ある程度の相関がある
0.3≧|R|≧0.2 ：弱い相関がある
0.2≧|R|≧0.0 ：ほとんど相関がない

参照：
http://www1.tcue.ac.jp/home1/abek/htdocs/stat/corre.html